

◎ 修订本 ◎

新编日语

周平 陈小芬 编著

W 上海外语教育出版社
外教社 SHANGHAI FOREIGN LANGUAGE EDUCATION PRESS
www.sflcp.com

4



新编日语（4）

（修订本）

请进入上海外语教育出版社有声资源网站
(<http://audio.sflp.com>)下载本书MP3录音，
详情请参阅网站“新手上路”。

卡号：111110000

验证码：e68k3w5f



本书所配录音版权属上海外语教育出版社，未经上海外语教育出版社书面授权，任何其他个人或组织均不得以任何形式将音频资源转载、复制、编辑或发布使用于其他任何场合。

- 若有MP3录音相关问题，可拨打咨询电话 021-65425300 * 8090 / 8085

普通高等教育“十五”国家级规划教材

新编日语

周平 陈小芬 编著



上海外语教育出版社
外教社 SHANGHAI FOREIGN LANGUAGE EDUCATION PRESS

4

图书在版编目 (CIP) 数据

新编日语. 第 4 册 / 周平, 陈小芬编著. —修订本.

—上海：上海外语教育出版社，2011（2012重印）

ISBN 978-7-5446-2401-5

I . ①新… II . ①周… ②陈… III . ①日语—教材 IV . ①H36

中国版本图书馆CIP数据核字（2011）第130301号

出版发行：上海外语教育出版社

（上海外国语大学内）邮编：200083

电 话：021-65425300（总机）

电子邮箱：bookinfo@sflep.com.cn

网 址：<http://www.sflep.com.cn> <http://www.sflep.com>

责任编辑：应 允

印 刷：常熟市华顺印刷有限公司

开 本：890×1240 1/32 印张 15.5 字数 456千字

版 次：2011年11月第1版 2012年10月第4次印刷

印 数：20 000 册

书 号：ISBN 978-7-5446-2401-5 / H · 1106

定 价：32.00 元

本版图书如有印装质量问题，可向本社调换

《新编日语》修订本编写说明

光阴似箭，日月如梭。《新编日语》自上世纪九十年代初问世以来，已匆匆过去十数载。回首往事，颇感欣慰。承蒙诸方专家学者的肯定和广大师生的厚爱，《新编日语》得以多次再版，被广泛使用，为我国日语教学尽了绵薄之力。

随着改革开放步伐的前进，现代化建设蒸蒸日上，祖国面貌日新月异。世界全球化进程加快，国际交流与往来日益频繁，中日关系也越来越密切。纵观日语教育发展趋势，日语人才仍然大量需要，人们学习日语的愿望依旧十分迫切。时代的巨大变化和社会的强烈呼声要求外语教材必须顺应潮流，与时俱进。于是，《新编日语》的

修订本应运而生了。为了适应时代的需要，我们在这次修订中，对《新编日语》的部分内容作了适量的修改与补充。但从总体上说，多年来的教学实践的检验显示，《新编日语》的编写内容、编写原则及体例是符合日语教学的规律与要求的，在培养学生基础阶段扎实的日语知识和灵活的运用能力方面起到了良好的作用，取得了可喜的成果。因此，在这次修订中，我们依然保持了本书的编写特点。现列举如下：

一、本书是高等院校日语专业基础阶段教材第四册，供二年级下学期使用。本书参照教学大纲的要求，编入日语语音、文字、词汇、语法、句型、功能用语等方面的内容。题材以学校、家庭、社会为主，同时兼顾日本文化、风俗习惯等方面的内容。体裁除会话和短文之外，还有少量简短的童话故事及影视剧本等。

二、本书的编写原则以听说为主，读写为辅。是从听说入手，听说与读写并重。听说训练宜采用情景教学法，尽可能利用实物、图画等直观教具或设定动作和场面，使学生通过情景和形象进一步培养直接用外语思维的能力。读写训练应注重多读多写，要求朗读流利、理解正确、书面

表达通顺。

三、第四册共十八课，大体分为四个单元。内容安排大致如下：第一单元是第一课至第五课，内容为日本文化。第二单元是第六课至第十课，内容为日本社会。第三单元是第十一课至第十四课，内容为日语学习。第四单元是第十五课至第十八课，内容为中日友好。每课教学时间为十学时左右，教学中可根据每课各部分长短及难易程度作适当调整。每个单元教学结束后可进行一次单元复习和测验。

四、每课由本文、会话、应用文、单词、词语与表达、功能用语、练习七个部分构成。本文是每课的主题内容，供朗读练习和连贯叙述用。会话是根据本文展开的连贯性的对话，用于听说训练。应用文除了一部分介绍日本的自然和文化之外，大多数与每课主题内容相关而又独立成篇，题材广泛，目的是通过阅读和理解，提高学生的读写能力。单词是每课新出现的词语，按照本文、会话、应用文三部分的顺序排列。词语与表达是说明每课的本文、会话、应用文中出现的语言现象，包括词汇、语法、句型以及某些惯用语。功能用语只要求模仿，目的在于通过日积月累，使学生能够运用所学的词语和句型进行表达，达到表达通顺的目的。

累进一步提高学生的口语交际能力。各课练习包括机械练习和活用练习，既可作为课堂教学的补充，又可作为课外作业。部分练习的形式和内容参考了日本日语能力考试及我国日语专业四级考试的要求。此外各单元后面有「学习之窗」，补充某些有关的日语知识。

五、本书后面附有单词索引，列入的单词共约一五二〇个（不包括部分专用名词和功能用语）。各课的单词释义限于该课中的词义或一般常用词义。单词后面依据词典标有声调符号，词典中没有的则按声调规律标注，仅供教学参考。本书的单词词性的略语如下：

- (名)——名词 (代)——代词 (数)——数词 (形)——形容词 (形动)——形容动词
(动)——动词 (副)——副词 (接)——接续词 (连体)——连体词 (叹)——叹词
(组)——词组 (接头)——接头词 (接尾)——接尾词 (他)——他动词 (自)——自动词
(五)——五段动词 (一)——一段动词 (サ)——サ变动词 (力)——力变动词
(专)——专用名词 (寒暄语)——寒暄语 (惯)——惯用语

本书的编写主要参考了下列教材和资料：原上海外国语学院俞彭年先生主编《日语》，日本

早稻田大学语学教育研究所编《日本语教科书》、大阪外国语大学编《新日语》、日本文化厅编《生活日本语》、国际学友会日本语学校编《日本语读本》、日本海外技术者研修协会编《现代日本事情》、美国、加拿大十一所大学联合日本研究中心编《综合现代日语》、水谷信子著《综合日本语》、石森延男编著《新国语》、福岛正实著《二十世纪故事》、名柄迪监修《为外国人编写日本语例句、习题集》、砂川有里子等编著《日本语句型辞典》等。编写中考虑到教学进程安排的需要，在文字上略作删改，在此谨作说明，并致以谢意。

本书由上海外国语大学周平、陈小芬编著。周平担任主编，并且承担本文、会话、应用文、功能用语的编写。陈小芬承担单词、词语与表达、练习的编写。本书的编写在上世纪九十年代承蒙本校王宏教授和原日本籍专家窟田晋治先生给予热情指导和仔细审阅，原上海外国语学院、原上海对外贸易学院、原上海大学国际商业学院等院校的日语教师也提出了宝贵意见。这次修订中，上海外国语大学日语专业的教师以及原上海外国语大学日本籍专家北村令子先生和原福建泉州师范学院日本籍专家邑松通容先生又提出了许多有益的建议。在此谨向以上各位先生表示衷心感谢。

本书的编写先后得到上海外语教育出版社多位编辑的指导与帮助。本书的修订本属于教育部普通高等教育「十五」国家级规划教材，虽延后至今，但在出版社的支持之下终于与读者见面，我们作为编著者甚感高兴和鼓舞，并借此机会对出版社及编辑们为本书付出的辛劳和努力表示由衷的谢意。

由于水平有限和时间仓促，本书难免存在错误和缺点，敬请各位批评指正。

周 平 陈 小 荣

于二〇一一年十月

上海外国语大学

目 录

1 第一課 日本について

本文
会話

応用文
日本人の名字

單語

言葉と表現

一 必ずしも……ない

二 「と」表示「引言」

三 副詞「どうも」

四 それが

五 ……とされている

六 动詞「参る」

七 「限り(では)」表示範圍的限定

八 なぜかというと……からだ

九 「とする」表示假定

十 「ねばならぬ」

フアンクション用語

なぐさめる

練習

26 第二課 カラオケ

本文
会話

応用文
日本のヒット曲

單語

言葉と表現

一 副詞「極」

二 接尾词「同士」

三 風(ふう)

55

第三課 日本人とユーモア	
会話	応用文
本文	まんじゅう恐い(落語)
單語	言葉と表現
一 がち	二 詞語「勘違い」
三 が期待される	

- 四 接尾詞「放題」
- 五 接头词「小」
- 六 …つある
- 七 受けがよい
- 八 …を込める(を込めて)
- 九 始まらない
- 十 副助词「きり」
- 十一 副词「知らず知らず」
- ファンクション用語 驚く
- 練習

80

第四課 日本料理	
会話	応用文
本文	自然食ブーム
單語	言葉と表現
一 …に富む	二 軒を並べる
三	「無農薬」を信じる消費者

- 四 ところから
- 五 …を問わず
- 六 …に包まれる
- 七 わけですから
- 八 …ても…ても
- 九 もしかすると
- 十 終助词「ぞ」
- 十一 …てやる
- ファンクション用語 後悔
- 練習

105

第五課 着物

本文
会話

応用文 男も女も金ピカ

——時ならぬゴールドラツシユ

單語

言葉と表現

一 :といった(名詞)

「として」構成的副詞

:とは:のことだ

「:に対する」表示対比関係

慣用語「目がない」

慣用語「うなぎ登り」

(名詞)なし

接尾词「こと」

:かたわら

十一 副詞「どうにも」

ファンクション用語 謙遜

練習

:は:に限られる

:くらいだ

「と」表示確定条件

:に合わせる

文語助動詞「じ」

词语「程度」

「ほど」表示比例変化

接尾词「ずくめ」

:を見せる

ファンクション用語 意志

練習

學習の窓

——送り仮名の付け方に注意しよう

133

第六課 早く早く

本文

会話

応用文 忙しい毎日

單語

一 :といった(名詞)

「として」構成的副詞

:とは:のことだ

「:に対する」表示対比関係

慣用語「目がない」

慣用語「うなぎ登り」

(名詞)なし

接尾词「こと」

:かたわら

十一 副詞「どうにも」

ファンクション用語 謙遜

練習

:は:に限られる

:くらいだ

「と」表示確定条件

:に合わせる

文語助動詞「じ」

词语「程度」

「ほど」表示比例変化

接尾词「ずくめ」

:を見せる

ファンクション用語 意志

練習

學習の窓

——送り仮名の付け方に注意しよう

言葉と表現

- 一 やいなや
- 二 接尾词「目」
- 三 それにしても
- 四 词语「先」
- 五 からといって…(否定)
- 六 副词「つい」
- 七 并列助词「に」表示并列、添加
- 八 お互い様
- 九 (た)ところで
ファンクション用語 助言

練習

155 第七課 本音と建前

- 会話
- 本文
- 單語
- 応用文
- 言葉と表現
- 一 动词「増す」

178 第八課 ゴミ

- 会話
- 本文
- 單語
- 応用文
- 言葉と表現
- 一 :臭い
- 二 :ようが(も)ない
- 三 接尾词「だらけ」

201

第九課 環境を考える

本文
会話

応用文
富士山はほんとうにあるのか

言葉と表現

一 动词「求める」

二 :かねる/かねない

三 一体となつて

四 詞語「例」

慣用語「手を打つ」

数字十もの十名词

:ようにと

动词+だけ+同一动词

:に関する

动词连用形+よい

次第

ファンクション用語 ことづける

練習

まさか(副词・名词)

「つかまる」「つかまえる」和「とらえる」

動词「しのぐ」

助动词「う」「よう」表示推量

用言未然形+う(よう)+とは

ファンクション用語 伝える

練習

五 まさか(副词・名词)

六 「つかまる」「つかまえる」和「とらえる」

七 動词「しのぐ」

八 思いをする

九 助动词「う」「よう」表示推量

十 用言未然形+う(よう)+とは

第十課 教育

本文
会話

応用文
福沢諭吉

單語

言葉と表現

一 :にしても、:にしても

二 :というぐあい

三 :を余儀なくされる

四 :にかかる

五 动词「目指す」

五 まさか(副词・名词)

六 「つかまる」「つかまえる」和「とらえる」

七 動词「しのぐ」

八 思いをする

九 助动词「う」「よう」表示推量

十 用言未然形+う(よう)+とは

ファンクション用語 伝える

練習

第十一課 日本語の學習

本文

会話 一休さんの話

單語

言葉と表現

一 「直す」构成的复合动词

二 …にもかかわらず

六 并列助词「なり」

七 「とも」表示「当然」「一定」

八 感叹词「何を」

九 「…にして」构成的惯用语

十 いわば

十一 …にわたる(わたつて)

十二 タルト形容动词

ファンクション用語 比例

練習

学習の窓

——句子重音(プロミネンス)

三 副词「よほど」

四 …ときたら

五 …やつと(のこと)だ

六 …にかけては

七 どうせ…から(なら)

八 「…つもりだ」表示讲话者内心想法

九 「…ことから」表示推断的依据

十 なんと…(の)だろう

十一 …べからず

十二 助词「や」

ファンクション用語 例証

練習

第十二課 あいまい語について

本文

会話 一休さんの話

單語

言葉と表現 賴む言い方と勧める言い方

一 「直す」构成的复合动词

二 …にもかかわらず

第十三課 擬声語と擬態語

- 二 詞語「きりがない」
 三 助詞「うえで」
 四 「に至つては」
 五 动词「思いやる」
 六 詞語「ためになる」
 七 「でも」与其他助词的重叠
 八 终助词「たまえ」
 九 詞語「気」
 十 「あわせる」构成的复合词
 十一 接头词「ばか」
 ファンクション用語 概括
- 練習
- 会話 本文
- 応用文 鶴の恩返し——テレビ放送
- 單語 言葉と表現
- 一 日语拟声词和拟态词

第十四課 ことわざ

- 二 詞語「様子」
 三 动词「はずす」
 四 副词「いっそ」
 五 形容词「ありがたい」
 六 「どうでも」
 七 「あがる」构成的复合动词
 八 「ようにして」
 九 「あがる」构成的复合动词
 十 感叹词
 ファンクション用語 見積り
- 練習
- 会話 本文
- 応用文 いろはガルタ
- 單語 言葉と表現
- 一 「用心」「注意する」「気をつける」
 二 「ある(いる)かと思えば、」もあ

361

本文
会話
応用文
單語
言葉と表現
一 詞語「延べ」

第十五課 友好のために

- 三 动词「整える」 る(いる)
- 四 词语「気がきく」
- 五 动词「こたえる」
- 六 形容词「もつたいない」
- 七 副词「いっぱい」
- 八 「かえす」构成的复合动词
- 九 词语「働き」
- 練習 ファンクション用語 注釈
- 学習の窓
- 日本の都、道、府、県名

382

本文
会話
応用文
單語
言葉と表現
一 一 : がきつかけとなつて
二 : がおろそかになる

第十六課 五十嵐勝さん

- 二 めつたに: ない
- 三 接尾词「役」
- 四 : つこない
- 五 接续助词「ながら」
- 六 动词「とまる」
- 七 : というのに
- 八 : だけあつて
- 九 : かと思うほど
- 接头词「真」
- 練習 ファンクション用語 条件

407

第十七課 中日経済の展望

本文
会話

応用文
いこう
世々代々友好的につきあって

單語

言葉と表現

一 :を基礎に(する)

三 助詞「やら」

四 詞語「どれもこれも」

五 副詞「まるで」

六 副詞「まず」

七 動詞十しかない

八 :くせに

九 :に言わせれば

十 詞語「破目になる」

十一 名詞十が十同一名詞十だけに

練習

ファンクション用語 色

二 詞語「向ける」

三 :を:と考える

四 副詞「おのずと」

五 総じて言えば

六 :が望ましい

七 詞語「払う」

八 詞語「前向き」

九 詞語「根をおろす」

十 :にほかならない

練習

ファンクション用語 形

429

第十八課 徐福渡海のナゾ

本文
会話

応用文
天平の甍——シナリオ

單語

言葉と表現

一 接尾词「めく」

二 三 三 四 五 六 七 八

：は疑い（は／も）ない

どれだけ：かわからない

格助词「より」表示起点或来由

动词「控える」

：に燃える

惯用语「息を呑む」

「う（よう）と」表示「不管：也」

454

第四册单词索引

九 词语「思いがけない」
ファンクション用語 材料・原料
練習

学習の窓——日本人の姓

第一課 日本について

本文

日本の国土はいろいろな特色を持つています。多くの人が第一の特色だと思っているのは、国土面積が小さいという点でしょう。しかし、これは必ずしも正しいとは言えません。日本の面積は三七万七六〇〇平方キロメートルです。これはアメリカ、中国などと比べればかなり小さいのですが、ヨーロッパでは大国です。つまり、ヨーロッパには約三〇の国がありますが、そのうちで日本より面積の大きいのは、フランス、スペイン、スウェーデンだけです。

第二は、日本は島国だという点です。本州・北海道・九州・四国の四つの島のほか、四〇〇〇ぐらいの島からなっています。

第三は、北東から南西にかけて約三〇〇〇キロメートルの細長い列島で、その海岸線は三万三〇〇〇キロメートルにもなります。

第四は、山地・火山地などが国土面積の七四パーセントを占めている点で、主な火山は約二〇〇、そのいくつかは活火山として今も活動しています。一方、低地は国土面積の一五パーセントで、人口の大部分はこの地域に集中しています。

第五は、高温で雨が多く、春夏秋冬の四季がはつきりしていることです。地域的な気候の変化も激しく、太平洋側と日本海側、北海道と南西諸島では大きな差が見られます。

このような日本の自然を経済という点からみると、どうもマイナス面ばかり目立ちます。

第一に、国土が小さいという点を考えると、やはり、経済的には不利だと言えるかもしれません。

第二に、鉱物資源がないこともあります。

第三に、自然の災害が多いこともあげられます。地震・台風・火事は日本の名物です。とくに、二〇一一年三月十一日の東日本大地震は日本に大きな災難をもたらしました。

しかし、日本人の勤勉さ、教育水準の高さ、積極的な新技術の開発と導入、資源、エネルギーの大量輸入などが日本経済の復興・発展と躍進の要因になりました。

(名古屋大学「現代日本語コース中級」にもとづく)

会話

李 鈴木さん、日本という国はいつできたのですか。

鈴木 それが、中国や欧米の国のようにできたのではないんです。日本がいつ成立したか正確に決めるのは難しいんですね。

李 それはどうしてですか。

鈴木 ひとつには、日本には四世紀までは文字による記録がなかつたのです。中国から文字が入ってき

たのは四世紀ごろですから。

李 そうですか。それで正確に決めるのは難しいんですね。

鈴木 ええ。古代中国の文献や考古学の研究によると、一世紀ごろにはさまざまな小さな国があつたようです。その後これらの国々がしだいに統一され、四世紀に比較的大きな国ができました。それが日本国だつたとされていますが、何年に成立したかと確定するのは難しいのです。

李 でも、日本には建国紀念日がありますね。あれはなぜですか。

鈴木 これは参りました。李さんに一本とられましたね。そう、二月十一日は建国紀念の日でお休みですね。

李 いや、失礼、そういうつもりはなかつたんです。ちょっとつじつまが合わないと思ったものですから。

鈴木 日本の歴史書『古事記』と『日本書紀』に紀元前六六〇年に初代の天皇(神武天皇)が即位したと記されており、その日がいまの暦で二月十一日にあたるからなのです。ただし、これらの歴史書が全部真実かどうかは学者の間でもいろいろ意見があります。

李 そうですか。日本の皇室は何年ぐらい続いているんですか。

鈴木 歴史でわかっている限りでは一五〇〇年くらい続いています。現在の天皇は一二五代目ですか。

李 一五〇〇年も続いている皇室というのも珍しいですね。日本の国名はどこから出てきたのですか。

鈴木 日本という呼び方になつたのは七世紀ではないかといわれています。「日出づるところ」という意味で、聖徳太子が中国に送った国書に、自分の国のこと表現しているところからとつたとされています。

日本の国旗の赤丸は太陽を表しているんですね。

李 鈴木 そうです。日本の国旗は「日章旗」とも「日の丸」ともいいます。

日本には国章がありますか。

李 鈴木 公式には、日本には国章がないんですが、国章の代わりに二つの皇室のマークが使われることがよくあります。ひとつは十六弁の菊の花、もうひとつは桐のマークです。

李 鈴木 ところで、天皇はいま国政上はどんな立場にあるんですか。

李 鈴木 日本はイギリス、オランダなどと同じように立憲君主国です。天皇の立場は憲法に定められています。それによると、天皇は外交儀礼上は日本の元首になっています。しかし、天皇は直接に政治を行いません。内閣の助言と承認に基づいて、決められた国事を行います。

李 鈴木 そうですか。オリンピックなどで日本の国歌をよく聞きました。なかなか落ち着いた曲ですね。

李 鈴木 曲は百年くらい前に作曲されたものですが、歌詞は千年以上も前の作品です。歌詞は『古今和歌集』という古い歌集にある歌なんですが、作者は不明です。

李 鈴木 そうですか。歌詞はどんな内容ですか。

李 鈴木 「君が代は千代に八千代にさざれ石の巖となりて苔のむすまで。」

李 鈴木 小石が岩になるとという表現は面白いですね。今日は日本についていろいろ教えていただいてどうもありがとうございました。

(日鉄ヒューマンデベロブメント著「日本を語る」にもとづく)

日本人の名字

今から百年以上も前の古い書きものを見ると、農民や町人の名には名字がつけてありません。

たとえば、江戸時代の戸籍簿などを見ると、名字と名まえの両方が書いてあるものはほとんどありません。「甚兵衛」とか「半助」などと、名まえだけ書いてあります。

江戸時代の終わりまで、正式に名字をつけることができたのは、武士かまたは特別に許された商人や村の有力者だけでした。ですから、一般の人は「名字帶刀を許す」と言われると、たいへん名譽に思いました。

なぜかというと、これは、当時、次のような考え方があつたからです。

「武士は特別にえらいのだ。百姓や町人が、その武士と同じように名字をつけることはけしからん。」
士・農・工・商という身分のきまりはこんな小さなことにまではつきりとあらわれていたのです。

もつとも、農民や町人の間にも、名字のようなものが全然なかつたわけではありません。

たとえば、「青木」という名字をもつた大地主の小作人に「太郎作」という人がいたとします。そうすると、この人は、正式の名字はありませんでしたが、人々からは「青木の太郎作」と呼ばれました。また、大きな橋のある村に住んでいた「五兵衛」という人は「大橋の五兵衛」と呼ばれたこともあつたようです。

ところで、「國民はだれでも名字をつけてよろしい。」と決められたのは、明治三年のことでした。し

かし、長い間のならわしから、すんで名字をつけようとする人はありませんでした。そこで、政府はかさねて、「國民はすべて名字をつけねばならぬ。」という命令を明治八年に出しました。

人々はどんな名字をつけたらよいか、いろいろ考えました。たとえば、今まで「青木の太郎作」とか「大橋の五兵衛」などと呼ばれていた人が、そのまま「青木太郎作」とか「大橋五兵衛」などとつけたこともありました。

また、自分で名字をつけられない人は、村役場の役人などに適当な名字を選んでもらったこともあります。

たとえば、家の前に松の木があるから「松下」とつけたり、山の入口にあるから「山口」とつけたり、昔の有名な武士の名をとつて、酒井、本多などとつけてもらいました。

また、魚や野菜の名ばかりたくさんつけた村もありました。

武士の名字には、地名からとつたものをはじめ、寺の名や職業や植物の名などからとつたものが多いと言われています。

日本では、結婚したら夫婦は同じ名字にすることになっています。女人が男の人の名字になることが多いです。例えば「鈴木陽子」さんが「高橋一郎」さんと結婚したら「高橋陽子」になります。しかし、結婚しても名字を変えたくないと思う人もいます。夫婦が別々の名字を持つことを「夫婦別姓」といいます。最近、この「夫婦別姓」にしたいと考える夫婦が増えてきたようです。

(文化庁「日本語読本」にもとづく)

单語

国土(くにどく)名(な)	差(さ)
必ずしも(かならず)副(ふく)	目立(めだつ)
北東(ほくとう)名(な)	矿物(もくぶつ)
南西(なんせい)名(な)	資源(しげん)
細長い(ほそながい)形(ぎょう)	災害(さいがい)
海岸線(かいがんせん)名(な)	主(おも)
山地(さんち)名(な)	火事(かじ)
主(おも)形动(ぎょうどう)	復興(ふっこう)
活火山(かっかざん)名(な)	躍進(やくしん)
低地(ていち)名(な)	*
太平洋(たいへいよう)名(な)	*
日本海(にほんかい)名(な)	*
諸島(しょとう)名(な)	*

国土(くにどく)	差(さ)
(接否定)不一定(せつひねい)	目立(めだつ)
东北(とうべつ)	矿物(もくぶつ)
西南(せいわん)	資源(しげん)
细长的(ほそながい)	灾害(さいがい)
海岸线(かいがんせん)	主(おも)
山地(さんち)	火事(かじ)
主(おも)形动(ぎょうどう)	復興(ふっこう)
活火山(かっかざん)	躍進(やくしん)
低地(ていち)	*
太平洋(たいへいよう)	*
日本海(にほんかい)	*
諸島(しょとう)	*

主要的(しゅゆてき)	有名的(めいめい)
重要的(じゅうyうてき)	人(じん)
重要的(じゅうyうてき)	特产(せんぱつ)
重要的(じゅうyうてき)	复兴(ふっこう)
重要的(じゅうyうてき)	重建(ちうしん)
活火山(かっかざん)	跃进(やくしん)
活火山(かっかざん)	跃为(やくゑ)
活火山(かっかざん)	跃居(やくゐ)
低洼地(ていわぢ)	*
大洋(おうえん)	*
日本(にほん)	*
诸岛(しょとう)	*

考古学
考古学(こがく)

統一（名・他サ）①

统一

学者（名）①

学者

確定（名・自他サ）①

确定

皇室（名）①

皇室

参る（自五）①

被难住；认输；受不了；迷惑

国名（名）①

国名

一本とられる（惯）

输对方一招、被击败

日出づるところ（组）

太阳升起的地方

つじつまが合わない（组）

前后矛盾

太阳升起的地方

歴史書（名）④

历史书

太阳升起的地方

古事記（专）①

古事记（日本奈良时代的历史书）

太阳升起的地方

日本書紀（专）④

日本书纪（日本奈良时代的日本奈良时代的历史书）

太阳升起的地方

紀元前（名）②

纪元前、纪元前

太阳升起的地方

初代（名）①①

第一代

太阳升起的地方

天皇（名）③

天皇

太阳升起的地方

神武天皇（专）①

（传说中的日本第一代天皇）

太阳升起的地方

即位（名・自サ）①②

即位

太阳升起的地方

暦（名）③①

历书、历本

太阳升起的地方

眞実（名・形动・副）①

太阳升起的地方

事实、真话；真的；真正的；实在

オランダ（Holland）（专）①

太阳升起的地方

国政（名）①

太阳升起的地方

桐（名）①

梧桐树

太阳升起的地方

国政

太阳升起的地方

立憲君主國（名）⑦

定める（他一）③

元首（名）①

内閣（名）①

助言（名・他サ）①

承認（名・他サ）①

国事（名）①

作曲（名・自他サ）①

歌詞（名）①

古今和歌集（专）⑤

不明（名・形动）①

君が代（专）①

千代に八千代に（惯）

細石（名）③

巖（名）①

君主立宪制国家

苔（名）②

（古语）生长；发生

小石（名）①

小石头、碎石

岩（名）②

岩石

出主意；给予指导

名字（名）①

苔藓

承认

小石、碎石

国事

小石头、碎石

国歌

小石头、碎石

作曲

小石头、碎石

歌词

小石头、碎石

古今和歌集（日本最早的和歌集）

（江户时代的）商人；手艺人

不明、不详；无能

名字、姓名

君之代（日本国歌）；圣代

农民

千秋万代

姓

磐石、巨石

岩石

小石头

岩石

强有力者（名）④③

有权势者；（某方面的）权威人士

商人

商人

正式（名・形动）①

正式、正规

武士（名）①

正式、正规

商人（名）①

正式、正规

武士

正式、正规

商人

商人

苔藓

言葉と表現

一、必ずしも…ない（本文）

これはかならずしも正しいとは言えません。

副词「必ずしも」常和「とは限らない」「わけではない」「そうではない」「とは言えない」等呼応使用、

帶刀（名・自サ）①
名譽（名）①
百姓（名）③
けしからん（組）④
もつとも（尤も）（接）①③
青木（专）①
大地主（名）③
小作人（名）①
五兵衛（专）①
国民（名）①

佩刀
粗魯；岂有此理
农民、庄稼人
话虽如此
重ねて（副）①
命令（名・他サ）①
命令（名）①
村役場（名）③
村公所、乡政府
重复、再一次
命令

ならわし（慣わし）（名）①④
進んで（副）①
主动地
松の木（名）①+①
酒井（专）①
本多（专）①
別姓（名）①
国民（名）①

习俗、风气
重复、再一次
命令
松树
村公所、乡政府
夫妻不同姓
（姓氏）
（姓氏）

表示未必一定如此，也有例外。属于比较客观的判断。

● 金のある人が必ずしも幸せとは言えません。（有钱人未必一定幸福。）

● 大企業に勤めている人の給料がいいと言う人もいるようですが、実態は必ずしもそうではないとわたしは思っています。（有人说在大企业工作的人工资高，我觉得实际情况未必一定如此。）

● 語学が得意なら必ずしも就職に有利だというわけではない。（并不是擅长语言的人找工作就一定有利。）

二、「と」表示「引言」（本文）

このような日本の自然を経済という点からみると、
どうもマイナス面ばかり目立ちます。

「と」接在「言う、見る、考える、比べる」等表示发言、思考或比较的动词后面，起引言作用，表示以下事情是站在什么角度、立场上讲的。这种用法的「と」基本上可以和「たら」「ば」「なら」替换。

● 国土が小さいという点を考えると、やはり、経済的には不利だと言えるかもしれません。（也

许从国土小这一点来考虑，可以说这对经济是不利的。）

● 例年に比べると、今年の夏は涼しいほうのようです。（与往年相比，今年的夏天好像算是凉快的。）

● 正直に言うと、手術で助かる見込みは三十パーセントもないと思います。（说实话，手术成功的希望还不到百分之三十。）

三、副词「どうも」(本文)

このような日本の自然を経済という点からみると、どうもマイナス面ばかり目立ちます。

(1) 和否定呼应，表示事情胜过讲话人的决心，所以讲话人遗憾地表示事情进展并不如愿，类同「どうも」と同様にしても。

● お父さんがなぜ怒ったのか、どうもよくわかりません。（我实在弄不明白父亲为什么生气。）

● 手術の経過はどうも思わしくありません。（手术的过程有点不尽如人意。）

● 表示一种自然而然产生的感觉，类同「なんとなく」。

● どうも恥ずかしくて彼女に心を打ち明けることができない。（我总觉得不好意思，无法向她表白心迹。）

● あの人は、これといって欠点はありませんが、どうも気に入りません。（他也说不上有什么缺点，可我就是不喜欢他。）

(3) 表示轻微的惊讶或困惑。

● どうもどこかで見たことのあるような人だと思いました。（那个人我好像在什么地方见到过。）

● 今日は体の具合はどうもおかしいです。（今天身体情况好像不怎么好。）

● どうも困つたやつだ。どうして言つたことを聞いてくれないのか。（真是个爱惹麻烦的人，为什么就不听我的话呢。）

(4) 和「らしい」、「ようだ」、「かもしれない」等呼应，表示自己的推测。类同「どうやら」。

- あしたはどうも雨が降るらしい。（明天像是要下雨。）
- あの子はどうも数学が苦手なようだ。（那孩子好像数学不行。）

四、それが（会話）

それが、中国や欧米の国のようにできたのではないんです。

「それが」可以表示「それなのに」「それにもかかわらず」，也可以用来表示无法顺着对方的话说一些对方希望听到的内容，因此欲言又止的样子。例如：

- 朝からとてもいい天氣でしたが、それが、昼過ぎから急に風が吹き出しました。（早上天还是好好的，可是过了中午突然刮起风来了。）
- 絶対にやると神に誓いました。それがたった三日でだめになりました。（他还向上帝发誓说绝对愿意干。可是只过了三天就反悔了。）
- 「荷物は届きましたか。」「それが、まだなんです。」（「行李运到了吗？」「这个……，还没有呢。」）
- 「今晚いかがですか。」「それが、今日はちょっと都合が悪いんですが。」（「今晚怎么样？」「这个……，今晚好像不行嗳。」）

五、…とされている（会話）

それが日本国だったとされていますが、…

「⋮とされる」「⋮とされている」是报刊上常见的表达方式，表示「⋮ということになつてゐる」「⋮と
いうことが認められてゐる」。

- この絵は有名な画家が描いたものとされています。（据说这幅画是名画家画的。）
- この病気は現代医学ではなかなか治りにくくとされています。（据说这个病现代医学还很难医治。）
- 早寝早起きの人は長生きとされます。（一般认为早睡早起的人长寿。）

六、动词「参る」（会話）

これは参りました。
（アリマスル）

动词「参る」除了是「行く、来る」的自谦语外，还可以表示认输、被难住、受不了，或因某种原因（精神或肉体上）被累垮等。例如：

- 参つた。もう許してくれ。（我输了。饶了我吧。）
- 今度の病気には彼もだいぶ参つたようです。（好像这次病把他折磨得够呛。）
- 参つたなあ。この渋滞には。（真受不了，车堵得这么厉害。）
- 徹夜続きで体が参つてしまします。（连续熬夜身体都已经受不了了。）
- あいつは彼女に参つています。（那家伙被她迷住了。）

七、「限り（では）」表示范围的限定（会話）

歴史でわかつてゐる限りでは一五〇〇年くらい続いています。

「限り」接在「見る、聞く、調べる」等表示认知的词后面，表示「就自己的知识、经验等作判断的话，那将是：」。也可以用「限りで」「限りでは」。

- わたしが知る限り、かれはうそをつくような人ではありません。（据我所知，他不是一个说谎的人。）
- 山田さんに聞いた限りでは、かれはアメリカへ留学するつもりはないようです。（我听田中说，好像他没有去美国留学的打算。）
- ニュースで見る限りでは、高速道路の渋滞はひどいようです。（我从新闻得知，高速公路堵得厉害。）

八、なぜかというと：からだ（応用文）

なぜかというと、これは、当時、次のような考え方があつたからです。

(1) 这是先讲结果后讲原因的表达方式，用于书面语或正式场合时的口语。

- みんなは彼のことを信用していませんでした。なぜかというと、それまでに何度もだまされたからです。（现在大家都不相信他。为什么呢？因为以前多次上过他的当。）
- 来週はほとんどのクラスが休講になります。なぜかというと、先生方が入試でお忙しくなるからです。（下星期很多班级都不上课。那是因为老师都要忙于高考。）
- 揚げ物はあまり食べないほうがいいです。なぜかというと、たくさん食べると、胃腸によくな

いからです。（油炸的东西最好少吃。为什么呢？因为吃多了对肠胃不好。）

(2)

这种表达方式还可以在「なぜ」和「と」と之间插入具体的问题。例如：

- なぜ最近野菜が値上がりしているかというと、天候が不順だったからです。（要说最近为什么蔬菜涨价，那是因为天气不正常的缘故。）

(3)

なぜ出発を遅らせたかというと、出かけようとするところに電話がかかってきたからです。（要说我为什么会晚出发，那是因为刚要出门时电话铃响了。）

- 先讲结果后讲原因的的说法还有「と」、「：からだ」「なぜなら、：からだ」。例如：

わたしは最近できるだけ歩くようにしています。というのは、運動不足だからです。（最近我尽可能地走路。那是因为运动不够。）

- あの人は無実だと思います。なぜなら、彼の柄をよく知っているからです。（我想他是被冤枉的。为什么这么说呢？因为我相信他的人格。）

九、「とする」表示假定（応用文）

たとえば、「青木」という名字をもつた大地主の小作人に
「太郎作」という人がいたとします。

表示「かりに：と考える」，即不管现实怎样暂且这样假定。

- 今かりに一年間の休暇があるとします。あなたは、なにをしたいですか。（假设现在有一年的

休假，你想做点什么呢？）

● 上海で日本の阪神大震災と同じ程度の地震が起こったとしましよう。その被害は日本よりもっと大きいでしょうか。（我们假设上海发生了与日本阪神大地震相同程度的地震。那么所受的损失会不会比日本还要大呢？）

● かりにこの子を大学まで行かせるとして、教育費をどのぐらい用意しておかなければならないのか。（假定让这孩子上大学，那么要准备多少教育经费呢？）

十、ねばならぬ（応用文）

政府はかさねて、「国民はすべて名字をつけねばならぬ」

という命令を明治八年に出しました。

「ねばならぬ」和「なければならない」的意义相同，表示必须。一般用于书面语。「ね」是否定助动词「ぬ」的假定形。

未然形	連用形	終止形	連体形	仮定形	命令形
○	ず	ぬ(ん)	ぬ(ん)	ね	○

● 来月国へ帰らねばならぬ。（下个月我必须要回国。）

● レポートは土曜日に出さねばならぬ。（学习报告必须星期六交。）

● 出席する人は三千円の会費を支払わねばならぬ。（出席者要交三千日元的会费。）

ファンクション用語

なぐさめる

A (録音) ああ、まだダメだつた。こんどこそうまくいくと思つたんだけど。

B ま、そういう時もあるさ。

A がっかりしたなあ。もうやめちゃおうかな。

B そんなこと言うなよ。

練習

一、漢字にふりがなをつけなさい。

名物 曆 北東 活火山 皇室 災害 即位 助言 立憲君主 細石 嶺 町人 太平洋 承認
内閣 歌集 名字 諸島 資源 江戸時代 目立つ 苔 地域 考古学 文献 欧米 南西 国旗
村役場 戸籍簿 桐

二、○に仮名を入れなさい。

(1) 気候の変化は太平洋側、北海道と南西諸島○○大きな差が見られる。

(2) 日本には四世紀○○○文字による記録がなかつたのだ。

(3) 何年に成立したのか○確定するのは難しい。

(4) その日がいまの暦○二月十一日○あたる。

(5) これらの歴史書が全部真実かどうか○学者の間○いろいろ意見がある。

(6) 歴史○わかっている限り○○一五〇〇年くらい続いている。

(7) 天皇は外交儀礼上○日本の元首になつてゐる。

(8) 身分の決まりはこんなことに○○はつきり現れていた。

(9) もつとも、農民や町人の間にも、名字のようなものが全然なかつた○○ではない。

(10) 日本では、結婚し○○夫婦は同じ名字○することになつてゐる。

三、次の語群から最も適切なことばを選んで一
て入れなさい。必要な場合は適當な活用形にし
て入れなさい。

進んで つじつまの合わない 尤も どうも かぎりでは
けしからん 慣わし 目立つ 一本とられる

(1) 食欲のないところをみると、() 病気らしい。

(2) 私が調べた()、わが国でこういう手術ができる人は楊先生をおいてほかにいない。

(3) これは、生まれたばかりの赤ちゃんが丈夫にたくましく成長するようにと願いを込めてお祝いする行事で、江戸時代からずっと続いている()だ。

- (4)人がいい彼は、いつも()みんながやりたくない仕事を引き受ける。
- (5)このクラスでは彼女が()優秀です。
- (6)自分自身でも()行動をしながら、どうしてそうなってしまうのだろうと混乱している。
- (7)完全に俺の負けだ。息子に初めて()感じだ。
- (8)彼の意見は正しい。()彼の立場に立てばの話だ。
- (9)約束の時間に一時間も遅れるなんて、まったく()。
- 四、各項に挙げたことばを使って次の文を完成しなさい。**
- (1)必ずしも…ない
光るものは()。
- (2)①()。うちも父の方が料理が上手です。
日本人はみんな働き蜂だと聞いていますが、実際は()ます。
- (2)②()。楊さんも太っていますけれども、スポーツが上手です。
()。実際に納豆がぜんぜんダメな日本人の友だちもいます。
- (1)何回もやつてみたが、()。
- (2)気にすることはないとかつていながら、()。

普段よくできる子の成績も悪いところをみると、()。

(3)

この頃は疲れやすくなつて、()、やはり病気だつた。

(4)

あの人はいつたい何のためにそんなことをしたのか、()。

(5)

(3) それが

「劉さん、誰かを待つてゐるんですか。」「ええ。陸さんとここで八時に会うと約束したのです。

それが()。

(1)

十時につくはずでした。それが()。

(2)

「お父さんはお元気ですか。」「()」

(3)

「お仕事はうまくいっていますか。」「()」

(4)

「お子さんもそろそろ卒業ですね。」「()」

(5)

(4) …とされている(とされる)

が、甘いものが大好きな私でも、虫歯にはなつていません。

(1)

きな原因思つています。

(2)

地球温暖化の一因として、()。

(3)

一時は、外来文化が()。

(4)

ただ黙々と働くことが美德とされた社会では、()。

(5)

()。

()。

(5) :限り(では)

① 私が見るかぎり、あの二人は()。

② 長い間会つていませんが、電話で声を聞くかぎり、()。

③ 辞書で調べたかぎりでは、この単語に()。

④ 先生に聞くかぎり、()。

⑤ ちょっと話したかぎりでは、彼は()。

(6) とする

① 給料が月に五千円だとして、()。

② 「何時ごろ、こつちにつきますか。」「いまから出発したとして、()。

③ いま、子供を産んだとして、()。

④ この仕事は君にはむりだとしましょう。すると、()。

⑤ 「この前見に行つたマンションは一平方メートルあたり二万元だそうです。」

「()ということがありますね。」

五、次の質問に答えなさい。

(1) 日本の国土はどのような特色を持つていますか。

(2) 太平洋側と日本海側とでは気候がかなり違いますね。それはまたなぜでしょうか。

(3) 「日本がいつ成立したか、正確に決めるのは難しい」とありますか、それはなぜですか。

(4) 日本国憲法では天皇の立場についてどのように定められていますか。

(5) 江戸時代の終わりまで、一般の人は「名字帶刀を許す」と言わると、どうしてたいへん名譽に思つたのですか。

(6) 「国民はすべて名字をつけねばならぬ」という日本政府の命令のもとに、人々はどのように名字をつけましたか。

六、括弧内のことばを使って次の中国語を日本語に訳しなさい。

(1) 今天从医院配来的药如果一天三片，可以吃一个月。（とする）

(2) 据我所知，这个问题在发达国家已经得到解决，只是我国落后了一大截。（限り／済み）

(3) 为什么肚子饿的时候无论喝多少水肚子都不会变饱呢？那是因为在血液中水无法制造糖分。（なぜかと：からだ）

(4) 「我总觉得小林最近好像精神状态不太好，到底怎么啦？」「是啊。到底为什么那么消沉，理由我也不太清楚。会不会是想家啦。」（どうも／沈み込む）

(5) 「我，今天上课迟到了。」「为什么？」要说为什么，那是因为昨晚看电视看到很晚，早上怎么都起不来。（どうしてかと：からだ）

(6) 按企业的实感来说，所谓的「陷入僵局」说的是让消费者购买商品变得很难，为此必须要费尽心思，绞尽脑汁。（と／四苦八苦する）

(7) 那场大病之后他的身体衰弱了许多。（参る）

(8) 一般人以为、医学发达了、什么病都能治好。其实那是误解。医学再怎么发达还是有很多病是治不好的。(とされる)

(9) 出身于穷人家未必是一件坏事。曾经有人说过、穷则思变。(必ずしも)

(10) 「公司顺利吗?」「那个嘛、受金融危机的影响公司经营也变得很难。」(それが)
(11) 我和她一起在咖啡馆里喝咖啡。这时发生了地震。我说:「不知我家里的母亲可好、要不要打个电话问问。」但是、地震一会儿就停了。我也就没有打电话。这时候她的情绪变得很坏。我问她:「你怎么了?」她说:「我讨厌这种时候也不给家里打个电话的人。」真是输给她了一着。(一本とられる)

七、辞書を調べながら次の日本語を中国語に訳しなさい。

「所変われば品変わる」ということわざがあります。土地が違えば、それぞれの土地に他の所と異なるた産物があり、風俗や習慣なども違うという意味です。

日本は面積が約三十七万平方キロメートルで、あまり広い国ではありませんが、各地の様子には大きな違いがあります。日本の各地を旅行すると、このことわざのとおりであります。

日本は北東から南西に細長くのびていて島国なので、北海道の沿岸が流水に覆われているとき、南の南西諸島では海水浴を楽しむことができます。また、山地と平野部では産業の面でも違いがあります。山地では林業や観光業が行われていますが、平野部では農業や工業が盛んです。日本は山国で、平野部の面積は国土全体の十パーセントあまりしかありませんが、工業の発達に伴って、しだいに平野部に人口が集中するようになりました。現在は、総人口一億三千万人の四分の三の人々が平野部に住

んでいます。

歴史的に見ると、明治維新までは都が奈良・京都など近畿地方にあったので、西日本は東日本に比べて、経済的にも文化的にも進んだ地域でした。江戸時代には幕府は江戸（現在の東京）にありましたが、「江戸は武家、京は出家、大阪は町人」と言われたように経済活動はやはり大阪のほうが盛んでした。東京が政治の面だけでなく、経済の面でも日本の中心と言われるようになつたのは、第二次世界大戦後のことです。

また、地方によって、ことばの面でも違いがあります。例えば、店の人に対する共通語では「いらっしゃいませ」「ありがとうございます」と言いますが、大阪や京都では「おいでやす」「おおきに」と言います。方言の分布で見ると、静岡県から富山県を通る線で、東日本と西日本とに大きく分けられます。最近はラジオやテレビの普及によつて、どこでも共通語が聞かれるようになりましたが、その土地の人同士は、ふだんはやはり、その土地のことばを使って話をしています。

（竹内啓一「日本——東と西——」国際交流基金日本語国際センター編「日本語中級II」より）

第一課 カラオケ

本文

昔から結婚式や季節ごとの祭り、地域の行事などで人々が集まるとき歌を歌う機会が多くなったからでしょうか、老人から子供まで日本人はカラオケが大好きです。

カラオケは最初、サラリーマンがお酒を飲みながら、ストレス解消のために歌うことから始まったそうです。しかし今では、サラリーマンに限らず、学生や主婦の間でもごく普通の楽しみになっています。学校の友達同士、会社の同僚、近所の人たちなど、仲間が集まれば、だれかがきっと「カラオケに行こう」と言い出します。

カラオケの人気は、今や日本国内だけでなく、世界中に広まりました。世界各地でカラオケ大会があります。

さて、日本では、カラオケの店には二種類あります。一つは「カラオケスナック」、もう一つは「カラオケボックス」です。カラオケスナックは普通の飲み屋で、カラオケが置いてあります。カラオケスナックよりも広い世代に入気がするのがカラオケボックスです。カラオケボックスでは部屋の中にカラオケの機械が置いてあり、仲間だけで歌を楽しむことができます。機械の操作は自分たちでします。部

屋には必ず曲目のリストが置いてあるので、それを見て自分の好きな歌の番号を選びます。リモコンのキーでその番号を押し、「予約」ボタンを押せばいいのです。音はCDやレーザーディスクから出ます。それぞれの歌に物語風の映像がついてくるのがレーザーディスクです。料金の取り方は店によつて違ひます。歌い放題の店もあれば、一曲ずつお金を入れなければならぬ店もあります。

(「日本語ジャーナル」にもとづく)

会話

鈴木 李さん、ここがいわゆる「スナック」です。西洋の酒場のようなものです。スタイルは洋風と和風が入り混じっています。

李 小さっぱりして感じがいいですね。

鈴木 日本のサラリーマンは、「飲み屋」と呼ぶ日本風の酒場やこうしたスナックに、仕事からの帰りによく立ち寄ります。

李 あれつ、むこうでマイクを持つて歌つている人がいますね。

鈴木 あれはカラオケといいます。カラオケの機械は伴奏だけを演奏しますから、歌う人は歌詞を歌うんです。店にはカラオケテープやCDと歌の本が置いてあります。そこで、こうして自慢のノドを競う人でにぎわうというわけです。最近は海外にも広まりつつあると聞いています。

李 そうですね。中国でもいまカラオケがはやっています。

鈴木 李さんのカラオケの十八番は何ですか。

李 クラスの忘年会でよく山下達郎さんの『クリスマス・イブ』を歌って、だんだん覚えて、いつの間にか私のカラオケの十八番となり、周りの人にもウケがよかつたです。

李 そうですか。お上手ですね。

鈴木 きのう、留学生寮で日本の歌番組のテレビを見ました。日本のポピュラー音楽にも、いろいろな種類があるようですね。

鈴木 そうです。そのなかでいちばん大衆的なものが歌謡曲です。もうひとつが演歌です。そのほかに欧米から入ってきたポップス系やフォーク系の音楽もあります。

李 ファンの年齢層はそれぞれ違うんですね。

鈴木 かなり違います。演歌のファンは年配の人たちが多いです。ポップス系、フォーク系の音楽は若者の間で人気があります。

李 日本の演歌や歌謡曲はいま中国でもファンが増えていきますよ。

鈴木 そうですか。日本のポップミュージックもだんだん国際的になっているようですね。

李 話によると歌謡曲の分野での、その年の大きな催し物は、大みそかに放送される「紅白歌合戦」だそうですね。

鈴木 そうです。その年でいちばん人気があつた歌手を二つのチームに分けます。^{あか}紅チームは女性歌手で、白チームは男性歌手です。番組の終わりに、審査員が勝利チームを決めるんです。それはお楽しみの一晩ですね。

李 外国の方は意外に思われるようですが、クリスマスの頃に、第九交響曲の合唱曲を歌いたいと

いう人たちもたくさんいるんです。まったくの素人であらゆる職業の人たちです。[。]
それは驚きました。ところで、世界のどの国にも民謡がありますが、日本の民謡にはどんなものがありますか。

鈴木 日本中どこに行つても、民謡はあります。なかには日本中に知れ渡っているものもたくさんあります。流行歌ほどではありませんが、民謡も根強い人気があります。
李 きょうは日本の音楽についていろいろ教えていただいてどうもありがとうございました。

(日鉄ヒューマンテベロブメント著「日本を語る」にもとづく)

応用文

日本のヒット曲

日本のヒット曲のほとんどは、テレビのコマーシャルやドラマの主題歌に使われている。歌番組が減つていて、多くの人に聞いてもらうには、それが一番効果的な方法なのだ。たとえば、一九九三年七月度のベスト5では、一位と三位がコマーシャルソング、二位と四位がドラマの主題歌だ。一位は稻葉浩志と松本孝弘の二人組。特に若い女性に人気が高い。一位の松田聖子は代表的なアイドル歌手。結婚して子供がいても人気があるので、「ママドル」と呼ばれている。

一方、年間のベスト5を見てみると、5曲全部が演歌だ。演歌は歌うときに感情を込めやすい。カラオケで演歌に人気が集まるのもそのあたりに原因がありそうだ。このように、一時的にブームになる曲

と、長い間歌い継がれていく曲との違いが、二つの表にはつきりと表れていておもしろい。

カラオケは実際に歌つてみなければ始まらない。次の『クリスマス・イブ』と『川の流れのように』はカラオケで人気のある曲だ。忘年会やパーティーなどでよく歌われている。

クリスマス・イブ

作詞：山下達郎 作曲：山下達郎 歌：山下達郎

雨は夜更け過ぎに 雪へと変わるだろう

Silent night, Holy night

きっと君は来ない

ひとりきりのクリスマス・イブ

Silent night, Holy night

心深く 秘めた思い
かなえられそうもない

必ず今夜なら 言えそうな気がした

Silent night, Holy night

まだ消え残る　君への思い

夜へと降り続く

街角にはクリスマス・ツリー

銀色のきらめき

Silent night, Holy night

雨は夜更け過ぎに　雪へと変わるだろう

Silent night, Holy night

きっと君は来ない

ひとりのクリスマス・イブ

Silent night, Holy night

川の流れのように

作詞:

秋元康

作曲:

見岳章

歌:

美空ひばり

知らず知らず

歩いて来た

細く長いこの道

振り返れば はるか遠く

故郷が見える

でこぼこ道や

曲がりくねつた道

地図さえない

それもまた人生

ああ 川の流れのように ゆるやかに
いくつも時代は過ぎて

ああ 川の流れのように とめどなく
空がたそがれに そまるだけ

生きることは

旅すること

終わりのない

この道

愛する人

そばに連れて

夢探しながら

雨に降られて

ぬかるんだ道でも

いつかはまた

晴れる日が来るから

單語

主婦しゅふ
（名）①

極ごく
（副）①

近所きんじょ
（名）①

まるひろ
（自）③⑩

主妇

各地かくち
（名）①

非常、极其

附近

スナック(snack)
（名）②

ボックス(box)
（名）①

曲目きょくめい
（名）①

各地

小酒馆、小吃店

包厢、箱、盒

乐曲节目、乐曲名

ああ 川の流れのように おだやかに
この身をまかせていたい

ああ 川の流れのように 移りゆく
季節 雪どけを 待ちながら

ああ 川の流れのように おだやかに
この身をまかせていたい

ああ 川の流れのように いつまでも
青いせせらぎを 聞きながら

（『日本語ジャーナル』にもとづく）

リスト(list)〈名〉①	名单、目录；一览表	立ち寄る(自五)①③	顺路到；靠近
リモコ(remote control)〈名〉①	遥控器	自慢(名・他サ)①	骄傲、得意
キー(key)〈名〉①	键盘；钥匙；关键	十八番(名)④	擅长的技艺、拿手好戏
レーザーディスク(laser disc)〈名〉⑤	视盘、影碟、激光唱片	受けがよい(组)	受欢迎
放題(hanabi)〈接尾〉①	自由地、随便地、无限制地	ポピュラー(popular)〈名・形动〉①	通俗的、流行的
映像(myoujou)〈名〉①	样子；风格；这样的	大衆的(だしゅうてき)〈形动〉①	大众化的
スタイル(style)〈名〉②	文体；样式、风格	ファン(fan)〈名〉①	歌手
洋風(youkou)〈名〉①	西式的	年配(nenba)〈名〉①	系统、系列；方面
和風(wakou)〈名〉①	日本式的	ポップミュージック(pop music)〈名〉④	流行音乐
入り混じる(りんこんじる)〈自五〉④	混杂、混在一起	催し物(mousou)〈名〉①	演讲会；演艺会；展示会
」(yoku)ばかり(副)④	蛮整洁的、蛮利落的	歌手(kaishi)〈名〉①	歌手
審査員(shinsa-in)〈名〉③	评审员	一晩(honban)〈名〉②	一个晚上

交響曲（名）③

合唱曲（名）③

民謡（名）①

知れ渡る（自五）④

根強い（形）③

* * * *

ヒット曲（hit～）（名）③

最畅销的曲子、最受欢迎的曲子

主題曲（名）②

ベスト（best）（名）①

コマーシャルソング（commercial song）（名）⑥

广告节目歌曲

稻葉浩志（专）①十①

松本孝弘（专）①十②

二人組（名）①

松田聖子（名）①十①

（人名）

（人名）

（人名）

（人名）

きらめき（名）①

銀色（名）①

还没有完全消失；（雪）还没有完全融化

银色

闪耀

秋元康（专）②十①

見岳章（专）①十①

消え残る（自五）④

かなえる（他一）②
秘める（他一）③

隐瞒、隐藏
使实现、使满足

山下達郎（专）②十①
夜更け（名）③

夜深

交响曲

合唱曲

民歌、民谣

传遍、广为人知

根深蒂固、顽强

（人名）

（人名）

（人名）

（人名）

（人名）

（人名）

（人名）

感情

装填；包括；（精神）贯注

一时的、暂时的
传唱下来

作词

作词

感情

美空ひばり（专）①十①

（人名）

（人名）

（人名）

（人名）

（人名）

（人名）

知らず知らず(副)④①

はるか(形动・副)①

でこぼこ(名・形动・自サ)①①

曲がりくねる(自一)⑤

ゆるやか(缓やか)(形动)②

とめどない(组)

たそがれ(名)①

不知不觉中

染まる(自五)①

遥远的

凹凸不平

ぬかるむ(泥濘む)(自四)③(意思同「ぬかる」)泥泞

穩やか(形动)②

安详的；宁静的；和颜悦色的

身を任せ(组)

以身相许；听任

移る(自五)②

移、搬、迁；转移

雪解け(名)①④

雪融化了

せせらぎ(名)①

潺潺流水；浅溪

染上；感染

言葉と表現

一、副词「極」(本文)

今では、サラリーマンに限らず、学生や主婦の間でも
ごく普通の楽しみになっています。

表示状态的程度非常极端。无论状态的好坏都可以用，但是用于不好状态的例子为多。「極」可以修饰形容词、形容动词，也可以修饰名词、动词和副词。但是被修饰语必须是含有程度意思的词语。动词一般用「て いる」「:(し)た十名词」。名词一般限于表示距离、时间等的词，不能用于一般名词。

- 彼女は大俳優ですが、家に帰ればごく普通の母親です。（她是大腕演员。可是回到家却是一个极普通母亲。）
- 機体についていたのはごく小さな傷だつたが、それが原因で大事故になつた。（机器上有一个极小的伤痕。可是，就是这个伤痕酿成了大事故。）
- この事件の真相はごく限られた人々にしか知られていません。（这件事的真相只有极少数人知道。）

二、接尾词「同士」（本文）

学校の友だちどうし、会社の同僚、近所の人たちなど、仲間が集まれば、：

表示彼此之间的一种关系。例如「友人どうし」「男(女)どうし」「隣どうし」「嫁どうし」等。

- 友達どうしの会話では、くだけた表現が使われます。（朋友间交谈，语言表达是无所拘泥的。）
- 人と人との関わり合いは常に難しいものですが、その中でも特に、女性どうしの人間関係の難しさ、トラブルの複雑さについて、耳にすることが多いです。（人和人之间的相互关系通常是很难处理的。而其中特别是女人之间关系的难处、纠纷的复杂是经常有所耳闻的。）
- 最近はラジオやテレビの普及によつて、どこでも共通語が聞かれるようになりましたが、その土地の人どうしは、ふだんはやはり、その土地のことばを使って話をしています。（最近，由于

收音机和电视机的普及，哪儿都可以听到普通话。但是当地人之间平时还是习惯用当地话交谈。)

三、風(ふう)(本文)

それぞれの歌に物語風の映像がついてくるのが
レーザーディスクです。

「ふう」可以表示状态，也可以用「こういう(こんな)ふう」「…というふうに」的形式表示方法，做法或状态。

「ふう」可以作为接尾词接在名词后面表示一种倾向或样子。例如：「昔風、現代風、ヨーロッパ風、日本風」。

- 任さんは息子さんが大学に合格したのがうれしくてたまらないといったふうだつた。(看样子，老任因儿子考上大学高兴得不得了。)
- あの係長は部下に対しては偉そうなふうをしているのに、上役を見るとゴマをする嫌なやつだ。(那个股长在下属面前总是摆出一副了不起的样子。但是，一看到上级就是拍马屁，真叫人讨厌。)
- これ、どういうふうにして作ったのですか。(这是怎么做出来的呢?)
- 今年は日本、来年はヨーロッパというふうに、毎年どこかに旅行することにしている。(今年日本，明年欧洲。就这样我每年都要去什么地方旅游。)
- このドレス、襟の辺りが中国風ですね。(这件礼服，领子周围是中国样式的。)

四、接尾词「放題」（本文）

歌い放題の店もあれば、一曲ずつお金を入れなければならない店もあります。

「放題」接在动词接「ます」的连用形或「：たい」后面，也有少量「好き放題」这样接在一部分形容动词后面的例子。「放題」接在「やる、する、いう」等动词的连用形后面，表示动作主体想怎么做就怎么做，不在乎别人的感受，属于负面评价。「放題」和「食べる、飲む」等词一起用时，表示没有限制。

- 自分はしたい放題のことをしているのに、いつたい私のどこが悪いのか、教えてちょうだい？
(是你自己想做什么就做什么。你说，我究竟什么地方做得不好？)

- いくら財産があるからといって、あんなに使い放題(に)使つていればなくなるに決まっている。
(有再多的财产，那样随心所欲地用的话，一定会用光的。)

- 食べ放題飲み放題で一五〇元といった店が増えています。(那种付一百五十元后可以随便吃随便喝的店多了起来。)

五、接头词「小」（会話）

小ざっぱりして感じがいいですね。

接头词「小」可以表示物体的形状或数量「小」，例如：「小雨、小石、小船、小声、小話、小坊主、小人数」。还可以表示程度的「少许」，例如：「小太り、小走り、小休み、小うるさい、こざっぱり、こ

ぎれい、小高い、小器用、小ばか、小刻み、小一時間、小回り」。「小」接在表示身体某部位的词语前面时，表示稍做后续动词的动作，例如：「小耳、小首、小腰」。

- 投資クラブとは、楽しく証券投資の学習をしながら、学習の成果をもとに、小口の資金を出し合つて、気軽に投資の経験を積もうとするサークルのことです。（所谓的投资俱乐部是一种兴趣小组。在这种兴趣小组里，人们一边愉快地学习证券投资的知识，同时以学到的成果为基础，彼此拿出一些小额资金，轻松地积累投资经验。）
- わざかばかりの通行人がコートの襟を立て、ポケットに手を突っ込んで、押し黙つて、小走りに歩いていた。（路上行人不多。他们把大衣的领子竖得高高的，手插在口袋里，默默地小跑般地走着。）
- 令子は今風のこぎれいな服装をして、パーティーに現れた。（令子穿着时髦漂亮的服装出现在派对上。）
- お客様がやつてくるのを見ると、急ぎ足で迎えに行き、小腰をかがめてあいさつをした。（看到顾客进门，便快步地迎了上去，略微弯腰地打起招呼来。）

六、…つつある（会話）

最近は海外にも広まりつつあると聞いています。

「つつ」是助词，「つつある」接在具有完成意义的动词连用形后面表示动作或作用正朝某一方向发展。用「つつある」的句子大多数场合可以和「ている」对应，但是当「つつある」接在瞬间动词后面时表示的是

变化已经发生，正朝着完成的方向发展。而瞬间动词后面的「ている」表示的则是变化完成后的结果。

- 休みが多くなるにつれ、余暇の過ごし方も変わりつつあります。（随着假期的增多，度假的方式也正在出现很大的变化。）

- 病気はまだ完全にはなおりませんが、回復しつつあります。（病还没有痊愈，不过正在不断恢复之中。）

- 今列車は南京駅に向かい一つあります。（现在列车正朝南京车站驶去。）

七、受けがよい（会話）

いつの間にか私のカラオケの十八番となり、周りの人にも

受けがよかつたです。

「受けがよい」是个惯用词组，表示评价不错、很有人气。

- 企業受けのよい大学生はどんな大学生ですか。やはり企業の必要に応じて学生を育成しなければならないと思います。（企业喜欢的大学生是什么样的大学生呢？我想我们必须按照企业的需要培养学生成才。）
- 有名店の広告費や人件費がカットされているので、結局よい品が安く手に入る。おかげで客受けがよい。（名牌商店因为削减了广告费和人工费，结果可以在那儿买到价廉物美的东西，这样做很受顾客的欢迎。）
- 個性重視の教育といつても学校ではやはり成績のよい学生が教師受けがよいでしょう。（说是要

重视个性化教育，可是在学校里仍然是成绩好的学生受到老师的喜欢。）

八、…を込める（を込めて）（応用文）

演歌は歌う時に感情を込めやすい。

「込める」常用「…をこめて」的形式表示「倾注」。常用的有「感謝、愛、愛情、思い、心、熱意、情熱、怒り、祈り、願い、力、…の気持ち」等。修饰名词时一般用「…をこめた」。也可以表示包含。

- 管理費をこめて家賃の総額は一ヶ月三万円だ。（包括管理费租金总共一个月三万日元。）
- 早く一人前になつてほしいという願いをこめて、新入社員教育をきびしくしている。（我们对公司新人进行很严格的教育，希望他们能早日独立工作。）
- 病気の子供が早く治るようにと、母親は祈りをこめてお百度参りをしました。（母亲去神社虔诚地祈祷了百次，希望生病的孩子能够早日康复。）
- これは友達の真心をこめた贈り物だからとても大事にしている。（这是朋友们真诚的礼物，所以我很珍惜。）

九、始まらない（応用文）

カラオケは実際に歌つてみなければ始まらない。

词组「始まらない」表示无济于事、没用、白搭、白费等。常用「…ても始まらない」「…なければ始ま

らない」等形式。「…でも始まらない」已经在第三册第五课学过。

- くよくよしてははじまらない。過ぎたことだから、忘れよう。（老这么想不开也不是个办法，事情都已经过去了，忘了它吧。）
- 料理つていうものは、理論だけでははじまらない。作つてあるうちに上手になるものだから。（烹饪这玩意儿光有理论是没用的。是在做的过程中得到提高的。）
- これを読まなければはじまらない。きつとお役に立つと思う。（不读这个不行。我想对你一定会有所帮助的。）

十、副助词「きり」（応用文）

ひとりきりのクリスマス・イブ

副助词「きり」源自词组「きりがない」，表示事物的结束。接在名词后面表示只有该事物，可以和「だけ」替换；接在行为动词后面时，表示在该行为发生之后再也没有出现预期应该出现的行为。这时，句子往往含有失望、期待落空、不满等情绪。

- (1) 「きり」接在名词等后面表示「それだけ」。接在「これ・それ・あれ」的后面时常用「つきり」。
 - 気が付いたとき、教室には王さんと一人きりになっていた。（等我注意到时，教室里只剩下我和小王两个人了。）
 - 今年も後二日きりになつてしましました。（今年也只剩下两天了。）
 - 一人きりでさびしく暮らしています。（一个人孤苦伶仃地过着日子。）

(2)

……きり……ない

今回きりでもう来ないでください。（到这次为止，下次不要来了。）

● 小川君に以前就職の世話をしてやつたが、それつきり何の連絡もない。うまくやつているのだろうか。（以前帮小川君介绍过工作，之后就再也没有联系过。也不知他工作得是否顺利。）

● わたしのお金はこれつきりしかありません。（我只有这么一些钱。）

(3)

「きり」也可以接在动词过去时后面，表示做了该动作之后，再也没有出现预期应该出现的行为。

● 窓を開けたきり、閉めるのを忘れてしました。（窗开了之后忘了关了。）

● 「すぐ返すから」と言うのでお金を貸したが、彼は借りたきり返してくれない。（因为他说马上
就还，所以我就把钱借给他了。谁知他借了之后就不还了。）

● 近年、寝つきになつてゐる老人が増えていきます。（近几年，卧床不起的老人多了起来。）

十一、副词「知らず知らず」（応用文）

知らず知らず 歩いてきた。

十一、副词「知らず知らず」（応用文）

表示在做某一动作时无意识地做了另一件事。「知らず知らず」不能和瞬间动词一起用，也不能用于他人的动作。

● 映画を見ているうちに知らず知らず涙があふれできました。（看电影时，看着看着不由得泪流满面。）

● 知らず知らずのうちにバンドに足が向いてしました。（不知不觉地向外滩走去。）

- スキーは特に習ったことはないが、北海道で育つたので、知らず知らず滑れるようになった。
(我没有特意学过滑雪。不过因为是北海道出身，不知不覺中就会滑了。)

ファンクション用語

驚く

- A どうしましたか？
- B 私の万年筆、昨日買ったばかりなのに、まだれかに持つていかれちゃつた。
- A えっ？ 本当にですか。まあ、驚きました。
- B まったくひどいですね。
- C まさか。信じられませんね。

練習

一、漢字にふりがなをつけなさい。

酒場 行事 競う 自慢 和風 解消 種類 主婦 曲目 歌謡曲 一晩 街角 世代 同僚 映像
年配 意外 素人 職業 主題 演歌 根強い 実際 夜更け 銀色 今夜 民謡 人生 雪解け

穏やか 心深い 緩やか

二、○に仮名を入れなさい。

- (1) 季節○○の祭りで人が集まると歌を歌う機会が多かつた。
- (2) カラオケは最初、ストレス解消のために歌うこと○○始まつたという。
- (3) カラオケの人気は今や世界中○広まつた。
- (4) 歌い放題の店○あれば、一曲○○お金を入れなければならぬ店○ある。
- (5) 日本のサラリーマンは仕事○○帰りによくスナックに立ち寄る。
- (6) 歌謡曲の分野○○、その年の大きな催し物は「紅白歌合戦」だそうだ。
- (7) 流行歌○○ではないが、日本中○知れ渡つた民謡○たくさんある。
- (8) 年間のベスト5を見てみる○、五曲全部○演歌だ。
- (9) カラオケ○演歌○人気が集まるのもそのためだ。
- (10) ヒット曲のほとんどはテレビのコマーシャルやドラマの主題歌○使われている。

三、次の語群から最も適切なことばを選んで
入れなさい。

一に入れなさい。必要な場合は適当な活用形にし

染まる ゆるやか 自慢 入り混じる 広まる 穏やか
とめどがない さて 込める かなえる

- 四、各項にあげたことばを使つて次の文を完成しなさい。
- (1) 極(ごく)
 ① ここにある民家は特別に古いものではありません。田舎では、()の家です。
 ② 癌はまつたく治らないとは言えません。()時期に適切な治療を施せば治ると思います。
- (2) 期待と不安が()中ではあるが、やるからには優勝してもらいたい。
- (3) うちの店のケーキのおいしさといつたら、()じゃないけど、この町で一番だ。
- (4) 全身の力を()て押したが、泥沼に陥った車はびくともしなかった。
- (5) 漫画家になりたい、という息子の夢をなんとか()てやりたいものだ。
- (6) 夕焼けで空があかねいろに()た。
- (7) 隣のおばあさんはしゃべり出したら()。
- (8) 景気は()回復している。
- (9) ()天気が続いた中、私たちはお正月を迎えた。
- (10) これで天気予報を終わります。()、次には交通情報をお知らせします。

⑤ 交通事故にあった友人は命は取り留めましたが、()状態にあります。

(2) ① : 同士(どうし)

日本語が国際語になってきたというのは、日本語もそういう用いられる可能性を持つてきた、ということなのである。

()が集まれば、時間の過ぎるのもあつという間です。

何人かの()でまとまってお祝いを贈るようにすれば、たとえ一人あたりの金額が少なくともかなりりっぱなものが贈れる。

あの二人は表面的に見れば()ですが、よく見れば同類をいとおしみ、

大切にしているのです。

あの二人は()

()の結婚で、小さい頃から知り合っていたのです。

(3) ① : 風(ふう)

張さんは、()

()のしゃれた装いでパーティーに現れた。

親父は、()

()の人間だから、おれがなにをしても気に入らないよ。

会社の社長だというので、非常に付き合いにくい人間を想像していたが、実は()

の極優しい人だった。

開会にはまだ時間があり、会場には()

日本の生活様式が西洋化するにつれて、古い()

()のメロディが漂っている。

のかやぶき屋根をもつ家は、次々に姿を消してしまった。

(4) : 放題

かれは社長の甥であることを笠に着て、()をやつている。

② あいつはぼくに迷惑を()かけて、ぼくが一言文句を言つたら、どこかへ消えちやつたよ。

③ 君はこんなに母親に()だよ。

④ 庭がこんなに()だから、いつまでたつてもマザコンから抜けられない

⑤ 子供たちは()遊んで、今はぐっすりと眠つている。

(5) 小:

地震があつて、家具が()揺れた。

② 簡単に済むと思ったが、()かかつた。

③ 車輪は向きを変えるのが難しい。()が利かなければ、障害物の多いところでは、動けなくなる。

④ ついさつき、丸顔で()人があなたを訪ねてきました。

⑤ 人を()したような彼の態度には、ぼくはとても耐えられなかつた。

(6) 小:

わが国の人民の生活はひじょうに安定し、()。

② 生活が豊かになるにつれ、余暇活動にまわす()。

いまわが国の経済は年ごとに何パーセントぐらいで()か。

病状は回復に()

今わがチームは劣勢を挽回(ほんかい)し、()。

(7) …をこめて

()その荷物を持ち上げようとしたら、腰の筋を違えた。

()彼の言い方に私は腹立たしくてならなかつた。

()生活がいくら貧しくても、母は私たちのために、いつも()

くれた。

()子供たちが丈夫に育つようになると()

いでいる。

(5) 「アリとキリギリス」のたとえには「遊び」は楽で、「労働」はつらい、でも辛抱しなきや、といふ

()。

(8) …はじまらない

奈良公園は()

もうべれているんだから、()

落ち着きなさい。()

考えがどんなにりっぱであつても、()

休日に外出しようにも()。

。鹿はすでに公園の観光スポットになつてゐるのだ。

()よ。

()から。

()。

特に幼い子供や高齢者をつれて外出する人

にとつては。

(9) …きり

(一) ()、一度も会っていない。

(2) ()、何も食べていない。

(3) ()、もう会っていない。

(4) ()、卒業写真は()残っていない。

(5) ()。節約して使ってください。

五、次の質問に答えなさい。

(1) 日本のサラリーマンは仕事からの帰りによくどこへ立ち寄りますか。それはなぜですか。

(2) 日本人はどうしてカラオケが好きなのですか。あなたはカラオケが好きですか。あなたの十八

番は何ですか。

(3) 日本のポピュラー音楽にはいろいろな種類がありますね。そのファンの年齢層は同じですか。

(4) 日本のヒット曲で一番多いのはどんな種類の曲ですか。

(5) 「クリスマス・イブ」と「川の流れのように」は何を歌っているのですか。

六、括弧内のことばを使って次の中国語を日本語に訳しなさい。

(1) 只说了声「不是的」，就再也没有开过口。(きり)

(2) 現在最受欢迎的车是什么样的车呢？(受けのよい)

(3) 他倒下之后再也没能站起来。(きり)

(4) 两国首脑会议在五年前举行过一次，以后再也没有举行过会谈。(それっきり)

(5) 和田村家是父辈之间的交往，我本人和田村次郎并不很熟悉。只是在五年前见过一次面而已。

(…どうし)

(6) 对孩子放任不管，结果就成了那样子了。(放題／ふう)

(7) 「那儿有个日本式的茶馆，我们休息一下怎么样？」那可是求之不得。不知有没有啤酒卖？(…風／願つたりかなつたり)

(8) 就这样等着别人的帮助也没用。自己的身子只有自己来守护。(…はじまらない)

(9) 两个、三个或者四个关系比较好的人一起去旅游，那一定会玩得很开心的。(…どうし)

(10) 年轻人中一辈子在一家公司工作的想法正在渐渐地发生变化。(…つつある)

(11) 他的手因为气愤而微微颤抖。(小刻み)

(12) 这首歌倾注了词作者的祈求，希望不要再发生残酷的战争。(…を込める)

七、辞書を調べながら次の日本語を中国語に訳しなさい。

私の好きな歌に、谷村新司の『すばる』があります。「眼を閉じて何も見えず：」に始まり、「われはゆく、さらばすばるよ」で終わるこの曲には、人生の困難や悩みに直面した人が、昂の光よりエネルギー

を得て、再び生き甲斐ある人生へとカムバックしてゆく希望がこめられていると思います。
すばるクリニックも、この歌のように、病気や悩みに直面した人々が社会復帰するために、何
かお手伝いができれば、それは私たちスタッフ一同は何よりの喜びとするところです。

昂

作詞、作曲、歌 谷村 新司

目を閉じて何も見えず 哀しくて目を開ければ
荒野に向かう道より 他に見えるものはなし
ああ 碎け散る 宿命の星たちよ
せめて密やかに この身を照らせよ
我は行く 蒼白き頬のままで
我は行く さらば昂よ

呼吸をすれば胸の中 こがらしはなき続ける
されどわが胸は熱く 夢を追い続けるなり
ああ さんざめく 名も無き星たちよ
せめて鮮やかに その身を終われよ

我も行く 心の命するままに

我も行く さらば昂よ

ああ いつの日か 誰かがこの道を

我は行く 苍白き頬のままで

我は行く さらば昂よ 我は行く さらば昂よ

第二課 日本人とユーモア

本文

一般的に、日本人はまじめすぎると見られがちですが、実は笑いが大好きな国民なのです。では、日本人の笑いの特徴をいくつか見ていきましょう。

「ボケ」とは周囲の笑いを誘うような間が抜けた言動のことです。失敗や勘違いによるボケもありますが、わざとボケることもあります。だれかがボケたとき、それを指摘するなどして笑いを引き出すことをツッコミといいます。わざとボケた者は、大抵だれかがツッコミを入れてくれるのを期待するものです。ボケとツッコミの会話を芸にしたのが漫才です。

一方「起承転結」は物事の順序や話の組み立て方を表した言葉です。日本人にはよく知られていて、ストーリー性のある話には、最後にはちゃんと「結^け」があり、そこで「なるほど」と感心したり、「アハハ」と笑つたりできることが期待されます。聞き手が満足する結末である場合、「話にオチがつく」といいます。オチがつく笑い話を一つの芸に高めたのが落語です。

落語はおもしろい話を語つて聞かせる、日本の伝統的芸能です。主に会話の形式で話がすすめられ、登場人物が二人以上いても、一人の落語家が身振りと手振りのみでそれを演じわけです。そして最後

に「オチ」(落ち)と呼ばれる結末がつくところから「落」語と呼ばれます。

落語家は着物を着て、扇子と手ぬぐいを持つて「高座」に上がりります。扇子は箸や刀や筆になります。手ぬぐいは本や手紙になります。

落語は一五〇〇～一六〇〇年頃に、お坊さんや学者などが、織田信長や豊臣秀吉などの戦国大名に面白い話をしたのが始まりと言われています。

江戸時代（一六〇三～一八六八年）になると、京都、江戸（今の東京）、大阪で道に立つて人々に話をす
る「漸家」が出てきました。江戸時代の終わり頃、落語を聞くことができる場所「寄席」ができて、たくさん
の人が落語を聞きに来るようになりました。今でも、大阪と東京に寄席があります。

寄席というと、なんとなく敷居が高く行きづらいと感じる方もいるかもしれませんが、そんなことはありません。寄席には老若男女を問わず、大勢のお客様が集まり、ときには立ち見がでることもあります。会場はいつも笑いに包まれています。

寄席で観られるのは落語だけではありません。講談、漫才、漫談、音曲、手品、曲芸など、バラエ
ティーに富んだプログラムになっているのです。

会話

インタビュー

(A：記者 B：落語家)

A 落語の魅力っていうと、どういうところですか。

B そうですね。えー、無駄がないところだと思います。

A はあ、無駄がない。

B あの、演じる側に、こう、無駄がまったくないところが、落語のいいところだと思います。座布団というものの上に、着物を着て座ります。

A はい。

B で、座つて、おしゃべりをすることになつてゐるんで、自然と、こう、上半身だけの動きで。
A うん。

B あの、お客さまに物事を伝えなくてはいけないわけです。

B A そうですね。何もセットとかないですよね。

B はい。あの、漫才と違つて、こう、横に誰かついてくれているわけでもありませんし、まあ、特別な場合をのぞいて、音楽が入るということもありませんので……。

A はい。

B 自分一人で、右を向いて、左を向くことで、二人の人物、複数の人物を演じ分けるのですから、演劇とか、先程いった漫才、講談、浪曲、いろんなジャンルというのがあると思うんですけども、そのなかで、いちばんシンプルな形をとつてるのが、落語なんじゃないかと……。

A ああ、そうですね。音楽もなくつて、セットや大道具とかそういうものもなくつて……。

A はい。

B A 相手役もない。しかも、座つた状態で、正座ですよね。

B 正座です。

A ところで、今まで落語家になられて、大変なこととか、もう辞めたいなどと思つたことつてありますか。
B そうですね、あの、わたしは今三十一歳なんですけれども、あの、若手と呼ばれる人間でございま
す。まだそれほど経験がないものですから、どうしても、こう、仕事が少ないわけですね。そうし
ますと、うちのなかで、ゴロゴロ、ゴロゴロと、こう転がつたりするわけで、そうすると、昨
日の日記帳を見ても、おとついの日記帳を見ても、「一日寝ていた」とか。
A はははは。

B 「おかげの種類はなんだつた」とか、そういうことばっかり書いていますんで、そういうときに、「あ
あ、辞め時かなあ」と思つたりしますけれども、でも、落語をやること自体は自分で進んで入つた職
業ですから、嫌になつたということはこれまではありません。
A けいこつていうのは前に聞いたことがあるんですけど、あの、落語のおっしゃさんはあまり教え
てくださらないっていう方もいるような。
B そうですね。

A 「芸は盗め」とかなんか、ちょっと小耳にはさんだことがあるんですけど。
B A ええ、「芸は盗むものだ」。わたしの師匠はそういうタイプなんですか。
B 一人でおけいこするつていう場合はどうやっておけいこするんですか。

B えー、そうですね。どこでもできるんです。道を歩きながらもできますし、あと、うちのなかで鏡
を前においてやるとか。まあ、あと、あの、電車のなかでブツブツと口のなかでつぶやいてるんで

すけれども。

A じや、電車の中で、ブツブツ言つている人は、もしかすると、落語家の方かもしれないですね。

B そうですねえ。はははは。

(『日本語ジャーナル』にもとづく)

応用文

まんじゅう恐い(落語)

みなさんは、恐いものがありますか？ だれでも恐いものがあると思います。

五人の若い男たちが、お酒を飲みながら話しています。

八郎、角次、熊吉、源太、善助、いつもの五人で、何が恐いか話しています。

八郎 「みんなは何が恐い？ オレは長くて細いものが恐いな。蛇とか、ウナギとか……」
角次 「おれは蛙が恐い。」

熊吉 「え？ 蛙が恐い？ どうして？」

角次 「蛙は口が大きくて、それが急に開くから恐いんだ。」
八郎 「熊吉は何が恐い？」

熊吉

「象が恐いな。」

八郎 「象か……。大きいからなあ。でも象の目はやさしいよ。源太、源太は何が恐いんだ?」

「蟻。」

八郎 「へえー、あんなに小さいものが恐いのか。善助は?」

「えーと……。」

八郎 「教えろよ。ほら、早く、善助。」

「笑わないか?」

「え?」

八郎 「言つても笑わないか?」

八郎 「笑わないよ。だから早く言えよ。」

善助 「本当か? 本当に笑うなよ。おれは……、おれは、まんじゅうが恐いんだ。」

角次 「まんじゅうって、あんこが入つていて甘くて、おいしいお菓子のまんじゅうかい?」

善助 「そう、お菓子のまんじゅうだ。ああ、恐い、恐い。それに、おれはまんじゅうって言つただけで、気分が悪くなるんだ。うううううう……。」

そう言つと、善助は隣の部屋に行つて寝てしまいました。

八郎 「聞いたか? 善助はまんじゅうが恐いんだと。」

熊吉 「聞いた、聞いた。いやあ、知らなかつたなあ。」

源太 「おれも知らなかつた。あんなおいしいものが恐いのか……。」

八郎 「いい考えがあるぞ！」

角次 「何だ？」

八郎 「まんじゅうをたくさん買ってきて、善助のそばに置こう。」

角次 「ははは……それは面白い。」

善助は、みんなにときどき嘘を言います。だから、みんなは、今日は善助が困ることをしてやろうと思いました。善助が恐がるまんじゅうをそばに置いたら、善助はどうするでしょう。泣くかもしれません。面白いです。

みんなは、まんじゅうをたくさん買つてきました。そして、善助が寝ている布団のそばに、買つてきましたまんじゅうを置きました。それから、部屋の外で善助が起きるのを待ちました。

善助 「あーあ、よく寝たー。気分がよくなつたぞ。あれ？ こんなところにまんじゅうが！ あつ、恐い、恐い。おーい、助けてくれ！ だれか、早くー！」

部屋の外でみんなは笑いました。みんなは戸を少し開けて、部屋の中にいる善助を見ました。すると、善助は「助けてー」と言いながら、まんじゅうを食べています。一つ、二つ、三つ、四つ……。どんどん食べて、とうとう全部食べてしました。みんなはびっくりしました。

八郎 「善助がまんじゅうを食べた！」

单語

角次

「十個も食べた！」

善助

「あーあ、おいしかった。」

源太

「おいおい。善助、まんじゅうを全部食べたな。なんだ、まんじゅうが恐いといふのは嘘だつたのか？」

八郎

「善助、本当に恐いものは何だ？」

善助

「熱いお茶が恐い！」

八郎

「善助、本当に恐いものは何だ？」

（「にほんごよむよむ文庫」にもとづく）

一般的（形動）①

引出、拉出、拽出、抽出

ボケ（名）②

（漫才）捧哏儿（出洋相的配角）

周囲（名）①

期待（名・他サ）①

間が抜ける（慣）

（漫才）逗哏儿

言動（名）①

芸（名）①

艺术、技艺、演技

わざと（副）①

起承転結（名）①②

（诗歌等）起承转合；顺序、次序

指摘（名・他サ）①

构造；（文章）句法、结构

指出

结尾、终结、结局

落ちが付く(组)

(落语)打诨结尾

学者

笑い話(名)④

笑话

织田信长

落語(名)①

落语(日本大众曲艺之一)

学者

語る(他五)①

(一五三六~一五九八、日本安土桃山时代武将)

丰臣秀吉

落語家(名)①

落语艺人

学者

手振り(名)①

手势

学者

身振り(名)①

姿势

学者

演技じ分ける(他一)⑤

分演

学者

落ち(名)①

遗漏；(不好的)结果；
(单口相声)收场的噱头

学者

結末が付く(组)

寄席(名)①

学者

扇子(名)①

江戸時代(专)③

学者

手ぬぐい(名)①

なんとなく(副)④

学者

高座(名)①

敷居が高い(惯)

学者

刀(名)③②

行きづらい(形)④

学者

お坊さん(名)①

不易去、不好去

学者

刀、大刀、小刀

学者

和尚

学者

(落语)比客席高出一截的舞台

学者

(擦脸用)手巾

学者

扇子、折扇

学者

门槛高、难登其人家门

学者

总觉得；无意中

学者

曲艺场

学者

老若男女(名)⑤

学者

立ち見(名)①③

学者

站着看；站席

学者

講談(名)①

漫談(名)①

音曲(名)①

手品(名)①

芸(名)①②

富む(自五)①

バラエティー(variety)(名)②

节目单；计划(表)；(计算机)程序

* * * *

座布団(名)②

自然と(副)①

上半身(名)③

セット(set)(名)①

浪曲(名)①

说书、讲故事

漫谈(日本大众曲艺的一种形式)

音乐；小曲

魔术

杂技、曲艺

多样化、丰富多彩

富于、富有

転がる(自五)①

日記帳(名)①

自体(名・副)①

稽古(名・他サ)①

おつしょうさん(名)③

盗む(他五)②

小耳に挿む(惯)

（演戏）布景

シンプル(simple)(形动)①

大道具(名)③

相手役(名)①

正座(名・自サ)①①

ゴロゴロ(副・自サ)①

滚动的样子；闲呆着；扔得满地都是

滚动；躺下

日记本；流水账

本身；原本

练习；排演

偷盗；偷闲

偶尔听到

老师、师傅

单纯的、简单的

道具

配角

类型、形式、体裁

ぶつぶつ(副)①

タイプ(type)(名)①

抱怨、嘟囔

つぶやく(他五)③

嘟囔

蟻(名)①

蚂蚁

* * * *

蛇(名)①

蛇

饅頭(名)③

包子

蛇(名)①
鳗(名)①
蛙(名)①

青蛙

户(名)①

(玄关)大门；拉门；百叶窗

言葉と表現

一、がち(本文)

一般的に、日本人はまじめすぎるとみられがちですが、…

「がち」接在名词或动词连用形后面，构成复合形容动词。不过修饰名词时可以是「がちの」也可以是「がちな」。

接在名词后面的「がち」表示容易出现名词表示的情况；接在动词后面的「がち」表示常常会不知不觉中做某件事，经常和「つい、うつかり」等副词，或「てしまう」一起使用。「がち」较多用于不好或消极的场合。

- 彼女は子供の時から病気がちでした。(她从小就经常生病。)

- その病気になつてから、わたしは物忘れをしがちになりました。（生那個病之后我變得健忘了。）
- じめじめした雨の日には、わたしたちの気持ちもめいりがちです。（在潮湿的下雨天我们的心情也会变得郁郁寡欢。）

二、词语「勘違い」（本文）

失敗や勘違いによるボケもありますが、…

意思为「弄错」「错以为」。可以作名词，也可以作サ变动词。

- 君はわたしをだれかと勘違いしている。（你把我错当成别的什么人了。）
- 勘違いして一つ手前の駅に降りてしまつて、目的地まで三十分も歩いた。（我搞错了，提前一个车站下了车，结果走了三十分钟才到达目的地。）
- 李さんが手にしていた紙袋に現金が入つていると勘違いした犯人が、それを奪おうとした。（犯人错以为小李手上提着的纸袋里放有现金，企图把它抢过来。）

三、…が期待される（本文）

そこで「なるほど」と感心したり、「アハハ」と笑つたりできることが期待されます。

「…が期待される」表示「期待着…的发生」「寄希望于…」。

- 科学技術の発展に伴うマイナスの側面がさまざまに顕在化している今日、科学技術と人間や社会との関係のあり方についての理解を深め、その知見を提示することが期待される。（随着科学技术的发展，其负面影响日益显现的今天，人们期待着进一步加深对于科学和人、科学和社会之间的理想状态的理解，提出这方面的真知灼见。）

- これまでのものに比べ患者への負担が少なく、生活の質改善効果が高い治療法として期待されている。（人们希望这个疗法和以往的相比，患者的负担有所减轻，生活质量的改善效果有所提高。）

- 少子化対策への取り組みが加速化され、子供の育成に積極的に寄与することが期待されている。（人们希望加快对于少子化政策的研究，对孩子的培养做出积极的贡献。）

四、ところから（本文）

最後に「オチ」（落ち）と呼ばれる結末がつく
ところから「落」語と呼ばれます。

「ところから」前面是表示作为判断依据的理由，并暗示还有其他没有罗列出来的理由存在。经常用于讲述名字的由来。「ところから」也可以说成「ところをみると」「ところからみて」。

- 地面が湿っているところから、昨夜は雨が降つたらしいと考えた。（地面有点儿湿，可见好像昨晚下过雨了。）

● 窓の明かりが消えているところから、まだ帰っていないだろうと考えた。（窗户里的灯暗着，所以我想他还没有回来吧。）

● 高級車に乗っているところから、相当の金持ちだと思われる。（开的是高级轿车，我想那个人一定是相当有钱的人。）

● カボチャは、カンボジアからやつてきたといわれているところからその名がついたそうだ。（都说南瓜是从柬埔寨来的，所以取名叫南瓜。）

五、：を問わず（本文）

寄席には老若男女を問わず、大勢のお客さんが集まり、：

「を問わず」可以接在「年齢、職歴、性別、曜日、世代、経験、身分、季節、相違」等词后面，也可以接在「有無、男女、公私、昼夜、大小、内外、成否、是非、正否」等具有相反意义的词后面，也可以用「：する」と「：しない」とを問わず」的形式，表示不把「を」前面表达的内容当作问题。

● 古今東西を問わず、親が子を思う情に変わりはない。（无论古今中外，父母思念孩子之情是不变的。）

● 有能な人物ならば、わが社は学歴の有無にかかわらず、また性別を問わず採用します。（有能力的人，无论有无学历，也不管是男是女，我们公司都会聘用。）

● 君が望むと望まないとを問わず、事態は私の予想したとおりに動いている。（无论你愿不愿意，事态发展如我预想的那样。）

六、…に包まれる（本文）

会場はいつも笑いに包まれています。

「…に包まれる」表示「被：包围」，看不见里面的东西。

- あたりが深い霧に包まれていて視野がきかない。（周围被浓雾包围着，能见度很低。）
- あの子は家族の愛に包まれてすくすくと育つた。（那孩子是在家里人的百般呵护下长大的。）
- 火に包まれた家がたちまち燃え尽きてしまった。（被大火包围着的房子很快被烧得一千二净。）

七、わけですから（会話）

一人の人物、複数の人物を演じ分けるわけですから、…

「わけ」前面是一个确定的事实。因为是以这样一个确定的事实作为推论的依据，那么结论理应是正确的。类似中文的「因这样的缘由，所以…」。

- 産地直送なわけだから、ものが新鮮だし、値段も安い。（因为是产地直销的缘故，所以东西新鲜，价格也便宜。）
- 運転中に使う携帯イヤホンは両耳から聞こえるわけだから、普通の電話を使うときより相手の声がよく聞き取れる。（开车时用的手机耳机因为是两个耳朵都能听见，所以比一般电话更能清楚地听到对方的声音。）
- 悩みも迷いも若者の特許だと思えば気にすることはないよ。みんなそうして大人になっていく

わけだから。（只要想到年轻人都会烦恼、迷茫，就大可不必在意了。因为人都是那样成长起来的。）

八、…ても…ても（会話）

そうすると、昨日の日記帳を見ても、おとついの日記帳を見ても、「一日寝ていた」とか。

举出两个以上的情况，无论哪种情况其结果都是一样的。

- 寝ても覚めてもそのことで頭がいっぱいだ。（无论是睡着还是醒着，满脑子都是那件事。）
- 「煮ても焼いても食えない」ということばがある。それはどうにも手に負えないという意味だ。（有句话叫「软硬不吃」，意思是说拿他没有办法。）
- 裹めても叱つても部下は育たないと言われているが、それではどうやって部下をやる気にさせられるのか。（都说表扬和训斥都不会使你的部下成长。那么究竟该怎么做才能使他们有工作的干劲呢？）

九、もしかすると（会話）

電車の中で、ぶつぶつ言っている人は、もしかすると、落語家の方かも知れませんね。

「もしかすると」也可以是「もしかしたら、もしかして」，可以看作词组，也可以看作副词。常和「か」或「ない」呼应使用，表示或许、可能。也可以和「か」「じゃないか」呼应表示对自己的判断不太有自信。

- もしかすると会えるかもしれないと思ってここで待っていたのだ。（我想说不定会见着，所以就等在这儿了。）

- 長くてあと半年、もしかしたら三ヶ月ぐらいの命だそうです。（听说最长也只能活半年，说不定只能活三个月。）

- 遅いなあ。もしかすると、事故にでもあつたんじゃないかな。（迟到很长时间了。说不定遇到事故了吧。）

- もしかしたら今日も休講じゃないですか。（说不定今天也不上课呢。）

十、終助词「ぞ」（応用文）

いい考えがあるぞ！

「ぞ」是男子用语。接在句末，表示强烈的断言或叮嘱。

- もう時間だ。早くしないと、学校に遅れるぞ。（到时间了。不快一点的话，上课要迟到了。）
- ぼくは絶対嫌だぞ。（我绝对不做。）
- やつたぞ。上海チームが勝ったぞ。（成功了。上海队赢了。）
- あ、だれか来たぞ。（啊，有人来了。）

十一、…てやる（応用文）

今日は善助が困ることをしてやろうと思いました。

- 「…てやる」表示为对方做什么。但也可以如例句所示，用于生气时，表示做让对方不开心的事情。
- こんな給料の安い仕事、いつでもやめてやる。（工资这么低的工作，我随时可以把它辞掉。）
- きれいになつて、私を振つたあの人を見返してやる！（我要变得漂亮些，争口气给甩掉自己的那个人看看。）
- そんなに言うのなら、ほんとうに家出をしてやる。（这么说的话，我真的要离家出走了哦。）

ファンクション用語

後悔

受付 もう入場時間は終わりました。入場は四時までとなつております。

A えつ、四時までなんですか。五分すぎ…。もうだめなんですか。
受付 はい。もうきょうは終わりです。

A 五時までだと思ったけど…。時間ちゃんと調べてくればよかつた。残念ですね。わたしこの博物館、一番見たかったのに。

練習

一、漢字にふりがなをつけなさい。

漫才 言動 勘違い 満足 指摘 酒落 順序 結末 戰国 大名 大地主 嘶家 寄席 老若男女
手品 曲芸 上半身 複数 職員 日常 扇子 手拭い 登場人物 手振り 日記帳 盗む 蛇 蛙

二、○に仮名を入れなさい。

- (1) 日本人はまじめすぎると見られ○○だ。
- (2) 「ボケ」○○周りの笑いを誘うような間が抜けた言動の○○だ。
- (3) ストーリー性のある話の最後には「結」があり、そこ○日本人は「なるほど」○感心したりする。
- (4) 彼は、あした試験があるとか○○○○言つて、早く帰つたよ。
- (5) だれ○○○恐いものがあると思う。

三、次の語群から最も適切なことばを選んで()に入れなさい。必要な場合は適当な活用形にして入れなさい。

落ち つぶやく 指摘する 小耳に挟む 結末がつく
自然と 間が抜ける ぶつぶつ わざと

(1) ()言つてないで、言いたいことがあるのならばつきり言いなさい。

()やつたわけではないから、勘弁してください。
人から欠点を()て怒るとは何事だ。

母に言つたら叱られるのが()

その事件はまだ()。

もうすこし辛抱してください。
□には出せなかつたが、心で()ていた。

あの人は、無口だから()

友達も少ない。()のだが、今度、この町に新しい道路が通るそうだ。

回答用紙に自分の名前を書き忘れるなんて()

ている。

四、各項にあげたことばを使って次の文を完成しなさい。

(1) : がち

わたしなどは、職業柄どうしてもことを悪いほうに()

心配することはありません。これは老人に()

体が弱いらしく、学校も()

どこか体の具合が悪いいらしく、()

あの先生は甘いから、学生は()

が期待される

(2) ① ホランティア活動が身近なものとして盛んに行われるようになった。わが学部でも()

が期待される。

)が期待される。

② 原始林の遊歩道がよく利用されている。来訪者の安全、適切な利用のため、()
が期待される。

③ 少子高齢化社会において()がもつとも期待されている。

④ 食べ物は人の命にかかるものだから、食品安全監督を()

されている。

⑤ 低炭素社会づくり、排出削減研究を行う大学が増えている。わが大学でも()
が期待される。

(3) ところから

()ところから、彼はとても人気がある俳優らしい。

()ところから、春の訪れを感じた。

()ところから、隣の夫婦は仲が悪いと思われる。

()ところから、今度の試験問題はやさしかったようだ。

()ところから、中日両国文化交流がスムーズに行われているようだ。

(4) : を問わず

()このあたりは不夜城の名に恥じず、()人でにぎわっている。

()必ず私に連絡してくれ。

()環境問題は避けて通れない政策課題となつていてる。

()この店は()営業している。

()一律に十パーセント課税します。

(5) :に包まる

國中がお正月を迎える()。

事件は()

葬式は()

コンサートは()

彼の()

(6) わけだから

地震は()

()受験つて()

あの人は、ふだん、()

()…でも…でも

()幸せな毎日を送っている。

()ながら終了した。

()ようで、まだ手がかりは何一つ見つからなかつた。
()彼の死を悼んでいた。

()わけだから、これほど怖いものはない。

()わけだから、スタイルについては文句のつけようがないね。

()わけだから、公正で公平だと思う。

()わけだから、わたしだけを非難するのは筋違ひだ。

()わけですから、試験の成績が悪いのは当然です。

(7) …

()人でいっぱいだ。

()気が晴れない。

()怠けずに努力しなさい。

()応援する気持ちに変わりはない。

()あなたのそばにおいてもらいたい。

(5) (4) (3) (2) (1)

~ ~ ~ ~ ~

(8) もしかしたら

いくら寝ても疲れが取れない。()、心の疲れかもしれない。

(1) ()と思っておりましたが、お会いできず残念でした。

(2) ()と思いましたが、意外に早く済みました。

(3) 今度の日本語のテストは()

(4) ()と思いましたが、まさにそのとおりでした。

(5) 彼女の論文は()

(6) ()と思つていたら、やはり一週間過ぎてもまだ出していない。

五、次の質問に答えなさい。

(1) あなたは日本人のことをまじめすぎると思っていますか。

(2) 「ボケ」「突っ込み」とはどういう意味ですか。

(3) 「起承転結」は話の組み立て方を表すことばですが、ストーリー性のある話ではどんな意味とし

て使われていますか。

(4) 「落語の魅力は無駄のないところにある」とありますが、それは落語の何のことなどを指すのでしょうか。

六、括弧内のことばを使って次の中国語を日本語に訳しなさい。

(1) 到家后才发现匆忙中错把别人的东西当成自己的东西了。(勘違する)

(2) 「您的孩子病好了吗?」「谢谢,好多了。这孩子身体弱。冬天容易感冒,夏天容易吃坏肚子,真

叫人烦心。」听说经常生病的孩子吃这个药好，要不要让他试试？」(がち)

(3) 车龙长达一公里，前面一定是发生交通事故了。(ところから)

(4) 暑假结束了，邻家的阿姨或许可以松一口气了吧。暑假期间孩子们整天呆在家里，阿姨看上去身心都很疲惫。(もしかしたら)

(5) 她哭也好笑也好全都是为了你。你连这一点都不知道吗？(：ても：ても)

(6) 因为是完全不相干的人在同一个屋檐下生活，所以类似「不可以再屋子里吸烟」啦等等，这些小问题经常会发生在。(わけだから／赤の他人)

(7) 杂志上所刊登的内容并不证明一定可以相信，希望大家慎重对待。(：が期待される)

(8) 昨天我去听了场音乐会。可是一曲还没有结束，就有听众傻呵呵地拼命拍起手来了。(間が抜ける)

(9) 毕业后不管怎么联络她都是石沉大海，也不知她怎么样了。在昨天的同学会上，偶尔听说她在留学的地方工作了。(梨のつぶて／小耳にはさむ)

(10) 不管行李大小，运费一件一千日元。(：を問わず)

(11) 她体弱多病，就像是被丝棉包裹着倍加爱护地长大的。(真綿／包む)

七、辞書を調べながら次の日本語を中国語に訳しなさい。

しゃべり漫才という言い方があるように、最もオーソドックスな笑いの手法は、言葉を操ることにある。芸人たちは日常言語のなかに思いもよらぬ言語的関係を発見しては、彼らの作品のなかに活用す

る。ネタと呼ばれる笑芸作品に今なお頻繁に利用されている言語的関係は「同音異義」である。まず最初にこれを考えてみよう。同音異義というと堅苦しいが、俗に言うダジャレもその一つに含まれる。音が同じで意味が異なる、というそれだけのこと。芸人ならずとも、職場や家庭でもダジャレは用いられるから、知らない人はいないだろう。曰く「誰も電話に出んわ」「布団が吹っ飛んだ」「あの屋根やーね」「隣に堀が出来たんだってねえ。へえー」などは古典の領域に含まれる。

こうしたダジャレは会話のなかで用いると、張りつめた雰囲気を緩和したり、互いに笑い合うことで、和やかなムードを出演したりすることもあるし、反対に嫌がられて「寒いわー」とか「ベタすぎる」という反応が返ってきたりする。後者の現象は笑いのレトリックが大衆社会に浸透した結果生じたものであり、現在では、いっぱいの評論家然としたコメントを語る者が結構いる。

身近な例を挙げると、大学の演習で発表担当の学生が言い間違えると「嘘んじやいました」と宣うし、ジョークの受けが悪いと「すべっちゃいましたね」と舌を出す。そういう時代である。実を言うとダジャレやジョークそのものと、それに対する「すべった」「寒い」などの評釈は、二つ一体となつて笑いの表現形態をなしている。

(井山弘幸「笑いの方程式」より)

第四課 日本料理

本文

近年、日本人の食生活はバラエティーに富み、多種多様になってきた。街にはいろいろな料理店が軒を並べている。家庭でも豊富な食材が手に入るようになり、家族の好みでいろいろな料理が作られ、食卓を飾るようになった。

伝統的な日本料理を和食という。

日本料理には、家庭での日常の食事だけでなく、伝統的な行事食や宴席料理などがあり、依然として、現代の日本人の生活の中に生きている。外国では、すし、てんぷら、すき焼などが代表的な日本料理として知られているが、日本料理の特徴から言えば、むしろ行事食や宴席料理のほうが伝統料理の色彩が濃い。

昔から、日本料理を「五味五色五法の料理」と言つてその特徴を表現する。「五味」とは、甘・酸・辛・苦・鹹のことを、「五色」とは、白・黄・赤・青・黒のことを、「五法」とは生・煮る・焼く・揚げる・蒸すという料理法のことを指す。

近年、日本料理は營養面からあらためて見直されてきている。特に外国ではダイエット食として注目

され始め、理想的な食事の一つとして評価する人もいる。

確かに欧米型の食事と日本料理を比べてみた場合、欧米型の食事は肉類、乳製品などを中心とした高カロリー、高脂質であるのに対して、日本料理はてんぶらを別にすれば、油を使った料理が少なく、低カロリー、低脂質であり、かつ營養のバランスもよい。

(学習研究社「日本タテヨコ」にもとづく)

会話

鈴木 きょうは李さんも、日本酒を召しあがつてはいかがですか。

李 ぜひいただきます。私は酒には目がありませんので。

鈴木 私もですよ。

李 日本酒つてどのぐらい強いのですか。

鈴木 十五度ぐらいです。さあ、お料理を召し上がつてください。

李 ああ、きれいですね。これは何ですか。

鈴木 この料理は「先付」といいます。前菜に当たるものです。タイの肝の煮付けと菊菜のひたし、それに芋を煮たものです。

李 料理の配置が美しいですね。

鈴木 日本料理は季節の素材の持ち味を生かし、器と料理の色彩を調和させます。それに季節感を出すことを大切にしているんです。盛りつけ方もたいへん重要です。

李 何か決まった盛りつけのパターンがあるんですか。

鈴木 ええ、丸い料理は角形の器に盛り、逆に四角い料理は丸形の器に盛るのが基本になっています。
李 こんどはスープのようですね。

鈴木 そうです。ハモと松茸、人参、三つ葉の汁碗です。一種独特的の香りは、ユズという果物の皮が
李 碗の中に少し入っているからです。
鈴木 皆、いまの季節にとれるものですね。こうして季節感を出しているんですね。
李 そこが大切なところなんです。さあ、ご存じの刺し身です。きょうはタイ、伊勢エビ、イカを盛
り合わせたものです。

李 たいへんおいしいですね。

鈴木 つぎは「はし休め」といつて、口直しのあつさりした料理です。山芋とご飯を蒸して、カニの甲羅
李 に盛つたものです。

日本料理の味つけにはどんなものを使うんでしょうか。

鈴木

塩、醤油、酢、砂糖のほかに、旨味を出すためにカツオ節、昆布、シイタケなどを使います。
一般的には、あまりゴテゴテした味つけはしません。さあ、これが焼き物です。

李 ああ、これは松葉を敷き詰めたんですね。

鈴木 そうです。これはカマスを焼いたものです。上に乗っているのは生ウニです。

李 本当に見事な飾りつけですね。食べるのが惜しいようですね。

鈴木 これらの料理は私たちが食べるために出でてきたんです。どうぞ、遠慮なさらずに。つぎ

はカブと穴子の炊き合せです。

なかなかおいしいですね。

鈴木

さあ、メニューのしめくくりは汁物です。すまし汁にシイタケ、かまぼこなどを入れたものです。ご飯をどうぞ。ご飯はたいてい汁物と香の物と一緒に、終わりに出します。

李

きょうは立派な日本料理をごちそうさまでした。本当に楽しかったです。でも、日常に召しあがる家庭料理はこれとは違うと思うんですが。

鈴木

ええ、家庭では素朴な味わいの料理を作ります。日本では「おふくろの味」と呼ばれます。家庭料理の基本はご飯とおかずに汁と漬物を添えたものです。

李

低カロリー食として日本料理のよさが最近、中国でも注目され、食べる人が増えてきました。きょうはどうもありがとうございました。

(日鉄ヒューマンデベロップメント著「日本を語る」にもとづく)

応用文

自然食ブーム

——「無農薬」を信じる消費者

「食べ物」にいろいろなブランドが出てくるようになつて、いま流行は「有機・無農薬」。健康ブームも手伝い、需要はうなぎ登りだ。作る者、食べる者、両者を結ぶ者それぞれが信頼し合つて初めて生まれ

る収穫物。そこにさまざまな触手が伸び、群がり、まがいものがまかり通る。生産と流通の現場をルポした。

「洋ナシのジュースを作つてくれないか。」

岩手県のある開拓村で農薬や化学肥料なしの野菜作りに取り組んでいる沼沢さんの自宅に昨年秋、電話がかかった。相手は東京で「自然食品」の店を経営する社長。

農薬のかかった果物は皮ごと口にすると、舌にピリッとする刺激を感じる。しかし、無農薬の果物の栽培はとても困難なことである。

開拓村は山の中の標高千メートルの高地にある。沼沢さんは牧畜の傍ら、県内、近県の約七十世帯で「岩手有機農産物ネットワーク・チャンス」を作り、代表でもある。

依頼を受けた沼沢さんは県南部にあるナシ産地の農協から低農薬の洋ナシを購入。県内の缶詰工場で一〇〇% 果汁ジュースに加工し、社長に送つた。

十一月、都内の駅前商店街の自然食品店にジュースが並んだ。真っ白い缶に一枚のラベルが張つてある。「岩手無農薬有機農法洋梨」と記されていた。

今春上京し、不正を知つた沼沢さんは社長に抗議したというが、それから半年近くが過ぎた九月末まで、店頭には白い缶が並んでいた。

毎日新聞の取材にこの社長は「ラベルはミスプリントだつた。張り替えるのも手間なので、そのまま売つてしまつた。まずかったと思う」と事実を認め、商品を店頭から引き揚げた。

十年前から、一切の化学肥料と農薬を使うのをやめにしたという沼沢さんは「農家が大型機械や農薬などを買うために借金を重ねる悪循環を断ちたかつただけ」と動機を語る。

無農薬で野菜を作るのは難しい。だからグループにも強制はしない。農家を苦しめる無農薬には意味がないと思うからだ。ただ「使つたら使つたと書くことが最低のモラル」と言う。

しかし、今も「チャンス」はこの会社と取引を続けてる。

「取引をやめようと何度も思つたが、よそに比べるとまだまし。売つてくれなきや、農家はどうにもならないし……」

店には「チャンス」の大きな幟が掲げられ、消費者はそのブランドを信じ、自然食を求める。

(「毎日新聞」にもとづく)

單語

多種多様(形動)①①+①	多种多样	濃い(形)①	浓的；密的
軒を並べる(組)	鳞次栉比	揚げる(他一)①	油炸
食材(名)①	食材	見直す(他五)①③	重新评价、重新研究
和食(名)①	日式饭菜	注目(名・自他サ)①	注目、注视
宴席(名)①	宴席	理想的(形動)①	理想的
依然(副)①	依然、仍旧	歐米型(名)①	欧美型
てんぶら(名)①		肉類(名)②	肉类
色彩(名)①		高カロリー(~calorie)(名)③	高热量

高脂質(名)③

* * * *

高脂肪

丸形(名)①

盛る(他五)①

圆形
盛；堆、装满

先付(名)①

* * *

海鳗

前菜(名)①

* * *

胡萝卜

肝(名)②

* * *

甲壳

煮付け(名)①

* * *

醋

干烧；炖煮

* * *

调味、加作料

菊菜(名)①

* * *

清淡；素雅；淡泊；坦率

ひたし(浸し)(名)③

* * *

山芋

芋头、马铃薯、红薯、山药等的通称

* * *

季节感

芋(名)②

* * *

样式

配置(名・他サ)①①

* * *

器皿

素材(名)①

* * *

季节

持ち味(名)②

* * *

四角形

器(名)①

* * *

四方形、方形

季節感(名)②

* * *

四角、四方

パター,(pattern)(名)②

* * *

醋

角形(名)①

* * *

味付け(名・自サ)①

四角い(形)③①

* * *

甲羅

味付け(名)①

* * *

调味、加作料

四方形、方形

* * *

醋

小吃；简单的下酒菜

* * *

清淡；素雅；淡泊；坦率

前菜、开胃菜

* * *

山芋

肝(名)②

* * *

芋头

干烧；炖煮

* * *

芋头

涼拌菜

* * *

芋头

刺身(名)③

* * *

芋头

汁碗(名)②①

* * *

芋头

ユズ(柚子)(名)①

* * *

芋头

三片叶子；鸭儿芹(植物名)

* * *

芋头

伊勢海老(名)②

* * *

芋头

イカ(烏賊)(名)①

* * *

芋头

口直し(名)③①

* * *

芋头

盛り合わせる(他一)⑤

* * *

芋头

あつさり(副・自サ)③

* * *

芋头

清淡；素雅；淡泊；坦率

* * *

芋头

清口味、清淡

* * *

芋头

換口味、清淡

* * *

芋头

龍蝦

* * *

芋头

伊勢海老(名)②

* * *

芋头

ウニ(海参)(名)①

* * *

芋头

ウニ(海参)(名)①

* * *

芋头

ウニ(海参)(名)①

* * *

芋头

海参(名)①

* * *

芋头

ウニ(海参)(名)①

* * *

芋头

うまみ(旨味)〈名〉①③

鰹節〈名〉①

昆布〈名〉①

しいたけ(椎茸)〈名〉①

ゴテゴテ(副・自サ)① 过多、过浓；啰嗦；杂乱

焼き物〈名〉①

松葉〈名〉①

敷き詰める(他一)④

カマス(鮒・鰯)〈名〉①

ウニ(海胆)〈名〉①

飾りつけ(名)①

惜しい(形)②

カブ(蕪)〈名〉①

穴子〈名〉①

焼き合わせ(名)①

しめくくり(名)①

汁物(名)②

美味

干制鲣鱼

海带

香菇

烤的菜肴；陶瓷器

松叶、松针

垫、铺满

梭子鱼(鱼名)

海胆；海胆酱

装饰；装饰品

可惜、舍不得；值得爱惜

芜菁、萝卜(植物名)

康吉鳗(鱼名)

拼盘

结束、总结

汤菜

すまし汁(澄まし汁)〈名〉④

かまぼこ(蒲鉾)〈名〉①

おふくろ(御袋)〈名〉①

汁〈名〉①

漬物〈名〉①

添える(他一)①

*

*

*

*

*

*

*

*

*

*

成年男子对自己母亲的昵称

清汤、高汤

鱼糕

汤、汁

酱菜

附加

有机

自然食品、健康食品

无农药、不使用农药

消费者

有机

(喻指)直线上升

相信、信赖

收获物

触手、触器

成群

まがいもの(紛い物)〈名〉①⑤	仿制品
まかり通る(自五)④	流通(名)①
ルポ(法reportage)〈名・他サ〉①	走過、通过；橫行
洋ナシ(名)①	流通
岩手県(专)③	(「ルポルタージュ」的略語)現場報道；紀实文学
開拓村(名)①	(地名)
化学肥料(名)④	洋梨
沼沢(专)①	开垦村、开荒村
ピリツと(副・自サ)②	化肥
栽培(名・他サ)①	(姓氏)
栽培(名)①	辣乎乎的(感觉)
栽培(名・他サ)①	栽培
標高(名)①	不正(名・形动)①
高地(名)①	抗议(名・他サ)①
牧畜(名)①	ミスプリ、ハト(misprint)〈名〉④
傍ら(名)①④	不正当、非法
県内(名)①	抗議(名・他サ)①
旁边；一边；一边：	重新糊上；重新挂上
海拔、标高	印错
高地、高原	功夫、时间
畜牧	铺面、铺子前面
店頭(名)①	撤回；收回；返回
店頭(名)②	请求；依靠
店頭(名)①	产地
店頭(名)①	网络
店頭(名)①	农产品
店頭(名)①	農產物(名)③
店頭(名)①	ネットワーク(net work)〈名〉④
店頭(名)①	依賴(名・他サ)①
店頭(名)①	農協(名)①
店頭(名)①	缶詰(名)③④①
店頭(名)①	果汁(名)①
店頭(名)①	ラベル(label)〈名〉①
店頭(名)①	今春(名)①
店頭(名)①	上京(名・自サ)①
店頭(名)①	标签
店頭(名)①	罐头食品
店頭(名)①	果汁
店頭(名)①	今春
店頭(名)①	赴京

一切（名・副）①

一切、全部；完全不：

最低（名・形动）①

最低

大型（名）①

大型的

モラル（moral）（名）①

道德、伦理

借金（名・自他サ）③

借款、贷款

取引（名・他サ）②

交易

重ねる（他一）①

重叠、重复

よそ（名）②①

别处

悪循環（名）③

恶性循环

どうにもならない（组）

无论如何也办不到

強制（名・他サ）①

强制

のぼり（名）①

旗帜

掲げる（他一）①③

升起、举起；刊登；提出

言葉と表現

一、…に富む（本文）

近年、日本人の食生活はバラエティーに富み、多種多様になつてきた。

「…に富む」表示「富于…」「…很丰富」。

- オーストラリアは、鉱石、石炭などの地下資源に富んだ国です。（澳大利亚是有着丰富的矿石、煤炭等地下资源的国家。）

- 日本は、気候が湿潤で、四季がはつきりし、変化に富む美しい自然に恵まれている。（日本气候湿润，四季分明，自然美丽且富于变化。）

- この意見は、中国の将来を考える上で、たいへん示唆に富むものです。（这个意见对于我们思考中国未来发展极富于启示意义。）

二、軒を並べる（本文）

街にはいろいろな料理店が軒を並べている。

- 「軒」是屋檐的意思、「軒を並べる」形容房屋鳞次栉比。也可以说「軒を連ねる」「軒を争う」。
- 通りの両側には店が軒を並べていて、毎日買い物客で賑わっている。（马路两侧商店鳞次栉比，每天都挤满了购物的人，热闹得不得了。）
- 神保町の交差点を中心に、東西五百メートルの間、文字通り古本屋が軒を並べている。（以神保町十字路口为中心，东西五百米之内旧书店鳞次栉比，是个名副其实的旧书店街。）
- バンドは銀行が軒を並べていて、市の金融中心である。（海滨大道上银行鳞次栉比，是城市的金融中心。）

三、「として」构成的副词（本文）

日本料理には、伝統的な行事食や宴席料理などがあり、依然として、現代の日本人の生活の中に生きている。

词尾带有「と」的副词可以后续「して」构成副词，表示样子、状态。这种用法除了「はつとして」「ぱつ

として「きっとして」等日语词汇外，还经常接在汉语词汇后面。例如：「依然として、平然として、茫然として、默然として」等。

- 真夜中の電話の音にはつとして目が覚めた。（半夜里的电话铃声把我给惊醒了。）
- ゴルフ場建設の工事は依然として再開されていない。（高尔夫球场的建设工程仍然没有重新开始。）
- どんなに頼まれても断固として拒絶してください。（无论怎么求你，你都要坚决拒绝。）
- 思わぬできごとに茫然として立ち尽くした。（事情发生得实在太突然，他呆呆地站在那儿，茫然不知所措。）

词尾带有「と」的副词还可以后续「する」，构成动词。这类动词作连体修饰语时要用「…とした」。例如：

- ぎりぎりで合格して、ほつとした。（我松了口气，总算勉强及格了。）
- 何事もなかつたかのように平然としている。（她冷静得就像是什么事情都没有发生一般。）
- 記者の質問に対し堂々とした態度で応対した。（对于记者的提问，他坦坦荡荡地作了回答。）

四、…とは…のことだ（本文）

「五法」とは生・煮る・焼く・揚げる・蒸すという料理法のこととを指す。

「…とは…のことだ（意味だ）」「…とは…のことをいう」「…とは…ということだ（意味だ）」等表示语句的意思、内容、定义等。

也可以用「…のこと」的形式表示与某事物相关联的事，或指某人的行为、心情所系的对象。

週刊誌とは週一回発行される雑誌のことだ。（所謂的周刊就是每周发行一次的杂志。）

今のは日本人留学生というの田中さんのことか。（刚才谈话中说到的日本留学生指的是田中吧。）

彼女のことはもう話すのも嫌だ。（她的事我已经不想提了。）

私のことは心配するな。（至于我，你不用担心。）

彼は彼女のがすきらしい。（他好像喜欢她。）

五、「：に対する」表示对比关系（本文）

歐米型の食事は肉類、乳製品などを中心とした高カロリー、高脂質であるのに對して、日本料理はてんぶらを別にすれば、：

「：に対する」接在「これ」「それ」及「句子十の」后面，表示用「：に対する」连接起来的两个事物之间的关系是对比的，或者相反的。

- アジア人は古くから主に農業によつて生活していたのに對して、ヨーロッパ人は主に牧畜によつて生活してきた。（亚洲人自古以来主要以农业为生。而欧洲人主要是靠畜牧业为生的。）
- 飛行機で行くと三時間しかかかるのに對して、船で行くと二日間かかる。（坐飞机去的话仅花三个小时。而坐船去的话却要三天。）

- お兄さんはおしゃべりだ。それに対する、弟さんのほうは無口だ。（哥哥很喜欢讲话。相反，弟弟却不怎么爱说话。）

六、惯用语「目がない」(会話)

わたしは酒には目がありません。

惯用语「目がない」有两个意思。一表示非常喜欢；二表示没有能力区分东西的好坏或价值。

- わたしは甘いものに目がないので、やせたいけれどやせられない。（我喜欢吃甜食。所以想瘦却瘦不下来。）

- 林さんはお酒に目がないから、医者に酒を飲まないよう言われて寂しそうだ。（小林非常爱喝酒。现在医生不让喝酒，所以显得有些落寞。）

- かれはハンサムだけど性格が悪い。あんな人と結婚するなんて彼女は人を見る目がないね。（他是长得很快，可是脾气却很坏。和那样的人结婚，她真是不会看人啊。）

- こんなにせものを高い値段で買うなんて、見る目がないね。（花大价钱买了这个假货，真是不识货啊。）

七、惯用语「うなぎ登り」(応用文)

需要はうなぎ登りだ。

惯用语「うなぎ登り」表示程度上升的速度非常快。

- 最近、物価はうなぎのぼりにあがっている。（最近，物价是直线上升。）

● 七月中旬ぐらいから、うなぎのぼりに気温が上がった。（从七月中旬开始，气温就直线上升。）

● この歌手は人気が上がって、レコードの売り上げがうなぎのぼりになつた。（这个歌手人气正旺，唱片的销售量是直线上升。）

八、（名詞）なし（応用文）

岩手県のある開拓村で農薬や化学肥料なしの野菜作りに取り組んでいる沼沢さんの自宅に昨年秋、電話がかかつた。

「なし」一般接在名词后面，接在动词后面时动词要体言化。「なしの」修饰名词；「なしに」等于「ないで」「せずに」，表示没有做该做的事，就进入了下一个程序；「なしには(では)」等于「なくしては」「しなければ」，一般后接动词可能意义的否定（参考第三册第八课）。「なし」还常用「何の（名詞）もなしに」，这种表达方式属于书面语，一般口语用「しないで」。

約束なしのご訪問はご遠慮ください。（恕不接待没有预约的来访。）

● 苦労することなしに金儲けをしようなんて、ちょっと虫が良すぎるんじゃないか。（想不辛苦赚大钱，你也太会打如意算盘了吧。）

● 家族の支えなしには、うまくいかないんだ。（没有家里人的支持，不可能进行得这么顺利。）

● 田舎にいる母が何の連絡もなしに突然訪ねてきました。（乡下的母亲事先没有任何联系突然就来了。）

九、接尾词「ごと」(応用文)

農薬のかかつた果物は皮ごと口にすると、舌にピリッとする刺激を感じる。

接尾词「ごと」接在名词后面表示「包括在内」「和……一起」。

- 自転車に乗っているとき突風が起こり、自転車ごと吹き飛ばされた。(我正在骑自行车。突然刮起一阵风，连车带人被刮了起来。)
- ちよつとした不注意で梯子^(はしら)ごと転倒しました。(稍不注意连人带梯子跌倒在地。)
- 車ごとフェリー・ボートに乗つてわずか二十分で川の向こうに到着しました。(我带着车坐上了摆渡船，仅仅二十分钟就到了河的对岸。)

十、：かたわら（応用文）

沼沢さんは牧畜のかたわら、県内、近県の約七十世帯で「岩手有機農産物ネットワーク・チャンス」を作り、代表でもある。

「傍ら」接在动词连体形或「名词十の」后面，表示利用主要工作之外的空余时间从事其他工作或活动。类似于「一方で」「：する」と同時に」，属于书面语。

- サラリーマンのかたわら、小説や随想などを書いている。(在公司工作之余写着小说和随笔。)
- 山田さんは、小さな店を経営するかたわら、留学生のためのボランティア活動をしている。(山田君经营着一家小店铺，同时还参加帮助留学生的志愿者活动。)

- あの神社は本業のかたわら、駐車場経営で儲けているらしい。（那家神社除了正业外，好像还经营停车场赚钱。）

十一、副词「どうにも」（応用文）

売つてくれなきや、農家はどうにもならないし：

(1) 和否定呼应，表示「まったく」「どうしても」。

どうにも手の施しようがない。（已经完全没有救了。）

安月給で、どうにも暮らせない。（微薄的工资，实在是无法生活下去了。）

もう九月だというのに、暑くてどうにもやりきれない。（虽说已经是九月，可还是热得让人受不了。）

(2) 表示非常困惑、为难。

どうにも困った。（我可是非常为难。）

どうにも弱つたものだ。（那可叫人有为难了。）

(3) 用「どうにもならない」的形式表示「どうすることもできない」「物事を進めるための 方法がまったくない」。

そんなことをしてもどうにもならないでしょう。（那么搞也不会有什么效果。）

どうにもならない現実です。ここで不平を言うより、何かをやりましょう。（这是个无法改变的现实。与其在这儿发牢骚，还不如做点什么吧。）

- これからのこととはわたしとあなたの力ではどうにもならないよ。（今后的事情可是你我都无能为力的了。）

ファンクション用語

謙遜

朱 黄さん、きょうのスピーチ、すばらしかったですね。わたしなんかとてもできませんよ。

黄 そんなことないよ。

朱 いえ、本当に勉強になりました。

黄 そんなに言われると、てれちやうなあ。

朱 準備がたいへんだつたでしょ?

黄 いや、それほどでもないよ。

練習

一、漢字にふりがなをつけなさい。

軒 食卓 評価 宴席 脂質 見直す 先付 角形 丸形 人参 多種多様 器 欧米 山芋 配置

色彩 乳製品 悪循環 昆布 椎茸 松葉 穴子 鰻 沼沢 肥料 牧畜 標高 群がり 無農薬
栽培 缶詰 岩手 世帯 潰物

二、○に仮名を入れなさい。

- (1) 日本料理の特徴から言えば、○○○行事食や宴席料理のほうが伝統料理の色彩が濃い。
- (2) 日本料理はてんぷらを○○○すれば、油を使った料理が少ないのだ。
- (3) ほんとうに見事な飾りつけですね。食べる○○惜しいようですね。
- (4) すまし汁○シイタケ、かまぼこなどを入れたものだ。
- (5) 農薬の○○○○果物は皮○○口にすると、舌にピリッとする刺激を感じる。
- (6) 牧畜の○○○○、有機農産物ネットワーク・「チャンス」を作った。
- (7) 十年前から、一切の化学肥料と農薬を使うの○やめ○した。

三、次の語群から最も適切なことばを選んで一に入れなさい。必要な場合は適当な活用形にして入れなさい。

(1) 見直す 不正 評価 目がない しめくくり 配置 丸ごと

- ① 私はアルコールに()て、しょっちゅう家内に叱られるんです。
- ② 披露宴の()は両親へ花束を贈呈することと新郎の父親と新郎のあいさつだった。
- ③ 今回のこととで、彼の行動力を()ました。

外見で人を()するものではない。

事故防止のため、工事現場に監理技術者を()しなければならない。

オープンでリンクを()焼いて、お菓子を作った。

()手段、方法により同業者の利益を害する競争は許されない。

(2) 次の語群から最も適切な言葉を選び、「として」あるいは「としている」をつけて()なさい。

平凡 默然 依然 画然 愕然

問題は()未解決のままだ。

()どう答えたらいかわからない。

二人の主張の違いは()。

なにを言われても、()タバコをふかしている。

いくら聞かれても()答えない。

四、「こと」の用法として、次の文の傍線部ではどのように使われているか。意味あるいはその用法を説明しなさい。

(1) | ことが起きてからでは手遅れだ。

(2) | こと旅行の計画となると、わたしは黙つてはいられない。

(3) 酒は飲まないことにしている。

(4) もつとお金を稼ぎたいなら、人一倍働くことだ。
(5) 思っていることを言いなさい。

(6) 先生は教室でわたしのこと[をほめてくださいました]。
(7) ときどき郵便物が返ってくる[ことがある]。

(8) そこまでしてやることはない。

(9) アメリカなら行った[ことがある]。

(10) IMFとは世界銀行の[こと]だ。

(11) 心臓発作でもおこしたら[こと]だ。

五、各項にあげたことばを使って次の文を完成しなさい。

(1) …に富む

(1) 彼女の一生は()ものだつた。

(2) ()方のご指導が期待されています。

(3) 道路が()でいて、着くのに予想より時間がかかつた。

(4) 彼女は文章に優れ、()才女とされている。

(5) 彼の()表現はなんとなく日本人らしくない。

(2) …とは…のことだ

(1) 円周率(パイ)とは、()。

(2) 惑星とは

)。

(3) 「手紙」というのは、中国語で()。

(4) バイキング料理とは()。

(5) 公害とは、()。

(3) : 対して

(1) 日本人はあつさりした味が好きであるのに対して、中国人は()。

(2))。

(3) わたしはスポーツが得意であるのに対して、弟は()。

(4))。

(5) 日本人の平均寿命は男性七十八歳に対して、()。

(6))と聞かれてる。

(4) ヨーロッパでは、大学に入るのは容易なのに対して()。

(7))と言われている。

(4) なし

(1) 親といつても()。

(2))。

(3) 皆様の()。

(4))。

(5) ()、個人も、また國家の独立もありえない。

(6) この暑さでは()。

(7))過ごせません。

(8) 外国人の場合には()。

(9))採用は難しい。

(5) 何の(名詞)もなしに

(1) 父は()わたしの要求を断つた。

(6)わたしに(

)決めるなんてひどい。

)旅に出ていくことも何回もあつた。

)人の首を切るなんてそんな筋が通らないこともあるのか。

)起こった地震だから、それだけに被害も大きかつた。

(6) :かたわら

戴さんは会社で働くかたわら、夜(

)。

私は大学で勉強するかたわら、(

)。

彼女は子供を育てるかたわら、(

)。

李さんは大学で勉強するかたわら、(

)。

あの店はタバコを売るかたわら、(

)。

六、次の質問に答えなさい。

- (1) 日本料理はどんな特徴を持つていますか。
- (2) 近年、日本料理は、理想的な食事の一つとして評価されています。どういうところが評価されているのですか。
- (3) 季節の素材の持ち味を生かし、器と料理の色彩を調和させることを大切にする日本料理はそれによって何を求めようとするのですか。
- (4) 「おふくろの味」とはどんな料理を指すのですか。

(6) 有機・無農薬の野菜や果物の需要はどうしてうなぎ登りなんですか。

七、括弧内のことばを使って次の中国語を日本語に訳しなさい。

- (1) 已经提醒了好几次，可是依然有人把车停在这里。（依然として）
- (2) 报告评价说：关于抑制水污染的问题，已经取得了部分成果，可是总体来说还处于无法控制的状态。（どうにも）
- (3) 真希望这孩子无病无灾地长大。希望他幸福地度过一生。（なしに）
- (4) 没有得到允许不能把图书馆的书带出去。（なしには）
- (5) 在大家没有任何思想准备的情况下发生了问题，所以都慌得不知如何处理是好。（気持ち上／何の：もなしに）
- (6) 昨天的会议主要讨论了人事问题。（主として）
- (7) 因为担心母亲的病昨晚没有睡好。（こと）
- (8) 他说的所谓「幸福的人」是指有很多的钱和东西，拥有丰富物质生活的人。（とは：のことだ）
- (9) 「不易消化的东西和刺激物要少吃一点。」「您说的刺激物指的是……」「强刺激的东西。比如，烫的东西、辣的东西、像咖喱饭之类的暂时不要吃。」「我，真是非常喜欢这些东西啊。」（目がない）
- (10) 如果供给少于需求的话，物价就会上涨。所以要想抑制物价上扬，必须增加供应量，这才是解决问题的关键。（：に付して）
- (11) 日本近海是一个富有多种生物的海域。美丽的珊瑚礁和海豚都在这儿生息。（：に富む）

对于他们来说工作就是整个人生，在工作中感受友情、家人的爱和实现自我价值的愉悦。这是一些已经达到这样境界的人们。（丸ごと／自己表現）

八、辞書を調べながら次の日本語を中国語に訳しなさい。

現在、私たちは「おいしい」と「うまい」をまったく同義語として使っています。このようなりきたりの言葉は改めて辞書を引く機会がないので、その違いを正しく理解している人は少ないと思います。

大槻文彦の『大言海』という辞書を見ると、おいしいは、「いしい」という形容詞に接頭語の「お」がついてできた語で、美しい、または好しいの字が当てられ、「女詞^{おんなことば}で味^{うま}旨^{しそう}をおいしいと言う」と書いてあります。うまいは「美^{うつく}い、甘^{うま}い、旨^{うまい}い」の字が当たられ、その意味は「①心、耳、眼、口に感じて、はなはだ好し ②味、口に好し。甘し」と書いてあります。

つまり、天然の食材が手を加えなくとも美味である場合を「おいしい」とい、これに心が加わったものが「うまい」になるのです。美味であるという点ではどちらも同じですが、うまいは人の手を加えて美味を作り出すという点で心の満足が得られるからでしょう。

そのままでは食べられない食材も調理加熱して食べる技術が進み、時季はずれのものまで食べるようになつたのが現代です。しかし、日本人の食には今でも素材そのものの持ち味を味わう伝統が受け継がれています。そのため、最近のように海外で日本料理ブームが沸き起こるまで、日本は世界でもっとも料理技術の遅れた国だといわれてきたのです。

第五課 着物

本文

日本女性の着物姿はどの国へ行つても珍しがられるようだが、日本国内においても、そうした事情はあまり変わらなくなつてきている。女性に限らず現代の日本人は洋服が一般的で、着物を日常的に着るのは茶道、華道といった日本の伝統芸能のお師匠さんや落語家、力士などの特殊な職業の人々に限られ、ほかの人にとっては結婚式、成人式、正月などの儀式に着る装飾的なものになつてしまつていているためだ。したがつて、自分で着物を着られる人も少なくなり、若い女性の中には着付けを「嫁入り修業」の一つとしているくらいである。

洋服に対する在来の日本の衣服、つまり和服を総称して着物と言うが、一般的には羽織やコートを除いた、いわゆる長着を指すことが多い。

明治時代になると、徐々に洋服化が進み、一般にも普及した。現在では、男性も女性も世界の一流デザイナーのプレタポルテを身に着けることが特別でないほど、すつかり洋服が定着している。その需要の高さから、ファッショントレンドの舞台もパリ、ニューヨークから東京へ移りつつあると言われるほどである。

（学習研究社「日本タテヨコ」にもとづく）

会話

李 鈴木さん、きょうは着物を着た女性をたくさん見かけますね。どうしてですか。

鈴木 きょうは成人の日なんです。国民の祝日のひとつで、この一年間に満二十歳になつた人たちをお祝いする日です。女性は晴れ着を着て式典に出席したあと、思い思いで街を歩いているんです。

李 こんなにたくさんの人たちが着物を着ていて、本当にきれいですね。

鈴木 若い女性はだれでも成人式に晴れ着を着るのを楽しみにしているんです。若い女性にとつては青春時代のひとつの夢なんです。

李 そうでしょうね。ところであの着物はそでがずいぶん長いんですね。

鈴木 あれは振りそでといって、結婚前の女性の晴れ着です。

李 結婚した女性の着物のそでは長くないんですか。

鈴木 はい、もつと短いんです。女性の着物は着る人が未婚者か既婚者かによって、あるいはどういう場合に着ていくかによって、布地、模様、色合い、仕立て方などが違います。

李 そうですか。それからあの背中のところの結び目もとてもきれいですね。

鈴木 帯は着物を体に固定するために使いますが、背中のところの結び目は着物を着たときの、アクセントと装飾にもなります。うしろから見たときにいつそう美しく見えるわけです。

李 日本の女性はどんなときに着物を着るのですか。

鈴木 むかしはふだん着でしたが、今では、お正月、成人式、大学の卒業式、結婚式、お茶やお花の

会などがおもな機会になりました。

李 結婚式の着物はどんな特色がありますか。

鈴木 結婚式に花嫁が着る豪華な着物は打ち掛けといいます。これは絹の布地に、金、銀の箔を織り込んだ金糸、銀糸で刺繡されています。打ち掛けを着るときには、髪型も伝統的な日本髪にします。

李 着物は世界でも最も美しい民族衣装のひとつですね。

鈴木 お褒めにあずかってうれしいです。着物の美しさは色や模様などによつてかもし出される優雅な雰囲気によるといわれています。

李 それは素晴らしいことですね。ところで着物は簡単に着られるのですか。

鈴木 いいえ、これがかなりむずかしいんです。洋服は着る人の体形に合わせて作られていますが、着物は着付けによつて体に合わせていくのです。それで着方が難しくて、自分ひとりで着物を着ることができなくなっています。ですから、とくに正装するときは専門の着付け師に依頼しなければいけないんです。たいていは美容院でしてもらいます。

李 男性も着物を着るんですか。

鈴木 ええ、でも、着物を着る男性はそんなに多くありません。それも結婚式、お正月などの正装として着る程度です。

李 男性の着物にはどんな特色があるんですか。

鈴木 男性の着物は青色か茶色系の地味な色合いで、正装には着物の上からはかまをはき、羽織を重

応用文

ねて着ます。

李 鈴木さんはよく着物を着られますか。

鈴木 いいえ、ほとんど着ません。夏にお風呂のあと、ときどき浴衣を着ことがありますけれど。

浴衣は木綿地に簡単な模様を染め抜いた着物の形のくつろぎ着なんです。

李 ああ、それならこのまえ、旅行のときにホテルで私も着ました。

鈴木 そうそう、浴衣を着る機会がもうひとつあるんです、日本には真夏に、お祭りや盆踊り大会などがあります。そのとき、皆で浴衣を着て、民謡に合わせて踊りを楽しむんです。

李 それは本当に楽しいでしょうね。

(日鉄ヒューマンデベロップメント著「日本を語る」にもとづく)

女も男も金ピカ

—時ならぬゴールドラッシュ

世の中がキラキラしてきている。女性の耳から首、腕、腰、そして足首から靴の先にまで金色のメタリック・アクセサリーがあしらわれ、若い男も負けじと胸元をキラリと光らせる。いま流行の紺ブレ(紺色のブレザー)でも金ボタンがもてはやされ、地味な銀ボタンは敬遠されがち。パチンコの景品にも純金のインゴットが登場した。平和な時代ほど金は売れるという。十九世紀の米国ならぬこの「平成の

「ゴールドラッシュ」は日本の豊かさと平和のシンボル？

まずは原宿や六本木といったファッショナブルな街であまりいやらしくない程度に道行く若い女性を観察していただきたい。耳のピアスかイヤリングはどれも大きい。しかもほとんどが金ピカ。小さな金のピアスを片方の耳だけで三つもつけているピアス大好きギャルもいる。

首には金のネックレスが一本か二本、中には幾重にも巻き付け、腰には金色のメタリックのベルト。足首にはアンクレットといわれる金の輪を、セクシーさを強調するかのようにフィットさせている。視線をもつと下げる時、金の飾りがついた靴の多さにも気が付く。これでもかこれでもかといった金すべりなのだ。

百貨店のアクセサリー売り場にも変化が出てきた。一階正面入り口に近いところは、これまで高級婦人バッグやネクタイ売り場というのが通り相場。それがいまではアクセサリー売り場がドーンと場所を占めている。夕方近くになると、この売り場が若い女性で埋め尽くされるほどのにぎわいぶりなのだ。小田急百貨店のアクセサリー売り場ではこの三年、売り上げが毎年2ケタの伸びを見せているそうだ。

「金ブーム」に悲鳴を上げているのは金ボタンメーカー。折からの世界的な紺ブレブームと重なって生産が追い付かない状態。金ボタンは東南アジアなどでも生産されているが、洗濯すると黒ずんだり、メッキの色が不ぞろいなものが多い。そこにいくと日本製は色、形とも均一で、メッキに色あせもなく、引っ張りだこ。

また、紺ブレブームは若者がリード役だったが、ここにきて、中年の男女にも広がりを見せている。

單語

伊勢丹婦人服の課長は「ブラウスやスカートなど紺ブレが合わせやすく、金のおしゃれっぽさもミセスを引き付けてる。今がピークかもしれないが、紺ブレ人気は当分続きそう」と見てる。	銀座にゴールドジュエリーの直営店を出店している住友貴金属事業部の部長は「野球選手がユニホームからチーンをのぞかせてるのが格好良く見え、男性も金製品を身につけるようになってきた。若い女性については『みつぐ君』からのプレゼントという背景も見逃せない」という。金ブームの行方は『みつぐ君』の懐具合にもかかっているようだ。
茶道（名）①	茶道（名）①
華道（名）①	花道、日本式插花艺术
成人式（名）③	成人仪式
儀式（名）①	仪式
裝飾（名・他サ）①	装饰
着付け（名）①③	
嫁入り（名）①	
穿衣方法；給：穿上衣服	
徐々に（副）①	
出嫁	
漸漸地	

（毎日新聞）にもとづく

デザイナー (designer) <名>②①

服装设计师

結び目 (名) ①

结扣

ブレタポルテ (法 prêt-à-porter) <名>④

著名服装设计师制作的成衣

帶 (名) ①

腰带

* * * *

固定 (文章、设计) 重点

晴れ着 (名) ③①

盛装

固定

式典 (名) ①

アクリゼン (accent) <名>①

固定

思い思に (副) ④

仪式、典礼

打ち掛け (名) ①

固定

青春 (名) ①

各行其是

豪華 (名・形动) ①

固定

袖 (名) ①

絹 (名) ①

和式罩衫 (江户时代武家妇女的一种礼服)

固定

振袖 (名) ①④

箔 (名) ①②

绸、绸缎

固定

未婚者 (名) ②

織り込む (他五) ③①

织入；采纳(要求、意见)

固定

既婚者 (名) ②

未婚者 (名) ①①

金线、金丝

固定

布地 (名) ①

銀糸 (名) ①①

银线、银丝

固定

模様 (名) ①

刺繡 (名・他サ) ①

刺绣

固定

色合い (名) ①③

发型

发型

固定

仕立て (名) ①

日本髮型 (名) ①

日本发型

固定

仕立て (名) ①

与る (自五) ③

缝纫、制作

固定

花样；情况；样子、动静

日本髮型 (名) ①

日本发型

固定

色调、色彩；倾向

承蒙 (自五) ③

承蒙

固定

缝纫、制作

与る (自五) ③

缝纫、制作

固定

花样；情况；样子、动静

日本髮型 (名) ①

日本发型

固定

色调、色彩；倾向

承蒙 (自五) ③

承蒙

固定

缝纫、制作

与る (自五) ③

缝纫、制作

固定

花样；情况；样子、动静

日本髮型 (名) ①

日本发型

固定

色调、色彩；倾向

承蒙 (自五) ③

承蒙

固定

缝纫、制作

与る (自五) ③

缝纫、制作

固定

花样；情况；样子、动静

日本髮型 (名) ①

日本发型

固定

色调、色彩；倾向

承蒙 (自五) ③

承蒙

固定

缝纫、制作

与る (自五) ③

缝纫、制作

固定

花样；情况；样子、动静

日本髮型 (名) ①

日本发型

固定

色调、色彩；倾向

承蒙 (自五) ③

承蒙

固定

缝纫、制作

与る (自五) ③

缝纫、制作

固定

花样；情况；样子、动静

日本髮型 (名) ①

日本发型

固定

色调、色彩；倾向

承蒙 (自五) ③

承蒙

固定

缝纫、制作

与る (自五) ③

缝纫、制作

固定

花样；情况；样子、动静

日本髮型 (名) ①

日本发型

固定

色调、色彩；倾向

承蒙 (自五) ③

承蒙

固定

缝纫、制作

与る (自五) ③

缝纫、制作

固定

花样；情况；样子、动静

日本髮型 (名) ①

日本发型

固定

色调、色彩；倾向

承蒙 (自五) ③

承蒙

固定

缝纫、制作

与る (自五) ③

缝纫、制作

固定

花样；情况；样子、动静

日本髮型 (名) ①

日本发型

固定

色调、色彩；倾向

承蒙 (自五) ③

承蒙

固定

缝纫、制作

与る (自五) ③

缝纫、制作

固定

花样；情况；样子、动静

日本髮型 (名) ①

日本发型

固定

色调、色彩；倾向

承蒙 (自五) ③

承蒙

固定

缝纫、制作

与る (自五) ③

缝纫、制作

固定

花样；情况；样子、动静

日本髮型 (名) ①

日本发型

固定

色调、色彩；倾向

承蒙 (自五) ③

承蒙

固定

缝纫、制作

与る (自五) ③

缝纫、制作

固定

花样；情况；样子、动静

日本髮型 (名) ①

日本发型

固定

色调、色彩；倾向

承蒙 (自五) ③

承蒙

固定

缝纫、制作

与る (自五) ③

缝纫、制作

固定

花样；情况；样子、动静

日本髮型 (名) ①

日本发型

固定

色调、色彩；倾向

承蒙 (自五) ③

承蒙

固定

缝纫、制作

与る (自五) ③

缝纫、制作

固定

花样；情况；样子、动静

日本髮型 (名) ①

日本发型

固定

色调、色彩；倾向

承蒙 (自五) ③

承蒙

固定

缝纫、制作

与る (自五) ③

缝纫、制作

固定

花样；情况；样子、动静

日本髮型 (名) ①

日本发型

固定

色调、色彩；倾向

承蒙 (自五) ③

承蒙

固定

缝纫、制作

与る (自五) ③

缝纫、制作

固定

花样；情况；样子、动静

日本髮型 (名) ①

日本发型

固定

色调、色彩；倾向

承蒙 (自五) ③

承蒙

固定

缝纫、制作

与る (自五) ③

缝纫、制作

固定

花样；情况；样子、动静

日本髮型 (名) ①

日本发型

固定

色调、色彩；倾向

承蒙 (自五) ③

承蒙

固定

缝纫、制作

与る (自五) ③

缝纫、制作

固定

花样；情况；样子、动静

日本髮型 (名) ①

日本发型

固定

色调、色彩；倾向

承蒙 (自五) ③

承蒙

固定

缝纫、制作

与る (自五) ③

缝纫、制作

固定

花样；情况；样子、动静

日本髮型 (名) ①

日本发型

固定

色调、色彩；倾向

承蒙 (自五) ③

承蒙

固定

缝纫、制作

与る (自五) ③

缝纫、制作

固定

花样；情况；样子、动静

日本髮型 (名) ①

日本发型

固定

色调、色彩；倾向

承蒙 (自五) ③

承蒙

固定

缝纫、制作

与る (自五) ③

缝纫、制作

固定

花样；情况；样子、动静

日本髮型 (名) ①

日本发型

固定

色调、色彩；倾向

承蒙 (自五) ③

承蒙

固定

缝纫、制作

与る (自五) ③

缝纫、制作

固定

花样；情况；样子、动静

日本髮型 (名) ①

日本发型

固定

色调、色彩；倾向

承蒙 (自五) ③

承蒙

固定

缝纫、制作

与る (自五) ③

缝纫、制作

固定

花样；情况；样子、动静

日本髮型 (名) ①

日本发型

固定

色调、色彩；倾向

<p

かもし出す(他五)④①	营造(气氛、感觉)	优雅	*	*	*	*
優雅(形动)①	金光闪闪、亮晶晶	金ぴか(名)①	不是;、非:			
体形(名)①	金らぬ(组)	ならぬ(组)				
正装(名・自サ)①	(穿)正装、礼服	ゴールドラッシュ(gold rush)(名)⑤	淘金热、黄金热			
着付け師(名)③	帮别人穿和服的师傅	足首(名)②③	脚脖子			
美容院(名)①	美容院	金色(名)①	(也读「きんいろ」)金色			
茶色(名)①	茶色、咖啡色	メタリック・アクセサリー(metallic accessory)				
地味(名・形动)②①(生活)质朴;(外表)朴素、朴实	〈名〉③十③	あしらう(他五)③	金属制饰品			
はかま(袴)③②	あしらう(他五)③	きらりと(副)②③	配上; 对待; 摆布			
木綿地(名)①	木綿地(名)①	胸元(名)①④	胸口、心口			
染め抜く(他五)③	染め抜く(他五)③	紺ブレ(～blazer)(名)①	一閃、一晃			
くつろぎ(寛ぎ)①	除花样外其余染上颜色	紺色(名)①	藏青色轻便西装茄克			
真夏(名)①	轻松、舒适	ブレザー(blazer)(名)②	藏青色			
盆踊り(名)③		もてはやす(他五)④①	西装茄克			
大会(名)①		敬遠(名・他サ)①	极力赞扬			
孟兰盆舞	盛夏	敬遠(名・他サ)①	敬而远之			

パチンコ(名)①

(赌博游戏机之一)弹钢球(俗称)扒金库

メタリック(metallic)〈名〉③

皮带、传送带；地带

景品(名)①

ベルト(belt)〈名〉①

純金(名)①

アンクレット(anklet)〈名〉④①

インゴット(ingot)〈名〉③

铸锭(名)①

平成(专)①

セクシー(sexy)〈形动〉①

原宿(专)①

フィット(fit)〈名・自サ〉①

六本木(专)①

視線(名)①

(地名、东京涩谷区东部地区)

輪(名)①

(地名、位于东京港区)

セクシーバッグ(~bag)〈名〉④

ファッショナブル(fashionable)〈名・形动〉①

通り相場(名)④

いやらしい(形)④

埋め尽くす(他一)④

ピアス(pierce)〈名〉①

小田急(专)②

片方(名)②

埋め尽くす(他一)④

ギヤル(gal)〈名〉①

通り相場(名)④

ネックレス(necklace)〈名〉①

小田急(专)②

幾重(名)①

百貨店(名)③①

巻き付ける(他一)④

一方(名)①

缠上、绕上、卷住

耳环(名)①

女性(名)①

一方(名)①

悲鳴(あひなみ)を上げる(组)

百貨商店(名)③①

几层(名)①

位数；(建筑物)横梁(けいすう)

项链(名)①

百货商店(名)③①

折から(组)②

恰好在那时；正当；季节

东南亚(名)⑤

发出悲鸣(あひなみ)

东南亚

金属的

环、圈

赠品

纯金

铸锭

性感的

视线

合身

公认的行市；一般评价

填满

公认的行市；一般评价

黒ずむ(自五)③

めつも(名・他サ)①

不揃い(名・形动)②

均一(名・形动)①

色あせ(名)①

引ひつ張りだ(名)⑤

リーダー役(lead)(名)①

伊勢丹(专)①

婦人服(名)②

課長(名)①

ブラウス(blouse)(名)②

スカート(skirt)(名)②

おしゃれ(洒落)名)②

ミセス(Mrs)(名)①

ピーク(peak)(名)①

发黑、带黑色的

镀

ゴールドジュエリー(gold jewelry)(名)①+①

黄金珠宝饰品

直営店(名)③

出店(名・他サ)①

貴金属(名)②

事業部(名)②

部長(名)①

ユニホーム(uniform)(名)①③

妇女服装

科长

のぞく(覗く)(自他五)①

みつぐ君(组)

みつぐ(他五)①

見逃す(他五)①

行方(名)①

手头、经济情况

高峰期、最高潮

直销店

开分号

贵金属

事业部

部长

制服、运动服

链条，连锁店

供养、赠送(钱物)；纳贡

露出；窥视

日本上世紀九十年代初流行

语，喻爱给女性赠送钱物的男性

看漏；错过看的机会；宽恕

去向

懷具合(组)⑤

手头、经济情况

言葉と表現

一、…といった(名詞)(本文)

着物を日常的に着るのは茶道、華道といった
日本の伝統芸能のお師匠さん：

「…といった」和「…という」一样，说明后续名词的具体内容。只是「…といった」表示两个以上的例子，且这些例子拥有某种相同点，具有同一群体的一些相同要素。类似「などの」のような」。

- お茶、お花といった習い事は一通りしましたけど、どれもみな月並みでした。（茶道、花道之类的东西我都学过一点儿。但都很一般。）
- 機会があれば、ネパール、ブータンといったアジア高原地域に行って、のんびりしたいですね。
(有机会的话，我想去尼泊尔、不丹等高原地区玩，好想轻松轻松。)
- わたしは葡萄とかすももとかパイナップルといったようなすっぱい果物が好きです。（我喜欢葡萄、李子、菠萝之类的酸味水果。）

二、…は…に限られる(本文)

着物を日常的に着るのは茶道、華道といった日本の伝統芸能のお師匠さんや落語家、力士などの特殊な職業の人間に限られ、…

「…は…に限られる」表示「…仅限于…」。「に」表示范围。

- 利用できる資源は、石油、石炭に限られている。（可以利用的資源仅限于石油和煤炭。）
- 患者の命を取り留められる時間は心臓が停止するまでの数秒に限られている。（可以拯救患者生命的时间只有心脏停止跳动之前的几秒钟。）

我们还经常可以看到「限られる」用作连体修饰语。

- 管理コストを下げ、限られた資金を戦略的な投資に振り向けることがわが社の方針となつている。（降低管理成本，将有限的资金用于战略性投资是我们公司的方针。）
- 兄は病氣と闘いながら、限られた命を精一杯生きているのだ。（哥哥与病魔斗争着，竭尽全力地度过生命最后的日子。）
- サポートされるワードプロセッサーの種類が限られることが明らかになつていて。（很清楚受支持的文字处理软件的种类是有限的。）

三、…くらいだ（本文）

若い女性の中には着付けを「嫁入り修業」の一つとしているくらいである。

「くらいだ」接在用言的连体形后面，表示状态的程度，带有强调的语气。也可以讲「ぐらいだ」。

- 転んでちょっと怪我をしたくらいで、大げさに騒がないでください。（不要大惊小怪，只是摔倒

受了些轻伤而已。)

● 彼女の潔癖はほんとうに病的なくらいです。（她的洁癖可以说有些病态。）

● また失敗しました。くやしくて泣きたいくらいでした。（又失败了。我难受得想哭。）

四、「と」表示确定条件（本文）

明治時代に入ると、徐々に洋服化が進み、一般にも普及した。

用「と」表示的确定条件前后项一定是已经实现的事情，一般句末用「た」结句。但是在小说、故事中也有用现在时结句的，这叫做「歴史的現在」。「と」表示的确定条件较多地出现在小说、故事中，口语一般用「たら」表示。这种用法细分起来可以分为两种。

(1) 前项为后项成立的时间、场面或契机。前后项一般用动词作谓语，也有用名词或形容词作谓语的。例如：

- 男は受話器を取つた。「もしもし」と応答すると、相手は名前を告げた。（男人拿起电话听筒，应答道：「喂，喂」。于是对方报上了自己的名字。）
- 朝起きて見ると、空は予想に反して上天気だ。（早晨起来一看，天空与预想的相反，非常晴朗。）
- それらの不毛地を過ぎると、再び草の海に入った。（过了这片不毛之地，又一次进入了茫茫草地。）

- 十八世紀後半になると、日本との通商を求める諸外国の艦船が日本近海にしばしば現れるようになった。（到了十八世纪后叶，要求与日本通商的各国舰船开始经常出现在日本近海。）

(2) 同一行为者在做完一个动作后继续下面的动作。

这种用法前后项都是意志性动词，句末一般用过去时结句。这种意义的「と」基本不能用「たら」替换，但是大多可以和「て」替换。只不过「て」表示的是同一场面的连续，而「と」表示的是从第一个场面向第二个场面的切换。

- 男は電話機を置くと、またベッドにもどつた。（男子放下电话，重新又回到了床上。）
- 会社から帰ると、すぐお風呂に入つて寝ました。（从公司回来后马上洗了澡睡了。）
- 測量から帰ると、すぐ地図の作製に取りかかった。（测量回来后马上开始了地图的绘制工作。）

五、：に合わせる（会話）

洋服は着る人の体形に合わせて作られていますが、：

「：に合わせる」表示「使之适合」「合着：」「配合：」。例如：

- ぼくはいつでもいい。君の都合のいい日に合わせるから。君の方で決めてくれ。（我什么时候都行。只要合着你的方便就行。你决定好了。）
- オリンピックの開催にあわせて、競技場、名所、催し、ショッピングや食事などの観光情報を載せた「オリンピックタウン情報」もあわせて公開した。（配合奥运会的举行，发布了「奥运村信息」。上面登载了有关运动场、景点、文艺演出、购物和餐饮等各种观光信息。）

- 寝る時、ライトの強弱にあわせて深呼吸をすると、体がリラックスした状態になり、眠りにつきやすくなるそうだ。（据说睡觉时，合着灯光的一亮一暗做深呼吸，身体就会进入放松状态。）

六、词语「程度」（会話）

それも結婚式、お正月などの正装として着る程度です。

「程度」可以作名词，也可以作接尾词。可以表示与同类相比程度上（如：大小、高低、强弱等）的差异水平。也可以用「程度がある」表示限度。「十人程度」的「程度」属于接尾词的用法，表示大约。

- この程度の補償金で、はたして被害者は納得するだろうか。（就这些补偿金，不知道受害人能接受吗？）
- 報酬の額は同業他社と比べても普通程度だと思います。（报酬即便是和同行业的其他公司相比，我想也只能算是般吧。）
- いくら人がいいといつても程度がある。（做好人也要有个度。）
- GDPに占める国防支出の割合は一・五パーセント程度で、いかなる国も脅かすことはない。（国防支出占GDP的比例大约是百分之一·五，不会威胁其他任何国家。）

七、文语助动词「じ」（応用文）

若い男も負けじと胸元をキラリと光らせる。

「じ」只有終止形、连体形和已然形，且都是「じ」。接在动词未然形后面。在现代日语中，「じ」主要表示意志的否定。「じと」表示「まいとして」「まいと思って」。「じとばかりに」表示「まいとするかのように」「まいと思っているかのよう」。「じ」在现代日语中，无论口语还是文章语基本都很少用。

- 彼は、後れをとつてはならじと、懸命に走つた。（他拼命地跑，不愿意落在后面。）

- サルスベリの花が猛暑に負けじとばかりに咲き誇つている。（百日红怒放着，像是不愿意输给酷暑一般。）

- 彼が逃げ出そうとするのを見て、そうはさせじと、彼の足に抱きついた。（看到他想逃跑的样子，我紧紧地抱住了他的脚，心想岂能让你逃走。）

八、「ほど」表示比例变化（応用文）

平和な時代ほど金は売れるという。

随着「ほど」表示的事物程度的提高，另一方事物的程度也随之变高。和「…ば…ほど」「…につれて」意义相似。

- パソコンの習得は若いほど上達が早いです。（学习电脑是年纪越轻进步越快。）
- 人は歳を取るほど感動しなくなる。それだけ感動できるなんて、あなたはまだ若いのですね。（人哪，是年纪越大越不容易感动。你能够如此感动，说明你还年轻。）
- 規則が煩雑であるほど、暗記するのに手間がかかる。（规则越是复杂，记起来越是费时间。）

九、接尾词「すくめ」（応用文）

これでもかこれでもかといった金すくめなのだ。

接在名词后面表示「全く…ばかりだ」。既可以用在好的事情上，也可以用在不好的事情上。

- この学校は規則すくめで、窮屈でしかたがない。（这个学校的规矩太多，让人觉得窒息，真受不了。）
- 彼の話はいつも結構すくめだが、どこまで信用できることやら。（他的话总是说得很漂亮，不知道可以相信多少。）
- 幸せすくめに見えた彼女にも、人知れぬ悩みがあつたんだね。（看上去幸福满面的她也有不为人知的烦恼。）

十、：を見せる（応用文）

売り上げが毎年2桁の伸びを見せているそうだ。

「見せる」表示「显示出」「显得」「展示出」「暴露出」等各种意思。

- 優雅な言葉遣いは彼女を上品に見せている。（优雅的谈吐使她显得很高贵。）
- あの政治家は、いつも優柔不断であるかのように振舞つてはいるが、実はそう簡単には真意を見せない狸です。（那个政治家看上去行为优柔寡断，其实是个老狐狸，不会让人轻易看出他的真实想法。）

● 科学的な調査の結果を見せられて、企業側も水質汚染を認めないわけにはいかなかつた。（看到科学的调查结果之后，企业不能不承认水被污染的事实。）

十一、⋮と重なつて（応用文）

折からの世界的な紹ブレートムと重なつて生産が追い付かない状態。

动词「重なる」表示同类东西或行为重叠在一起，也可表示同类事情或行为同时存在，以及表示同一行为反复出现。例如：

- 遠くの山々が幾重にも重なつて見えるすばらしい景色です。（远处群山重叠，景色优美。）
- レポートがいくつも重なつて出たのでたいへんでした。（同时要交好几个学习报告，真够呛。）
- 次から次へと重なる不幸に、彼はすっかり打ちのめされていました。（接连不断的不幸，使他彻底被击垮了。）
- 二度も事故が重なつて起つたため、社長は責任を取つて辞任しました。（因为接连发生两次事故，所以社长引咎辞职了。）
- 「重なる」也可以用「⋮と重なつて」的形式，表示某件事和另外一件事赶在了一起。
- 同窓会当日は重要な仕事と重なつて、残念ですが、出席できません。（开同窗会那天正好有一项重要的工作要做。很遗憾我不能出席了。）
- 今度の祭日が日曜日と重なるため月曜日が休日になります。（这次节日正好和星期天赶在一起，所以星期一休息。）

- 静香という名前は活発で明るい彼女のイメージと重なりませんね。（静香这个名字和她活泼开朗的形象对不起来。）

ファンクション用語

意 志

- A どうぞ、タバコはいかがですか。
- B 私はタバコをやめることにしているんです。
- A そうですか。苦しいでしょ？
- B どんなに苦しくてもやめるつもりです。

練 習

一、漢字にふりがなをつけなさい。

事情	女性	儀式	一般的	茶道	特殊	華道	芸能	師匠	落語	力士	嫁入り	羽織	長着
需要	成人式	舞台	式典	振袖	布地	模様	固定	背中	仕立て	衣装	正装	優雅	霧囲気
依頼	浴衣	足首	金色	景品	幾重	木綿地	悲鳴						

二、○に仮名を入れなさい。

- (1) 日本女性の着物姿はどの国へ行つても珍し〇〇〇〇ようだ。
- (2) 着物を日常的に着るのは特殊な職業の人々〇〇〇〇、ほかの人にとっては装飾的なものになつてゐる。
- (3) お褒め〇与つてうれしいです。
- (4) 洋服は人の体形〇合わせていくのだ。
- (5) パチンコの景品〇〇純金のインゴットが登場した。
- (6) 若い男も負けじ〇胸元をきらりと光らせる。
- (7) 夕方になる〇、この売り場が若い女性〇埋め尽くされる〇〇のにぎわいぶりなのだ。
- (8) 「金ブーム」〇悲鳴を上げたのは金ボタンメーカーだ。
- (9) 紺ブームは中年の男女〇〇広がりを見せてゐる。
- (10) 金ブームの行方は『みつぐ君』の懐具合〇〇かかっている。

三、次の語群から最も適切なことばを選んで一に入れなさい。

見かける	見逃す	のぞく	与る	アクセント	かもし出す	見せる	いやらしい
ならぬ	あしらう	すくめ	きらりと	もてはやす	埋め尽くす	当分	限られる
引っ張りだこ	思い思ひに	あわせる	ほど	折から			

一に入れなさい。必要な場合は適当な活用形にして入れなさい。

- (1) 迷つて いるうちに その チャンスを() て しまつた。
- (2) 胸の ポケットから ハンカチを() せ て いる。
- (3) 地震が 濟んで 一年 経つても、火山の 活動は、なお 衰えを() て い ない。
- (4) 政府が 為替市場に 介入しても その 効果は() との 見解 が ある。
- (5) 花火大会に() て 臨時バスダイヤが 実施さ れ て いる。
- (6) 家が 大きい() 掃除は 面倒だ。
- (7) 彼女の 家ではご 主人の 昇進や 息子さんの 大学入学など、結構() で うらやましい。
- (8) 天候不順の() くれぐれも お体にお 気をつけ ください。
- (9) あの人 はいろいろな 球団から() の 売れっ子選手だ。
- (10) この 寒さは() の間 続く だろ う。
- (11) 近くの 採石場から 流されて きた 直径一・五メートルの 巨大な 岩が 河原を() ていたのだ。
- (12) 松の 根元に 石を() て、いかにも 日本らしい 風景だ。
- (13) 彼女の 目に 涙が ひとしづく() 光つた。
- (14) あの方 は若い 人たちの 間で() て いる 作家だ。
- (15) 陰で 人の 悪口を 言う() やつだ。
- (16) ブローチで 襟元に() を 付けた。

- 四、各項に挙げたことばを使って次の文を完成しなさい。
- (1) ご招待に()誠にありがとうございます。
ユーモアは会合に和やかな気分を()。
- (2) 私が大学時代に学習の場所としてよく利用したのは図書館()
これは最近新聞でしばしば()表現だ。
- (3) 食事を済ませて()各自の部屋に戻った。

- (1) 仕事が忙しくて()…ぐらいだ
- (2) 十年ぶりの再会で二人は嬉しくて()…ぐらいです。
- (3) みんなの前でひどい恥をかいたわたしは()…ぐらいでした。
- (4) たくさんのおみやげをもらつた。()…くらいだった。
- (5) あの二人はよく似ている。()…くらいだ。
- (2) と
- (1) ちょっと横になつてみると、()…。
- (2) 滝のほうへ散歩に行くと、()…。
- (3) 私はいまや夏休みになると、()…。
- (4) あの子にとって初めての一人旅だと思うと、()…。

わたしは、窓辺に椅子を運んで、一人でビールを飲みながら、ほんやりと夜桜を眺めている
と、()。

(3) にあわせる

()いろいろなイベントが行われている。

()表示する文字のサイズを変更できるようになつていてる。

()職歴書を作成する。

()たいていの人は()

()ここにある施設はお客様()

()文字間隔を調整する。

()ご利用いただけます。

(4) ほど

()ストレスがたまるそうです。

()助かる率が高い。

()交通事故も多くなつた。

()うまくなるそうだ。

()ワインは()

()家賃は高くなる。

(5) :かのようだ

()彼はその事を知つてゐるはずなのに、()

()今日はとても寒くて、()

()彼女はまるで()

()やさしくわたしを慰めてくれた。

()態度でした。

王さんの部屋は(

)汚い。

ほんとうは見たこともないのに、いかにも()。

(6) づくめ

()でなく、また、受験戦争もないのびのびとした生活に「幸せ」を感じた。

(2) 四年間の生活を振り返ると、()はいろいろなことがあると思います。

(3) きょうは朝から()

()で、氣分がとてもいい。

(4) 何をやつても()

()で、自分がいやになっちゃうよ。

(5) ()の毎日なんて、あるはずはない。あしたはきっと、いいことがあるだろう。

五、次の質問に答えなさい。

- (1) 現代の日本人は着物をどんな時に着ますか。
- (2) 着物を着る人が未婚者か既婚者かは何によつてわかりますか。
- (3) 花嫁さんの着物にはどんな特色がありますか。
- (4) 着物の美しさは何によつて現されますか。
- (5) 日本の原宿や六本木の町を歩いていると、若い女性のどんな様子が目に入るのですか。

六、括弧内のことばを使つて次の中国語を日本語に訳しなさい。

(1) 据说很多患者在患忧郁症之前都出现过某种迹象。因此，怎么做才能不忽略这些迹象，还有如何对待这些迹象，这才是最重要的。（見逃す）

(2) 由于九号台风伴随的大雨的影响，九号早上开始渔港周边流入了大量的木排，挤满了整个渔港。虽说已经开始排除工作，但是要全部完成据说至少需要一个星期左右。（流木／埋め尽くす／撤去作業）

(3) 配合能力考试的实施，我们正在举行有关应试策略的指导。（：に合わせて）

(4) 我认为已经出现景气恢复的迹象，但是完全恢复还需要时日。（見せる）

(5) 给予人一生的时间是有限的，绝不会很长。究竟有多少人理解时间的珍贵呢？不是还有太多的人在为无谓的事浪费时间吗！？（限られる）

(6) 父亲生病住院时我很担心。父亲病得连饭都吃不下去了。（くらいだ）

(7) 她身上穿的全都是名牌，真是极尽奢华。（ずっとめ／贅を尽くす）

(8) 这种程度不用在意。如果您非常在意的话，新宿有修理，您打个电话问一下好了。（程度だ）

(9) 越是有名的旅游胜地，人就越多。（ほど）

(10) 到了三月底天亮得越来越早，早上六点前太阳就已经升得老高了。（：と）

七、辞書を調べながら次の日本語を中国語に訳しなさい。

夕食の膳は、一日で一番おかげが並ぶ時である。日本人は、夕食に重点を置く習慣があるからであ

る。朝と昼は軽く食事をすませているだけに、夕食への期待も大きい。まさに、夕食は主婦の腕の見せどころもある。昼間テレビの料理番組を見て覚えた献立が、食膳にのぼる家庭もある。料理は和風、洋風、中華風、または、それらの組み合わせと、日本人の食事内容はさまざまである。

日本人の食生活の大きな変化としては、外食の普及も見逃せない。学生やサラリーマンには、弁当を持たないで、出先で食べる人が多い。週末は家族一緒に、車で外出し、ファミリーレストランで食事をして帰るというケースも増えている。食生活もレジャー化の時代に入りつつある。こうした需要を反映して、大都市のみならず、郊外、地方にも、日本人の多様化した嗜好に合わせた各種の料理店が進出している。また、ハンバーガーをはじめとするアメリカ資本のチーン店も、若い人たちに受けて盛況である。これにヒントを得た、すし、弁当などの伝統的な日本の味を売るチーン店も、手軽に安く求められる外食産業として伸びている。

大資本によつて食品業界がシステム化され、今や、日本人の食生活は、地方差が少なくなり、季節感が失われ、画一化の方向にある。

しかし、その反動として、手作りの味、おふくろの味、旬の味、郷土の味が見直され、歓迎されているのも事実である。

現在は、その両極をさまよつてゐるのが、日本人の食生活の現状と思われる。

(国際交流基金「生活シリーズ」スライドパンクより)

學習の窓

—送り仮名の付け方に注意しよう

動词

(1) 注意互相对应的他动词和自动词。如：

動かす → 動く 終える → 終わる

(2)

部分动词习惯上写出词尾前一个假名。如：

行う → 行なう 表す → 表わす 現れる → 現われる

(3)

注意与形容词的关系。如：

近い → 近づく 苦しい → 苦しむ 悲しい → 悲しむ

(4)

注意与形容动词的关系。如：

確かだ → 確かめる

(5)

注意动词与动词的结合。如：

移り変わる 思い出す

(1)

词干为「し」时必须写出。如：

新しい 美しい 嬉しい 淋しい

(2)

注意与形容词的关系。如：

重い → 重たい 古い → 古めかしい

形容词

(1) 词干为「し」时必须写出。如：

新しい 美しい 嬉しい 淋しい

(2) 注意与形容词的关系。如：

重い → 重たい 古い → 古めかしい

(3)

注意与动词的关系，写出「し」前面的假名。如：

輝く→輝かしい 喜ぶ→喜ばしい 望む→望ましい

(4)

注意与形容动词的关系。如：

暖かだ→暖かい 柔らかだ→柔らかい

(5)

注意与动词的结合关系。如：

聞き十苦しい→聞き苦しい

(6)

注意部分词尾前的词干必须写出。如：

明るい 大きい 少ない

形容动词

(1)

注意含「た、か、ら、やか、らか」的训读词。如：
新ただ 静かだ 平らだ 穏やかだ 明らかだ

(2)

注意与形容词的关系。如：

清い→清らかだ

(3)

注意与动词的关系。如：

晴れる→晴れやかだ

第六課 早く早く

本文

軒を並べる本屋にさまざまな雑誌がある。月刊誌、週刊誌、季刊誌。とくに多いのは月刊誌であるが、たいてい実際より早く出る。十月号が出るのは十月でなくて九月である。時には八月のうちに出たりする。中の記事はすべて十月にふさわしい記事である。「十月の料理」「秋のおしゃれ」「スポーツの秋」「読書の秋」等等。読み終わつて目をあげると、真夏の太陽がギラギラと光つている。テレビのコマーシャルも早め早めに出る。まだ暑いうちから、「そろそろ寒くなりますから、暖房器具のご用意を」と呼びかける。正月が終わるやいなや、ひな人形の宣伝が始まる。マスコミが四季の移り変わりを早めに教えている。現実の季節とマスコミの季節と、二つの季節を同時に経験する生活は、精神的にいそがしく、疲れる。

ある心理学者の調査によると、母親が幼児に対して使う言葉で最も頻度が高いのは「早く」だそうである。「早く起きなさい」「早く食べなさい」「早く着がえて」「早く帰るんですよ」と母親は幼児をせき立てる。今や幼児だけでなく、成人までマスコミの「早く早く」にせき立てられている。「急がないで、ゆっくり」という声を耳にすることはあまりにも少ない。

会話

三

(知人同士の会話。電車のプラット・ホームで出会った男女。Aは男、Bは女。)

それ、何の雑誌ですか

あ、これ、料理の雑誌です。

おいしそうな料理の写真がたくさんのっていますね。

ええ、きれいでしょう？

十一月の料理——え、まだ九月の終わりじゃありませんか。

そうですね。でも、雑誌つてみんな早く出ますからね。

それにしても、ちょっと早すぎますね。

そうですね。

あまり早いと、実際と合わないんじゃないでしょうか。

そうですね。おしゃれの記事なんか、変に感じることがありますよ。

たとえば

少し涼しくなつたと思うころ、毛皮のコートの写真がのつていたり。

なんだか宣伝にせき立てられてゐたみたいですね。

ええ、テレジのコマリシャレもそうですものね。

そうそう、お母さんが小さい子供と言葉で、一番よく使うの、何だと思いま十分。

A B A B
さあ……。

「早く」だそうです。

そういえば、母親つてよく小さい子供に「早く早く」って言いますね。

ぼくも子供のころよく言われたと思いますよ。

わたしたち、子供のころからせき立てられるのになれるのかも知れませんね。

そうですね。あ、電車が来ました。

いまにアナウンスがありますよ、「お早くお乗り下さい」って。

(二)

(夫婦の会話。それぞれ新聞を読んでいる。)

妻 あら、これ、見て。

夫 なに。

妻 これ、これ。

夫 この冬の暖房器具、お買い得……。

妻 ええ。

夫 まだ涼しくなったばかりじゃないか。

妻 でも、もういろんな冬のものの宣伝してるわ。テレビなんかもつと前からよ。

応用文

忙しい毎日

朝七時半、市内へ向かう道路は、通勤の車でもう込み始めている。今日一日のストレスの始まりだ。この間のように高速道路で事故でも起これば、会社に着くのが一時間以上は遅れてしまう。そんなことを考えているといらいらし、ついたばこに手が行く。そうだ、医者に早くたばこをやめるように言

まだ早いからといって、買って損をするわけじゃないでしょ。くさる物じゃないんですもの。
夫 妻 妻
そりやそりやうだけど、あとになつたら、もつと安くなるかも知れないよ。
妻 安くなるかも知れないけど、いい物がなくなつてしまふかも知れないわ。
夫 この前もそう言つてワンピース買ってあとで安くなつたといってがっかりしてたじやないか。
妻 あれは例外よ。
夫 とにかく、宣伝にのせられるのは損だよ。もう少し待とうよ。
妻 急に寒くなつたらどうするの。
夫 そのときはがまんするさ。
妻 そう。じや、厚いセーターでも買っておこうかしら。
夫 ぼくもほしいな。
妻 いえ、がまん強い人はいるでしょ。

(水谷信子著「総合日本語」による)

われていた。信号で止まつた。鏡に映つた後ろの車の男もたばこを吸つてゐる。彼もやつぱりストレスで胃が痛むことがあるのだろうか。

今日も急いで出かけてきた。起きるとすぐ、トーストにコーヒーの簡単な朝食を済ませ、朝刊にさつと目を通し、家を出る。子供たちはまだ昨日の晩帰つたときと同じようによく眠つてゐた。子供たちの顔がゆづくり見られるのは一週間に一度ぐらいしかない。それなのに、その大事な休みの日さえも、会社のゴルフなどでなくなつてしまふことが少なくない。

昨日も忙しい一日だつた。午前中は、いろいろな手紙やレポートなどを読んだりして終わつてしまつた。午後は昼食をとりながら会議が一つ。客との契約が済む。次にまたほかの会議。事務所での仕事はこれで終わりだつた。五時半、部長の代理で「中小企業・青年経営者セミナー」の会議に出るため、会社の近くのホテルへ行く。会議の途中で、約束のあつた客を迎えて部下と一緒に駅へ向かう。客に会つて食事をし、その後はいつものネオン街へ。接待は嫌なものだ。本当はやりたくないのだが、これも商売をうまくやるために一つの潤滑油なのだからとあきらめている。十二時近く、客をタクシーに乗せ、自分も別のタクシーを拾つた。タクシーを拾うのにひどく時間がかかつた。みんなが競争のようにしてタクシーに乗つていく。家が遠いのはだれでも同じなのだ。三年前に都心から電車で一時間半ほどの所にある一戸建ての公団住宅が当たつて、やつと手に入れた家に向かう。会社に近い住宅に住めばずっと便利なのだが、子供たちを少しでも広い所で育てたいと思うと、これも我慢しなければなるまい。今の給料では家のローンを払うのも大変だ。この物価高の世の中、家族を支えていくのも楽ではない。この間買った宝くじでも当たればなあ。——午前一時前やつと家に着いた。妻の出し

てくれた茶漬けをする。一日で一番落ち着く時間だ。しかし、これだけでは十分なストレス解消にはならないのだが。

……おつと、後ろの車がクラクションを鳴らしている。信号は青に変わっていた。おいおい、お互い様じやないか。そんなにいらっしゃったところで早く行けるわけじゃない。さあ、今日も一日がんばろう。

(荒井礼子ほか「中級から学ぶ日本語」による)

單語

本屋 <small>ほんや</small>	书店	呼びかける <small>よびかかる</small>	招呼；号召、呼吁
月刊誌 <small>げっかんし</small>	月刊	移り変わり <small>うつかわ</small>	变化、变迁
季刊誌 <small>きかんし</small>	周刊杂志	精神的 <small>せいじんてき</small>	精神上的
季刊誌 <small>きかんし</small>	季刊杂志	精神的 <small>せいじんてき</small>	精神学家
時には <small>どきには</small>	有时	心理学者 <small>しんりがくしゃ</small>	心理学家
太陽 <small>たいよう</small>	太阳	母親 <small>ははおや</small>	母亲
ギラギラ <small>(と)</small>	闪耀、灿烂夺目	幼兒 <small>ようじ</small>	幼儿
光る <small>(自五)</small>	发亮、发光；出众	頻度 <small>ひんど</small>	频率、出现率
暖房器具 <small>だんぽうきぐ</small>	取暖器具	声 <small>こゑ</small>	声音
せきたてる <small>(急き立てる)</small>	催促、逼迫	せきたてる <small>(急き立てる)</small>	催促、逼迫

言葉と表現

宝くじ(名)③④
茶漬け(名)①

彩票 する(囁く)(他五)①
茶泡饭 クラクション(kluxion)(名)②

啜饮、吮吸
汽车喇叭

一、やいなや(本文)

正月が終わるやいなや、ひな人形の宣伝が始まる。

「や」是文言接续助词。「やいなや」接在动作性、变化性、瞬间性动词的终止形后面，表示继起，即前一动作刚进行完，后一动作或状态就相继发生了。后项较多为前项事情的反应。后项不能用意志、命令、推量、否定等结句。文章语。

- 桜の花は咲くやいなや、雨が降つて散つてしまつた。(樱花刚开，一场雨后就凋谢了。)
- 朝食をすませるやいなや、散步に出かけた。(刚吃完早饭就出去散步了。)
- 老人は風呂からあがるやいなや、倒れてしまつたそつだ。(听说老人从浴缸里出来的一瞬间倒在了地上。)

二、接尾词「目」(本文)

マスコミが四季の移り変わりを早め早めに教えている。

接尾词「目」接在形容词词干后面表示具有某种倾向、性质，类似中文的「：一点儿」「：一些的」。也可以接在动词连用形后面，表示物体的连接处、状况转变的时候等。常用的例子有：「遠目、早目、長め、厚め、大目、大きめ、結び目、変わり目、つなぎ目、縫い目、控えめ、上がり目」等。

- 今度だけ君の行いを大目にみてやろう。（对于你的所作所为，这次我就原谅你了，下不为例。）
- 不況のため、今年のGDPの伸び率は大きめに見積もつても、そんな数字にはならないだろう。（经济不景气，今年GDP的增长率即使估计得高一些也到不了那个数字吧。）
- 日本の新緑は美しい。紅葉も日本のが見事だ。これはお国自慢のひいき目から言つたものではない。（日本的新绿是美的。红叶也是日本的漂亮。我这么说是因为我偏爱自己的国家。）
- 今度の試合ではまつたく勝ち目がないと思う。それでも出るつもりなのか。（我以为这次比赛没有胜的可能。即使如此，还是要参加吗？）

三、それについて（会話）

「雑誌つてみんな早く出ますからね。」「それについて、ちょっと早すぎますね。」

「それについて」在句子中起逆态接续作用，即承认前项、前句所说内容，但在道理或感情上还存在难以理解的地方。类似「そうだとしても」。后句往往是说话人自己的看法。

- 今晚は遅く帰るということでしたが、それについて遅いですね。もう一時半です。（她是说了今晚要晚点回来。不过这也太晚了呀。已经是一点半了。）

- 日本生まれとは聞いていたけど、それにしても高さんの日本語は上手ですね。（听说了小高是在日本出生的。即便如此，他的日语也实在是太棒了。）
- 来春結婚する娘に、頼みもしないのに家具屋からりっぱなパンフレットが贈られてきた。それにしても、どうして結婚することがわかったのだろう。（女儿开春就要结婚了。明明没有委托过，家具店却主动寄来了漂亮的商品介绍的小册子。他们是怎么知道女儿要结婚的呢？）

四、词语「先」（会話）

冬はまだ先だよ。

「先」有名词和接尾词两种用法。

- (1) 表示东西的尖端、末梢。名词用法。
如：「鉛筆の先、指の先、針の先、枝の先、□先」。
- (2) 表示前面、最前头。名词用法。
先のほうから順に中へお入りください。（从第一个开始请按照顺序往里走。）
林さんは四軒先に住んでいる。（小林就住在前面第四间屋。）
- (3) 表示最先、首先。常用「先に」。名词用法。
お先にどうぞ。（请先回去。）
- クラスでは毎日王さんが一番先に教室に来ます。（班里每天就数小王最早到教室。）

健康のことが何より先だ。（健康最重要。）

さすがに彼はどんなことでも先に立つてするのだ。（的確什么事他都干在前面。）

(4) 表示将来。名词用法。

今から十年先にはこの都会はずいぶん変わると思います。（我想十年后这个城市会发生很大的变化。）

(5) 表示目的地等。名词用法。

先のことですから、今心配してもなんにもならないでしょう。（将来的事，现在担心也没用的。）

(6)

課長の行つた先を知っていますか。（你知道科长去哪儿了吗？）

接在「送る」「届ける」等动词连用形（サ变动词词干）后面，表示地点，少数也有表示人的。接在某些场所名词后面表示前方、前面。接尾词用法。

如：「連絡先、送り先、行き先、出張先、届け先、あて先、勤め先、庭先、軒先、店先、鼻先、取引先」。

(7) 「先」构成的词组

● 先を争う（争先） 先を急ぐ（急着赶路／赶工作） 先が見える（预见到将来） 先に立つ（站在前头） 目と鼻の先（近在咫尺）

五、からといって：（否定）（会話）

まだ早いからといって、買って損をするわけじゃないでしょ。

「から」是接续助词，表示理由。「からといって」用于提出理由，但是讲话者否定根据这个理由得出的结论。相当于汉语的「虽说是……但是……」，后项常用「とは限らない」「わけではない」等结局。

- 簡単に見えるからといって、すぐにできるとは限らない。（看上去很简单，但是并不意味马上就能做好。）

- 体が丈夫だからといって、働きすぎても病気にならないというわけではない。（身体是很健康，但是并不等于工作过头了也不会生病啊。）

- 喉が渴いたからといって冷たいものばかり飲んでいるとお腹をこわすよ。（口渴就一个劲地喝冷水，那会拉肚子的。）

六、副词「つい」（応用文）

ついたばこに手が行く。

副词「つい」表示控制不住自己，或者出于一种习惯或本能做了明知不该做的事情。句末常用「てしまふ」结句。「つい」还可以和表示时间或距离的词一起用，表示讲话人主观判断时间、距离相隔不远。

- 友達の家へ行くと、つい飲みすぎてしまう。（每次去朋友家都会不知不觉地多喝酒。）
- 笑つてはいけないと思つていながら、あまりおもしろかったのでつい笑つてしまつた。（我提醒自己不能笑，但实在是太好玩了，还是不由自主地笑了起来。）
- ついさっきまでみんなに元氣だった李さんが、突然倒れたのでびっくりした。（刚才还是那么健

康的小李突然倒下了，真叫人吃惊。）

- ついそこまで買い物に出かけた。（去不远处买了点东西。）

七、并列助词「に」表示并列、添加（応用文）

起きるとすぐ、トーストにコーヒーの簡単な朝食を済ませ、…

并列助词「に」接在名词后面表示并列、添加。

- 黒のスーツに黒のネクタイの男が突然訪ねてきた。（一个身穿黑色套装系黑色领带的男人突然来访。）
- 「昨日のパーティーには、誰が来ましたか。」「えーと、増田さんに、それから佐藤さんもいましたよ。（昨天的聚餐会都有哪些人参加了呢？」「嗯，有增田、北村、还有佐藤。」）
- 日本では朝ご飯はご飯に味噌汁ぐらいですます家が多い。（在日本，很多家庭早饭吃米饭加酱汤。）

八、お互い様（応用文）

おいおい、お互い様じやないか。

「お互い様」表示彼此彼此。彼此处于同一立场或状态。

困るのはお互い様だ。こんな不景気なときには何も私たちだけ困っているのではない。（你我一样都覺得无奈。经济如此不景气，感到无奈的并不是只有我们。）

貧乏はお互い様だ。愛ちゃんみたいに働き者の娘をうちの嫁さんにもらえたら、どんなに助かるかしれない。（穷，也是彼此彼此。如能娶到小爱这样勤劳的姑娘做媳妇，真不知对我们有多大的帮助啊。）

忙しいのはお互い様だ。おれだって仕事で疲れていて早く寝たいのだ。（也不是只有你忙。我也干活干得很累，想早点儿睡呢。）

九、（た）ところで（応用文）

そんなにいらっしゃったところで早く行けるわけじゃない。

「ところで」接在动词过去时后面逆态地连接后项，与「ても」意思基本相同。

(1) 用「（た）ところで……ない」的形式表示即便做了前项动作，也得不到期待的结果。前项常和「いくら」「たとえ」等呼应用，后项一般是表示预料或判断，也可以用「ダメだ」「無意味だ」等。

これ以上議論したところで、結論は出ないだろう。（再这么讨论下去也得不出个结论吧。）

どんなに催促したところで、今日中にできるはずはない。（无论怎么催，今天是不可能完成的。）

いくら親切してくれたところで、ありがたいとは思わない。（无论你对我有多客气，我都不感激你的。）

(2)

用「(た)ところで」的形式假设前项事情的发生，后项表示即便如此，在程度或数量上也还是有限的、微不足道的。

- 遅れたところで、二、三分ですから、待ってください。（等我一会儿。即便是迟到也不过是两三分钟而已。）

- 泥棒に入られたところで、取られるものは布団ぐらいしかない。（即便是遭小偷入室偷窃，可以拿走的也就是被子之类的东西。）

- 出世したところで小さな町工場の工場長でしょう。（即使出人头地，也不过就是个街道工厂的厂长吧。）

ファンクション用語

助 言

李 ねえ、どつちがいいと思う、赤と白。

王 そうね、最近赤いシャツがはやつてるわね。

李 どつちにしよう。迷つちやうな。

王 白いほうが似合いそうよ。

李 でも、ちょっと高いね。もう少し安くならないかな。

王 聞いてみたら。

練習

一、漢字にふりがなをつけなさい。

暖房器具 溫暖化 暖かい 幼児 児童 小兒科 幼い 頻度 頻繁 頻りに 急き立てる 急ぐ
急激 光る 光線 毛皮 毛布 皮肉 我慢強い 我々 自慢 太陽 陽光 太る 月刊誌
九月 月日 潤滑油 湿潤 潤い 滑る 拾う 月給

二、○に仮名を入れなさい

- (1) 中の記事はすべて十月○ふさわしい記事だ。
- (2) 読み終わって目を上げる○、真夏の太陽がざらざらと光っている。
- (3) 朝七時半、市内へ向かう道路は、通勤の車○もう込み始めている。
- (4) 高速道路で事故○○起これば、会社につくの○一時間以上○遅れてしまう。
- (5) 鏡○映つた自分の姿に驚いた。
- (6) 起きるとすぐ、トースト○コ―ヒーの簡単な食事を済ませた。
- (7) 子供たちの顔がゆっくり見られるのは一週間に一度ぐらい○○○○。
- (8) その大事な休みの日○○○、会社のゴルフなどでなくなってしまう。
- (9) 接待も商売をうまくやるためにだから○あきらめている。
- (10) 今給料○○家のローンを払うのもたいへんだ。

三、次の語群から最も適切なことばを選んで――に入れなさい。必要な場合は適当な活用形にして入れなさい。

(1) つい・ついに・思わず・うつかり

鍵をかけてはいけないと言われたのに、()かけてしまった。

ボールが飛んできたので、()首を引っ込んだ。

仕事に夢中になつて()約束を忘れちゃつたのだ。

長年の研究の後、キュリー夫人は()ラジウムを発見した。

新聞を広げると、()漫画を見てしまう。

(2) なんだか・なんとなく

()面倒くさくなつたので、明日のパーティーには行くのをやめようと思う。

()悲しくなつて涙がこぼれる。

()いやな予感がします。

「その体育館の写真は、左右が逆ですよ。」「そうですか。()変だと思いました。

()空を見上げると、きれいな星が空いっぱいにきらきら光っている。

四、各項に挙げたことばを使って次の文を完成しなさい。

(1) やいなや

① 目覚まし時計がなるやいなや()。

- (2) 私の前で車が止まるやいなや、()。
 求人広告を出すやいなや、()。
 そのニュースが伝わるやいなや、()。
 試合が始まるや否や、()。
- (2) 目
 このスカートはもう少し()見るときの印象ではない。
 それも()動作。なるべく人に注目されないようにしてください。
 地味な服装と、()してください。
- (3) 荷物の()
 彼は、時代が()固く結ばれていて、なかなか解けない。
 それにしても()來たとつくづく感じた。
- (3) 最近物価が高いとは聞いていましたが、それにしても、()。
 清明節は道路が込む。それにしても、()。
- (4) 学歴社会では受験勉強がはやつてているのはわかるが、それにしても()。
 夏だから少し暑いのは当たり前だけど、それにしても()。
 試合に負けたのはしかたがないが、それにしても()。
 からといって…(否定)
 、それを態度に出すのはよくない。

(2)

、大騒ぎする必要はない。

生活が豊かになつたからといって、()。

何回やつてもできないからといって、()。

本をたくさん持っているからといって、()。

(5) (た)ところで

① どんなに説明したところで、()。

② どんなに働いたところで、()。

③ いまさら走ったところで、()。

④ この品なら、どんなに高いところで、()。

⑤ 修理に費用がかかつたところで、()。

五、「に」を使って次の文を書き直しなさい。

(1) 学校では、英語や国語や歴史を習っています。

(2) 列車の中で弁当とお茶を買いました。

(3) 朝食にはいつもご飯、味噌汁、それから漬物を用意します。

(4) お茶とお菓子を用意して来客を待ちます。

(5) 昨日の集まりには、北村さんや鈴木さんもいましたよ。

六、次の質問に答えなさい。

- (1) 雑誌やコマーシャルは四季の移り変わりをなぜ早め早めに教えるのですか。
- (2) マスコミの「早く早く」にせきたてられているってどんなことですか。
- (3) あなたはコマーシャルに乗せられたことがありますか。
- (4) 「今日一日のストレスの始まりだ」と応用文に書いてあります。なぜそう言うのでしょうか。

七、括弧内のことばを使って次の中国語を日本語に訳しなさい。

- (1) 不能因为催我们答复，我们就不商量地马上答复你们。（からといって）
- (2) 我是想做点什么帮帮他们的。可是除了给些鼓励的话，其余什么都做不了。（くらい／：しか：ない）
- (3) 她一看到我就含着眼泪跑了过来。（やいなや）
- (4) 虽说你对自己的健康很有信心，但是这么不顾一切地干会伤身体的。（からといって）
- (5) 你想瘦一点的心情我能理解。即使如此也不能不吃饭呀。（それにしても）
- (6) 即便是不成功也不会失去什么。做不成也试试看吧。（（た）ところで）
- (7) 在不动产价格上升时买房，真是愚蠢极了。（目しまる）
- (8) 明知道自己很胖，应该少吃一点了。可是看到好吃的就会不由自主地伸出手去。（目／つい：て
- (9) 遗失的钱包再也找不到了，我只有死了这条心了。（とあきらめる）

(10) 听说你上了他的当，损失很大。（乗せられる）

八、辞書を調べながら次の日本語を中国語に訳しなさい。

こんな記憶がある。

地下鉄大手町駅の、人の行き来のせわしなく、そして長い連絡通路を歩いていた。ふと、向こうから来る一つの顔に気がついた。親しくつきあつていてる女の人が、でもここ何か月か、すれ違つてばかりいたのだった。まだ、先方は私に気付いていない様子。偶然がうれしくなった。声をかける準備をしながら、でも、ふつとそれを押しとどめたい気分にも見舞われた。というのは、彼女の顔面に表れていたのは今まで私に見せたことのない、別の表情だったから。どこか悲しげで、自分の中に閉じこもった顔であった。

どうしたらしいか……。ところがその瞬間、彼女の表情は、まるでライトが当たつたように変化していた。

「あら、おひさしぶり。うれしいわ。」

私を見つけたとき、彼女の少し疲れたような顔は一変して、にこやかな笑みに彩られ、目はきらめいた。

私たちは、時間をさいて、お茶を飲むことにした。会っている間中、彼女の柔らかく暖かい表情は、寄せてくる波のように尽きることはなかつた。

短い時間を惜しみながら、私たちは別れた。彼女の話してくれた近況には、特に悲しみのかけはな

く、穏やかなものだった。

それで、一つのことに気がついた。私たちはだれでも、二つの顔を持つてはいるのではないか、ということである。

一人の時の顔。心を許しただけかと一緒にいる時の顔。

一人で歩いている時や、電車の中の顔は、自分用の顔。他人向けの顔ではない。だから無表情で、力がなくて憂いを含んでいたりする。言つてみれば、あんまりいい顔ではない。親しく、心を許しあった人と一緒の時の顔は、だれでも、にこやかに幸せそうに見える。自然に、いい顔になつてはいるのだろう。

（増田れい子「ほんとうの顔」 国際交流基金 日本語国際センター編「日本語中級II」より）

第七課 本音と建前

本文

李さんは会社の仕事にも次第に慣れ、上司の信頼も徐々に増してきました。今回は新しい取引先メーカーとの交渉をまかされ、無事、商談成立にこぎつけました。

木下課長は今後のつき合いを考慮にいれて、先方の長谷川部長を接待することにし、李さんはその準備を頼まれました。

場所は長谷川部長の好みに合わせてカラオケ・スナックになりました。李さんは長谷川部長に楽しんでもらうために、雰囲気を盛り上げようと考へ、まず、演歌を二、三曲歌いました。

けれども、日本人の場合は、自分が楽しむより相手をたてて楽しませることを第一に考へ、接待します。ですから、木下課長は困った顔をしていました。

カラオケに招待された長谷川さんが、楽しかったと言つたのは「建前」なのです。「本音」を言えれば、自分が歌えなくてあまり楽しくなかつたはずです。しかし、長谷川さんは、会社の代表として、個人の感情を抜きにし、不愉快な感情を表に出さず、接待した側の会社に感謝したのです。

「建前」は、「原則として」とか、「表向きには」という意味です。公的な立場からの見解について述べるときに使われます。それに対して、「本音」というのは、その人の本当の気持ちです。日本人社会は、人間関係を優先し、「和」をたいせつにします。この和を保つためには、私的な感情を表面に出さず、原則である「建前」でコミュニケーションすることが必要になるわけです。

会話

(カラオケ・スナックで)

長谷川 李さんは、演歌がうまいですね。

ホステス ほんとに。中国の方とは思えないぐらい上手よ。ねえ、木下さん。

李 そうですか？ほめていただいたのは初めてですよ。じゃ、今度は、今とてはやっている歌を歌います。あつ、これデュエットだから長谷川部長も一緒にどうですか。

いや、最近の歌はダメなんですよ。

長谷川 あつ、そうですか。じや、ボク、みゆきさん(ホステスの名前)と歌います。

長谷川 (一向に楽しい様子を見せない)

木下 (困った顔)

(数日後、李さんと同僚の高橋さんと横山さんは三人でお酒を飲みに行きました。そこで、この間の

カラオケ・スナックの話になりました。)

横山 長谷川さんの接待のために行つたのに、李さんが自分だけ楽しんでたって、課長、怒つてらした

わよ。

李 えつ！ほんとに？おかしいな。長谷川さん、帰るときに、「今夜はとても楽しかったです」つておつしやつてくださつたよ。

高橋 それは、日本の社会においてはタテマエっていうもんだよ、李さん。

李 タテマエか……。そういうえば、この間お金集めたでしょ。

高橋 田村さんの結婚のお祝いのこと？

李 うん。田村さんの結婚のお祝いの回覧が回つてきたとき、みんなが何も言わないで同じようにお

金を出すのを見て、僕、驚いた。あれもタテマエ？

横山 それは違うわ。同じ部の人があんな出していれば、やっぱり、あたしもみんなと同じようにするわ。そのほうが、摩擦が起こらないから。

李 それは、自分に自信がないからでしよう。

横山 まつ、失礼ね。李さん、ときどき失礼なことをするわよ！たとえば、この間、営業一課で飲みに行つたとき、先に帰つちやつたでしょ。あの後、みんなしらけちやつたのよ。

李 だつて、僕、お酒、嫌いなんだ。

高橋 李さん、本音は僕だつて同じだけど、それが会社のつきあいつてものだよ。僕も去年はそうだつたけど、「新人類」なんて陰で言われちやつて……。

応用文

李　　へえ、冷たくされたの？

高橋　まあね。今は違うけど。

日本人の人間関係

「旅の恥はかき捨て」ということわざがある。旅に出たら、どんなことをしても許されるという意味だ。昔の日本では、それほど簡単に旅に出ることはできなかつた。多くの人は生まれた土地を離れることがなく、死ぬまで同じ所に住み、その上、厳しい上下関係の中に生きていた。だから、旅行はその枠から出られる、ただ一つの機会だったわけだ。それで旅に出たら少しぐらいの自由は許してもよいと考えたのだろう。

無礼講という言葉もある。「今日は無礼講で飲もう」と言えば、そのときだけは相手が自分より上下などは忘れ、失礼があつても少しぐらいなら気にせず付き合うことができる。しかし、このときが過ぎれば、また厳しい上下関係に戻らなければならない。しっかりと決められた社会の枠が壊れずに長く続いたのは、無礼講のような息抜きが時々あつたからなのだろう。

現代の日本では、社会全体としての上下関係はほとんどなくなつたとはいいうものの、昔とはまた違つた集団の秩序がしつかりと出来上がつてゐる。その集団の一つは会社である。会社の中では相変わらず、社長、部長、課長、平社員という秩序が厳しく守られ、それを乱そうとする者はあまりいない。

ところが、会社の中の人間関係は気にかけるのに、会社の外の人に対するは、関心を持たない人も多い。電車の中で、お年寄りが立つても知らないふりをしていながら、自分の先輩や会社の上司が乗つてくると、慌てて席を譲つたりすることさえある。このような態度は「ウチ」と「ソト」という関係から説明できる。自分の属している社会を「ウチ」といい、「ウチ」の者に対するは規律正しくその秩序を守るようとする。一方、「ソト」に対するは「ウチ」に対するほどの関心を持たない。

外国人のことを「外人」というが、これもやはり同じような意識から出た言葉ではないだろうか。何年日本に住んでいようと、日本人より日本的であろうと、いつまでも「外人」と呼ばれるという嘆きを聞いたことがある。「日本人は確かに大変丁寧だが、ただし、それはお客様に対する丁寧さであつて、自分たちの社会には決して入れてくれない」という嘆きだ。「よそ者」というわけである。このように、「ソト」の者をなかなか「ウチ」へ入れようとしないのは、しっかりと出来上がった「ウチ」の秩序が乱されはしないかと心配し、入れないことで、「ウチ」社会を壊すまいとしているからなのだろうが、これは日本だけのことだろうか。

(荒井礼子ほか「中級から学ぶ日本語」による)

單語

建前なまえ
名な②③

増すます
自他じか五ご①

原則
今回こんかい
名な①

增多、増大
取引先とりひきせん
名な①

客户、顧客
这次

メーカー(maker)〈名〉①②	廠商(おうしょう)	公开、表面上(おもてむ)
任す(委す)〈他五〉②	委托、托付(まきゆつ)	公的、公共的(こうてき)
商談(名)①	洽谈交易(こうちやうぎょう)	立场、观点、角度(たちばな)
成立(名・自サ)①	成立、完成(せいり)	见解(けんかい)
こぎつける(漕ぎ着ける)〈他一〉④①	划到； 经过努力达到(けいとう)	述のべる(他一)②
考慮(名・他サ)①	考虑(りろう)	叙述、陈述(じ�じゆ)
木下(专)②	和(わ)	人間関係(にんげんかんけい)
先方(名)①	優先(ゆうせん)	人际关系(じんけんけい)
長谷川(专)①	私的(しづてき)	和睦、和平(めいとく)
盛り上げる(他一)④	私的(しづてき)形动(けいどう)	优先(ゆうせん)
立てる(他一)②	表面(ひょうめん)	私人的、个人的(じじみてき)
代表(名)①	*	私人(じじみ)
抜き(名)①	*	私人(じじみ)
表(名)③	*	私人(じじみ)
原則(名)①	*	私人(じじみ)
尊重、尊敬	ホステス(hostess)〈名〉①	(饭店、酒馆等的)女招待(めいとう)
代表	流行(はやり)	流行(はやり)
デュエット(duet)〈名〉①	二重唱(にじょうちよう)	二重唱(にじょうちよう)
取掉、省去	表面(ひょうめん)	表面(ひょうめん)
表面；外表	完全(ぜんぜん)	完全(ぜんぜん)
一向(一向上に)〈副〉①	完全(ぜんぜん)	完全(ぜんぜん)

言葉と表現

一、动词「増す」（本文）

上司の信頼も徐々に増してきました。

动词「増す」有自动词和他动词两种用法。作自动词时表示数量增多、程度加深。用「増す」表示的程度一般是主体自身拥有的东西。例如：「親しみが増す、食欲が増す、人気が増す、実力が増す、教養が増す、体重が増す、負担が増す、可能性が増す、スピードが増す」等。

- 学習は、自分から積極的に行うことによつて興味も増し、能率も上がる。（学习是要自己积极地学，才会增强兴趣，提高效率。）

● 地震は強さも回数も日ごとに増していった。（地震的强度一天比一天厉害，次数也一天比一天多。）

- 最近、中国企業による日本企業の買収が相次いでいる。今後もその勢いが増していくことが予想される。（最近陆续发生了几起中国企业对日本企业的收购。可以预计这个势头今后将会越演越烈。）
- 水かさが増せば船も高くなるわけで、物価が上がれば他の費用も自然と上がっていく道理だ。（水涨船高，物价涨了别的费用自然也会提高的。）

二、…を抜きにして（本文）

個人の感情を抜きにして、不愉快な感情を表に出さず、…

「…をぬきにして」表示「本来あるべき物の中から、Aを除いた状態でBをする」。用「…をぬきにし

ては」的形式可以表示「本来あるべき状態からAを除いた場合、Bが成り立たない」。

- 子供の進路を本人の意見を抜きにして決めるべきではありません。（不可以不征求孩子本人的想法擅自决定他今后的发展方向。）

- きょうは忘年会です。商売の話を抜きにして楽しくやりましょう。（今天是忘年会，我们不谈生意，玩个痛快。）

- 根拠となるデータを抜きにしては、説明になりません。（没有数据的支撑，说明不了问题。）
- こんな大切なこと、部長を抜きにしては決められません。（这么重要的事没有部长决定了。）
- 我们还经常看到「抜きで（は）」的用法。意思和「…をぬきにして（は）」相同。
- ワサビ抜きの寿司なんて、まずくて食べられません。（寿司没有芥末不好吃。）
- 説明抜きですぐ討論に入ります。（我们就不作说明了，马上开始讨论。）
- 二国間の話し合いは、領土問題抜きでは進められません。（两国间的谈判一定会涉及领土问题，否则无法进行。）

三、一向(に)…ない（会話）

一向に楽しい様子を見せない。

「一向(に)…ない」表示「全然…ない」「少しも…ない」，强调否定。讲话者期待着某件事情的发生，

但是没有迹象表明事情会发生，因此讲话者在情绪上显得焦躁和疑惑。

● 三十分も待つたが、彼は一向に現れない。（等了他三十分钟。可是他连个人影都没有。）

● 政府がいろいろな手を打つたが、地価は一向に下がる気配がない。（政府采取了各种措施，可是没有迹象证明地价会下跌。）

● いくら手紙を出しても一向に返事がないが、体の具合でも悪いのだろうか。（给他写了好几封信，可是连一封回信都没有。也不知道他身体可好。）

四、词语「この間」和「この前」（会話）

(1) この間

以讲话时间为基准，表示刚过去的一段时间，相当于中文的「前些日子」。在句中构成状语，也可以后续「の」作定语。口语中常用「こないだ」。

● この間からずっと考えていたんだけど、今度学校をやめようと思う。（这些日子我一直在考虑，这次我想辞去学校的工作。）

● この間はいろいろお世話をになりました。ほんとうにどうもありがとうございました。（前几天给您添麻烦了，真是太感谢您了。）

● この間の話はとてもおもしろかったです。（上次的谈话很有趣。）

(2) この前

以讲话时间为基准，指前面一次，反义词是「この次」。也可以表示在此之前的日子里，近义词是「この間」。

- この前はどこまでやりましたか。（上次做到哪里了？）
- この前の日曜日は雨で行けなかつたので、この次の日曜日に行くつもりです。（上个星期天因为下雨没能去成，打算这个星期天去。）
- 父はこの前から、体の調子が悪くて、寝たり起きたりしています。（父亲前些日子开始身体不好，时而要卧床休息。）

五、「から」表示脱离的场所（応用文）

旅行はその枠から出られる、ただ一つの機会だったわけだ。

「から」可以表示从某种不好的状态或事件中摆脱出来。

- 現在の都会生活は、自然の過酷さから人間を守り、一年中快適な生活環境を提供してくれるが、そうした中で生きる人間は果して心身ともに健康であるのだろうか。（现在的都市生活保护了人类，使其免遭严酷的自然的影响，一年四季都能过上舒适的生活。但是我怀疑，生活在这样的环境中，人的身心究竟能不能保持健康呢？）
- しばらくピアノの練習から遠のいていたので、指が思うように動かなくなつた。（由于好久没有练习钢琴的缘故，手指都有点不听使唤了。）

● 人間の生活は、自然との戦いから始まつたといわれています。戦いといつても最初は自然のきびしさからどのように身を守るかということでした。（都说人的生活是从同自然作斗争开始的。其实，说是斗争，最初也就是指人如何远离严酷的自然，保护自己免遭其影响。）

六、接头词「無」「非」「不」（応用文）

今日は無礼講で飲もう。

接头词「無(ぶ)」接在名词或形容动词词干前面，表示「でない」「：がよくない」。例如：「無遠慮、無(不)作法、無難、無事、無愛想」。

「無」还可以读成「む」。例如：「無意味、無免許、無資格、無意識」，表示「その状態がない」「そのものが存在しない」。

与「無」同样表示否定的接头词还有「不(ぶ)」和「非(ひ)」。例如：「不(無)案内、不(無)用心、不器用、不氣味、不格好、不愛想」。「不」也可能读成「ふ」，例如：「不案内、不用心、不如意、不妊、不人情、不親切、不払い、不經濟」。

和「非」一起用的词有：「非公式、非常識、非能率、非公開、非課税所得、非合法、非科学的」等。

● 一日三食、みな学校の食堂でするのでは、不経済ですね。（一日三餐都在学校食堂吃的话太不经济了。）

● あのは、健康のことにはひたすらとられて、病的になつてゐる。しかし、本人はそれにまだ自覺な状態だ。（他这个人太过注意自己的健康，都已经成病态了。只是，本人还处于无感觉状态。）

- 「神のたたり」なんてまだそんな非科学的なことを信じているのか。（什么「神在作祟」，你还相信这些不科学的事情吗？）

七、ふりをする（応用文）

電車の中で、お年寄りが立っていても知らない
ふりをしていながら、：

- 「ふりをする」接在「名词+の」或动词连体形后面，表示「装作……」「假装……」。一般用在不好的场合。
- 実際はお転婆娘えんぱうめいなのに、人前ではおとなしいふりをするのを「猫をかぶる」と言う。（明明是个疯丫头，在人面前还装出一副老实的样子，这叫做「装老实」。）
 - 彼女はいつも忙しそうなふりをして、ぼくと顔を合わせてもあいさつしようとしません。（她常常装出很忙的样子，见到我也不想打声招呼。）
 - 彼は何でも知っているふりをしていますけど、実は何も知りません。（他装作什么都知道的样子，其实什么都不知道。）

八、…(よ)うと、…(よ)うと（応用文）

何年日本に住んでいようと、日本人より日本的であろうと、いつまでも「外人」と呼ばれるという嘆きを聞いたことがある。

推量助动词「う（よう）+と」接在动词或活用词的未然形后面，表示无论何种情况结果都是相同的；或者表示无论你做什么都与我没有关系。所举例子可以是两件完全相反的事情，也可以是同种性质的事情。

- 这个讲法也可以用在体言、形容动词谓语句，用「であろうと、であろうと」的形式。「であろう」是「である」的未然形，「う」是推量助动词。也可以接在形容词后面，用「からうと」。
- この病気になつたら、手術をしようと、薬を飲もうと、もう治らないのだ。（得了这个病，手术也好，吃药也好，都治不好。）
- 彼が大学を選ぼうと、専門学校を選ぼうと、好きにすればいいのです。（上大学也好，进专科学校也好，做自己喜欢的就行。）
- 大事であろうと、小事であろうと、みんな喜んで彼に相談します。（无论大事还是小事，大家都喜欢和他商量。）
- うまかろうと、まずかろうと、黙つて食べなさい。（不管好吃不好吃，什么都不要说，吃就是了。）

九、：まいとする（応用文）

入れないことで、「ウチ」社会を壊すまいとしている
からなんだろうが、：

否定推量助动词「まい」表示否定的意志。「まい」接在动词、动词型助动词终止形后面，一段动词也

可以接在未然形后面，サ变动词也可以是「すまい」。「：まいとする」属于书面语，意思是「ないようにする」，表示主语努力不让某种情况发生。例如：「笑うまいとする」讲的是主语努力抑制着自己想笑的念头。「：まいとして」的场合，可以省略「して」。

● 目にあふれる涙を人に見られまいとして、体を背けました。（他背过身去不想让人看到自己眼

睛里的泪水。）

● 授業に遅れるまいと、急いで地下鉄に乗ってきました。（我急匆匆地乘上地铁，以免上课迟到。）

● 笑うまいとしても、おかしくてつい笑ってしまった。（我不想笑。可是太好玩了，不由自主地笑了起来。）

ファンクション用語

申し出る

学生 先生、期末のお仕事、大変だそうですね。

先生 うん。 ゆうべやつと採点が終わつてね。

学生 そうですか。何かお手伝いできることがありまし
たら……。

先生 そうだね。じや、わるいけど、この資料をコピー
してくれないかな。

学生 はい。コピーしてすぐ研究室へお持ちします。

練習

一、漢字にふりがなをつけなさい。

本音 音 音樂 信賴 賴む 盛り上げる 繁盛 働き盛り 盛大 表 表す 表面 白ける
白人 白黒 テレビ 上下 下車 下旬 下す 下ろす 木下 部下 亂す 亂暴 任務 任す
嘆き 感嘆

二、次のことばの上に「無・不・非・未」のいずれかをつけてみてください。

()得意 ()関係 ()成年 ()規則 ()関心 ()可能
()自然 ()開発 ()理解 ()意味 ()神經 ()干渉

三、○に仮名を入れなさい。

(1) 今日は商談成立○こぎつけました。

(2) 長谷川さんは会社の代表○して、個人の感情○抜き○し、不愉快な感情を表○出さなかつた。

(3) 「建前」は公的な立場○○○見解について述べるときに使われる。

(4) 和を保つためには、原則である「建前」○コミュニケーションすることが必要になる○○だ。

(5) 李さんは中国人とは思えない○○○演歌が上手だ。

(6) それは日本社会○おいてはタテマエっていうものだ。

(7) 陰○悪口を言われちやつた。

(8) 多くの人は生まれた土地を離れる○○○○、死ぬ○○同じ所に住み、そのうえ、厳しい上下関係の中○生きていた。

(9) 旅行は厳しい上下関係の枠○○出られる機会だ。

(10) 現代の日本では、社会全体○○○○上下関係はほとんどなくなつた○○○○○○○、昔とはまた違つた集団の秩序がしつかり出来上がつていてる。

(11) 電車の中で、お年寄りが立つても知らないふりをしておき○○○、自分の先輩や会社の上司が乗つてくる○、慌てて席を譲ること○○ある。

(12) 「今日は無礼講○飲もう」と○○○、その時○○は相手が自分○○上か下かなどは忘れ、失礼があ○○○、少しぐらい○○気にせず付き合うことができる。

(13) 何年日本に住んでいよう○、日本人より日本的であろう○、いつまでも「外人」と呼ばれる。

(14) 「ソト」の者をなかなか「ウチ」へ入れよう○○○○のは、「ウチ」の秩序が乱され○○ないかと心配し、そうすること○、「ウチ」社会を壊す○○○○○○○○からなのだろう。

四、次の語群から最も適切なことばを選んで
て入れなさい。

息抜き 盛り上げる 陰 保つ 亂す こぎつける

- (1) わたくしとしても、()であなたのご多幸を祈つていきましたよ。
- (2) 何週間もの交渉が実つてようやく契約に()ました。
- (3) お祭りの気分を最高に()のは、なんと言つても仮装行列だ。
- (4) 人間はじつと運動しないでいても、体温を()ため、刻々栄養分を燃やしている。
- (5) 美しい花だが、繁殖力が強く、生態系を()恐れがあると指摘する専門家もいます。
- (6) 果たして受験勉強は勉強だけをすればよいのか。()も毎日ちゃんと取り入れなければと思ひます。

五、各項に挙げたことばを使って次の文を完成しなさい。

- (1) 拠きにして・抜きで
- ① ()の結婚生活なんて、がまんできない。
- ② (), 君の考えを聞かせてくれ。
- ③ 交通機関についての問題は()論じることはできない。
- ④ この国の将来は、()ありえない。
- ⑤ ()仕事に出る人がいるが、健康上いいことじゃない。
- (2) 一向(に)…ない
- ① まじめに勉強しているのに、()のはどういうわけだろう。
- ② 注射もしたし、薬も飲んでいるけれど、()気配がない。

わたしはそのような問題には、()。

()。

人が多いようだ。

私の友達の中には、仕事志向で、家庭の事など()。
その息子は母親のいうことに()。

(3) から

① 人間が、()、自由な時間を持つことは、何よりも人間にとつて望ましいことだ。

② この十年の間に、中国の自動車産業は()、基礎を固めながら、安定した高度成長期に突入した。

③ ()には、どうしたらよいと思ひますか。

④ ()、ゆとりある生活が送れるように頑張ろう。

⑤ ちびちび節約しても()どころか、もつと貧乏臭くなるだけだ。

(4) ありをする

① ()、実は漫画を読んでいます。

② とても感動したのに、()。

③ 部屋にいるのに、()。

④ ほんとうは元気なのに、()。

⑤ 電話に出ようとしない。

⑥ ほんとうは元気なのに、()。
間違ったことをやって親に叱られたこともないわけではないが、そんなときは、()のだ。

(5) …(よ)うと、…(よ)うと

この魚を(

)、お好きなようにしてください。

こんなに道が混んでいるのでは、(

)、遅れることは間違いない。

君が(

)、どこまでも追いかけていくぞ。

人をかむ犬であれば、それが(

)、すべて打つべきものだ。

(5) (

)彼は毎日運動をするようにしている。

(6) …まいとする

① (

)気持ちだったので、会社を辞めたことは言わなかつたのだ。

② (

)けれど、やはりあの子のことが気になつて眠れない。

③ (

)隠そつとすると、かえつて知られてしまうものだ。

④ (

)が、息子の顔を見ると、がまんできず、つい大声で怒鳴りつけてし

まつた。

⑤ (

)あれこれと努力してみたが、やっぱりダメだつた。

六、次の質問に答えなさい。

(1) 木下課長はどうして困った顔をしていたのですか。

(2) 長谷川さんはあまり楽しくなかつたはずなのに、どうして楽しかつたと言つたのですか。

(3) 「建前」と「本音」はそれほどどんな意味ですか。

- (4) 無礼講といふことばの意味を説明しなさい。
- (5) 「ウチ」社会と「ソト」社会との関係を説明しなさい。
- (6) 上下関係が厳しく守られている日本社会では、なぜ無礼講のような息抜きが必要なのですか。
- (7) 日本人はなぜ外国人を「ウチ」に入れようとしているのですか。
- (8) 中国にも「ウチ」社会と「ソト」社会が存在していますか。

七、括弧内のことばを使って次の中国語を日本語に訳しなさい。

- (1) 抛开个人的好恶与每个人友好相处，这在集体生活中是很重要的事情。正因为充分注意到了这一点，四年中我们班没有发生过争吵，直到毕业大家都是好朋友。（：を抜きにして）
- (2) 从上世纪八十年代开始掀起了日本热。乘着这股热，很多外国人来到了日本。对于这一点，很多日本人担心日本社会的秩序会不会因此变得混乱。当然，我们无法说对日本社会的秩序不会产生任何影响。但是，通过留学，留学生们从日本学到了不少的东西，增进了和日本人民之间的理解。（一向に：ない）
- (3) 哭也好闹也好你想怎么做就怎么做好了。这么不知羞耻的人我还是第一次遇到。（：ようと、：ようと）
- (4) 今天无法逃脱媒体的采访了吧。（から）
- (5) 因为刚来这儿不久，一切都很不熟悉。今后请多多指导。（不案内）
- (6) 我想他对于这件事情不会装聋作哑，一定会管的。（ふりをする／かまう）

- (7) 在吸取外来文化的同时，我们也不想失去自己国家的文化。（まいとする）
(8) 前几天遇见她的时候好像还很健康的样子，怎么会突然病了呢？（この間）
(9) 所剩时间不多了，大家的焦躁情绪也越来越严重。（増す）
(10) 试用了所有的新药都不见效。看到现代医学阻止不了病情的恶化，作为医生我感到揪心般地难受。（ありとあらゆる／一向に：ない／胸を締め付けられる）

八、辞書を調べながら次の日本語を中国語に訳しなさい。

年功序列制というのは、勤続年数に応じて、地位や賃金体系が設定されている明確な制度であるが、このように制度化されなくとも、日本のどのような分野における社会集団においても、入団してからの年数というものが、その集団内における個人の位置・発言権・権力行使に大きな影響をしているのがつねである。言い換えれば、個人の集団成員との実際の接触の長さ自体が個人の社会的資本となっているのである。しかし、その資本は他の集団に転用できないものであるから、集団をAからBに変わるこということは、個人にとって非常な損失となる。

日本人の転職による移動性の少ないことは、よく「集団主義」とか、会社に対する「忠誠心」などによって説明されたりするが、それはむしろ本書で明らかにする日本人個々人をとりまく社会的条件に対し、個々人の選択の結果生まれた現象と見るべきで、日本人が他の国の人々より、生来そのような性格を顕著に持っている特殊民族などと考えるのは当をえていない。

すなわち、個人が同一の会社にとどまるのは、会社に対する忠誠心などというよりも、ここで論じている社会的損失が、転職した場合、個人にとつていかに大きなものであるかを察知することができるからである。

因みに、近年増加したといわれる転職のケースをみると、その大部分が入社してまもない、たとえば二～三年内の若者層に集中している。彼らの場合は、まだ社会的資本の蓄積が低く、転職による損失が少ないためである。また、転職のケースが中小企業の従業員により多くみられるのは、経済的・社会的安定度が大企業の場合より低いために、個人にとって相対的に社会的資本蓄積の価値が低くなるからである。

（中根千枝「タテ社会の人間関係」より）

第八課 ゴミ

本文

ゴミの処理は多くの国で問題になつてゐる。ほかの国にゴミを運んで、処理をたのむ場合もあるそうだ。日本でも最近、関東地方のある県が、遠く東北地方にまでゴミを運んで処理をたのんだが、話し合いがうまくいかなくて、まだ問題は解決していないそうである。とくにビニールやプラスチックのゴミは処理が難しく、地中に埋めることが多いが、埋める場所も限界に近づいている。

最近の『広報東京都』に、「各家庭から出るゴミは、一人ひとりのちょっとした努力と気づかいで減らすことができます」という記事が出ていた。また、けさの新聞には、北海道のある町の場合についての投書が出ていた。ゴミを出す時は乾電池、生ゴミ、固形燃料など六種類に分けて出す。乾電池は市中の数か所にあるポストに捨てる。生ゴミは処理して、老人のための施設で燃料として使うそうである。「ゴミをこまかく分けて出すのは、最初はめんどくさいけど、そのうちになれてしまします」と投書者は言う。

このような捨てかたの工夫も大切であるが、ゴミをあまり出さないようにすることも必要であろう。

買い物をするたびに包み紙を捨てなければならない。おくりものをもらうと、きれいな包み紙の中にまた箱やカンがあつて、結局、中のものと同じぐらいのゴミが出る。しかし、きれいな包み紙がなければ、商品は売れないのが現実だ。「一人ひとりの努力」だけでは不十分である。商品の流通機構そのものをかえなければ、ゴミ問題は解決しようもない。

会話

(一)

(管理人(男性)と、マンションへ引っ越してきた女性の会話)

男 女

男 女

男 女

男 女

男 女

男 女

男 女

男 女

男 女

男

ふたをしないと、ネコが中のものを出して食べますから。
はい、分かりました。

男

もえないと、ゴミ、プラスチックやなんかは、水曜日に建物の裏においてください。水曜日だけです。

すよ。
はい。

男

あきカンとかビンとかもね。

女

ええ。あの、乾電池は？

男

乾電池？

女

前にいた町では、乾電池を捨てるボストがいくつかあつたんですが。

男

さあ、この辺にはないと思いますが。

女

ゴミはこまかく分けて出したほうが、処理がらくなんですね。出すほうは面倒くさいんですけど。

男

まあね。

女

物が豊かになつて、ゴミが増えるから、処理がたいへんなんだそうですね。

男

そうですか。

女

お中元やお歳暮の時なんか、箱や包み紙がいっぱいになつてしまつて困りますね。

男

困りませんね。

女

え？

男

うちはもらわないから。

女 あ、そうですか。じゃ、また。

(二)

(夫と妻がレストランで食事をしながら話している。)

夫 あ、そんなに残すの。

妻 うん、多いもの。

夫 そういうふうに残す人がいるから、ゴミが増えるんだよ。

妻 いや、ゴミにしないために、苦しくても残さないで食べなさいと言うの。
夫 ほくはそうしている。

妻 だからふとるのよ。多い時は残さなきやだめよ。

夫 ゴミ処理は現代文明の大問題なんだ。ゴミを出さないように努力するのが、現代人の義務だ。

妻 いや、言いますけど、あなたがいつも買ってくるラジオやレコードやカメラはどうなの。
夫 どうつて？

妻 買つてもあまり使わないんだから、ゴミと同じよ。うちじゅうゴミだらけよ。

夫 それなら、君の洋服だって同じだよ。安いからといって買つてもほとんど着ないんだからゴミと同
じじゃないか。

妻 そのうちに着るわよ。

応用文

夫 いま着ないものはゴミと同じだから、全部捨てれば、うちが広くなるよ。

妻 あなたがおもちゃを捨てれば、わたしも洋服を捨てるわ。

夫 でも、あまり捨てると、市役所がゴミ処理に困るだろうな。

妻 そうね。じゃ、捨てないことにしましょう。

(水谷信子著『総合日本語』による)

地球の自然を守ろう

一九七二年、スウェーデンのストックホルムで世界で初めて「国際人間環境会議」が開かれ、多くの国が参加して、地球の自然を守るために国際的に協力しようという話し合いが行なわれた。それ以来、国際会議は定期的に開かれているが、効果はなく、地球の自然破壊は進む一方である。早急に手を打たなければならぬ。人類は深刻な問題を抱えているのである。

例えば、アフリカでは砂漠が一日に一五メートルずつという非常な速さで広がっているという。三〇〇〇年もの間、緑豊かな美しい土地だった所が、一九七〇年ごろから始まつた急速な砂漠化で、今ではすっかり砂に埋もれてしまつてゐる。湖も池も消え、農作物はもちろん、家畜のえさになる草も育たない。この砂漠化を引き起こしたのはほかでもない、私たち人間である。人が木を切り、家畜に草を食べさせる速さと量は、草木が自然に芽を出し、育つ速さと量とは比べものにならない。

アジアの国々でも、人が木を切り、森林を破壊するということによつて、自然環境の変化が起きてゐる。緑のなくなつた土地では、少しでも雨が降ると、土が流されて、川底にたまり、川を浅くする。その結果、毎年洪水が起るのである。

また、地球を取り巻く空気の問題も無視できない。人々の生活から出される二酸化炭素やフロンガスは気温を上げる。車や工場から出される排気ガスは空気を汚し、その汚れた空気も自然破壊につながつてゐる。恐ろしい酸性雨が生み出され、木々や農作物は枯れ、土地そのものも破壊されてしまうのである。酸性雨に汚された川や湖では魚が生きられない。魚も植物も生きられない地球では、人間も生きられないはずである。人間は自分たちの都合ばかりを考えて、地球を自分たちが住めない場所に変えてしまつてゐるのだ。生活が少しでも便利になるようにと工業化を進められるだけ進め、地球の緑をエネルギーに変えて消費し続けてきた国々もあれば、人口増加に伴つて人々の生活のために木々を切り倒してきた国もある。このどちらもが自然破壊をもたらしたことは明らかである。

地球の環境問題に関する国際会議があちらこちらで開催され、新聞やテレビでもそのニュースが報道されている。今何か対策を立てて解決を急がなければ、環境破壊はどんどん拡大し、手遅れになつてしまつ。この大切な地球を守つて、住みよい場所にできるかどうかは私たち次第なのである。

(荒井礼子ほか「中級から学ぶ日本語」による)

单語

関東地方(専)⑤	県(名)①	東北地方(専)⑤	話(名)①	解決(名・他サ)①	ビニール(vinyl)(名)②	プラスチック(plastic)(名)④
(日本)关东地区	县	(日本)东北地区	协商、商议	解决	塑料薄膜、乙烯基	地中(名)①②
乾电池(名)③	生ゴミ(名)①②	固体(名)①	燃料(名)③	数か所(名)③	地中、地下	広報(名)①
干电池	厨房扔掉的含水分的垃圾	固体、固体	燃料	めんどくさい(面倒臭い)(形)⑥	塑料	努力(名・自サ)①
不充分、不完全	非常麻烦、极其费事	几处	投稿者	非常麻烦、极其费事	宣传、报导	努力
北海道(专)③	包装纸	投稿者	投書者(名)③	包装纸(名)③	缶(名)①	商品(名)①
不充分、不完全	罐头	投稿者	包み紙(名)③	商品	商品(名)①	事實(名)①
北海道(专)③	事实	事实	事實(名)①	事實	事實(名)①	氣遣い(名)②
北海道(专)③	減少	减少	減らす(他五)①	努力	努力	努力(名・自サ)①
北海道(专)③	操心、担心	操心	気遣い(名)②	努力	努力	努力(名・自サ)①
北海道(专)③	不充分、不完全	不充分、不完全	減らす(他五)①	努力	努力	努力(名・自サ)①

(地名)

不充分、不完全

不充分、不完全

機構(名)①

* * * *

管理人(名)①③

引つ越す(他五)③

捨て場(名)①

燃える(自一)①

バケツ(bucket)(名)①

空缶(名)①

瓶(名)①

文明(名)①

現代人(名)③

義務(名)①

市役所(名)②

* * * *

ストックホルム(Stockholm)(专)⑤

(城市名)斯德哥尔摩

机构、组织

破壞(名・他サ)①
(也读「そうきゅう」)

早急(形动)①

手を打つ(惯)①

采取措施；拍手；达成协议、成交

人類(名)①

砂漠(名)①

沙漠化(名)①

砂漠化(名)①

砂漠化(名)①

埋もれる(自一)①④

湖(名)③

湖(名)③

農作物(名)④③

えさ(餌)(名)②①

家畜(名)①

育つ(自五)②

草木(名)②

芽(名)①

破坏

(也读「そうもく」)草木

发育、成长

饲料；诱饵

家畜

沙漠化

沙漠化

埋上；埋没

湖

農作物

餌

家畜

发育、成长

饲料；诱饵

家畜

发育、成长

(也读「そうもく」)草木

芽

森林	shinrin	森林	shinrin
川底	kaibashi	川底	kaibashi
たまる	taramu	たまる	taramu
洪水	kōfū	洪水	kōfū
取り巻く	takigiri	取り巻く	takigiri
空気	kuuki	空気	kuuki
無視	wishi	無視	wishi
二酸化炭素	nikusaitanisu	二酸化炭素	nikusaitanisu
気温	ki-in	気温	ki-in
汚す	ouisuru	汚す	ouisuru
汚れる	ouireru	汚れる	ouireru
酸性	sanksei	酸性	sanksei
雨	u	雨	u

森林	shinrin	生み出す	うみだす
河底	kaibashi	木々	きき
积存	kyūcun	枯れる	かれる
积压	kyūya	枯萎	かしげ
洪水	kōfū	植物	shokubutsu
围绕	kyōyō	植物	shokubutsu
捧场	hōjō	国々	くにくに
空气	kuuki	增加	zaidaku
无视	wishi	增加	zaidaku
二酸化碳	nikusaitanisu	増加	zaidaku
氟利昂	fuuriou	切り倒す	kiridatsu
气温	ki-in	明らか	めうか
開催	kaikai	明らか	meugaka
対策	taisaku	明らか	meugaka
拡大	kakudai	切り倒す	kiridatsu
手遅れ	teochire	明らか	めうか
汚染	ouisen	明らか	meugaka
弄脏	oujō	明らか	meugaka
次第	shidai	召開	shōかい
(接尾)	(kettsui)	召開	shōかい

全凭、视情况而定
为时已晚、耽误
扩大
对策
召开、举办
清楚、没有疑问
砍倒
增加
各国
植物
枯萎、枯死
许多树木
产生

言葉と表現

一、…臭い（本文）

最初は面倒臭いですが、そのうちになってしまいます。

(1) 接在某些名词下面，表示「有：气味」「有：派头」等。如：

「汗臭い、かび臭い、酒臭い、泥臭い、ガス臭い」。一般用于贬义。

● 体が汗臭いからはやくお風呂に入りなさい。（你身上有汗臭味，快洗澡吧。）

● 川の魚は泥臭くてあまり好きじゃない。（河鱼有土腥味，我不太爱吃。）

● あの人最近ちょっとバタ臭くなつた。（他最近变得有点洋洋气。）

(2) 接在某些表示贬义的形容动词词干后面，用以强调。如：「面倒臭い、照れ臭い、馬鹿臭い、けち臭い」。一般用于贬义。

● そんな馬鹿臭いことをするのはよしなさいよ。（快别干那种傻事了。）

● うちの親父はけち臭くて、その金を絶対にくれないよ。（我那老爸好小气，这钱是绝对不会给的。）

二、…ようが（も）ない（本文）

商品の流通機構そのものを変えなければ、ゴミ問題は解決しようもない。

「よう」接在动词连用形后面，表示方法。「ようが（も）ない」表示「无法：」。

- その時の気持ちは言葉では表しようがないほどだった。（当时的心情简直无法用语言表达。）

● こんなに壊れてはもう直しようがない。（坏成这样已经无法修了。）

● 彼の行く先がわからないので連絡しようがない。（不知道他的去处，所以无法联络。）

● 彼がかんしゃくを起こしたときは、まったく手のつけようがない。（他发脾气的时候真是拿他没办法。）

「ようがない」还可以表示「はずがない」。

● この道は簡単だから迷いようがない。（这条路不复杂，不会迷路。）

● これだけ丁寧な説明書があるので機械が苦手な人でも間違いやうがないだろう。（有这么详细的说明书，即便是不善于摆弄机器的人也不会出错。）

● これは安全に作られているので、普通の使い方では怪我のしようがない。（这很安全，所以一般的用法不会受伤。）

三、接尾词「だらけ」（会話）

家中ゴミだらけよ。

「だらけ」接在名词后面，表示有很多。一般用于贬义。

- 間違いだらけの作文は直すのに時間がかかる。（错误百出的作文改起来很费时间。）

● 道が穴だらけで、歩きにくい。（路上坑坑洼洼的不好走。）

● この部屋は誰も住んでいないので、ほこりだらけだ。（这屋没人住，积满了灰尘。）

四、惯用语「手を打つ」（応用文）

早急に手を打たなければならない。

「手を打つ」除了表示鼓掌外，还能表示采取措施或买卖达成协议。

- うわさが広まらないように手を打たなければならない。（要采取措施以免流言蔓延。）
- わたしたちの案に反対する人が出ないよう、前もって手を打つておいたほうがよい。（还是要预先采取措施，以防有人反对我们的提案。）
- この値段で手を打つとすれば、どのぐらい注文なさるつもりですか。（如果以这个价格成交的话，那么你们打算订购多少呢？）

五、数字+もの+名词（応用文）

三〇〇〇年もの間、緑豊かな美しい土地だった所が、

一九七〇年ごろから始まつた急速な砂漠化で、：

「数字+もの+名词」表示数量之多，强调事物程度之厉害。

● 五十キロもの道のりを何日も歩き続け、みんなはもうくたくたに疲れ果てていた。（每天五十

公里之多的路，已经连着走了好几天了。大家都累得疲惫不堪。）

- 十人もの男が出入り口をふさいで、人を通さない。（十几个男人堵住了出入口，不让人进出。）
- このプロジェクトにはすでに何千万元もの研究費が使われちやつたのだが、残念ながらまだ何の結果も出ていない。（这个项目已经用去好几千万元的研究经费，遗憾的是还没有出任何成果。）

六、…ようなど（応用文）

生活が少しでも便利になるようにと工業化
を進められるだけ進め、：

「…ようなど」接在活用词的连体形后面，可以是「…ようにして」と思つて的省略，表示主语的希望或者动作的目的。也可以是「…ようになさいと言つて」的省略，表示对对方直接提出希望或要求。

- 風邪を引かないようにと、母は子供にふとんをしつかりかけてやつた。（「可不要感冒了」，母亲心里这么想着，一边为孩子盖好了被子。）
- 早く元気になるようにと、医者の言うとおりに治療を受けた。（想要早点康复，我乖乖地接受了医生的治疗。）

- 二人の僧は、どうか日本に来てくださるようなど、鑑真に頼んだ。（两个和尚拜托鉴真道：「请您来我们日本。」）

● 酒は健康に有害だから、飲まないようにと医者から注意された。（医生提醒我不要喝酒，因为这不利于健康。）

七、动词+だけ+同一动词（应用文）

生活が少しでも便利になるようにと工業化を進められるだけ進め、：

这个表达方式可以有三种用法。①「动词(る)+だけ+同一动词(て)」，表示该做的事情没有做，只做了动词表示的事情。②「だけ+同一动词」接在动词可能态后面，表示「尽可能做：」。③接在「たい」后面，表示做到欲望得到满足为止。

- 文句を言うだけ言つて何も手伝つてくれない。（净发牢骚，一点儿都不知道帮忙。）
- 少しでも時間があれば読めるだけ読みなさい。（只要有时间，你尽管看好了。）
- 日曜日は思い切り寝たいだけ寝ることにしている。（星期天我总是睡到不想睡为止。）

八、：に関する（应用文）

地球の環境問題に関する国際会議があちらこちらで開催され、：

「に関する」表示「有关：」「关于：」。「に関する」后接体言作定语，修饰动词作状语时，用「に関する」表示「有关：」「关于：」。「に関する」一般用于书面语。

- この事件に関する調査報告を読みました。（有关该事件的调查报告我已经看了。）
- 将来に関する希望を聞かせてほしい。（我想请你谈谈你对未来的期望。）
- その写真に関して懐しい思い出がある。（有关这张照片还有一段令人怀念的往事。）
- 双方は当面の世界の情勢など、ともに関心を持つ問題に関して十分に意見を交換した。（双方就当前世界形势等共同关心的问题充分地交换了意见。）

九、动词连用形+よい（应用文）

この大切な地球を守つて、住みよい場所にで
きるかどうかは私たち次第なのである。

- 「よい」是补助形容词，接在意志动词的连用形后面（不能接在无意志动词和表示自然现象的动词后
面），表示行为、动作主体的一种主观评价，主体在进行某一行为时感到舒服、顺当。
- コンピューターが使いよいかどうかはソフトで決まる。（电子计算器好不好使取决于软件。）
 - 最近はきよい靴は見つけにくいですね。（最近穿起来很舒服的鞋子不易找哪。）
 - この万年筆はペン先が滑らかで書きよいです。（这支钢笔笔尖润滑，很好写。）

十、次第（应用文）

住みよい場所にできるかどうかは私たち次第なのである。

(1) 作名词，表示程序、次序，或情况、经过。

文芸の夕べの次第は一応決めました。チエツクをお願いします。（文艺晚会的仪式已定好了，请确认一下。）

結婚式はまえもつて決まった式次第に従つて順調に行なわれた。（结婚仪式按照预先定好的程序进行得很顺利。）

事の次第を十分考慮して適切に対処する。（我会充分考虑情况作适当处理。）

(2) 作接尾词用，表示「要看：（而定）」。

日本語のレベルがどのぐらい高められるかはきみたちの勉強次第だ。（日语水平能够提高多少，这要看你们的努力情况了。）

「地獄の沙汰も金次第」とは、お金があれば何でも自由に出来るという金の力を皮肉つたことわざだ。（「有钱能使鬼推磨」这个谚语讽刺了迷信金钱的力量，认为有钱什么都能办到的想法。）

いいと言つてくれるかどうかはその時のかれの気持ち次第だ。（同意不同意要看他那时的心情了。）

(3) 接在动词连用形后面，表示「…するとすぐに」的意思。

手紙を受取り次第返事をした。（一收到信立即就写了回信。）

着き次第、連絡する。（一到我就联系。）

ファンクション用語

ことづける

● 学生 あのう、すみません、こちらに李先生いらっしゃいますか。

係 今いらっしゃいませんけど。

● 学生 あのう、じつは二時からの会議にわたしも出るよう言わ
れていたんですが、急に用事ができて、出られなくなりま
したので、失礼するとお伝えいただきたいんですが。

係 はい。会議に欠席するということですね。わかりました。
お伝えします。

練習

一、漢字に振り仮名をつけて下さい。

機構 構う 固形 固定 固い 燃料 燃える 壊す 破壊 崩壊 早急 早々に 早口 早々

砂漠 砂浜 砂利 無事 無礼講 無視 無料 開催 催促 催し 次第 落第 及第 次回
次に 減らす 減少 加減 地中 生地 地面 地下

二、○に仮名を入れなさい。

- (1) ゴミを埋める場所は限界○近づいている。
- (2) けさの新聞にゴミ処理についての投書が出○○○。
- (3) 買い物をする○○○包み紙を捨てなければならない。
- (4) 商品の流通機構○○○○を変えなければ、ゴミ問題は解決し○○○○○。
- (5) ゴミをバケツに入れて、ふたを○た。
- (6) 地球の自然破壊は進む○○○○だ。
- (7) 三千年○○間、緑豊かな美しい土地○○○所が、今ではすっかり砂に埋もれてしまっている。
- (8) この砂漠化を引き起○したのは○○○○○○○、私たち人間である。
- (9) 緑のなくなつた土地○○、少し○○雨が降ると、土が流される。
- (10) 酸性雨○汚された川や湖○○魚○生きられない。魚も植物も生きられない地球では、人間も生きられない○○だ。
- (11) 生活が少しでも便利になるように○工業化を進められる○○進める国もある。
- (12) 地球を住みよい場所にできるかどうかは私たち○○○なのである。

三、次の語群から最も適切なことばを選んで（ ）に入れなさい。必要な場合は適当な活用形にして入れなさい。

気遣い 手を打つ 埋もれる 取り巻く 手遅れ

（1）四季の移り変わりに従つてわたしたちの生活を（ ）ていく。

（2）人に知れる（ ）がない。

（3）早く手術をしないと、（ ）になる。

（4）（ ）た人材を発掘する。

（5）二時間あまりの交渉を経て、重大な問題に関しては（ ）た。

）野山の景色が美しく変わつ

四、次の文の（ ）に「：化」を書き入れなさい。

（1）コンピューターの普及が進むにつれ、ますます（ ）社会になるだろう。

（2）その有名な小説がついに（ ）されることになったそうだ。

（3）工場では（ ）が進み、生産効率も上がってきた。

（4）（ ）時代に必要なことは、まず自分の国のことによく知ることであろう。

（5）この製品はすでに（ ）している。

（6）時代の変化に伴つて人々の価値観も（ ）してきている。

五、各項に上げたことばを使って次の文を完成しなさい。

(1) …くさい

部屋の中は()

髪の毛が長くて()

お札を言うなんて()

そんな考え方は()

疲れて口をきくのも()

ようもない()

あつちにもこつちにも借金だらけで、どう()

こうなつてしまつたらなんとも()

彼の病気はもう()

材料がなければ、いくら料理が上手でも()

飛行機が空港に着くやいなや、新聞記者にとりまかれて()

だらけ()

一週間掃除をしないと()

あの人にも、この人にもお金借りていて、()

空缶や紙くずが捨てっぱなしで()

試合の後だから、選手たちの服はみな()

全身に怪我をして()

()けど。もしかすると使った後消さなかつたのかしら。

()ので短く切りました。

()まねはやめよう。

()わ。もう時代遅れよ。

()ようだ。

()。

()。

()。

()。

()。

()。

()。

()。

()。

()。

()。

(4) 数字十もの十名詞

) 大雪で外出できませんでした。
) 熱でたいへんでした。

) 雪が積もった冬のある寒い朝のことだ。
) 生徒が廊下で騒いでいました。

) 太い松が美しい枝をたれている。

(5) 动词十だけ十同一动词

ほしいなら(

)。

毎日(

)三キロ太つてしまつた。

～(

)が、まだ少し足りなかつた。

～(

)気持ちがすつきりした。

～(

)が、生活は一向に改善を見せてくれない。

(6) : 次第

彼は怒つていて(

)その辺にあるものを投げつけた。

できないことはないさ。何事も君の(

)。

お父さんを説得できるかどうかは君の(

)。

適当な部屋はまだ見つかりませんが、(

)ださい。

給料を(

)両親に送金した。

お知らせしますからご安心く

六、次の質問に答えなさい。

- (1) 日本ではどうしてゴミの処理が問題になつてているのですか。
- (2) 広報や新聞には、どんな投書が出ていますか。
- (3) 商品の流通とゴミ問題の解決とはどんな関係にありますか。
- (4) 日本の家庭では、普通ゴミをどのように処理していますか。
- (5) どうしてゴミ処理は現代文明の大問題だと言われるのですか。
- (6) 「人間と自然」を題として発表してみなさい。

七、括弧内のことばを使って次の中国語を日本語に訳しなさい。

- (1) 人破坏森林开辟道路，以便能够利用汽车轻松地登上景色优美的山顶。人把自然界的产物作为资源利用的同时，还在按照自己的方便改变着自然的面貌。（…ようによると）
- (2) 桌上的东西尽管吃。只是不能拿回家去。（动词十だけ十同一动词）
- (3) 「趁不算太晚，快点请医生看看吧。」「可是，这样子说不定要住院的。这么忙的时候住院，真是烦透了。」「不要多想了，治病要紧嘛。」（…くさい）
- (4) 看到他伤痕累累的身体，感到十分震惊。说什么安慰他好呢？想了很久也没有想出适当的话来。（だらけ／ようがない）
- (5) 听说一年有三千八百万游客来京都玩。京都的魅力是什么呢？不是别的，只因为它是一个有着千年历史和文化的古都。（…もの）
- (6) 保护自然是关系到我们人类能否在这个地球上生存的大问题，决不可忽视。如果人类凡事只考虑

自己的方便，对自然破坏不采取措施的话，那么也许用不了多久人就会被地球抛弃。（手を打つ）

(7) 住在这一带真不错，安静，离市中心也不远。（…よい）

(8) 这次比赛能不能赢就看你们的努力了。一定要努力哦。（…次第）

(9) 花五百元买这样的东西，真是愚蠢至极。（…くさい）

八、辞書を調べながら次の日本語を中国語に訳しなさい。

生きているということは、いろいろな物を使うことであり、使うということはゴミを作り出していふことであるとするならば、ゴミはどんどん作り出されていくことになる。ゴミがどんどん増えていくのなら、その始末のしかたを考えないと、たいへんなことになる。

例えば、台所から出るゴミには、野菜くずや魚の骨や食べ残しなどが含まれるから、こまめに始末しないと、はえがわいたり、悪臭が発生したりして、不潔きわまりないことになる。家庭からは、ほかにも古くなつて使えなくなつた自転車やテレビなどの粗大ゴミと呼ばれるものも出てくる。こうした物を、かつてにどこかに捨ててしまうのでは、家の中はきれいにかたづいても、みんなの通る道やちょっとした空き地は、不潔で不快な場所になつてしまふ。そこで市などが、清掃工場を建て、各家庭のゴミを収集して、まとめて処理するのが普通である。それでも、出てくるゴミの増え方に、清掃工場も収集のための人手もなかなか追いついていかなくて、パニック寸前^{すんせん}の状態が生まれている。

第九課 環境を考える

本文

日本の環境問題は、一時期、世界のどの国よりも深刻だった。「公害先進国」とまで言う人もいる。戦後、経済が高度に成長して、日本は「経済大国」になつたおかげで国土は急速に荒廃して、公害が表面化してきた。

水俣と新潟の水銀中毒、四日市の大気汚染、東京・大阪近郊の光化学スモッグ、新幹線沿線の騒音と震動など、日本全土で公害は数えきれない。そのうえ、P C Bなど、一つの地域に限られない公害も出てきた。

工場廃液によつて、河川や海が汚染され、さかに水銀、カドミウム、P C Bなどが蓄積された。さかなをよく食べる日本人にとって、これは大きな問題だ。公害病にかかつた住民は、治療法もなく、苦しんでいる。

環境問題が深刻化するにつれて、被害者の住民が公害反対運動に立ち上がつた。公害企業に損害賠償を求める裁判が起こされ、四日市の大気汚染訴訟などで、いずれも住民側が勝つた。これらの

会話

浜田 ああ、富士山がよく見えますね。

田村 ええ、今日みたいに風の強い、よく晴れた冬の日には、この辺からでも見えるんですね。

浜田 本当にいい眺めですね。

田村 ええ。一時、冬でも見えなかつたのが、最近、またよく見えるようになつたんですよ。

浜田 ああ、そうですか。

田村 車の排気ガスに対する規制が厳しくなりましてねえ。

結果から、企業側も真剣に公害対策に取り組む姿勢をやつと見せはじめた。経済成長を考える前に、まず公害対策を考えなければならないという意見が強くなっている。政府なども公害はこれからの大きな社会問題になりかねないと考え、多くの法律を作つて、対策に乗り出している。公害問題の重要性を認識した政府と民間が一体となつて努力した結果、現在では、日本は公害対策先進国と称されるようになった。

しかし、地球温暖化など現代の環境破壊は以前のような限局的な環境とは異なり、地方レベルから国家レベル、さらに世界的規模の問題へと拡大しつつあり、一般的な公害対策では対応できないことが多くなり、それで、日本では新しい環境基本法が誕生した。この中で環境に関する基準や理念や施策などが打ち出されている。

浜田 あ、なるほど。富士山が見えるのは、空気がきれいになつた証拠なんですね。

田村 でも、最近また反対運動が起きましたね、例の観光道路の建設計画に。

浜田 ああ、自然林の中に道路を通すっていう。

田村 ええ。

浜田 いやあ、自然保護団体がだまつてゐるはずがありませんよ。

田村 そうですね。でも地元では、町が反対派と賛成派に分かれて対立してゐるそうですよ。

浜田 ほう、そうですか。それで、賛成派の主張つていうのは何なんですか。

田村 町の発展のためには、多少の自然破壊もやむを得ないっていうことなんですよ。

浜田 はあ。

田村 まあ、当然そういう人もいるだらうとは思ひますけどね。

浜田 でもねえ、あれだけ豊かなみどりは、ほかにありませんからねえ。貴重ですよ。

田村 ええ。

浜田 わたしがあそこの住民だつたら、やつぱり反対運動に参加すると思ひますよ。田村さんは参加し

たんですねか。

田村 いや、別に。

浜田 そういうことは早いうちにしなくちゃダメですよ。近所の人とみんなで行けばいいじゃないですか。

田村 ええ……。でも、ふだんあまり付き合いがありませんから。

田村 ええ……。でも、ふだんあまり付き合いがありませんから。

応用文

浜田 じゃあ、署名したらどうですか。

田村 署名？ そうですねえ。ごたごたするのはどうもねえ。

浜田 じゃあ、がまんするしかないですね。

(高柳和子・遠藤裕子他著『日本語会話』中級にもとづく)

富士山はほんとうにあるのか

数十年前のことであった。

万国博覧会見物のために、しばらく日本にいたある外国人が、あるとき、わたしの友人に、こう聞いたそ�である。「富士山は、ほんとうにあるのですか。」

この質問には、友人もさすがにおどろいたらしい。よく聞いてみると、日本へ来て富士山を見たいと思っていたが、新幹線に何度も乗つても、一度も富士山らしいものは見えない。そのほか、いろいろの場所で富士山が見えるという話を聞くが、実際には見たことがない。あの絵にかけてある美しい富士山は、ほんとうにあるのですか、というのである。

この質問はあまりにとつびで、笑い話のようでもあるが、そこには笑えないものがある。もちろん質問の意味は、観光の案内書などにはいつも富士山の写真や絵が出ていて、実際はそのような場所にはないのではないかという、単純な問い合わせなのである。まさかこれは、日本の空がひどく汚

れているという現実の大気汚染の問題をとらえて、ユーモアかひにくで言っているのではないと思うが、公害問題に関係しているわたしなどには、この話は、なにかそのままではない気持ちがする。

工業が盛んになるにつれて、日本の空は汚染され、それは戦前をはるかにしのぐほどになった。富士山の見える日が少なくなつたことは言うまでもない。

「富士山はほんとうにあるのか。」というのは、たわいのない話と言えるが、それが、「日本の山河はほんとうにあるのか。」というよくなさしせまつた話題になつたらたいへんである。わたしたちは敗戦のとき、「国破れて山河あり。」ということばを思い出し、しみじみこの気持ちを味わつたが、それが近ごろになって、「国栄えて山河なし。」といったような思いをするようになろうとは。——そうなつたのもみな、われわれ自身がしたことの結果なのである。

われわれはいつの時代にも、自分のしたことにそれぞれ責任をもつようにななければならないと深く感じる。

(学校図書「国語」にもとづく)

單語

一時期いちじき（名）③

先進国せんしんこく（名）③

一个时期

荒廢こうはい（名・自サ）①

表面化ひょうめんか（名・自サ）①

荒廢
表面化

发达国家

水俣 <small>(名) ①</small>	水俣 <small>(地名)</small>
新潟 <small>(名) ①</small>	新潟 <small>(地名)</small>
水銀 <small>(名) ①</small>	水銀 <small>(地名)</small>
中毒 <small>(名・自サ) ①</small>	中毒 <small>(地名)</small>
四日市 <small>(名) ③</small>	四日市 <small>(地名)</small>
近郊 <small>(名) ①</small>	近郊 <small>(地名)</small>
光化学スモッグ <small>(～Smog) (名) ⑦</small>	
震動 <small>(名・自サ) ①</small>	
P C B <small>(名)</small>	
廃液 <small>(名) ①</small>	
河川 <small>(名) ①</small>	
污水、废水、废液	
蓄積 <small>(名・自他サ) ①</small>	
公害病 <small>(名) ①</small>	
住民 <small>(名) ①</small>	
治療法 <small>(名) ①</small>	

苦しむ <small>(自五) ③</small>	苦しむ <small>(地名)</small>
被害者 <small>(名) ②</small>	被害者 <small>(地名)</small>
裁判 <small>(名・他サ) ①</small>	裁判 <small>(地名)</small>
賠償 <small>(名・他サ) ①</small>	賠償 <small>(地名)</small>
訴訟 <small>(名・自サ) ①</small>	訴訟 <small>(地名)</small>
姿勢 <small>(名) ①</small>	姿勢 <small>(地名)</small>
重要性 <small>(名) ①</small>	重要性 <small>(地名)</small>
認識 <small>(名・他サ) ①</small>	認識 <small>(地名)</small>
称する <small>(他サ) ③</small>	称する <small>(地名)</small>
温暖化 <small>(名) ①</small>	温暖化 <small>(地名)</small>
限局的 <small>(形動) ①</small>	限局的 <small>(地名)</small>
異なる <small>(自五) ③</small>	異なる <small>(地名)</small>
レベル <small>(Level) (名) ① ①</small>	レベル <small>(地名)</small>
积蓄、积累	
公害病	
居民	
誕生 <small>(名・自サ) ①</small>	

苦惱；費力；吃苦、受折磨	苦惱；費力；吃苦、受折磨
被害人	被害人
赔偿	赔偿
审理、审判	审理、审判
诉讼	诉讼
姿勢、态度	姿勢、态度
重要性	重要性
认识、理解	认识、理解
称为	称为
温暖化	温暖化
局限的	局限的
不同	不同
水平	水平
基本法	基本法
誕生	誕生

基準(名)①	理念(名)①	施策(名)①	打ち出す(他五)③①	標準、基準	多少(名・副)①	署名(名・自サ)①	ごたごた(副・自サ)④①	争吵、纠纷
主張(名・他サ)①	眺め(名)③	一時(名・副)②	規制(名・他サ)①	风景、景致	万国(名)①	博覧会(名)③	万国、世界各国	多少
賛成派(名)①	自然林(名)②	保護(名・他サ)①	慣例；先例；例子	とつび(突飛)(形動)①	案内書(名)①③	離奇、古怪	博覧会	署名、签名
対立(名・自サ)①	反対派(名)①	黙る(自五)②	自然的树林	まさか(副)①	单纯(名・形動)①	说明书	主張	超过；摆脱、闯过；抵御
主張(名・他サ)①	賛成派(名)①	沉默(自五)②	保护	捕らえる(他一)③②	难道、怎能、怎么	单纯、简单	対立	糊涂；天真；不足道
対立(名・自サ)①	反対派(名)①	黙る(自五)②	皮肉(名・形動)①	逮住、捕着；抓住	难道、怎能、怎么	单纯、简单	賛成派	超过；摆脱、闯过；抵御
主張(名・他サ)①	賛成派(名)①	沉默(自五)②	戦前(名)①	挖苦、讥笑	说明书	单纯、简单	対立	糊涂；天真；不足道
主張(名・他サ)①	賛成派(名)①	黙る(自五)②	しのぐ(凌ぐ)(他五)②	逮住、捕着；抓住	单纯、简单	单纯、简单	対立	超过；摆脱、闯过；抵御
主張(名・他サ)①	賛成派(名)①	黙る(自五)②	戦前(名)①	挖苦、讥笑	单纯、简单	单纯、简单	対立	糊涂；天真；不足道

差し迫る(自五)①④

敗戦(名・自サ)①

破れる(自一)③

あり(「ある」の文言体)①

迫近、逼近

しみじみ(沁沁)(副)③

輸掉、戦敗

榮える(自一)③②

灭亡; 破碎、破損; 败北

思いをする(组)

有、在

責任(名)①

深切、痛切

繁榮兴旺

感到、觉得

責任

言葉と表現

一、动词「求める」(本文)

公害企業に損害賠償を求める裁判が起こされ、…

「当店でお求めになつた品物は一年間の保証つきです」句中の「求める」表示「购买」。此外、「…を求める」可以表示希望、期待某件事的实现，例如：「平和を求める」「幸福を求める」「早期解决を求める」。也可以表示向对方要求做什么。例如：「助けを求める」「援助を求める」「救いを求める」。还可以表示努力地去获得，例如：「職を求める」「良縁を求める」「新しい知識を求める」。

- 授業にずいぶん遅れた私は先生から理由の説明を求められました。(我上课迟到了很长时间，

- 老师要求我说明迟到的原因。)

- 失業中の兄は職を求めて、毎日新聞廣告を見ています。(失业中的哥哥为了寻找工作每天都在

看报纸的广告。)

我们也可以经常看到「：が求められる」的用法，表示期待着某件事的实现。

- 被害がさらに広がる見込みで、関係者側の積極的な対応が求められている。（估计受害的范围将会进一步扩大，人们希望有关方面采取积极的应对措施。）
- 医療サービスについての問題がいろいろ指摘された中、医療体制の改善が求められています。（有关医疗服务的各种问题被提出来之后，大家都希望医疗体制进行改革。）
- 二十歳になるとさまざまな権利も与えられるが、多くの義務を果たすことも求められる。（到了二十岁之后会被赋予各种权利，同时也会被要求履行很多义务。）

二、：かねる／かねない（本文）

政府なども公害はこれからの大好きな社会問題になりかねないと考え、多くの法律を作つて、：

「かねる」接在动词连用形后面，表示讲话人不可能做某件事，或认为有困难而拒绝做某件事。含有「即便想做，事实上也不可能：」的语气。

- 雨の中で鳴いている子猫を見かねて、木村さんはそつと抱いて帰つたそうです。（小猫在雨中哀鸣。木村实在是看不下去了，于是轻轻地把它抱回了家。）
- 親友に頼まれたので、断りかねて借金の保証人になりました。（因为是亲友的拜托，感到不好

意思拒绝，所以就做了借款的保证人。)

- 友人にお金を借りに行つたのですが、やはり言い出しかねて、そのまま帰つてしましました。（我是去朋友家借钱了，可是觉得难以开口，于是什么也没说就回来了。）

「かねる」的否定是「かねない」，表示有这样的可能性或危险性。和「ないとはいえない」「かもしれない」的意思相近。一般用于不好的事情。

- あんなにスピードを出しては事故も起こしかねない。（开得那么快，难免发生事故。）
- このままほうつておけば、不良学生になりかねない。（就这么放任不管的话，他可能会成为坏学生的。）
- 彼は目的を達するためには、どんなことでもしかねない人だ。（他是一个为了达到目的不择手段的人。）

三、一体となつて（本文）

公害問題の重要性を認識した政府と民間が一体となつて努力した結果、現在では、⋮

「一体となつて」表示和成一个整体，无法分开。喻指同心协力。

- 夫婦が一体となつて働いていれば、いつかは生活がよくなる時がくると思う。（我想只要我们夫妇同心协力地工作，日子总有一天会好起来的。）

- 全員一体となつてがんばりさえすれば、今度の危機をきっと乗り切れると思う。（我想只要大家共同努力，一定能够克服这次危机。）
- 親子一体になつてやるのはきょうが初めてじゃないですか。（我们父子同心干事情好像这还是第一次吧。）

四、词语「例」（会話）

最近また反対運動が起きましたね、例の観光道路の建設計画に。

(1) 表示慣例、先例、实例。

- 寝る前に少し音楽を聞くのが例になつています。（我已经习惯睡觉前听一会儿音乐。）
- この会社も他の家電メーカーの例に倣つて海外投資に踏み切りました。（这家公司也像其他家电公司那样开始了海外投资。）
- 例にない渋滞で会社まで一時間遅刻してしまいました。（从来没有这么堵过，到公司迟到了一个小时。）
- 用「例の」的形式表示谈话双方的交谈中已经成为话题的事情。这种用法多半是为了避免直截了当地说出口。

- その後、何週間も過ぎました。何の返事もなかつたので、例の件はうやむやのうちに終わつた。（那之后，又过了好几个星期。因为没有任何的答复，那件事也就含含糊糊地过去了。）

- 地震の中心地は五年前の地震で大きな被害をこうむった例の村です。（地震中心就是五年前那场地震中受害最厉害的那个村子。）
- 例のところで、六時に待ち合わせましょう。（我们在老地方六点见面。）

五、まさか（副词・名词）（応用文）

まさかこれは、日本の空がひどく汚れているという現実の大気汚染の問題をどうえて、ユーモアかひにくくで言つてゐるのではないと思うが、：

「まさか」有副词和名词两种用法。作名词时表示「一旦」「万一」。如：

- まさかの時に備えて、食糧や薬品などを用意しておく。（预先准备好粮食和药品，以防万一。）
- まさかの時の用意に毎月少しずつ貯金している。（每个月我都存点儿钱，以备不时之需。）
- 「まさか」作副词时往往下接否定或反问语，表示「难道：」「不至于」「万没想到」等。
- まさか社長がご存じないはずはないでしよう。（总经理不至于不知道这件事吧。）
- あの試合で、まさかわれわれのチームが優勝するとは思わなかつた。（万没想到那场比赛我们队会赢。）
- まさか社長より先に帰るわけにもいかないし。（总不能比总经理早回去吧。）
- まさか私を忘れはしないでしよう。（不至于把我给忘了吧。）

「まさか」还可作为应答，表示难以相信、难以接受和理解。这种用法可视作感叹句的用法。

● 「あなたなら百問全部答えられるでしょう。」「まさか。」（「若是你，一百道题全部能回答吧。」「那不可能。」）

● まさか、うちの子供がカンニングなんか、するはずがない。（没有的事。我家孩子不可能考试作弊的。）

六、「つかまる」「つかまえる」と「とらえる」（応用文）

まさかこれは、日本の空がひどく汚れているという現実の大気汚染の問題をとらえて、⋮

这三个动词都和「抓」有关，但在表达方面不完全相同。

（1）つかまる

① 「つかまる」常用「AはBにつかまる」的形式表示行为主体A处于不安全状态，想用手牢牢地抓住B以获得稳定。因此，对A来说，B至少在当时必须是一个处于稳定状态的物体。

另外，人是用手直接抓住物体的，而动物可以利用身体的其他部位。

- 摆れますから、お立ちの方は吊革におつかまりください。（车会有些摇晃，请站着的人抓住吊环。）

木の枝につかまってぶら下がっている。（手抓住树枝悬吊着。）

- 猿が尻尾で枝につかまって、梢から梢へと飛び移る。（猴子用尾巴缠住树枝，从一根树梢跳到另

一根树梢。)

② 表示被逮住、被捉住。

必死で逃げた鹿もついに狼の群れにつかまつてしまつた。（拼命逃的小鹿终于被狼群逮住了。）

● おしゃべりな奥さんにつかまつて、つい長時間立ち話ををしてしまつた。（被爱说话的太太缠住，不知不觉地站着说了好长时间。）

(2)つかまる

① 表示逮住、揪着、捉拿等意思。所抓住的可以是人或生物，也可以是人或生物的某个部位。

くもは網を張つて虫をつかまして食う動物だ。（蜘蛛是用张网的办法来捕抓虫子吃的动物。）

● 腕をつかまして放さない。（抓住手腕不放。）

② 表示发现自己所期望的对象，并加以挽留。

お前も年ごろだ。いいお嬢さんをつかまえるんだよ。（你也到结婚年龄了，该找个好丈夫了。）

● 雨の日にタクシーをつかまえるのは難しい。（雨天很难叫到出租车。）

③ 表示「に対して」或「命じて」。

● 親をつかまえてからかうとは何事だ。（对父母开玩笑，算什么呀。）

● 息子をつかまして酒を買いに行かせた。（命令儿子去买酒。）

(3)とらえる

在表示「抓住、逮住」人或生物这一点上「とらえる」和「つかまる」是相同的。但「とらえる」没有「つかまる」的第一、三种用法。在表达抽象内容方面，「とらえる」使用的范围更广，类似「瞬间」「文章の

内容「事件の真相」「ポイント」等不能用「つかまえる」的場合也可以用「とらえる」。

- 夏になると、子供たちはせみやとんぼを捕らえてあそぶ。（一到夏天，孩子们就抓蝉、蜻蜓等玩。）
- 文章の意味を正しくとらえて質問に答えなさい。（请在正确理解文章意思的基础上回答问题。）
- 事件の真相をとらえるために、かれはいろいろ工夫しました。（他花了很大功夫弄清事件的真相。）

七、动词「しのぐ」（応用文）

それは戦前をはるかにしのぐほどになった。

「しのぐ」可以表示忍受痛苦、艰苦，排除困难，渡过难关。例如「暑さをしのぐ、飢えをしのぐ」。也可以表示超过，比别人优秀。例如：「若者をしのぐ、教師をしのぐ」。还可以表示躲避、克服、防御。例如：「風雨をしのぐ、退屈をしのぐ」。

- 昨日はほんとうに暑かつたんですけど、今日は少ししのぎやすいですね。（昨天很热，今天稍微好过些了。）

- 彼の才能は、すでにプロである兄のそれをはるかにしのぎました。（他的才能已经大大超过具有专业水平的哥哥了。）
- ギターはたいして弾けるわけじやない。退屈しのぎに弾いているだけだ。（我并不怎么会弹吉

他，只是弹来消遣消遣的。)

八、思いをする（応用文）

「国栄えて山河なし。」といったような思いをする
ようになろうとは。

「思いをする」表示感觉到、感受到、体验到。

- 私は一人っ子で、いつも両親が家を留守にしていて寂しい思いをしました。（我是个独生子女，父母经常不在家，所以感到很寂寞。）

- つまみ食いを見られて恥ずかしい思いをしました。（偷吃东西被人看见，感到很不好意思。）
● 彼が誠意を示さなければ、私は一度と彼と仕事をするつもりはない。彼と一緒に仕事をしてとてもつらい思いをしたから。（如果他不表示出诚意的话，那我就不会再和他一起工作了。因为他一起工作，我感到很不开心。）

九、助动词「う」「よう」表示推量（応用文）

：それが近ごろになつて、「国栄えて山河なし。」
といったような思いをするようになろうとは。

推量助动词「う」接在五段动词、五段动词型助动词及形容词、形容动词未然形后面，「よう」接在五

段动词外的其他动词和一段动词型助动词后面。形容词的未然形是「から」，形容动词的未然形是「だろ」。推量助动词「う(よう)」表示推测。但是在口语中，用「う(よう)」表示推测的用例甚少，一般用「だろう」表示。

- 四月の上旬に日本へ行けば桜が見られよう。(四月上旬去日本的话，可以看到樱花吧。)
- 午後から天気がよくなろう。(从下午起天气大概会转好吧。)
- あの人気が日本の着物を着たら、きっと美しかろう。(她若穿上日本的和服，一定很漂亮。)
- あそこはきっと静かだろう。(那里一定很安静吧。)

十、用言未然形+う(よう)+とは(応用文)

「国榮えて山河なし。」といったような思いをするように
なろうとは。

「とは」接在「用言未然形+う(よう)」后面表示吃惊、感叹、失望等情绪，并且经常省去后面部分。在比较随意的口语中也经常会用「なんて」表示。

- あの人気が病気だということは聞いてはいたが、こんなに早く死のうとは。(我也听说她病了。但是没有想到会这么快就去世了。)
- こともあろうに、引越しの日にこんなひどい雨が降ろうとは。(真是太巧了，搬家的日子会下这么大的雨。)
- あのおとなしい賢ちやんが今や、しゃべるのが商売の弁護士になろうとは。(那个老实巴交的小

贤如今竟成为靠说话吃饭的律师了，真是没有想到。)

「とは」也可以接在名词、动词型助动词的終止形后面。

- 堂々たる男が過去のことをいつまでもよくよ言い続けているとは。（一个堂堂的男人老是喋喋不休地说些过去了的事，算什么呀。）

見かけたところでは極普通の老人なのに、あれで有名な作家とは、意外でした。（外表看上去是一位极其普通的老人，竟然是一位名作家，真是意外。）

- 今日がわたしの誕生日だということを覚えていてくださるとは、感激しました。（您竟然记得今天是我的生日，我真是太感动了。）

ファンクション用語

伝える

学生 あのう、先生にこの間の資料のコピー、できたかどうか聞い

てくるよう言われたんですけど……。

係 ああ、できましたよ。そのつくれの上に置いてあります

すよ。

学生 あ、そうですか。じゃ、いただいていきます。

係 どうぞ。

練習

一、漢字にふりがなをつけなさい。

水俣病	国境	境目	深刻	時刻	刻む	刻々	公害	被害	損害	廃液	環境	荒れる
荒波	水底	水垢	水質	水銀	新潟	新たな	蓄積	積立	荒廃	積極的	裁判	判断
訴訟	告訴	訴状	眺め	眺望	地元	署名	榮え					判決
(9)												

二、○に仮名を入れなさい。

- (1) 日本の公害問題は世界のどの国○○○深刻だ。
- (2) PCBなど、一つの地域○限られない公害も出てきた。
- (3) 被害者の住民○公害反対運動○立ち上がった。
- (4) これらの結果○○、企業側も真剣に公害対策○取り組む姿勢をやつと見せ始めた。
- (5) 政府なども多くの法律を作つて、対策○乗り出している。
- (6) 環境破壊は地方レベルから国家レベル○○拡大しつつある。
- (7) 一般的な公害対策○○対応できないことが多くなった。
- (8) よく晴れた冬の日には、この辺から○○見えるんです。
- (9) 自然林の中に道路○通すっていう。

(10)

私○あそこの住民○○○○、やつぱり反対運動に参加すると思う。

(11)

この質問はあまりにとつびで、笑い話のよう○○あるが、そこには笑えないものがある。

(12)

公害問題○関係している私などには、この話は、何かそのまま○○済まされない気持ち○する。

(13)

日本の空は汚染され、戦前○はるかにしのぐほど○なった。

三、次の語群から最も適切なことばを選んで――に入れなさい。必要な場合は適当な活用形にして入れなさい。

はるかに とつび たわいのない しみじみ しのぐ
まさか とらえる つかまえる 思いをする

(1)

わたしたちの祖先は寒い冬を()ためにいろいろ工夫した。

(2)

ほんとうに子供のように()人だ。

(3)

この科学が進歩している時代に、()

こう何度も飛行機事故があるとは信じられない。

(4)

カメラマンはその歴史的な瞬間を()

てシャッターを押した。

(5)

成績は予想より()よかつた。

(6)

日本へ行つてはじめて、行く前に日本語をきちんと勉強しておけばよかつたと()

感じた。

(7)

ボーカルを()て、二、三人の客が文句を言つている。

四、各項に上げたことばを使って次の文を完成しなさい。

(1) 求める

① 被災者の()

② 飢えをしのぐ子供たちを救うために、彼はあちこちを回つて()。

③ グローバル化社会に適応する人材は常に()。

④ 二十一世紀には石油や石炭などに代わる()。

⑤ 不況だからこそ経営を活かす()。

(2) かねる

① 飛行機の出発時刻はここでは()。

ください。

② みんなそれぞれのよきがありますから、どちらの会社に就職したらいいか()。

③ 申し訳ありませんが、先約がございますので、ご希望に()。

④ ご招待をいただきましたが、病気のため()。

⑤ あの時は()て引き受けたが、やはり、これはやりたくない。

(8) はじめての外国暮らしなので、つらい()。

(9) ()な服装をしているのでみんなに笑われた。

(3) かねない

油断すると命も()

危険な仕事だ。

あいつは金のためならどんなことでも()。

。

飲酒運転は()

から、絶対してはならない。

食事と睡眠だけはきちんととらないと、()

。

(4) 教育を間違えると、その子の持っている才能を()

まさか

あの二人はとても仲がよかつたから、まさか()。

。

大手スーパーと小売店が競争したら、大手が勝つことは明らかだ。まさか()。

。

あそこで石油が開発されたって？ まさか()。

。

まさか中国経済が()

。

こんなにいい天気が続いているのですから、明日は()

。

(5) しのぐ

今年の夏は暑さが厳しかったけど、このごろようやく()なった。

。

後ろで演奏を務めるギタリストは、()

。

中国経済力は()

。

弟は最近、背が伸びて、()

。

彼は学生野球部の投手だが、()

。

勢いだ。

ほどの人気です。

。

速球を投げる。将来が楽しみだ。

。

(6) とは

信じられないわ。この私が北京大学に()。

(2) ()、なんとかわいそうな人たちなんだろ。

(3) こんな大雨なのに()、よほど大事なことがあるのだろう。

(4) ()、さぞ不愉快だつたろう。

(5) ()、まったく意外でした。

五、次の質問に答えなさい。

(1) 公害問題が起ころる原因はなんですか。

(2) 中国では、どんな公害問題がありますか。

(3) 「富士山はほんとうにあるのか」という質問には笑えないものがあると書いてあります。が、笑えないものってなんですか。

(4) 作者はなぜその話はなにかそのままではすまされないという気持ちがするのですか。

(5) 自然と人間との関係をテーマにして、あなたの考えを話してみてください。

六、括弧内のことばを使って次の中国語を日本語に訳しなさい。

(1) 这种工作可以辞掉的话我马上就想辞掉。不过，不可能这么做。(でも)

(2)

「这件衬衣能不能再便宜一点?」「对不起,无法再便宜了。」(…かねる)

(3)

孩子小的时候我不打算工作。我想到他们上小学的时候夫妇再一起工作好了。我不想让孩子有寂寞的感觉。(思いをする)

(4)

他说我的日语很好,这不会是对我的讽刺吧。(まさか)

(5)

这件事不能就此算了。要考虑个对策,使今后不再发生同样的事。(ではすまされない)

(6)

随着经济的发展,人民的收入有了很大的提高。已远远超过了改革开放以前。(しのぐ)

(7)

「今年二十,明年十八。」这句话听起来似乎有些可笑。但是仔细想想是十分有趣和幽默的。(たわいがない)

(8)

车站的楼梯上有个人独自拿着个大箱子上不了楼梯。我实在看不下去了,就伸手帮了他。(見るに見かねて)

(9)

在传达室他们要我出示身份证。这种做法好失礼。(求める)

(10)

平时很老实的北村竟然说出那种话来,我很意外。(とは)

(1) 社会問題、環境問題等在我国也日趋严重。人们期盼着社会向一个能够过充实、轻松悠闲生活的社会转变。(心のゆとりのある/…が求められる)

七、辞書を調べながら次の日本語を中国語に訳しなさい。

近年、科学技術の進歩は、残念なことに、技術的創造の世界にある種の矛盾を引き起こしている。
そうぞう

公害問題、自然破壊がそれである。

公害問題として取り上げられるものには、生活排水、工場排水による川、海の汚染、有毒物による環境汚染、排ガスによる大気汚染などがある。人間の生活活動の結果として生じた廃棄物を自然の世界の中へ放出し続けてきたのである。人間の生活活動がそれほど大きくなり、したがって廃棄物の量がそれほど多くなかつたときには、それは自然の循環によつて分解されてしまい、人間社会に与えた悪い影響は少なかつた。いわゆる自然浄化の許容量以内にとどまつていたからである。しかし、近年の経済成長はこの廃棄物の量を急激に増大させ、それは自然浄化の許容量をはるかにしのぐようになつてしまつた。当然の結果として、いろいろな公害問題が引き起こされるようになつたのである。

第十課 教育

本文

日本の現在の教育制度は六・三・三・四制と言われています。これは六歳から始まって、小学校が六年、中学校三年、高等学校三年、大学四年という意味です。そして、義務教育は初めの九年です。義務教育の就学率百パーセント、識字率百パーセントという数字は日本が世界に誇るもので

近年の統計では、高校への進学率にしても、大学への進学率にしても、とても高くなりまし。高校は義務教育ではありませんが、進学率は九十七パーセントに達し、都市部では事実上全員入学となっています。しかし、希望する高校へ行けるとはかぎらず、不本意な入学が増えるなどの弊害が出ています。大学への進学率も短大を含めて約五十パーセントに達し、大衆化が著しくなっています。しかし、大学の入学試験はとても厳しいです。かつて「四当五落」なる流行語が生まれましたが、これは「睡眠時間は五時間も取つては合格はおぼつかない。四時間で合格」という意味で言われたものです。ですから、希望者の殺到する有名大学への門は依然狭いものとなっています。

日本の教育はめざましい量的発展を遂げましたが、知育偏重で画一的な教育に陥っています。その結

果、思考力や判断力、創造力、学ぶ意欲の低下のほか、いじめ、校内暴力、登校拒否などの状況を招き、それらが教育改革の重要な課題になっています。

日本は高学歴社会で進学率が高いため、受験競争がはげしくなっています。いい大学に入るためにはいい高校、いい高校に入るためにはいい中学というぐあいにして、多くの子供たちは小学校の頃から受験勉強を意識した勉強中心の学校生活を余儀なくされます。その受験戦争の厳しさを象徴するものの一つが多くの学習塾や進学塾の存在です。

会話

(一)

李 鈴木さん、日本の教育制度はどうなっていますか。

鈴木 いわゆる六・三・三・四制になっています。つまり小学校六年、中学校三年、高等学校三年、大學は四年です。義務教育は初めの九年です。

李 就学率と進学率はどうですか。

鈴木 義務教育の就学率は百パーセント、高校への進学率は九十七パーセント、大学への進学率も約五十パーセントに達しています。

李 そうですか。各国の学力テストの結果を見ますと、日本の教育レベルがかなり高いようですね。

鈴木 その点がよしとなんですよ。日本の教育はどうも知識習得面があまりに重く見られ過ぎるん

ですよ。個性を伸ばしていく教育面が二の次になります。

それはどういうところから来ているんでしょうか。

李 鈴木 私の考えでは、大学の入学試験が大きくかかわっていると思います。その問題の根源には、よい大学に入れば、よい職業に就きやすくなることがあります。

李 それで、みんないきおい入学試験を目指して勉強することになるんですね。大学入試に落ちたらどうするんですか。

鈴木 たいていは予備校という大学の受験準備のための学校に入つて、翌年の受験を目指すんですね。こういう学生を「浪人」と呼んでいます。

李 高校をよけい一年なり二年やると同じですね。

鈴木 そうなんです。浪人しないで有名大学に入るためにも、小学校のときから子供を塾に通わせ始める両親もそういういるんです。

李 そうですか。その点は日本も中国も同じで、教育改革の重要な課題ですね。

(二)

(ひろしさんは、今年高校を卒業しましたが、大学の試験に失敗してしまいました。)

父 ひろし、あれだけ勉強したのに、残念だつたな。ああ、来年はがんばれよ。予備校の手続きは

自分でできるだろう。

ひろし できるとも。でも……。

父 ひろし でもつて。

実は、大学へ行くのはやめようかと思つて……。

えつ、何を言つているんだ。お前は兄さんと同じ大学へ行きたがつていたじゃないか。

父 ひろし うん、ついこの間までは大学生って何となく楽しそうに見えたからね。でも、もう一年予備校で勉強しても入れるかどうか分からぬし……。

父 ひろし 大学へ行かないでいいたい何をしようと言つたんだ。

まだはつきりしないけど、しばらくはアルバイトでもしてみようかな。

父 ひろし 何を、のん気なことを言つているんだ。今の日本では有名な大学を出て、一流の会社に入つて、そこで一生働くことが一番安定した道だということが分からぬのか。

父 ひろし 大学なんか行かなくても食べていけるさ。

父 ひろし お前は考えが甘すぎるよ。まあ、兄さんが帰つてきてから、もう一度ゆつくり話し合おう。お前の人生にとつて大切な問題だから。

(海外技術者研修協会編『現代日本事情』等にもとづく)

応用文

福沢 諭吉

福沢諭吉は、一八三五年一月、大阪に生まれた。

父の百助は、武士で、漢学にくわしく、りっぱな人物であった。しかし、身分が低かつたために、小役人としてがまんしなければならなかつた。

諭吉は、兄ひとり、姉三人の末っ子として生まれた。父は丈夫そうな赤ん坊を見てたいへん喜んだ。そして、「この子は、大きくなつたら、坊さんにしよう。」と言つたといふ。

当時は、生まれながらにして、家業も身分も決まっていて、武士の子は武士に、農民の子は農民にと、その将来は定まつていた。武士ではあつても、百助のように身分の低い家がらに生まれると、一生下級の武士として終わらなければならなかつた。ただ、寺の坊さんだけには、才能と勉強によつて出世の道が開かれていた。父が諭吉を坊さんにしようと言つたのは、そのためである。

しかし、その父は、諭吉が生まれて一年半ほどして、早くもなくなつてしまつた。母は、五人の子供をかかえて、郷里の中津にもどつた。

諭吉は、すくすくと成長して、大柄な少年になつた。

ある日のことである。兄が、畳の上にほご紙を広げて整理していた。諭吉がそこを通り過ぎるとき、足がちよつと紙に触れたようであつた。すると、兄は、大声で諭吉を呼び止めた。

「待て。おまえには、目がないのか。今、おまえが踏んだほご紙には、殿様のお名前が書いてあるのだぞ。」

兄は、刀に手をかけんばかりのけんまくである。諭吉は、すぐに手をついて謝つたが、心の中では不満でたまらなかつた。「殿様の頭を踏んだわけでもないのに」と。

また、こんなこともあつた。下級の武士の家は貧しく、家来も置いていないので、酒や油などを買う

のに、夜になつてから、ほおかぶりをして、自分で出かけるというのが習わしであつた。しかし、諭吉は、「自分の金で買い物をするのに、何が恥ずかしいものか。」と、昼間、ほおかぶりもせず、堂々と買い物に行つた。

諭吉は、このように身分や体面ばかりを気にするような下級の武士の生活が、いやでたまらなかつた。十九歳のとき、諭吉は、とうとう中津を飛び出して、長崎に向かつた。当時、日本はまだ国を閉ざしていて、長崎だけが、オランダ船のために開港されていた。長崎は、いわば、外国の事情を伝えるただ一つの窓だつたわけである。

諭吉は、長崎で、オランダ語を三年余り勉強すると、やがて江戸へ出た。江戸には、中津藩の屋敷があつた。藩では、そこで、青年たちに、オランダの学問を学ばせようとした。諭吉は、その教師となつて塾を開いた。

ところが、せつかく学んだオランダ語を捨てて、英語を学ばなければならない時がやつてきた。諭吉が塾を開いた翌年、江戸幕府は、それまでの方針を変えて、長崎のほかに、横浜や函館などの港を開いて、外国船の出入りを許すことにした。諭吉は、時代の動きをそこに見た。世界の様子を知るためには、英語を勉強することが必要であると悟つた。しかし、英語を教えてくれる人は、そうたやすくは見つからなかつた。諭吉は決心をして、独学を始めた。熱心に勉強して、諭吉の英語は次第に上達していつた。

その後、諭吉は視察団に従つて、三回にわたつて、アメリカやヨーロッパを視察した。これら三回にわたる海外視察で、諭吉は「日本は、すみやかに開国し、各国と交流する必要がある」と、はつきり自覚

した。しかし、当時、開国について意見が対立し、諭吉のような考えを持つ者は、西洋かぶれした人間と誤解され、暗殺の危険さえあつた。

諭吉は海外視察を終わって帰国すると、時の年号を取つて、塾を「慶應義塾」と名付けた。そして、科学と独立自尊の精神を教育の方針とした。

まもなく、明治の新政府ができ、江戸を東京と名を改めて首都に定めた。そうして諭吉が考へていたように、日本は開國の方針を探つた。

諭吉は塾で講義するだけでなく、多くの本を書いた。自分の考へてゐることを、広く世の中に伝えようと思つたのである。一八七二年には、「学問のすすめ」という本を出した。その書き出しは「天は、人の上に人を造らず、人の下に人を造らず。」という、有名な言葉で始められている。

諭吉は、一九〇一年、六十六歳でなくなつた。時代の先覚者として、また国民の教師として、今日でも、多くの人々から仰がれている。

(石森延男編『新国語』による)

単語

制度(せいど)
名①

高等学校(こうとうがっこう)
名⑤

制度(せいど)
就学率(じゅがりつ)
名④

高中(こうちゅう)
識字率(しきじりつ)
名③

入学率(りんがくりつ)
名

進学率(名)④
 事実上(名)①
 全員(名)①
 不本意(名・形動)②
 弊害(名)①

短大(名)①
 なる(助動詞「なり」の連体形)
 流行語(名)①
 睡眠(名)①
 殺到(名・自サ)①
 目覚しい(形)④
 量的(形動)①
 知育(名)①
 偏重(名・他サ)①
 画一的(形動)①

升学率	陷入、落入	思考能力	判断力	创造力
全体人员	非本意的	弊端、弊病	意欲(名)①	創造力(名)③
短期大学	低下	低下(名・自サ)①③	判断力(名)③	热情、想做某件事的欲望
是	在校内暴力	在校内暴力(名)⑤	创造力(名)③	
流行語	登校拒否	登校拒否(名)⑤		
睡眠	高学歴	高学歴(名)③④		
	余儀ない	余儀ない(形)③①		
	*	*		
	*	*		
	*	*		
	*	*		

陷入、落入	思考能力	判断力	创造力
没把握的、不放心的	蜂拥而至	不得已、无可奈何	不得不
惊人的、异常的	象徴	象徴(名)①	象征
数量上的	学力	学力(名)②①	学习实力
智育	善し惡し	善し惡し(名)①②	善恶、好坏
偏重	二の次	二の次(名)④	其次、次要
统一的	かかわる	かかわる(名)③①	和：有关系

根源(こんげん) 根源(名)③①	汉学(かんがく) 汉学(名)①
就く(自五)①②	小役人(こやくじん) 小役人(名)②
勢い(名・副)③	赤ん坊(あかんぼう) 赤ん坊(名)①
目指す(他五)②	坊さん(ぼうさん) 坊さん(名)①
予備校(名)①	生まれながら(はつぱな) 天生(なまわら)①④
翌年(名)①	家業(かぎょう) 家业(名)①
浪人(名)①	子(こ) 孩子(こ)①
よけい(形动・副)①	定まる(自五)③
手続(てづく)き(名)②	下級(かしき) 下级(名)①
何を(叹)①	決定(だいさつ) 决定(固定)①
一流(いりゅう) 一流(名)①	出世(しゆせい) 出世(名・自サ)①
話合(はなしあ) 話合(他五)④①	早くも(はやくも) 早早地(はやくじ)①
のんき(呑氣)① のんき(吞氣)(形动)	成功(せいこう) 成功(出息)①
(人名)	故乡(きょうごう) 故乡(故里)①
百助(ひゃくすけ) 百助(专)②	过早地(はやくじ) 早就(はやく)①
福沢諭吉(ふくざわ ゆうきち) 福沢諭吉(专)①	苗壮成长(めうじょうじょうしやう) (地名，在九州大分县北部)
(人名)	魁梧(けいぶつ) 魁梧(大花图案)①

畠 たなみ
名 な ①

紙 がみ
名 な ①

呼び止める よびとめる
他一 ほか ④

殿様 どのさま
名 な ①

けんまく 剣幕・見幕
名 な ①

手をつく てをつく
組 ぐみ

家来 けいらい
名 な ①

置く おきく
他五 ほか ①

ほおかぶり 頬被り
名・自サ じさ ③

(用毛巾等)包住头和脸

堂々 どうどう
と と 副 ふく ① ③

体面 たいめん
名 な ① ③

長崎 ながさき
专 せん ②

閉ざす しめて
他五 ほか ② ①

開港 かいこう
名・自他サ じほか ①

いわば いわば
名・副 ふく ① ② ①

榻榻米 たたみ
名 な ①

藩 はん
名 な ①

幕府 ばくふ
名 な ① ①

方針 ほうしん
名 な ①

函館 はんかん
名 な ①

跪着双手触地
双 そう 手 て 触 ふ 地 ち

家臣 けいしん
名 な ①

港 みなと
名 な ①

悟る さとり
他五 ほか ① ②

たやすい たやす
容 ゆう 易 い い
易 い 容 ゆう 容 ゆう 易 い

見つかる みつかる
自五 じ ①

独学 どくがく
名・他サ じさ ①

視察團 しきたくん
名 な ④

速やか そくやか
形动 けいどう ②

视察 しけい
名・他サ じさ ①

諸侯领地

宅地; 公馆

幕府 (源赖朝后武士总揽
军政大权的中央政府)

方针

(地名)

港口

外轮

觉悟、醒悟

被发现、被找到

不难、容易

自学

考察、视察

快、迅速

开国

可以说、譬如说

开国

言葉と表現

一、…にしても、…にしても（本文）

高校への進学率にしても、大学への進学率にしても、とても高くなりました。

「に」是格助词，「し」是动词「する」的连用形，「ても」是接续助词。「にしても」接在体言、动词连体形后面以「…にしても、…にしても」的形式构成惯用词组，表示无一例外，相当于汉语的「无论是…还是…，和…」。和「…にしろ、…にしろ」「…にせよ、…にせよ」「…であれ、…であれ」的意思相同。

自覺（名・他サ）⑩	自尊（名）⑩	独立（名・自サ）⑩
西洋かぶれ（名・自サ）⑤	受西方影响	改变、修改、改正
誤解（名・他サ）①	誤解	讲义、讲课
暗殺（名・他サ）①	暗杀	起头、开头
年号（名）③	年号	先知先觉者
慶應義塾（专）⑤	庆应义塾	尊为、仰望
名付ける（他一）③	命名、起名	
	書き出し（名）①	
	先覚者（名）③④	
	あおぐ（仰ぐ）（他五）②	

- これは感染力が強い病気ですから、大人にしても、子供にしても、感染しないように十分に注意してください。（这是传染性很强的病。无论是大人还是小孩都要十分当心，不要感染上。）
- 植物にしても、また動物にしても、日本の風土や気候によつて制限を受ける。（无论是植物还是动物，其生长都会因为日本的风土和气候而受到制约。）
- 進学にしても、就職にしても、決めた以上、がんばりなさい。（无论是升学还是工作，决定了就好好努力吧。）

二、…というぐあい（本文）

いい大学に入るためにはいい高校、いい高校に入るためにはいい中学というぐあいにして、多くの子供たちは：

「…というぐあい」意思和「…というよう」「…というふう」相同，说明具体的的例子或内容；或用于列举相似的例子加以说明，以便明白易懂。

● この薬は、こういう具合に、水に溶いてから飲んでください。（这个药像这样融化在水里之后再喝。）

● このレストランのランチメニューは今日は魚料理、あしたは肉料理というぐあいに、毎日変わります。（这家餐馆的菜单今天鱼呀明天肉的，每天都变。）

● 二人の議論は、ああ言えどこう言うというぐあいで、なかなか決着がつかない。（两个人讨论，

一个人说这另一个人说那的，没有个结论。）

三、：を余儀なくされる（本文）

子供たちは小学校の頃から受験勉強を意識した勉強中心の
学校生活を余儀なくされます。

「：を余儀なくされる」表示所做的事不是出于本意，而是不得已而为之。是自己的能力所达不到的。
属于文章语。

- 家庭の事情で退学を余儀なくされました。（因家里的原因不得不退学。）
- 母の病気で帰国を余儀なくされました。（因母亲有病，不得不回国。）
- 人件費が高くなつたため、新しい支店開設の中止を余儀なくされた。（因为人工费的上升，我们不得不中止新分店的开设。）

四、：にかかわる（会話）

大学の入学試験が（それに）大きいかかわっていると思ひます。

「かかわる」表示「与：有直接关系」「对：有重大影响」关系到：。也作「拘泥于：」。其对象用格助词「に」表示。

- それは私の名誉にかかわる問題ですから、気にしないわけにはいかないでしょう。（那个问题关

系到我的名譽、我不可能不在意。)

- 交通だの住宅だの、国民生活にかかわる問題はさきに解決しなければならない。（类似交通问题啦，住房问题啦，和民生有关的问题我们必须首先解决。）

- 今度の取引は工場が生きていけるかどうかにかかわるのだから、努力するよりほかない。（这宗生意关系到工厂的生死存亡，所以我们只有努力，没有别的办法。）

- 小事にかかわり、大事を忘れるなんて、わたしはもうあきれて物も言えない。（拘泥于小事，忘了大事。我真是失望，什么也说不上来。）

五、动词「目指す」（会話）

入学試験をを目指して勉強することになるんですね。

动词「目指す」表示「以：为目标」。

- 入学試験にパスして目標とする大学に入ることができました。（升学考试顺利通过，我可以进我向往的大学了。）
- わが学校の目標ところは知識を与えるだけではなく、人間を育てる教育なのだ。（我们学校所追求的教育不仅仅是传授知识，还有对人的培养。）
- 選手たちは優勝を目指して、日夜練習に励んでいます。（选手们白天黑夜地努力训练，为的是赢得比赛。）

六、并列助词「なり」(会話)

高校をよけい一年なり二年やると同じですね。

「なり」是并列助词，接在名词、动词终止形后面，用来列举，表示从被列举的相同事物中可以任选一样。一般用「：なり：なり」的形式。

- アジアなりヨーロッパなり、どこにでも行きなさい。(亚洲也好，欧洲也好，去哪儿都行。)
- 酒なりビールなり飲み物を早く持ってきてなさい。(酒也好，啤酒也好，快拿些喝的东西来。)
- バスに乗るなり、タクシーに乗るなりして一人で行きなさい。(坐公交车也好，坐出租车也行，你一个人去吧。)
- テニスをするなりやめるなり決めるのはあなたの勝手だ。(打不打网球随你。)

七、「とも」表示「当然」「一定」(会話)

できるとも。

「とも」是终助词，接在句末，表示「当然」「一定」。

- 「この電話、お借りしてもいいかしら。」(「这个电话我可以借用一下吗？」)
「いいとも。いくらでも使いなさい。」(「当然可以。你随便用吧。」)
- 「ほんとうにここは天国なの。」(「这儿真的是天堂吗？」)
「そうだとも。嘘なんかつくものか。」(「当然。我怎么会骗你呢。」)

● 「来月、中国に旅行することになつてゐるけど、おまえどうするんだ。」（「我下个月要去中国旅行，你去吗？」）

「行きますとも。」（「当然去。」）

八、感叹词「何を」（会話）

何を、のんきなことを言つて いるんだ。

「何を」是感叹词，用于反问、疑问。含有驳斥语气，用词尖锐。大都后接「んだ」。

● 何を、ばかなことを言つて いるんだ。自分の子を可愛がらない親がいるものか。（说什么傻话。有不疼爱自己孩子的父母吗？）

● 何を、生意気言うな。（什么！ 别说大话了。）

● 何を、ほんやり立つて いるのだ。（呆呆地站在那里，算什么呀！）

九、「…にして」构成的惯用语（応用文）

当时は、生まれながらにして、家業も身分も決まっていて、…

这种表达方式可以看作是惯用语，表示事物的状况。常用的有：「生まれながらにして」「いながらにして」「今にして」。「にして」还可以接在「たちまち、一瞬、不幸、幸い」等副词后面构成惯用语。

- 生まれながらにして、家庭環境に恵まれていた。（她出生在一个条件优越的家庭里。）
- テレビのおかげで、いながらにして世界各地の様子がわかる。（有了电视，我们可以足不出户知晓天下大事。）

- 今にして思えば、あの時、彼はすでに自分が病氣だということがわかつっていたのだ。（现在回想起来。那时他已经知道自己生病的事了。）

十、いわば（応用文）

長崎は、いわば、外国の事情を伝えるただ一つの窓だったわけである。

「いわば」是文章语。在说明某件事时，有时为了使说明的内容比较容易被对方理解，会用比喻的方式较形象地进行说明。这种场合，日语要用「いわば」。

用「いわば」的句子，我们多半可以用「言つてみれば」「たとえて言うならば」「言うならば」等替换。「いわば」经常和「ような(に)」一起用。

- 地球上の生命を太陽からの有害紫外線から守っている、いわば「宇宙服」のようなオゾン層を、フロンが壊していることがはつきりした。（很清楚，氟利昂破坏了臭氧层，而臭氧层是保护地球生命使之免遭来自太阳的有害紫外线影响的所谓「宇宙服」。）

- まったく自由のない生活で、いわば籠の鳥のようだ。（完全没有自由的生活，就像是笼子里的鸟一般。）

- 母が亡くなつてから、一番上の姉はいわば母のような存在で、あらゆる面で面倒を見てくれた。
（母亲去世后，大姐就像母亲一般从各个方面照顾我。）

十一、：にわたる（わたつて）（応用文）

その後、諭吉は観察団に従つて、三回にわたつて、アメリカやヨーロッパを観察した。これら三回にわたる海外観察で、諭吉は：と、はつきり自覚した。

「にわたる」可以接在表示时间的词后面，表示时间范围。一般用于新闻报道。也可以接在表示场所的名词后面，表示空间范围。可以用「にわたる」或「にわたつての」作连体修饰语，也可以用「にわたつて」作连用修饰语。

- 中日両国の間には、二千年にわたる友好往来の歴史がある。（中日两国之间有着长达两千年友好往来的历史。）
- 私たちは前後三回にわたつてこの問題を討論した。（我们前后三次讨论了这个问题。）
- 今度の台風は日本全域にわたつて被害を及ぼした。（这次台风的灾害波及了整个日本。）

十二、タルト型形容动词（応用文）

堂々と買い物に行つた。

有一类形容动词由两个汉字组成词干，在现代日语中只有连用形「：と」和连体形「：たる」，所以

称为「タルト型形容动词」。タルト型形容动词口语化的表达形式是连用形「⋮として」，连体形「⋮とした」。

- 彼は堂々と自分の意見を述べた。（他坦坦荡荡地讲了自己的看法。）
- 悠々たる長江を泳ぐ。（在浩浩长江里游泳。）
- 滔滔たる黄河が東へ流れしていく。（滔滔黄河向东流去。）
- 車は坦々とした道を走っている。（车在平坦的道路上行走。）

ファンクション用語

比例

- A 三人に一人の割合で大学進学を希望していますね。
- B しかし、実際の進学率は五人に一人でしょう。
- A そうですね。また、三パーセントの人が成績が悪くてどこにも入れないそうです。
- B つまり百人に対して三人の割で進学できない人がいるわけですね。

練習

一、漢字にふりがなをつけなさい。

義務教育 識字率 統計 事実上 不本意 弊害 殺到 量的 遂げる 根源 睡眠時間 偏重
画一 予備校 意欲 拒否 象徴 習得 二の次 陥る 赤ん坊 浪人 家業 頬被り 下級
屋敷 翌年 幕府 函館 視察

二、○に仮名を入れなさい。

- (1) 識字率百パーセントという数字は日本が世界〇誇るものです。
- (2) 近年の統計〇〇、高校への進学率はとても高くなりました。
- (3) 進学率は九十七パーセント〇達しています。
- (4) 教育は知育偏重で画一的な教育〇陥っています。
- (5) 父の百助は漢学〇詳しく、りっぱな人物であった。
- (6) 武士の子は武士〇、農民の子は農民〇〇、その将来は定まっていた。
- (7) ただ、寺の坊さんだけ〇〇、才能や勉強によつて出世の道が開かれていた。
- (8) その父は、諭吉が生まれて一年半ほど〇〇、早く〇なくなってしまった。
- (9) 諭吉はそこ〇通り過ぎるとき、足がちよつと紙〇触れた。

⑩ 兄は刀に手をかけん○○○のけんまくである。

⑪ 諭吉は時代の動き○そこ○見た。

⑫ これら三回にわたる海外視察○、諭吉は速やかに開国する必要がある○自覺した。

⑬ 江戸○東京○名○改めて首都○定めた。

⑭ その書き出しは「天は、人の上に人を造らず、人の下に人を造らず。」という、有名なことば○始められている。

三、次の語群から最も適切なことばを選んで――)に入れなさい。必要な場合は適當な活用形にして入れなさい。

(1) 殺到 おぼつかない 不本意 二の次 悟る
よけい のんき 抱える 自覚 仰ぐ

成績がよくないのは努力が足りないのだと()している。

② 病気になつてはじめて健康のありがたさを()た。

③ 被災状況が深刻で国内物質だけでは足りない。外国からの援助を()しかない。

④ 都市の発展のためには新しい空港の建設が必要だが、まわりの住民の反対という問題を()ている。

()物はいつさい持ち込んではならない。

エジプト文物展示会には朝から入場者が()した。

文句は()にして仕事にかかりなさい。

利益どころか、資金の回収も()。

あした試験があるのにあの子は()遊んでいる。

()ながらその仕事を引き受けた。

いわば・すなわち

(1) 君のようにいつも「明日から」と言つてばかりで何もしない、それが()ことだ。

富士山と桜は()日本のシンボルだ。

その席にいるのが()今お話しした池田君なのです。

蘇州は()中国のベニスといったところです。

(5) 彼は九十日()三ヶ月、中国に滞在することができる。

(3) かかるる・わたる・わたつて・及ばない

人の命に()仕事だから、絶対に油断してはいけない。

謝るには()。これから気をつければいい。

(3) これは多くの分野に()研究だから、私たちの力だけでは無理だ。

とても複雑な問題だから、二回に()話し合つた。

()怠けるという

四、各項に挙げたことばを使って次の文を完成しなさい。

(1) …にしても、…にしても

① 平日 …にしても、祝祭日 …にしても、南京路は()。

② 採用 …にしても、不採用 …にしても、結果は()。

③ 試験問題の作成 …にしても、論文を書く …にしても、()。

④ 結婚後、今の仕事を続ける …にしても、両親と別居する …にしても、彼は()。

⑤ マイホームを建てる …にしてもマンションを買う …にしても、サラリーマンの私にとつては()。

(2) …を余儀なくされる

① 浩志は教師になりたかったのだが、家庭の事情で()。

② 今度の事故に対し回避できない責任があるとされ、社長は()。

③ 地震で家を失った人々は公園での()。

④ 四時間にわたった交渉の結果、幾つかの問題について()。

⑤ 病気がまだ完全に治らないが、人手が足りないのできょうから()。

(3) …にかかる

① この手術は()ようなものではありません。

② ()者の中には警官がいたそうです。

③ ()発言をしないように注意してください。

にせものを売ったことは、()ことだ。

④

こんな大事な時に()余裕はないよ。

⑤

(4) なり

就職するなり()

①

和服なり()

②

肉なり()

③

英語をマスターしたいならアメリカなり()

④

電話なり()

⑤

(5) にして

()、交通事故で、彼は家族を失ってしまった。

①

不合格の知らせを受け、望みは()

②

貴族の第一子には、()爵位がつく。

③

川に落ちたその子供は()

④

()大きい事故にならないですんだ。

⑤

(6) にわたる／にわたって

⑥

()優秀な成績をとった学生に奨学金を与える。

①

()橋の工事がようやく終わった。

②

()試験は一月十日から行われることになつてゐる。

③

④

理事会の決定をめぐっては、（

）学生の不満が広がった。

⑤

（）戦争が人々を苦しめた。

五、次の質問に答えなさい。

（1）福沢諭吉はどんな家庭に生まれましたか。

（2）諭吉のお父さんはなぜ諭吉を坊さんにしたかったのですか。

（3）諭吉は身分や体面ばかりを気にする下級武士の生活をどう思いましたか。

（4）諭吉はどのようなすばらしい業績を残しましたか。

（5）この課を勉強して、中国の教育制度と諭吉のような人物のことを話してみてください。

六、括弧内のことばを使って次の中国語を日本語に訳しなさい。

（1）老龄化社会使得国民不得不承担沉重的税收负担。（：を余儀なくされる）

（2）棒球也好，足球也好，是运动都会受伤的。（：にしても、：にしても）

（3）你们俩的争吵不仅是你们俩的事，也会影响到整个班级。（：にかかる）

（4）快叫住他，别给我母亲打电话。又不是什么威胁生命的病，喝点药，休息休息就会好的。（呼び止める／かかる）

（5）当我瞻仰鲁迅先生故居时，深深地被这位思想家和文学家的精神感动了。（仰ぐ）

（6）那时，我们的思想还没有像现在这样开放，一说向外国学习就会被误解是迷信外国。（外国かぶれ）

(7) 我们所追求的社会应该是一个平等的、和谐的社会。（目指す）

(8) 必须要和他的父亲或母亲好好商量一下。（なり）

(9) 这个小伙子很聪明，才懂得些摩托车发动机的修理，就举一反三地去修理汽车、拖拉机的发动机了。（一を聞いて十を知る／というぐあいに）

七、辞書を調べながら次の日本語を中国語に訳しなさい。

(一)

このような国立の学校に対して、福沢諭吉、津田梅子などは、それぞれ独特の校風を持った私立学校をつくり、自分の経験を生かした教育を行いました。

津田梅子は、六歳でアメリカに留学し、帰国してから一生を女子教育に捧げた人です。岩倉具視が欧米に向かつて出発するとき、五人の女子留学生をつれて行きましたが、その中で、一番若かったのが、この津田梅子でした。

梅子の父は農学者で、すすんだ思想の持ち主でした。彼は、日本に文明をもたらすのは、教育のある女性だと考えていました。そういう女性をつくるためには、幼いうちに欧米に送つて教育しなければならないと、まだ六歳の自分の娘を手放す決心をしたのです。

梅子は、アメリカ人の家庭で、アメリカのことば・風俗・習慣・ものの見方などを身につけて、十一年後の明治十五年に帰国しました。

帰国後、女学校で英語を教えましたが、淑やかで従順なだけの女性を求めている日本の社会に満足

できませんでした。そこで、明治二十二年に、再びアメリカに留学して、大学で生物学を学んで帰国したのち、明治三十三年に、私立の津田女子英学塾をつくりました。

福沢や梅子のほかにも、新島襄の同志社、大隈重信の東京専門学校（のちの早稲田大学）などがつぎとたてられ、外人宣教師によつて、ミッションスクールもたくさんつくられました。こうして、公立・私立とともに、学校教育は盛んになつていきました。

（二）

（「日本の歴史⁹」 ポプラ社より）

ホワイトカラーの求人を超える大卒者がいるために、ブルーカラーになる人も多く、また一流企業に就職することも難しくなつてゐる。この就職状況は、大卒だけでエリートが保証される時代を終わらせ、大卒でも一流大学だけがエリート・コースとして意味を持つようになり、それに対する競争をさらに激化させる。しかし一方では、大学の価値が落ちたことから、学歴に対する信仰が失われ、適当に勉強して適當な大学に進むとか、専修学校などのように就職能力にプラスになる学校への進学へ転換する人も出てくる。企業も学歴より実力主義をとるようになる。長い間、日本を支配してきた学歴主義が、かなり大幅に崩れていよいゝといえるだろう。日本人の教育好きも、立身出世主義から生まれた歴社会を前提として起こつたものなので、その効用が低下するにつれて、進学率がストップしたことも理解できる。

—句子重音(プロミネンス)

(二) 一个句子中有两个声调单位时

- (1) 高低型 ○ これを | ください。
- (2) 低高型 ○ みんなで | なんにんですか。

(三) 一个句子中有三个声调单位时

- (1) 高低低型 ○ あまり | むずかしく | ありません。
- (2) 低高低型 ○ わたしは | じどうしやで | いきました。
- (3) 低低高型 ○ この | かみは | しろいです。
- (4) 高高低型 ○ しろくて | きれいな | ほんです。
- (5) 低高高型 ○ へやは | ひろくて | きれいです。

注： 直线—为高音，折线|为高音转折为低音。

第十一課 日本語の学習

本文

今、日本語の学習が多くの国でブームとなっている。特に若者の日本語学習者数の伸びが目ざましく、日本へ来る留学生もずいぶん増えている。国際交流における日本語の重要さもこれから見直されるであろう。

王さんが中国から日本へ来てもう二年半になる。時のたつのは実に早いものだ。王さんがまだ日本語の勉強を始めたばかりのころ、先生が「二年もたてば、かなり上手になる」と言わされたが、確かに先生の言われたとおりだ。

よく日本語は難しいと言われる。王さんも学ぶほど難しくなるような気がする。王さんは日本語の勉強でずいぶん苦労したにもかかわらず、語彙や文法の点でまだまだ分からぬところがある。彼はいま、留学の時間を十分に利用してむだのない毎日をおくっている。そして、来年の夏までに日本語が完全に身につくよう努力したいと思っている。

会話

鈴木

王さんのように日本語が達者になるまでにはずいぶんご苦心があつたでしょうね。

王 いや、私などは達者どころではありません。時々下らない間違いをして、お恥ずかしいくらいです。でもこのごろはいくらか分かつてきましたよ。

鈴木 いくらかどころじゃない。ほんとによくお分かりなんだから、そうご謙遜なさらなくてもいいですよ。私はいつも感心しているんですが、発音や調子が日本人そつくりなので、どうしてそんなにお上手になつたのかと思つているんです。

王 そうおだてると本気にしますよ。あなたは口がお上手だから。

鈴木 いや、おべつかじやありません。たいていの中国人の日本語には、どことなく中国人くさいところがあるのですが、あなたのには全くそれがなく、いかにも自然なので、実はいつかお伺いしたいと思つていたんですよ。

王 日本語の発音はさほどのことはありませんが、閉口するのは長音と短音の区別ですね。これはよほど気をつけないと間違いますね。

鈴木 日本語では何が一番難しいですか。

王 日本語の名詞、代名詞、形容詞、副詞などの使い方は比較的簡単ですが、動詞や助動詞の変化はややこしくて閉口ですね、ことにテニヲハときたら、お話になりませんね。
そう言えば、中国語の「四声」だってそうでしょう。

鈴木

日本語では何が一番難しいですか。

鈴木 日本語の名詞、代名詞、形容詞、副詞などの使い方は比較的簡単ですが、動詞や助動詞の変化

はややこしくて閉口ですね、ことにテニヲハときたら、お話になりませんね。

鈴木 そう言えば、中国語の「四声」だってそうでしょう。

王 それはそうですが、日本語ほどじゃないと思いますね。その証拠には鈴木さんの中国語はなかなか上手じゃないですか。

鈴木 あなたもなかなかお世辞がうまいですね。われわれの中国語の「四声」ときたらめちゃめちゃですよ。

王 「四声」は字や語彙や短文をくつづけて覚えるほうがいいですね。

鈴木 それはそうですが、それを覚えるのができないんですよ。ぼくのように忘れっぽい者には、単語や熟語を暗記するだけでさえやつなのに、「四声」の規則や例外をいろいろつめ込まなくちやならないですから、本当にいやになっちゃいますね。

王 私も忘れるごとに、怠けるごとにかけては、引けを取らない方ですから、ほかの人のことは言えないと、結局は根気の問題ですね。いくら頭のいい人でも根気がよくなければ語学はダメですね。平凡ですが、こつこつやるより仕方がありませんね。

鈴木 確かにそうですね。私もあなたが日本語を話すくらい中国語が流暢に話せるといいですがね。ご冗談でしょう。私の日本語などはまだものになつております。しかし前よりは少し上達したと思います。ただ困ることは日本語には実姉と実子とか、私立と市立とかのよう発音が同じで意味の違った言葉が多いのと、単語の発音の似ているのが多いことですよ。
王 そうでしょうね。われわれでもずいぶん困るんですから。

鈴木 それについてはずいぶんこつけいな失敗談がありますよ。電車の中で、「下ろしてください」と言おうとして、「殺してください」と言つてしまつて恥をかきました。

鈴木 どうせ外国語で間違うのは当たり前ですから、「習うより慣れよ」というつもりで練習するんで

すね。

王 お互いにそのつもりで練習しましょうね。

(長沼直兄『標準日本語読本』にもとづく)

応用文

一休さんの話

一休さんは臨済宗の禅僧一休宗純の愛称である。その生涯に様々な逸話を残したことから江戸時代に説話集が作られ、頓智で有名となる。昭和の中頃まで、絵本の童話や紙芝居の題材としてよく用いられていた。

テレビアニメは一休をモデルとする「一休咄」などの頓智咄を原作としている。「一休咄」は民衆の願いを歴史上の人物に仮託した読み物である。

ある日、和尚さまの碁の友達の竹斎さんから、使いの人が来て和尚さまにこう言うのです。

「いつも、お寺に遅くまでおじやまをして申しわけありませんでした。たまには一休さんをおつれしてこちらへおでかけください。」

「それはありがたい。」

和尚さまは、喜びました。そして、一休さんをつれて竹斎さんの家に来ました。

なんと大きな屋敷でしょう。前を川が流れています、橋を渡ったところが、竹斎さんの屋敷の門です。ところが、橋を渡ろうとした和尚さまが、ふと、立ちどまりました。

「……竹斎め、失礼なやつだ。わしを呼んでおきながら……。」

どうしたのかと、一休さんが見ると、橋の前に、立札がたっています。こう書いてあるのです。

このはしをわたるべからず

和尚さまは怒つてしましました。

「竹斎のやつ、自分の屋敷の橋を、直しもしない。きっと、板がくさっているんじやろう。ばかばかしい。一休や、帰るぞ。」

けれども、このとき、一休さんは、ははあと思いました。さては……。

そこで、和尚さまに言いました。

「大丈夫です。橋の真ん中を通っていけばいいのです。」

「一休さんは、すたすたと、渡っていきました。」

「こ、これ、一休。危ないぞ。」

「平気、平気。」

とうとう、一休さんは、渡ってしまいました。

和尚さまは、こわごわ、橋の真ん中を通って。

「やれやれ。」

そこへ、門を開けた。竹斎さんが現われました。

「ほほう、来ましたな、一休さん。」

「はい、まいりました。」

「だが、橋をわたる前に、立札が目に入らなかつたかね。」

「見ました。見ました。」

「なんと書いてありましたかね。」

「このはしをわたるべからず、とありました。」

そこで竹斎さんは、きつとして、

「ではなぜ、渡つてきたのですか。」

しかし、一休さん、すましたものです。

「はい、はしをわたるべからず、とありましたから、真ん中をわたつてまいりました。」

それを聞いて、さすがの竹斎さんは感心してしまいました。

(寺村輝夫「一休さん」による)

单語

完全(かんぜん)
名・形動(①)

身につく(組)

(把知識等)学到手、掌握
達者(形動)(①)

熟练；健康；精明

			苦心(名・自サ)②	助動詞(名)②
下らない(组)①			ややこしい(形)④	复杂、麻烦
おだてる(煽てる)(他一)①			殊に(副)①	特别
本気(名・形动)①			話にならない(组)	不值一谈、无话可说
おべつか(名)②			世辞(名)①	奉承话、恭维话
どことなく(副)④			めちゃめちゃ(日茶日茶・滅茶滅茶)(形动)①	
さほど(然程)(副)①			くつづける(他一)④	乱七八糟、一塌糊涂
閉口(名・自サ)①			短文(名)①	粘上、使靠近；撮合
長音(名)①			熟語(名)①	成语、熟语
短音(名)①			暗記(名・他サ)①	熟记、暗记
よほど(余程)(副)①			詰め込む(他五)③	装满；硬灌
代名詞(名)③			引け(名)①	见拙、逊色
形容詞(名)③			引けを取らない(组)	
副詞(名)①			ひ	
比較的(副)①			ひ	
動詞(名)①			ひ	
平凡(名・形动)①			ひ	
比 較 的			不逊色	耐 心、毅力
动 词			平凡、普通	

孜孜不倦、勤勉

禅僧(名)①

禅宗和尚

「(一)(一)(一)(副)」①
流暢(形动)①

ものになる(惯)

実姉(名)①

実子(名)①

私立(名)①

市立(名)①

こつけい(滑稽)(名・形动)①

失敗談(名)③

恥をかく(组)

どうせ(副)①

あたり前(名・形动)①

習うより慣れよ(组)

* * * *

一休(专)①

臨濟宗(专)③

一休宗純(专)①+①
(日本室町中期临济宗僧侶, 法名宗純)

成功、成材

亲姐姐

亲生子

私立

中頃(名)①②

繪本(名)②

童話(名)①

題材(名)①

アニメ(animation)(名)①①

モデル(model)(名)①①

原作(名)①

民衆(名)①

仮託(名・自他サ)①

和尚(名)①

法師、方丈; 僧人; 和尚

民众、大众

模特儿

动画

连环画

(时间的)中间; (场所的)中央

童话

题材

原作

模特儿

动画

连环画

民众、大众

假托

和尚名

(禅宗一派)临济宗

法师、方丈; 僧人; 和尚

竹齋(专)②

使い(名)①

つれる(連れる)(他一)①

ありがたい(形)④

难得；值得感谢、值得庆幸

橋(名)②

門(名)①

ところが(接)③

ふと(副)①①

立ち止まる(自五)①④

め(奴)(接尾)

やつ(奴)(名)①

わし(代)①

立札(名)②

べからず(组)

(人名) 板(名)①

使者

帶來

ははあ(叹)②

桥

門

但是

偶然、突然

停下、止步

混蛋、兔崽子

家伙、东西

(男性用语)我

端(名)①

禁止、不可、不能

板

无价值、荒谬、愚蠢

ばかばかしい(馬鹿馬鹿しい)(形)⑤

(想起了、明白了时发出的声音)哈哈、啊

さては(叹)① (用于忽然发现的时候)原来是

すたすた(と)(副)②① (目不斜视地)急忙、飞快

こわごわ(恐恐)(副)①③ (表示放心、紧张等)哎

やれやれ(叹)① (表示放心、紧张等)哎

呀呀；(表示疲倦、愕然)哎呀

きつと(副・自サ)①③ 神情严峻

ます(自五)② 若无其事

邊(名)① 边、边缘

告示牌

言葉と表現

一、「直す」构成的复合动词（本文）

国際交流における日本語の重要さもこれから見直されるであろう。

「直す」接在动词连用形后面构成复合动词，表示「重新做……」。

- こんな書き方では、ちょっと説得力がないので、もう一度書き直したら？（这种写法没有说服力，重写一次怎么样？）
- 失敗したものは作り直してください。（做坏了的请重新做。）
- この本は十年前一度読んだ。もうほとんど忘れたので読み直そうと思っている。（这本书十年前看过，可几乎全忘了。我想重读一遍。）

二、…にもかかわらず（本文）

王さんは日本語の勉強でいぶん苦労したにもかかわらず、語彙や文法の点でまだわからないところがある。

「かかわらず」是动词「かかわる」的否定形，表示「不管」「不能」。「にもかかわらず」接在简体句后面。但是体言谓语句和形容动词谓语句要接在「である」或体言、形容动词词干后面，也可以用「活用词连体形

「十のにもかかわらず」的形式。

「にもかかわらず」表示「尽管……但是……」「虽然……但是……」。

- 彼はまだ三十五歳の若さだ。それにもかかわらず、大学教授になつた。（他还很年轻，只有三十五岁。尽管如此，已经是大学的教授了。）

- 回りが静か(なの)にもかかわらず、いつもと違う場所なので、ちつとも眠れない。（尽管周围很安静，可是因为换了地方，所以一点儿也睡不着。）

- ひどい災害に見舞われたにもかかわらず豊作をかちとつた。（尽管遇到了严重的灾害，可是仍然获得了丰收。）

「にかかわらず」还可以表示不受某种情况的制约。表示这种含义时，一般接在表示正反对立含义的词汇后面，如「大小」，或接在同一用言的肯定与否定式，及反义词和「体言十のいかん」后面。

- 昼夜にかかわらず仕事を続けている。（不论白天或黑夜不断地工作。）
- 好む好まないにかかわらず、やらなければならない。（无论喜欢或不喜欢，都必须干。）
- 難しいやさしいにかかわらず、一度やつてみるつもりだ。（无论难易如何，我打算试一试。）
- 天候のいかんにかかわらず、運動会を行なう。（无论天气好坏，运动会照常举行。）

三、副词「よほど」（会話）

これはよほど気をつけないと間違いますね。

副词「よほど」表示程度非同一般。也可以用「よっぽど」，表示强调。

(1) よほどのは／…のは、よほど…だろう

表示程度非同一般。讲话者吃惊地观察着事物，对事情的原因作着推断。

- 彼は我慢強い人だから、よほどのことがないかぎり気の弱いことを言わない。（他是个很能忍耐的人，只要不是万不得已的情况，不会服软。）
- よほど疲れていたのでしよう。彼は帰つてくるとご飯も食べずに寝てしましました。（他大概非常累。回到家没吃饭就睡了。）

- あんなに大声で泣くのはよほど悲しいからだろう。（哭得那么伤心，应该是很难过吧。）

(2) よほど…ないと

表示「非常に…ないと」。

- 初心者向けですから、よほどわかりやすくないと読めないでしょう。（因为是面向初学者的，所以如果写得太难的话，他们会看不懂的。）
- 雪の日はよほど気をつけないと転んで怪我をする。（下雪的日子，稍不留神就会摔倒受伤。）
- よほどがんばってやらないと、明日までには間に合いませんね。（不努力干的话，明天之前是完不成的。）

(3) …より、よほど…だ

表示二者程度上差异很大。

- 暑いとはいって、空気が乾燥しているだけに日本よりはよほどしのぎやすいようだ。（虽说很热，但是因为空气干燥，好像比日本要好过多了。）
- AさんよりBさんのほうがよほど良く勉強する。（B比A学习用功多了。）

- 医療制度に関して言えば、中国より日本のほうがよほど進んでいる。（要说医疗制度，我觉得日本比中国进步多了。）

(4) よほど…しよう

表示自己非常想做某件事。

- 子供の茶碗の洗い方があまりにも不器用なので、よっぽど自分でやつてしまおうと思ったが、我慢して見ていた。（孩子洗碗的样子实在是笨拙。我真想自己做，但还是强忍着在一旁看着。）
- 黙つて聞いていられない。よほど言い返してやりたかった。（我可无法一声不吭地听着。真想回敬几句。）
- よほど途中で帰ろうと思つたが、だれも席を立たないので仕方なく最後まで見ていた。（很想看到一半就回去的。但是没有人离开。没办法只能看到结束了。）

四、…ときたら（会話）

ことにテニヲハときたら、お話になりませんね。

「ときたら」是口语的表达形式，可用于以下三种情况。

- (1) 提出某个人或某件事为话题，并在下面的谈话中对该人或该事加以评论，且内容大多含有不满、批评或自嘲等语气。

- あの会社の電話応対ときたら、不親切で頭に来る。（要说那家公司接电话的情形，真是粗暴，让人生气。）

最近、母ときたら、私の結婚のことばかり気にしているのよ。ほんとうにうるさい。（要说妈妈呀，最近老是惦记着我的婚事，真是烦人。）

お宅の息子さんはよく勉強していいですね。うちの子ときたらテレビばかり見ていて困ります。（您家的孩子学习用功，真不错呀。我家的孩子啊，每天只知道看电视，真叫人心烦。）

(2) 表示一提起或一看到A自然会联想到B。

中華料理ときたら、とにかく餃子ですね。（提起中国菜就会想到饺子。）

お寿司ときたら、やっぱりあのすし屋ですね。ネタがいいうえに安いから。（要说寿司啊，还是那家寿司店的好。材料好，又便宜。）

ヨーロッパ旅行ときたら、なんと言つてもパリとローマでしょう。（要说去欧洲旅游嘛，当然还是去巴黎和罗马。）

(3) 表示按顺序来说，A的下面自然就是B了。

京都、大阪ときたら、次は神戸にするべきだよ。（京都、大阪，接下来自然就是神户了。）

あいつ、また男の子が生まれたそうだ。一郎、二郎ときたら、次は三郎かな。（听说他又生了一个男孩。一郎、二郎，下面自然就是三郎了。）

五、：やつと(のこと)だ（会話）

单語や熟語を暗記するだけでさえやつとの間に、…

「やつと(のこと)だ」表示做某件事已经是竭尽全力，根本不可能再做其他事情。相同的说法有「精一杯だ」。

- 主人の給料では、家族四人が食べていくのがやつとで、子供を学校に行かせる余裕はまったくない。（丈夫的工资只够一家四口吃的，没有多余的钱可以送孩子上学。）
- とても小さな部屋で、ベッドを入れるだけでもやつとだ。それでも、狭いながら我が家だから、すごく嬉しかった。（屋子很小，只能放一张床。但是，再小也是我自己的家，所以我很开心。）
- とても難しい本なので、一日に三千字翻訳するのがやつとのことだ。（这本书很难，一天最多只能翻译三千字。）

六、⋮にかけては（会話）

わたしも忘れるごとと、怠けるごとにかけては、
引けを取らない方です。

「にかけては」接在名词后面，表示「别的不清楚」在⋮方面、⋮。一般用于表示别人好的地方。可以和「⋮について言えば」⋮のことでは⋮の面では等替换。

- 味にかけては、中華料理は世界一だ。（关于味道，中国菜是世界第一。）

- 洋子は音楽にかけては天才的な所がありますね。（洋子在音乐方面很有天赋呀。）

- デザインにかけては、彼女の設計したものはみんなから喜ばれている。（关于款式方面，她的设计受到了大家的欢迎。）

七、どうせ：から（なら）（会話）

どうせ外国語で間違うのは当たり前ですから、
「習うより慣れよ」というつもりで練習するんですね。

副词「どうせ」表示横竖如此，反正如此。常和「（だ）から」「なら」呼应使用。和「（だ）から」呼应使用时，表示的是一种既定的事实，与「なら」呼应时，表示的是假定。

- どうせ勤めるなら、なるべく給料のいい会社にしよう。（終归要工作的，就尽可能地找个工资高一点的公司吧。）
- どうせ助からないなら、本当のこと教えよう。（反正没救了的话，那就把真相告诉他吧。）
- どうせ間に合わないのでですから、ゆっくりやりましょう。（反正来不及了，慢慢地干吧。）

八、「：つもりだ」表示讲话者内心想法（会話）

「習うより慣れよ」というつもりで練習するんですよ。

「つもりだ」除了表示计划、意图之外，还可以表示没有根据的以为、深信，或反事实的感觉。用于第三人称时，一般用「：つもりのようだ」「：らしい」「：つもりかもしれない」等表示推测。用于第二人称时，一般用上述表示推测的表达形式或疑问句。这种用法接在动词现在时或过去时，「名词十の」、形容词或形容动词的连体形后面。

- まだまだ元気なつもりだったが、あの程度歩いただけでこんなに疲れてしまうとは。（我还觉得

自己很健康呢，没想到只走了那么点路就累成这个样子了。)

- お前は自分が立派なことをやつたつもりだろうが、とんでもない思い違いだよ。（你大概觉得自己干了件很了不起的事情吧。你的想法大错特错了。）

- またそんなことを言つてる。お前はあくまでも自分が正しいと言い張るつもりかい？（还在这里么说呢。你是无论如何都要坚持说自己是对的吗？）

- お前はいつたい何様のつもりだ？（你以为自己是谁呀？）

九、「……から」表示推断的依据（应用文）

その生涯にさまざまな逸話を残したことから

江戸時代に説話集が作られ、…

「ことから」と「ところから」相同，表示推断的依据，后句是成为判断根据的理由。

- 道路が湿っていることから、昨夜は雨が降ったことがわかつた。（道路都是湿的，可见昨晚一定下过雨了。）
- 女性が夜でも一人で歩けることから、治安のよい社会といえるでしょう。（女人一个人晚上走也没问题，可见治安不错。）
- いつ行つても長い列が並んでいることからも、この店の人気のすごさがわかる。（任何时候去都有人排长队等着，可见那家店人气很旺。）

十、なんと…(の)だろう（応用文）

なんと大きな屋敷でしょう。

「なんて：んだろう」。这个句型表示讲话者带有吃惊、感叹的心情称赞或者批评某件事情。一般用于文章语。口语中常说

- 水平線に夕日が沈んでいく。なんと美しい景色だろう。（夕阳慢慢地消失在地平线，多美的景色啊。）
- 一瞬にして部屋が押し流されてしまった。津波ってなんと恐ろしいものだろう。（房子顷刻间就被冲走了。海啸是多么可怕的东西啊。）
- あんなばかなことをするなんて、なんと無謀な若者たちなのでしょう。（做出如此愚蠢的事来，真是一群鲁莽的年轻人啊。）

十一、…べからず（応用文）

このはしを渡るべからず。

「べからず」由推量助动词「べし」的未然形「べから」加否定助动词「ず」构成，表示禁止。这是文言语法的表达方式，但在现代日语中尚有出现。「べからず」接在动词终止形后面。

- 車内でたばこを吸うべからず。（车内禁止吸烟。）
- 芝生の中に立ち入るべからず。（禁止进入草坪。）

● ここでは釣をするべからず。（这儿禁止钓鱼。）

十二、助词「や」（応用文）

一休や、帰るぞ。

(1) 并列助词。表示列举。

あれやこれやとたずねる。（这呀那呀地问了许多。）

国語や数学や理科などの授業がある。（有国语、数学、物理等课。）

(2) 接续助词。接在动词、活用词的终止形后面，表示「一：立刻就」。和「：やいなや」「：とすぐに」意思相同。

目覚まし時計が鳴るや、毛さんは飛び起きた。（闹钟刚响，小毛就从床上跳了起来。）

それを知るや、飛び出した。（一知道那件事马上就跑了出去。）

気持ちが緩んだせいか、休暇に入るや、風邪を引いてしまった。（也许是心情放松了的缘故吧，刚放假就感冒了。）

(3) 终助词

接在名字后面，用于父母或关系亲近的人招呼孩子。

洋子や、ちょっとここへ来なさい。（洋子，上这儿来一下。）

次郎や、そこにあるはさみを取ってちょうだい。（次郎，把那儿的剪刀拿来。）

弘や、早く出かけないと学校に遅れますよ。（小弘，再不出门要迟到了。）

用「…う（よう）や」的形式，表示劝诱或命令。这种用法不是很客气，一般用于男性朋友之间。

天氣がよくなないから、帰ろうや。（天不好，早点回家吧。）

列車に乗り遅れちゃいけないからすぐに出発しようや。（快点出发吧，赶不上火车麻烦大了。）

表示轻松随意地说。感觉比较粗鲁。

こんな映画、つまんないや。早く帰ろうよ。（这种电影太没意思了，早点回去吧。）

これはすごいや。どこで買ったの？（这个东西不错，在哪儿买的？）

「この自転車のパンクをなおしてよ。」「今忙しくて、できるものか。」「じゃあ、いいや、自転車屋に持つて行くから。」（「这辆自行车的轮胎爆了，给修一下吧。」「我现在很忙，没时间修。」「那就算了，我拿到自行车行去修。」）

ファンクション用語

例 証

李 日本人のあいさつには、天氣の言葉がたくさんありますね。例えば、

「いいお天氣ですね」とか、よく言うでしょ。

王 そうですね。天氣の言葉を例に取ると、中国語にもよく出てきますね。

李 強いて言えば、あいさつの言葉も文化の一面を表わしていますね。

そうですね。例を挙げれば、いろいろありますね。

練習

一、漢字にふりがなをつけなさい。

見直す 正直 率直 煽てる 閉口 殊に 特殊 根気 根源 根性 色氣 気配 平凡 凡人
滑稽 滑走 円滑 流暢 屋敷 立札 世辞 達者 謙遜 証拠 根拠 規則 規則
頓智 絵本 題材 題目 仮託 真ん中

二、○に仮名を入れなさい。

- (1) 日本語は学ぶ○○難しくなるような気がする。
- (2) 体が弱い○○○○○○○○一日も休まずに学校に出ている。
- (3) 日本語が達者になる○○○○ずいぶん苦心した。
- (4) 私○○は達者○○○ではない。時々下らない間違をして、恥ずかしい○○○だ。
- (5) 日本語は難しいです。ことに助詞の使い方○○○○お話になりません。
- (6) 単語や熟語を暗記するだけできえ○○○なんです。
- (7) 私は忘れること、怠けることに○○○○、引けを取らない方です。
- (8) 語学そのものはこつこつやるより○○○○○○○ね。
- (9) あなたが日本語を話す○○○英語が流暢に話せるといいですね。

(10) ○○○ 外国語で間違うのは当たり前のことです○○、「習うより慣れよ」というつもりで練習するんですね。

三、次の語群から最も適切なことばを選んで――に入れなさい。必要な場合は適當な形にして入れなさい。

よほど 引けを取らない おだてる どことなく いかにも
どうせ こつこつ ものになる こわごわ すたすたと

- (1) 子供が大きな虫を()つかんだが、すぐ手をはなしてしまった。
(2) どんな仕事でも、真心をこめて()やれば、認められるものだ。
(3) ()失敗することがわかっているのだから、こんな実験をする意味がない。
(4) ()気をつけないと間違いますね。
(5) たいていの西洋人の日本語には()西洋人くさいところがあるが、ジョンさんの日本語は()自然なので、実にびっくりした。
(6) 振り向きもせずに()立ち去った。
(7) もうやめなさいよ。あの子は()と本気にしますから。
(8) あの子は勉強はダメだけど、いたずらにかけてはだれにも()
(9) 十年間の苦労が実り、彼の演奏技術が()てきた。

四、各項に上げたことばを使って次の文を完成しなさい。

(1) よほど

この成績だったら、()

現代社会では()認められない。

日本語の敬語は使い方が難しいから、()

()彼はそんなに怒らないでしょう。

あんなにがたがた震えているとは、()

(2) …ときたら

現代音楽ときたら、()

あの人日本語ときたら、()

この前のパーティーときたら、()

先輩の林さんときたら、()

上海の梅雨ときたら、()

(3) どうせ：から

「なぜ説明しないんですか。」

「どうせ()から。」

「なぜ手術をうけないんですか。」

「どうせ()から。」

「まだ食べられるのに、なぜ捨てるんですか。」

「どうせ()から。」

「なぜ試験を受けないんですか。」

「どうせ()から。」

「松本さん、近ごろ中国語の勉強は前ほどじやないね。なぜですか。」

「どうせ()から。」

(4) つもりだ

① 彼女は自分が()でいるらしく、よく高級レストランで食事をしたりしている。

自分では(

、他人から見れば間違っていることもある。

()言つたことが逆に怒らせることになつた。

()もう一度一からやり直して一緒に暮らしてみることにした。

⑤ 学生たちは()、いろいろなボーナスをとつた。

(5) ことから

()彼はせっかちな人と見られる。

()今度の事件が彼女への打撃はひどく大きかつたことがわかる。

()ボーライフでもできたのかと気付いた。

()、彼女もホームシックになつていると感じた。

(5) —

(6) —
(7) —

) 面接に失敗したとわかった。

) 収入より支出の多いことを「赤字になる」といいます。

) 「雪子」と名づけました。

五、「それにもかかわらず／それでも／それにしても／それなのに／にかかわらず」をそれぞれ一度ずつ使って文を完成しなさい。

(1) 苦いので砂糖を入れた。(—)

) まだ苦い。

(2) 伊勢丹のものは高いと聞いていたが、(—)

) 高すぎる。

(3) 単調で根気の要る研究ですね。(—)
るなんて、ほんとうに感心します。

) 每日こつこつ研究を続けていらっしゃ

(4) 明日入学試験です。(—)

) 準備は全くできていません。

(5) 各家庭の使用量(—)

) 水道料金は一定額を徴収します。

六、次の質問に答えなさい。

(1) 王さんの経験では、語学の学習において一番大切なことはなんですか。

(2) 日本語の勉強について、あなたは何か滑稽な失敗談がありますか。話してみてください。

(3) 「習うより慣れよ」ってどういう意味ですか。あなたの経験談を話してみてください。

(4) あなたの知っている一休さんの話を一つ話してみてください。

七、括弧内のことばを使って次の中国語を日本語に訳しなさい。

- (1) 「老林，我有点事想和您商量一下。」「商量？什么事？」「我想辞去现在的工作。」「辞职？为什么呀？」『现在的工事挺复杂的，我不行啊。像我这样没有耐心的人干不了。』「但是，任何工作没有耐心都是不行的。认真干会成功的。怎么样，重新考虑一下吧。」（ものになる／：なおす）
- (2) 「提起那傻瓜，我算是服了。在大家面前，竟然做出那种丢脸的事来。」「是啊。不过，不管怎么傻总还是你的弟弟吧。再同他说一次怎么样？」「说了也没用。反正肯定他不会理解我们的。」（：ときたら／どうせ）
- (3) 「对于我来说日语阅读比说要容易得多。说时，我怎么也定不下心来，所以常常有些不该错的错误，真是不好意思。而且，我觉得反正肯定好不了了，最近连口语练习也变得讨厌起来。」「那可不行啊。外语这东西是越练越好。」（：より：よほど／ほど）
- (4) 我煮的咖啡味道和香味也许并不比那些廉价咖啡馆的差。（：にかけては／引けを取らない）
- (5) 生活本来就是那样的，只有忍耐。是吗？（よりしかたがない）
- (6) 铃木尽管年纪大了，记忆力差了，可还是拼命努力。终于，他的汉语说得比任何人都好。（：にもかかわらず／引けを取らない）
- (7) 考试题目太多，光做一遍就已经是竭尽全力了。根本没有时间检查一遍。（やつとのことだ）
- (8) 我是想帮他的，没想到反给他添了麻烦。（つもりだ）
- (9) 「多漂亮的花啊。」「好看吧。这花有股香味，我很喜欢。」「在哪儿买的？」「不，是朋友送的。喜欢的话送给你好了。」（なんと：だろう）

八、辞書を調べながら次の日本語を中国語に訳しなさい。

言葉はいつも正しく伝わるとはかぎりません。相手の言つたことを自分がまちがつて受け取つたり、自分の言つたことを、相手がまちがつて受け取つたりすることがあります。それを誤解といいます。

私はかつて、留学生の一人から。

「あなたは私の写真をとつたでしよう。」

といわれて、びっくりしたことがあります。これは一つの語が多くの意味をもつてることから起ころる誤解です。「とる」には「写真をうつす」の他に、「うばう」「ぬすむ」「つかまえる」「えらぶ」「おこなう」など、いろいろな意味があります。この場合には、「あなたは、私の写真をとつて下さつたでしよう。」

と言えば、誤解は避けられるのです。

第十一課 あいまい語について

本文

あいまい語というのは、危険語と言つていいでしよう。あるいは条件語と言つてもいいでしよう。あいまい語の代表的なものは、「適当に」とか、「いいように」といったことばです。こういったことばは、一口に言つて、相手を戸惑わせることになります。

ふりかえつて、わたくしたちの日常の言葉づかいを考えると、どうもあいまい語が多いようです。「よろしいように」とか、「お気に召すように」とか、「けつこうです」「まあまあ」「どうも、どうも」など、あげればきりがないほどです。その原因はいろいろあるのでしょうが、長い間、明確な意志の表現は社会生活をする上で危険であるといった悲しい時代が、日本に続いたということを見逃すわけにはいきません。「口は災いの門」だとか、「言わぬが花」だとか、あるいは、「キジも鳴かずば撃たれまい」だとか、甚だしきに至つては「沈黙は金」——まったく口のきけないのがいちばんりっぱだということわざまであります。これは、逆に見れば、話すことは危険であるということです。

(一)

李

日本に来てもう一年になるんですが、日本人は本当に何を考えているのか今でもよく分からないんで、困っています。この間、協力して欲しいことがあって相談すると、「考えさせてください」というので、期待しているんですが、まだ、なんの返事もないんですよ。

田中

それはそうですよ。「考えさせてください」という表現は、つまり「ノー」という意味なんですか。

王

ええ。初めて日本に来たときに、日本の友達が「今度、私の家に遊びに来てね」つていつたんです。それで、「いつ行けばいいの」と言つたら、すごく困った顔をしているの。どうしてなのか後で先輩に聞いたら、日本人は人を家によぶつもりがなくとも「今度、遊びに来てね」というらしいのよね。

田中

「今度、遊びに来てください」というのは、ほんとうに来てくれというのではなくて、あいさつのひとつなんですよ。たとえば、朝、人に会うと、「おはよう、どちらまで」「はい、ちょっとそこまで」といった会話をします。これだつて、どこに行くのかを知りたいわけじやなくて、そんな会話のやりとりがあいさつになつてているんです。こういう言い方が誤解を生む原因になつているんでしょうね。

李

中国にも、「お出かけですか」「ええ、ちょっとそこまで」という、同じような表現があります。同

じアジアの国だからでしようか。アメリカではイエスとノーをはつきり表わすそうですが、私は、こういったやわらかい表現のほうがレベルの高いコミュニケーションだと思うんですがね。日本語は、相手のことを思いやつて間接的に回りくどい表現になるわけですが、ストレートにいうよりは、相手にあまり衝撃を与えないですむ良さもあるわけです。日本の気候、風土、文化などの背景が、言葉や表現の仕方に影響を与えているんですね。

(日本語教育・教材研究会編「日本語作文」による)

(二)

王 日本語はあいまいな表現が多くて大変です。
佐藤 はつきり言わないことがありますからね。

王 ときどき、イエスなのかノーなのかわかりません。

佐藤 ほお、例えば?

王 そうですね。例えば「いいですよ」とか

佐藤 確かに両方の意味で使いますね。

王 ですから、どっちの意味か迷うことがあります。

佐藤 声の調子が違いますけどね。

王 でも、それだけではまだ……

佐藤 自分のためになることに対する「いいですよ」は、OKの意味です。相手のためにすることに対する

応用文

頼む言い方と勧める言い方

満員の乗り物の中で、お年寄りに席をゆずるときに、君は、なんと言つて席を立つだろうか。「どう

て「いいですよ」だつたら、必要ないという意味です。

後の場合、イエスの意味で「いいですよ」つて言いませんか。

そのときは、普通「お願ひします」とか「ありがとう」とか言いますね。

なるほど。

相手に対し頼んでいるのか勧めているのかで意味が決まつてきますね。

でも、必要ないというときの「いいですよ」でも本心なのか、遠慮なのかよくわかりません。

それは難しい問題ですね。

本心なら、あんまり言うとしつこいと思われるし、遠慮なら、一度だけしか言わないと冷たい
と思われるんじやないかと……。

そこは日本人でも悩むところです。

どうしたらいいでしよう。

もう一度くらいあまり強くならないように言つてみるのがいいんじやないですか。

(加茂隆『あいまいな日本人』による)

ぞ。」だろうか。それとも、「どうぞ、おかげください。」だろうか。それとも、もっとほかの言い方をするだろうか。「腰をかけるように」ということを言うだけでも、本当にたくさんの、いろいろな言い方があるものだ。

お父さんやお母さんが、君に向かつて言うなら、「そこにすわりなさい。」とでも言うだろう。偉そうにしたおじさんなら、「いいから、かけたまえ。」などと言うかもしない。気楽な友達どうしなら、「すわれよ。」だけでもいい。また、女人の人なら、「すわって。」などとなる。

これらは、どれも、命令調か、またはそれに近い言い方だが、命令調では見合の悪い場合はいっぱいある。そんなときによく使われるのが、

「すわってください。」「おかげください。」

という言い方だ。これは、「……してください。」と、こちらが頼んでいる言い方だから、相手の人には、命令されているような感じをあたえないですむ。女人の「すわって。」は、この「すわってください。」の「ください」を省いた言い方なのだ。

これに次いでよく使われるのが、

「すわる?」「おかげになる?」

などの言い方だ。これは、相手にその氣があるかどうかたずねるような言い方で、相手の意志を尊重した感じをあたえる。

これと似た言い方に、

「すわらない?」「おかげになりませんか?」

などがある。やはり、相手にその気がないかとたずねる言い方だが、これには、「ひょっとしたら、相手にその気がないかもしない。」という点に気を配った感じがある。こうなると、命令調からだいぶ離れて、ずっと柔らかになる。

これらの頼む言い方とたずねる言い方を組み合わせると、一生懸命に頼むような言い方になつて、ますます柔らかな感じになる。

「すわつてください？」かけてくださいますか？」

「すわつてください？」かけてくださいませんか？」

こんなばかりいねいな言い方はしたことがない、と君は思うかもしれない。けれども、君も、「教えてくれる？」「見せてくれない？」などとは言うだろう。これは、「くれる」「くれない」という部分が「くださる」「くださらない」ほどていねいでないだけで、言い方としては、「……してください？」「……してくださらない？」と同じなのだ。

これらはみな、命令調をきけて、相手に気をつかつた言い方だが、ほかに、相手にすすめるような言い方というのもある。

「すわつたらどう？」「おかげになつたらいかが？」

「すわつたら？」「おかげになつたら？」

これは、次のように、「わたしもするから、あなたもいっしょにしましよう。」とすすめるような言い方で言うこともできる。

「すわりましよう。」「かけましよう。」

このほか、

「すわってごらん。」「かけてごらんなさい。」

などと言うこともできるが、これは、「ちょっと試してみるようだ」と、勧める言い方だ。

このようないろいろの言い方も、どんな口調で言うかによって、すっかりちがつた感じのものになることがある。例えば、「すわって。」も、強い口調で言うと、しかつているような感じになるし、「すわつたらどう?」も、ぶっきらぼうな調子で言うと、「どうして早くすわらないのか」と、なじつてているような感じになる。

(石森延男編『新国語』による)

單語

あいまい(曖昧)(形動)①

一口(名)②

戸惑う(自五)③

一口；一言、三言兩语

不知所措、犹疑不決

「氣に入る」的敬語

お気に召す(組)

きりがない(組)

明確(形動)①

曖昧、含糊

災い(名)①

口は災いの門(慣)

言わぬが花(慣)

きじ(雉)(名)①

きじも鳴かずば撃たれまい(慣)

無止境

野鷄

禍、灾禍、灾害

祸从口出

少说为妙

言多必失、多言招禍

明確

言葉と表現

一、一口に（本文）

こういったことばは、一口に言つて、相手をとまどわせることになります。

「一口に」表示「简单地」「笼统地」。这里的「一口」是「三言两语」的意思。

- 一口に喫茶店といつてもずいぶん店によつて性格が違うね。（笼统说都是咖啡馆，但不同的店就有不同的特点。）
- いろいろご意見を伺いましたが、一口に言うとどういうことですか。（您说了很多意见，简单地说，是怎么回事啊？）
- 一口にいけないと言つて相手のすることをとめるわけにもいかない。（又不能简单地说声「不行」来阻止对方的行动。）

二、词语「きりがない」（本文）

あげればきりがないほどです。

「きり」是动词「切る」的名词形，表示「限度、终结」。「きりがない」表示「无止境的」「没完的」。

- 理屈を言えきりがない。（理由説起來没个完。）
- そんなことを気にしたらもうきりがない。（那种事介意起来那就没个完了。）
- 自然に対する人類の認識はほんとうにきりがないものですね。（人对于自然的认识真是无止境的啊。）

三、：うえで（本文）

明確な意志の表現は社会生活をする上で
危険であるといった悲しい時代が、：

「うえで」可以接在名词后面，也可以接在动词现在时或过去时后面。

接在名词后面时，表示某一方面。这种用法很多场合可以和「関係」「点」「面」「場合」等词替换。接在动词现在时后面时，表示做某件事时，或者在做某件事的过程中。一般接下来讲的是这个场合或这个过程中需要注意的地方或问题。「うえで」接在动词过去时后面时，表示先做该动词所表示的动作，然后根据其结果再做行为，相当于「：てから」。

- 曆のうえではもう春だというのに、まだまだ寒い日が続いている。（虽说日历上已经是春天了，可是每天却还是很冷。）
- 地図のうえではすぐ行けそうに見えるが、歩いて行くと一時間以上かかる。（从地图看似乎一会儿就可以走到。可是，走着去要花一个多小时。）

● 血圧の高い人が運動するうえで特に注意すべきことは何ですか。（血圧高の人运动时应该特别注意些什么呢？）

● 車はここで生活していくうえで、欠かせないものです。（要在这儿生活下去，车是不可缺少的工具。）

● 詳しいことはお目にかかるたうえで、またご相談いたします。（具体事情等见了面再商量。）

● 野菜は五分間煮たうえで味をつけてます。（蔬菜煮五分钟之后再放调味品。）

「うえ」除了和助词「で」「起用之外，还可以和「に」「は」一起用。不过，「うえに」表示的是累加，「うえは」接在动词过去时后面表示「既然……就……」。

● 道に迷ったうえに雨に降られて、さんざんでした。（迷了路，又被雨淋，真是狼狈不堪。）

● 新品は操作が簡単なうえに、スピードも速い。（新产品操作简单，而且速度也快。）

● もう進学をあきらめると決めたうえは、そのつもりで、将来のことを考えていかなければなりません。（既然你已经决定不想升学了，那么就按这个想法好好考虑一下将来的生话。）

● こうなったうえはしかたがない。（既然事情已经变成这样，那也只能如此了。）

四、：に至つては（本文）

甚だしきに至つては「沈黙は金」——まつたく口のきけないのが一番りっぱだということわざまであるのです。

「至つては」由动词「至る」的连用形接「ては」构成。例如：「ストライキは、幸いに日本全国に至らなかつた。」句中的「に至る」表示某事物经过变化最终达到某种状态或结果。而「に至つては」则用来表示事情「发展到非常严重的程度，没有其他办法，这才……」，一般句末会用「しないわけにはいかなくなつた」「……せざるをえない」「全くだめだ」「どうしようもない」等结句。

- あの学生はいい調子で遊んでばかりいたが、留年を宣告されるに至つてはじめて問題の大きさに気づいた。（那个学生一直在开心地玩，直到被告知要留级时才感到问题的严重。）
- 私はアルコールに弱い。ビールくらいなら少しは飲めるが、白酒に至つては匂いをかいただけでも酔ってしまう。（我酒量不行。如果是啤酒什么的还能喝一点儿。至于白酒，就是闻々味道也會醉。）
- 彼は医者嫌いだが、三十九度の熱が三日も続くに至つては、とうとう医者に行かざるを得なくなつた。（他讨厌看病，但三十九度的高烧持续了三天，不得不去看医生。）

五、动词「思いやる」（会話）

日本語は相手のことと思いやつて間接的に回りくどい表現になるわけですが、：

(1) 表示「体谅」「体贴」。

- だれもが人を思いやる心をもてば、世の中はどんなに明るくなるでしょう。（如果每个人都能替别人着想，那世界将会变得多么美好啊。）

● 長く病床生活をしている彼女の気持ちを思いやつていろいろ慰めた。（我非常体谅她长期过着病床生活的心情，给了她百般的安慰。）

● あの子はたとえすこしでも親の苦労を思いやるといいのにね。（那孩子如能稍稍体谅一些大人的辛苦就好了。）

(2) 表示「遥想」。

● 年のせいか、私は近ごろよく遠い昔のことを見いだす。（大概是上了年纪的关系吧，我近来时常遥想很久以前的事。）

● 故郷を思いやると、幼い時の様子が映画のように頭の中に浮かんできた。（每当遥想故乡，童年时的情景像电影般浮现在脑海。）

(3) 用「思いやられる」的形式，表示「令人担心」。

● そんなに勉強がきらいでは、将来が思いやられるね。（那么讨厌学习，前途真令人担忧。）

● はやく止めなさい。でないと、後の結果が思いやられる。（快别让他干，不然的话，后果令人担忧。）

(4) 常用「思いやる」的连用形「思いやり」作名词。表示「同情心」「体谅」「关怀」等意思。

● 田中さんは思いやりがある人ですから、かれに頼んでみましようか。（田中是个富有同情心的人，拜托他怎么样？）

● そのままで帰らせたのですか。ほんとうに思いやりがない人ですね。（你就那么让他回去了吗？真是个没有同情心的人。）

六、词语「ためになる」（会話）

自分のためになることに対する「いいですよ」は、OKの意味です。

「ためになる」表示「有用的」「対：有好处的」。

- 私の話は耳に痛いがためになる話だ。「良薬は口に苦し」というんだ。（我的话听起来不舒服，可却是为你好。所谓「良药苦口」嘛。）
- わたしは学生のためになる本を書こうとして、たくさんの参考書を読んだ。（为了写出对学生有帮助的书，我看了很多的参考书。）
- そんなことをするとためにならないよ。よくよく考えたうえで行動しなさい。（做这种事对你不利，还是好好想想再行动。）

表示「利益、好处、有用」等意思的「ため」是名词，不仅可以和「なる」结合构成一个惯用词组，也可以单独用。例如：

- 君のためを思つて言うんだ。（我是为你好才说的。）
- 家族のためを思つて我慢したんだ。（考虑到家族的利益我才忍着。）

七、「でも」与其他助词的重叠（応用文）

お父さんやお母さんが、君に向かつて言うなら、「そこにすわりなさい。」とでも言うだろう。

表示委婉的「でも」经常会和其他助词重叠使用。例如：

- 旅行の楽しみは、未知の世界を発見する喜びとでも言えるでしょう。（也许可以说旅游的乐趣在于发现未知的世界。）

● 風の強い、よく晴れた冬の日には、この辺からでも見えるんです。（冬天天气晴朗、风很大的日子，从这儿也能看到富士山。）

● 鈴木さんは昼食にでも出かけていたんでしょう。（铃木也许是出去吃午饭了吧。）

● 旅行中、病氣にでもなつたら困るよ。（旅途中生病的话就麻烦了。）

● これは父がとても大事にしているものだから、気をつけて持ちなさい。こわしでもしたら承知しないよ。（这是父亲非常珍惜的东西，搬的时候要小心一点。摔坏了我可不原谅你。）

八、終助词「たまえ」（応用文）

いいから、かけたまえ。

- 終助词「たまえ」接在动词连用形后面，表示略带客气语气的命令，系成年男子用语。
- 今日をきつかけに、ときどき遊びにきたまえ。（今天来了，以后可要常来啊。）
- 公園に行つて散歩したまえ。（你去公园里散散步吧。）
- もう用意してあるなら、読みたまえ。（准备好了的话，那就读吧。）

九、词语「氣」（応用文）

これは相手にその氣があるかどうかたずねるような言い方で、：

「氣」可以表示呼吸，如「氣がつまる」。也可以表示气量、气度，如「氣が大きい」「氣が小さい」。还可以表示气质、心神、情绪、心思等。「氣がある」是个惯用词组，表示「有心」「爱慕」。此外，与「氣」组的常用惯用语还有：「氣が重い（軽い）」「氣が氣でない」「氣が進む」「氣が済む」「氣が乗る」「氣を変える」「氣を揉む」「氣を取る」「氣を使う」「氣を配る」等等。

- 先生の話を思い出すと、氣が重くなる。（一想起老师说的话，心情就变得沉重起来。）
- ピザがなかなかおりないので、日本の学校の入学に遅れはしないかと、氣が氣でない。（签证老是下不来，所以急得什么似的，生怕赶不上日本学校的开学。）
- なにかやらせてもらわないと氣が済まない。（不让我干点什么，我的心里就不舒坦。）

十、「あわせる」构成的复合词（応用文）

これららの頼む言い方とたずねる言い方を組み合わせると、一生懸命に頼むような言い方になつて、：

「あわせる」接在动词连用形后面构成复合动词或复合名词，表示两个以上的东西合在一起。例如：「乗りあわせる、待ちあわせる、つなぎあわせる、居合あわせる、抱きあわせる、結びあわせる、食いあわせる、隣りあわせ」等。

ほんのありあわせで、ご馳走などとは言えません。（只是些现成的便饭，无所谓请客。）

● ある朝、隣り合わせに座つたのを機会に、こう話しかけてみた、「よく、ご一緒になりますね。」（一天早上我们相邻而坐。利用这个机会，我试着和她攀谈：「我们好像经常碰面啊。」）

● たまたま二人は同じ電車に乗り合わせたのだが、別に予め約束しておいたわけではない。（我们俩只是偶尔地坐同一辆电车，并不是事先约好的。）

● 田中さんは居合わせた客に向かつて愛想よく微笑を投げかけている。（田中对着在座的客人友好地投以微笑。）

十一、接头词「ばか」（応用文）

こんなばかていねいな言い方はしたことがない。

「ばか」接在一部分词前面，表示程度过分了。常用的有：「ばかていねい」「ばか正直」「ばか騒ぎ」「ばか高い」「ばか安い」等等。

● 世の中には様々な人がいますから、ばか正直に人の話を聞くとダメですよ。（社会上有各种各样的人存在，过分老实地听从别人的话不行啊。）

● これ、ばか安いね、買おうか。（这，太便宜了，买吧。）

● 林さんは酔うとばか騒ぎをするから、あまり飲ませないでよ。（小林喝醉了就胡闹，别让他多喝了。）

ファンクション用語

概 括

李 総じて言えば日本語の敬語の使い方は難しいですね。

王 そうですね。でも、一口に敬語と言っても人を尊敬して言う言葉とか、自分の行為をけんそんして言う言葉とか、いろいろあるでしょう。

李 それをまとめると、尊敬語、謙譲語、丁寧語があります。

王 一言で言えば、敬語は人と場合によつて使い分けないと、かえつて失礼になることもありますね。

練習

一、漢字にふりがなをつけなさい。

戸惑う 迷惑 困惑 戸口 戸棚 災い 門 門限 撃つ 打撃 衝撃 沈黙 黙々と 協力 間接的
誤解 風土 風格 悪む 苦惱 煩惱 勧誘 勧める 尊重 尊敬 気楽 口調 一口

二、○に仮名を入れなさい。

(1) 私たちの日常の言葉遣いを考えると、○○○あいまい語が多いようだ。あげれば○○○○○

ほどだ。

(2) 甚だしき○○○○○○「沈黙は金」ということわざ○○あるくらいだ。

(3) 協力してほしいことがあって相談する○、「考え○○てください」と言う○○、期待しているんですが、なん○返事○ないんですよ。

(4) この前、日本の友達が「今度、私の家に遊びに来てね」って言つたの。○○○、「いつ行けばいいの」と言つ○○、すごく困った顔をしていたの。

(5) どこへ行くのかを知りたい○○じゃない。

(6) ストレートにいうよりは、相手にあまり衝撃を与えない○○○よさもある。

(7) 相手に対して頼んでいるのか勧めているのか○意味が決まってきますね。

(8) 命令調○○具合の悪い場合はいっぱいある。

(9) これらはみな、命令調をさせて、相手○気を使つた言い方だ。

(10) どんな口調で言うか○○○○、すっかり違つた感じのものになる。

三、次の語群から最も適切なことはを選んで――に入れなさい。必要な場合は適当な活用形にして入れなさい。

一口 至つては 戸惑う 思いやる つもり きりがない 見逃す 回りくどい

(1) 思いがけない誘いを受けた私は返事に()てしまった。

- (2) 注意深く検査する()だつたが、不良品を二、三個()てしまつた。
- (3) 時間がないので、()説明を省いて、結論だけ言いましょう。
- (4) 隣のおばあさんは自分の孫のことを言いだしたら、もう()。
- (5) ()客といつても、主人の上役、息子の友人、自分の母親など、いろいろの場合が考えられる。
- (6) 少しは親の気持ちを()といいですね。
- (7) 甚だしきに()だれにも断らずに二週間学校を休んだ人もいる。
- 四、次の文を読んで――()の中に、「うえは・うえに・うえで・うえ」のうちで、一番適当なものを選んで入れなさい。
- (1) 何でもよく考えた()決めるべきだ。
- (2) だまされた()金までとられて、ほんとうにひどい目にあつた。
- (3) 古い()汚いアパートだから、どんなに安くても借り手がつかない。
- (4) すべての条件を十分に検討した()この契約書にサインをしてください。
- (5) 合格、不合格は最終面接をした()決められる。
- (6) やると言つた()どんなことがあってもやる。
- (7) あの人とは仕事の()だけの付き合いで、私生活については詳しいことはよく知らない。

五、各項に挙げたことばを使って次の文を完成しなさい。

(1) …に至つては

① 今年の夏は例になく暑かつたが、()。

② 私は何をしても不器用だ。()。

③ ()、本格的な政治改革をするほかない。

④ 親心はたいていわかるつもりだが、最近の親が()理解できない。

⑤ 原因の調査を放つておいた警察も、()。

(2) ひよつとしたら…かもしない

ひよつとしたら、彼の箱には()。

ひよつとしたら、あの人は()。

ひよつとしたら、青木さんは()。

ひよつとしたら()。

ひよつとしたら()。

ひよつとしたら()。

ひよつとしたら()。

ひよつとしたら()。

ひよつとしたら()。

六、次の質問に答えなさい。

(1) あいまい語というのはどんな言葉ですか。

(2) あいまい語の生まれた原因はなんですか。

(3) あなたの知っているあいまい語の例を言ってみてください。

(4) 話の口調と言ひ方にはどんなかかわりがありますか。

(5) 先生、親、友達、クラスメートに席を譲るときの言ひ方を練習してみてください。

七、括弧内のことばを使って次の中国語を日本語に訳しなさい。

(1) 国際收支盈余現象只集中在某个国家、某个地区的话，对于世界经济的健康发展绝不是令人满意的事。（黒字／健全／うえで／好ましい）

(2) 最近小王上课经常迟到。有时迟到五分钟，有时是十分钟，甚至也有迟到半个小时的。（：に至つては）

(3) 「美国人说话时『是』或『不是』很清楚。而日本人会为对方着想，说话暧昧，喜欢拐弯抹角。」「是啊。刚来日本时，我怎么也习惯不了，常常不知所措。」「我也是。什么『适当地』：『你看着办好了』等等，真是举不胜举啊。就是现在，虽然好像稍微开始习惯一些了，但有时还会听不明白。日语真难啊。」（思いやる／きりがない）

(4) 不是气量小的人是不会干这种事的。（気の小さい）

(5) 因为这次失败心情非常沉重。（気が重い）

(6) 他很少用这么生硬的口吻说话的。是不是有什么不顺心的事呀。（ぶつきらぼう／気に入らない）
(7) 对方的答复来了吗？不会是对方没有同我们合作的意愿吧。（ひょとしたら）

八、辞書を調べながら次の日本語を中国語に訳しなさい。

私ども日本人の日常のあいさつで、よく学生が問題にするのは、隣近所の人たちとのあいさつです。

A いいお天気になりましたね。

Bええ、そうですね。

A お出かけですか。

Bええ。ちょっとそこまで。

A 行っていらっしゃい。

というやりとりです。日本に住んでいる外国人で、少し日本語が話せると、きっと日本人からこんなふうに声をかけられるようになります。

こんなアメリカ人が、「どこへ行こうと、私の自由だ。」などと言い出すと、私は「そらきた。」といつも思います。

「日本人はね、あなたがよそゆきの格好をしているのを見て、外出するらしいと思うでしょう。いつも違ふと感じるわけですね。そのときに、その洋服はすてきだとか、今日はおきれいだとかは言わないのです。日本人は人とのつきあい方が慎重だから、そういうことを言うのは、考えようによつては、失礼になることだつてあるでしょう。けれど、なんとかして、今日のあなたは特別だ、ということを相手に伝えたいのです。どこへ行くかを聞いているのじやないのです、そんなことを聞くのが失礼なことは、十分知っているんです、日本人だつて。だから、それを受けるほうも、「私のことを認めてくれてありがとうございます。でも、私の出かける先は私事であつて、あなたには関係のないことだし、またあなた

も、そこまで聞いているわけではないことを、私はよく承知しております。けれど、黙っていては、せつかくの好意を無にすることになるでしょう。』と考えるのです。だから、いちばん無難な考え方として、『ちょっとそこまで』と答えるのです。そうすればね、相手は、出かける人に対するあいさつとして、これはほんとの気持ちで、『行っていらっしゃい。』って言うんです。わかるでしょう、日本人の心のやりとりが。』

（池田摩耶子「日本語再発見」より）

第十三課 擬声語と擬態語

本文

次のように、物音や動物の鳴き声を表わす語を擬声語といいます。

「雨戸がガタガタと鳴る。」

「太鼓をトントンとたたく。」

「メーメーと羊が鳴く。」

「ワンワンと犬がほえる。」

また、次のように、物事の状態や身ぶりなどを、その感じがよく現われるよう示す語を擬態語といいます。

「蝶がひらひら飛んでいる。」

「本が箱にぎっしりつまっている。」

「腕をぐるぐる回す。」

擬声語と擬態語は音節の組み合わせ方が、規則的な体系をなしているものがたくさんあります。ま

会話

た、現代の文章では、擬声語は片仮名で書かれことが多いが、擬態語は平仮名も用いられ、表記は一定していません。

(「ポンポン」や「にこにこ」ということばについて、正雄君と恵子さんが話し合っています。)

正雄 「ポンポンと手をたたく。」って言うだろう。なんだと思う、「ポンポン」つて。

恵子 音がしたことでしょう。「はさみでチヨツキンチヨツキン。」って言うのも、同じだわ。

正雄 そうだね。「カーンとホームラン。」とも言うね。ほかに、どんな言い方があるかな。

恵子 「バラバラ雨が降る。」「トントン戸をたたく。」たくさんあるわ。

正雄 「バラバラ」「トントン」ね。「ガヤガヤ」「バタバタ」というのもあるね。

恵子 正雄さん、「バラバラ」とか「ガヤガヤ」とか、くり返すことばが多いわね。

正雄 ほんとうだ。ほかに、もつとあるかなあ。

恵子 ええと。「ザーザー雨が降る。」「にこにこ笑う。」これもくり返しよ。

正雄 ちょっと待つて。「ザーザー」「にこにこ」——。両方ともくり返しには違いないけれど、違うよ。

恵子 どうして。

正雄 「ザーザー」や「ポンポン」は昔だけれど、「にこにこ」なんていう音はないもの。

恵子 そうね。「くねくね曲がる。」「ざらざらした紙」なんかも、音じやないわ。音でないものは、なん

と言えばいいのかしら。

正雄 何かの様子だろう。

恵子 そう、様子を表わすことばね。そうすると、音を表わすことばと、様子を表わすことばがあるのね。正雄 恵子さん、さつき「ざらざらした紙」って言つたけれど、「すべすべした紙」というのも、紙の様子だろう。

恵子 そうね。紙の様子でも、ずいぶん違うわね。

正雄 指でさわった感じが違うんだよ。

恵子 音を表わすことばでも、同じようなことがあるかしら。

正雄 そうだなあ。

恵子 あ、これはどう。「トントン戸をたたく。」と「ドンドン戸をたたく。」、ずいぶん感じが違うでしょう？

正雄 うん。弱くたたく音と、強くたたく音の違いだね。

応用文

ツルの恩返し——テレビ放送

題名の字幕が消えても、静かな音楽は、そのまま続いている。画面は、雪の降る村はずれの風景である。背景は、池になつてゐる。

語り手 むかしむかし、夫婦ふたり暮らしの農家がありました。冬の間は、夫は毎日町へたきぎを売りに行きました。

池の岸から、たきぎを背負った農夫が現れる。すると、けたたましい鳴き声が聞こえる。

「なんだろ、あの鳴き声は。」

農夫は、はつと前方を見る。ツルが、わなにかかっている。救いを求めるような鳴き声をする。はばたきの音が聞こえる。農夫が背中のたきぎをほうり出して、かけよつてくる。

「おお、かわいそうに。よしよし、今、助けてやるぞ。」

農夫は、ツルの足をわなからはずす。ツルは、農夫に、二度も三度もおじぎをして、大きくはばたき、舞い上がる。農夫は満足げに見送っている。

語り手

雪は、夜になつてもやみませんでした。その夜、貧しげな農家のうす暗い土間でなわをなつている男。……そうです。きょう町へ行く途中、ツルを助けてやつた、あの農夫です。炉ばたで、縫い物をしているのは、その妻です。

ふたりとも、無言のままでいる。いろりの火が、ちよろちよろ燃えている。すると、若い女の声がする。

「ごめんください。ごめんください。」

「おやつ、だれか来たようだ。」

「まあ、だれだろう。こんな雪の降る夜ふけに。」

「ごめんください。ごめんください。」

「はあい、今開けてあげるよ。だれだね。」

農夫が立つて戸を開ける。すると、みのを着た娘が現れる。

「だれだね。おまえさんは。」

「はい、道に迷つて、困つている者でございます。お願ひです。どうか、ひと晩泊めてください。」

「ほう、道に迷つたのか。かわいそうに。この雪では道もわかるまい。だが、こんなあばら家では……。」

妻も、炉ばたから立つて、ふたりのそばに来る。

「まあまあ、頭から雪をかぶつて……。さあさあ、入つて、火におあたりなさい。こんなきたない家だけれど……。」

「ありがとうございます。それでは、お言葉に甘えまして……。」

妻が、娘の手をとつて、炉ばたへ行く。

語り手 そのあくる朝のこと、娘はいちばん早く起きて、掃除、食事の用意など、まめまめしく働き

ました。そして、朝の食事の時です。

「お願ひがございます。わたしは、両親に死に別れましたので、親類の家の世話になりたいと思つて出てきました。きのうまで、あちらこちらさがしましたが、どうしてもその家がわかりません。しばらく、この家に置いていただけないでしようか。」

「そんなら、いつそ、うちの子になつてもらおうか。うちには、子供がないことだし。」

「そうそう。こんな貧乏なうちだけど。」

語り手 そうして、娘は、この家の子になりました。さて、その夜、娘は、夫婦の前に手をついて言いました。

「お父さん、お母さん、お願ひがございます。」

「ほう、なんだい。」

「わたしは、機を織ることができます。どうぞ、機織り場を作ってください。」

「そうか、それはありがたい。それでは、さっそく機織り場を作つてあげよう。」

「もう一つ、お願ひがございます。……わたしが機織り場にいるときは、決して、中をごらんにならないでください。」

「それはまた、どういうわけで……。」

「そのわけは、どうかお聞きにならないでください。」

「そうか、おまえが見るなと言うなら、わしは見ないよ。わたしも、決して見ないことにしますよ。」

語り手 農夫は、さつそく、家の裏に、機織り場を作りました。機織り場ができあがると、娘は夜もお

そこまで、機を織りました。

機織り場の小屋。トンカラリ、トンカラリと、機の音がしてくる。

語り手 三日めの夜、娘は、機織り場から出てきて、一反の織物を、夫婦の前に差し出しました。
「やつと、一反、織りあがりました。」

「まあ、なんとみごとなものだろう。見たことも、聞いたこともない、みごとな織物。」

「これは、何という織物かね。」

「はい、あやにしきと申します。これを町へ持つていて、売つてください。きっと、良い値段で売れます。わたしは、これからも、毎日織り続けます。」

語り手 農夫は、あくる日、あやにしきを町へ売りに行きました。その日の夕方のことです。

妻が、ひとりで、炉ばたで縫い物をしている。機織りの音が聞こえてくる。

「どう考へても不思議だ。あんな粗末な糸で、どうして、あのようなみごとな織物ができるのだろう。ひと目、のぞいてみたいものだ。……いやいや、のぞいてはならぬと言われた。……でもたつたひと目、のぞいてみたい。……そうだ。こつそりのぞいてみよう。」

妻が、そつと機織り場に近づき、窓から中をのぞいたとたんに、「あつ」と驚く。機織り場の中でも、「あつ」と叫ぶ娘の声。妻は、ころがるようにして、家の中にかけもどり、ぺたんと座つたまま、大きな息をしている。そこへ、夫が帰つてくる。

「おい、喜んでくれ。あのあやにしきは、びっくりするほど高く売れたぞ。」

「あの、あの、娘は、ツル……ツルだよ。機織り場の中をのぞいてみたら、ツルが機を織っていた。」

「えつ、ツルだつて。……なんで、機織り場の中を見たのだ。」

「ご、ごめんなさい。ひと目、見たくて、見たくて……。」

まもなく、娘が機織り場から出てきて、夫婦の前に両手をつき、泣きながら語る。

「実は、わたしは、このあいだ助けていただいたツルでございます。ご恩返しに、一生、おそばで働く
こうと思って、参ったのでした。あやにしきは、わたしの胸の毛を使って織った物でございます。けれども、ツルの正体を見られたので、もう人間の姿でいることが、できなくなりました。それで、お別れしなければなりません。どうぞ、おふたりとも、いつまでもお達者で……。」

娘は、泣きながら外に出ていく。夫婦は、あわてて、そのあとを追う。娘の姿がぱつとツルに変わる。ツルは、ひと声、悲しげに鳴いて、舞い上がり、家の上を二、三度回ってから、夕もやの中に見えなくなる。

音楽と共に「終わり」の文字が出る。

單語

擬声語(名)①	ほえる(吠える)(自一)②	(狗)叫；(兽、风)吼
擬態語(名)①	蝶(名)①	(轻或薄物)飘动
物音(名)③④	ひらひら(副)①	蝴蝶
鳴き声(名)①③	ぐるぐる(副)①	连续不断地转；一层层地缠绕
雨戸(名)②	木板套窗	音节
ガタガタ(と)(副・自サ)①①	喀达喀达地响；摇晃；发抖	有规律的
太鼓(名)①	大鼓	体系
トントン(と)(副)①③		构成、形成
咚咚地轻击声；事情进展顺利		文章
メーメー(と)(副)①十①		用文字写出、记载
羊(名)①	一定(名・自サ)①	一定、固定
ワンワン(と)(副)①	ボンボン(副)①	(形容击鼓、放枪等声音)
犬(名)①	*	*
狗叫声	*	*
狗	*	*

正雄(专)①	さわる(触る)(自五)	触、碰、摸
惠子(专)①	(人名)	*
はさみ(名)②	夹子；剪刀	*
チヨツキン(副)①	(剪刀剪物声)喀嚓喀嚓	*
カーン(と)①	金属撞击声	*
ホームラン(home run)名)③	本垒打	*
バラバラ(副)①	(下雨的样子)淅淅沥沥；(翻书声)哗啦哗啦	*
ガヤガヤ(副)①	(物体连续碰撞声)	*
バタバタ(副)①	吵吵嚷嚷	*
ザーザー(副)①	(下雨或流水声)哗啦哗啦	*
くねくね(副・自サ)①	呜啦呜啦、吧嗒吧嗒	*
ざらざら(副・自サ)①	弯弯曲曲、蜿蜒粗糙、不光滑	*
すべすべ(副・自サ)①	光滑、溜光	*
指(名)②	手指	*
鶴(名)①	仙鹤	*
恩返し(名・自サ)③	报恩	*
字幕(名)①	字幕	*
村はずれ(名)③	村头、村子的尽头	*
語り手(名)①	旁白、讲解人；讲话人	*
二人暮らし(名)④	两人生活	*
たきぎ(薪)名)①	柴、柴火	*
農夫(名)①	农夫	*
けたたましい(形)⑤	(声音)尖利的、吵人的	*
前方(名)①	前方、前面	*
わな(罠)名)①	(捕野兽用)圈套；暗算	*
わなにかかる(组)	上圈套、被暗算	*
救い(名)①	救、拯救	*
背中(名)①	背	*

はずす(外す)～他五～①

羽ばたく(自五)～③

舞い上がる(自五)～④

見送る(他五)～①③

薄暗い(形)～①④

土間(名)～②

なわ(繩)～名～②

なう(綺う)～他五～①

縫い物(名)～④③

とも(接尾)

無言(名)～①

いろり(囲炉裏)～名～①

ちよろちよろ(副)～①①

泊める(他一)～①

(火焰、水流)微弱、微小

蓑衣

留宿

解、卸、拆

拍打翅膀

甘える(自一)～①④

舞上去

微暗的

泥地的房间

绳子

搓、捻

炉边

缝纫、针线活

沉默、无言

地炉、坑炉

反(接尾)

（老式织布机的织布声）

あはら家(荒家)～名～③

甘える(自一)～①④

あくる(明くる)～连体～①

まめまめしい(形)～⑤

親類(名)～①

いつぞ(副)～①

貧乏(名・形动・自サ)～①

機(名)～②

織る(他五)～①

機織り場(名)～①

小屋(名)～①②

トンカラリ(副)～①

（老式织布机的织布声）

差し出す(他五)～①③

破房子

撒娇；接受(您的)好意

明、翌

诚恳的、勤快的

亲戚

索性、倒不如

贫穷

织布机

织布的地方

小屋

伸出、拿出

多么

（长约一〇·六米，宽〇·三四米）

言葉と表現

一、日语拟声词和拟态词

拟声词是表达事物、人、动物声音的词；拟态词是用音声化的手法将事物状态和样子按照感觉表达出来的词。日语拟声词和拟态词中有不少是二拍词根的重复，如：「きらきら、ぐるぐる」。也有不少是用与前二拍字母相近的音加以重复，如：「あたふた、てきぱき」。也有的是以「ん」「り」结尾的，如：「かちん(と)、ぺたん(と)、ぐるり(と)」。还有的是一拍或二拍词根加促音「つ」，如：「ぴかつ(と)、さつ(と)」等等。

当有相对的清浊两组拟声词或拟态词时，浊音往往给人以重的感觉，而清音往往用于表示轻轻地、

みごと(形动)①	好看；精彩；完全	なんで(何で)副①	何故、为什么
織物(名)①③②	纺织品、织物	胸(名)②	胸；心里
あやにしき(綾錦)(名)③	织锦缎	正体(名)①	原形、真面目
こつそり(副)③	悄悄地、偷偷地	追う(他五)①	追、追赶
そつと(副)①	悄悄地、暗中	一声(名)②	一声
駆け戻る(自五)①④	奔回、跑回	悲しげ(形动)①③	伤心地
べたんと(副)②	扑通地	夕もや(名)①	暮霭、晚雾
息をする(组)	喘气；呼吸		

软软地。如：「とんとん」用于表示轻轻地叩门声，「どんどん」用于连续使劲地敲门或击墙；「ころころ」表示小而圆的东西在滚动，而「ころころ」则用于石头等重物的滚动。同样，表示重量很轻、很薄的物体的飘动，如蝴蝶、旗帜要用「ひらひら」，气球、云、鸟的羽毛却要用「ふわふわ」。

所以拟声词、拟态词较难掌握。但是掌握好了，无疑会使你的日语表达更为生动，更加自然。因此，学习、掌握拟声、拟态词是非常重要的。

下面，我们介绍一些常见的动物、鸟类的叫声。

メーメー(羊) ワンワン(狗) があがあ(鸭子) こけこつこ(鸡) びよびよ(小鸡) かあかあ(乌鸦) ぱつぱ(鸽子) もうもう(牛) にやあにやあ(猫) ちゅうちゅう(鼠) ぶうぶう(猪) けろけろ(青蛙) じいじい(蝉) ぶんぶん(蜜蜂) ヒヒーン(马) ウオー(猛兽)

二、词语「様子」(会話)

何かの様子だろう。

名词「様子」除了表示情况、状态外，还能表示仪表、神态或征兆、迹象等。

- 飛行機で台風の様子や大きさを調べたりする。(用飞机监测台风的情况及风力。)
- 手術をするかどうかはもうしばらく様子を見てから決めましょ。う。(再觀察一段时间视情况再决定是否动手术吧。)
- 学校の教師らしい様子の女性がたずねてきた。(有位看上去像是教师的妇女来拜访。)
- 長い間勉強を手伝つてあげたが、成績がよくなる様子はなかつた。(我长时间地在学习上帮助

他，可是不见他成绩有所好转。」

三、动词「はずす」(応用文)

農夫は、鶴の足をわなからはずす。

动词「はずす」可以表示把原先戴着的、挂着的、安装着的东西拿掉。例如：「めがね、手袋、ボタン、壁の絵、看板、ネクタイ」等。也可以表示从团体、组织或范围中去掉。例如：「担当をはずされる、メンバーからはずされる」。还可以表示离开、失去或偏离目标等。例如：「席、ねらい、タイミング、シーズン」等。

- 近視なので、めがねをはずすと何も見えなくなってしまう。(因为是近视，所以拿掉眼镜就变得什么也看不清了。)
- 今度の事故に対して負うべき責任があるとされ、四月から今の仕事をはずされることになつてゐる。(我被裁定对这次的事故负有责任，已经决定从四月份起将被解除现在的工作。)
- 連休には人出が多いので、ゴールデンウイークをはずして旅行しようと思つてゐる。(长假外出旅游的人多，我打算避开黄金周出去旅游。)

四、副词「いつも」(応用文)

そんなら、いつも、うちの子になつてもらおうか。

副词「いつそ」在句子中表示「与其这样，不如索性……」，这也许不失为摆脱目前状态的一个办法。常常会和「なら」「だから」「より」等一起用。句末一般用意志、要求、劝诱、判断等表达讲话者的心情或看法。

- 一時は、こんなに誤解されるのなら、いつそ何もかも言つてしまおうかと思った。（我曾经想与其被这样误解，倒不如把什么都说出来。）
- 今の仕事は残業が多いわりに給料が安い。ストレスがたまるばかりだから、いつそ思い切つて転職しようか。（现在的工工作加班多，工资少，精神紧张。还不如下定决心换份工作。）
- どうせわかるんだから、いつそ今のうちに話してしまつたほうがいい。（反正早晚会知道的。所以不如现在就说出来，这样比较好。）
- 黙つてもこちらの意思是相手に通じない。いつそ思い切つて打ち明けてしまおう。（保持沉默，对方是不会知道我们的想法的。不如下决心说出来。）

五、形容词「ありがたい」（应用文）

そうか、それはありがたい。

- 「ありがたい」的原意是「难得的」。现在一般用于对别人的好意和配合表示不胜感激。同时还可以用「ありがたいことに」表示「值得高兴的」「值得庆幸的」。
- ご配慮ほんとうにありがたいことです。（谢谢您的关心。）
- 何の不自由もなく暮らしていられることをありがたいと思わなければならない。（我们能够自

在地生活、应该心存感激才是。)

- あのはちよつとしたことでもありがたく思うようだ。（她这个人一点儿小事好像也会感到高兴的。）

ありがたいことに無事に帰つてこられた。（值得庆幸的是能够安安全全地回来。）

- あなたも人の親になつたから、そのうち親のありがたさがわかつてくるでしょう。（你已经为人父（母）了，不久就会知道父母的重要了。）

以下是两个和「ありがたい」有关的惯用语。

思わぬ親切にありがた涙を流した。（对于对方意想不到的善意，他流下了感激的眼泪。）

急ぐのに食事を出されてありがた迷惑だ。（我急着要走，他却留我吃饭。真是添麻烦的好意。）

六、⋮と言ふのなら（応用文）

おまえが見るなと言うなら、わたしは見ないよ。

表示后句的判断是基于之前谈话内容做出的。

● 行きたくないというのなら、行かなくてもいい。（不想去的话就别去了。）

● あなたが来なくともいいというのなら、わたしはあした来ないよ。（你说可以不来，那我明天就不来了哦。）

● 自分に責任があるというのなら、さっさと辞任してください。（认为自己有责任的话，那就干脆辞职吧。）

七、どう…ても（応用文）

どう考へても不思議だ。

「どう…ても」表示「どうしても」「どれほど…ても」。

- 仕事はどうなつても、すぐ病院に連れて行こう。（工作不用管了，快带他到医院去吧。）
- どう見てもにせものとは思えない。（怎么看都不像是假货。）
- どう頑張つたってあの人には追いつかない。（怎么努力都赶不上他。）
- どう見積もつても採算があわない。（怎么算都不划算。）

有关副词「どう」的用法，请记住以下例句。

- そのうちどうにかなるでしよう。（到时候会有办法的吧。）
- それはどうとも言えない。（那我可说不清楚。）
- わたしにはどうすることもできない。（我可是没办法可想。）
- これは人の意志ではどうにもならないことだ。（这是人的意志无能为力的事情。）

八、「あがる」构成的复合动词（応用文）

機織り場ができあがると、娘は夜もおそらくまで、機を織りました。

「あがる」接在动词连用形后面构成复合动词，除了表示自下而上外，还可以表示具体事情的完成。也可以接在无意志自动词后面，表示程度达到极限。例如：「飛び上がる、浮かび上がる、起き上がる、

できあがる、仕あがる、刷り上がる、染め上がる、晴れ上がる、震え上がる、燃え上がる」等。

- 彼の演説が終わつたとたん、会場には万雷の拍手が沸き上がつた。（他的演讲刚结束，会场上就响起了雷鸣般的掌声。）

● この仕事は今週中には仕上がりそうにありません。（这项工作本周内是完不成的。）

● 招待状は刷り上がつたばかりで、あしたから配付します。（邀请信刚印好，明天开始分发。）

● 焚き火が時々勢いよく燃え上がり、若者たちがそれを囲んで踊つてゐる。（篝火在熊熊地燃烧，年轻人围着篝火在跳舞。）

● あまり恐かつたので、わたしはぞつとして思わず震え上がつた。（实在是太可怕了，我觉得毛骨悚然，不由得哆嗦起来。）

九、「ようにして」（応用文）

妻は、転がるようにして、家の中にかけもどり、：

「ようにして」表示「在：的状态下做：」。

- 骨折した足を引きずるようにして階段をあがつてきました。（她拖着那条骨折了的腿从楼梯上爬了上来。）

- 私は座つていた石から、もんどりうつようにして転げ落ちました。（我从坐着的石头上翻筋斗般地滚落了下来。）

十、感叹词

- 山田はその上半身を机の上に折り曲げるようにして、顔をわたしに近づけました。（山田上半身弯曲地靠在桌子上，把脸凑了过来。）
- 引きずるようにして私をここまで連れてきたのは何のためですか。（你硬拖似的把我带到这儿来，为什么呀？）
- (1) おお
- ① 对外界的刺激作出直觉的反应时发出的声音，具有要采取相应动作的含义。
- おお、寒い。（哦！冷！）
- おお、かわいそうに。（哦！怪可怜的！）
- ② 向对方作出积极的反应时发出的声音。语气粗，男子用，含义和「はい」相同。
- 「おじさん、どこにいるんですか。」「おお、ここだ。」（叔叔，你在哪儿呀？「哎！我在这儿。」）
- 「財布がみつかりました。」「おお、それはよかつた。」（钱包找到了。「哦！那太好啦。」）
- ③ 想起某件事时发出的声音，带有自言自语的性质。
- おお、そうだ。電話をしなくてはいけない。（噢！对了！要打个电话去。）
- おお、思い出した。あなたは黄先生の息子さんでしたね。（噢！想起来了。你是黄老师的儿子吧。）
- (2) ああ
- ① 喜悦、悲伤、惊讶、慨叹等时发出的声音。

● ああ、うれしい。（呀！ 我真高兴！）

● ああ、どうしよう。（啊！ 我怎么办好呢？）

② 答应或回话时发出的声音，语气不如「はい」谦恭。

● 「それでは、よろしくお願ひします。」「ああ、承知しました。」「那么，请您多多关照。」「嗯，我知道了。」

● 「先生もいらっしゃいますか。」「ああ、行きますよ。」「老师，您也去吗？」「对，我也去啊。」

③ 想起某件事或领会、醒悟等时发出的声音。

● ああ、そうだ。引き出しに入れたんだ。（噢！ 对了！ 是放在抽屉里了。）

● ああ、そうなんですか。（哦！ 是这样啊。）

● よしよし

安慰对方时发出的声音，具有答应对方要求的含义，是「よし」的连发形式，用于朋友之间或对晚辈的场合。

● よし、よし、もう泣くな。（好了、好了，别哭了。）

● よしよし、君の気持ちはよく分かつた。（好了、好了，你的心情，我理解了。）

④ おやつ、おや、あつ、えつ

「おやつ」和「おや」是遇到意外的或疑惑的事情时发出的声音，前者程度深，伴有紧张的语气。

● おやつ、金がない。どちらだ。どちらだ。（呀！ 钱没了！ 有小偷！ 有小偷！）

● おや、もう昼食の時間だ。（哎呀！ 已经是吃午饭的时间了。）

「あつ」是遇到危急、感到吃惊或突然发觉什么事情时发出的声音。②

● あつ、あぶない。自動車が来る。(哎呀！危险！汽车来了。)

● あつ、財布を落としてしまった。(哎呀！我把钱包丢了。)

● 「えつ」是听到意外的消息而感到惊异或疑惑时发出的声音，具有不相信的语气。

● 「許さんが車にひかれたそうです。」「えつ。いつ、どこで？」(听说小许被车轧了。「啊？ 什么時候的事？ 在哪儿呢？」)

● 「張さんが病気だよ。」「えつ、病気だつて。ほんとか。」(「小张生病了。」「啊？ 病了？ 真的吗？」)

(5) まあ

遇到意外的事情而感到惊讶或赞叹时发出的声音。女子用。

● まあ、おどろいた。(哎哟！吓了我一跳。)

● まあ、きれい。何という花ですか。(哎呀！真漂亮！这叫什么花呢？)

● まあ、吳さん、しばらく。(哎呀！小吴，好久不见了。)

● はい、はい

(6) はい

A 被人叫到时发出的应答声，语气谦恭。

● 「徐さん。」「はい。」(「小徐。」「有！(到！」)

B 表示应答对方的问话或在听对方讲话时发出的声音，态度恭敬。

● 「だれだね。お前さんは。」「はい、道に迷つて、困つてゐる者でござります。」(「你是谁呀？」「啊，

我是迷了路，正在发愁的人。」)

- 「これは尊敬の敬語です。」「はい。」「謙讓の敬語はそれです。」「はい。」(「这是表示尊敬的敬语。」「是。」)(表示谦让的敬语是那个。「是。」)

C 向对方作出肯定的回答或答应对方时发出的声音，语气客气。

- 「これは日本の伝説ですか。」「はい、そうです。」(「这是日本传说吗？」)「嗯，是的。」
- 「では、お願ひしますよ。」「はい、分かりました。」(「那就拜托您了。」「好，我知道了。」)

D 招呼或提醒对方时发出的声音。

- はい、みんな黒板を見てください。(好，请大家看黑板。)
- はい、五十円のおつりです。(好，找给您五十日元。)

② はい

对来自外面或较远地方的招呼作出应答时的声音。

- 「ごめんください。」「はい、どなたさまですか。」(「有人吗？」)「来啦，是哪一位？」
- 「劉さん！」「はい。」(「小刘！」)「哎！」

(7) ほう

因惊讶、受感动而发出的感叹声，男子用，年纪大的女子也用。

- ほう、そんなことがあつたのですか。(哦！有过那种事啊？)
- 「おばあちゃん、算数の試験で百点取つた。」「ほう、それはよかつたね。」(「奶奶，我算术考试得了一百分。」「哦！那好极啦。」)

(8) まあまあ

由于意想不到而感到惊讶时发出的感叹声，语气强而亲切，女子用。

- まあまあ、こんなひどい雨によく来られましたね。（哎呀，下这么大雨你还来，真不容易呢。）
- まあまあ、どうしたんですか、そんなに泣いて。（哎呀，哭得这么厉害，怎么啦？）

(9) さあさあ

劝诱或催促对方赶快行动时发出的声音，是「さあ」的连发形式。

- さあさあ、どうぞおかげください。（来，来，快请坐。）
- さあさあ、起きなさい。もう七時ですよ。（快，快，起床吧，已经七点啦。）

(10) そうそう

从对方的讲话受到启发，突然想起忘记了的事情时发出的声音。

- 「何か買つてくるものはありませんか。」「そうそう、薬を買つてきてください。」「有什么要买的吗？」（哦，对了，请帮我买点药来。）
- 「きょうどなたかいらっしゃいますか。」「そうそう、きょうは梁先生がおいでになります。」「今天有客人来吗？」（哦，对了，今天梁先生要来。）

(2) 表示同意对方所说的事情时发出的声音。

- 「これは形容詞ですね。」「そうそう、そのとおりです。」（这是形容词吧。）「对，对，是形容词。」
- 「この昔話は聞いたことがあるね。」「そうそう、一年生の時に徐先生が話してくださいました。」（这故事，我们听说过吧。）「对，对，一年级时徐老师给我们讲过。」

(11) いやいや

否定对方的说法或自己否定自己的想法时发出的声音，语气强而简慢，是「いや」的连发形式。

- 「これは君の辞書だろう。」「いやいや、わたしのではない。」（「这是你的词典吧。」「不、不，不是我的。」）

- 映画を見に行こうかな。いやいや、やはり勉強を続けよう。（去看电影吧。不、不，还是继续学习吧。）

(12) おい

呼喊关系亲密的平辈或晚辈时发出的声音。男子用，语气简慢。

- おい、もう時間だ。出かけよう。（喂！到时间啦，我们走吧。）
- おい、おい、そこを通つてはだめだ。（喂！喂！那里不准走。）

(13) あの

招呼人或说话时，一时说不出下文而发出的声音，跟关系亲密的人或晚辈讲话时用得多。声音拖长变成「あのう」，也用「あのね」的形式。语气亲密。

- あの、この道は公園に行きますか。（请问，这条路到公园吗？）
- あの、少しお願いがあるんですが、聞いてくれますか。（这个……，我有件事想拜托你，你能帮我吗？）

ファンクション用語

見積り

- A A 火事で工場の損失はどのくらいでしょうね。
B 多く見積つても、せいぜい二十万元でしょう。
A そのぐらいはあると思われますね。生産回復にはどのくらいかかるでしよう。
B 半年と予想されています。

練習

一、漢字にふりがなをつけなさい。

雨戸 省く 尊重 避ける 口調 詰まる 物音 身ぶり 音節 成す 太鼓
恩返し 土間 無言 機 蓑 岸 荒屋 小屋 一反 織物 正体 胸の毛
規則的 体系

二、次の(1)から(10)の動物の鳴き声を書きなさい。

(1) からす()
(2) にわとり()

(3) ひよこ()
(4) 猫()
(5) 牛()

(6) 蟬()
(7) ねずみ()
(8) かえる()

(9) はと()
(10) 蜂()

(7) ねずみ()
(8) かえる()
(9) はと()
(10) 蜂()

三、一

に適當な擬声語か擬態語を入れなさい。

- (1) 頭からシャワーを()浴びて汗を流す。
(2) ネックレスの糸が切れ、真珠が()と飛び散った。
(3) 先生が来ないらしく、隣の教室は()と騒がしい。
(4) 鐘が()響きわたる。
(5) はさみで()やつていたと思うと、美しい切り絵ができあがった。
(6) 台風で、一日中窓が()鳴りどおしだった。
(7) 大きな蛾が窓ガラスのむこうで()している。
(8) 道が()曲がりくねっている。
(9) 朝から、()と大工仕事の音が聞こえてくる。
(10) 音楽にあわせて、太鼓を()たたく。
(11) 地球は太陽のまわりを()回っている。
(12) 蝶が花から花へ()飛んでいる。

- (15) 靴の中に砂が入つて()と気持ちが悪い。
(14) 三日続きの連休でどの列車にも()人が乗りこんでいて割込むすきがない。
(13) 温泉に入つたあとは、肌が()になる。

四、次の語群から最も適當なことばを選んで
（）に入れなさい。

(1) ぺたんと ちよろちよろ こつそり そつと ぱつと

遅刻して恥かしかつたので、教室の後のドアを(

画面か（）
変わり、山の場面から海になつた

火事の煙が燃えていて、火事と暖かくない
空氣を吸ふ。二重氣が二重は、五つ二重つご。

友達が眠っている間に、
（手紙を読んでしまった。）

まあ おやつ えつ まう

二〇一

この子はなんと頭かいでしよう、小屋の中にだれかいるようだ。

（）、アメリカへ旅行に行くんですか。それ

（一）
「、アメリカへ旅行に行くんですか。それはすばらしいです。
、それはめずらしいですね。ぜひ一度見せてもらいたいですね。

() すてき。わたしにもください

(6) ()、朱さんが入院したつて。何の病気ですか。

(3) そうそう さあさあ よしよし まあまあ

()、お前にも買ってきてやる。

()、こちらへ来て、手を洗いなさい。

「曹さんも通訳になるそうですね。」()、この前、彼はそう言つていました。」

()、こんな夜更けに、どうしたんですか。

()、話してやるから、もう泣くな。

「ひと目でいいから、見てみたいですね。」()、ひと目でいいです。」

五、各項に挙げたことばを使って次の文を完成しなさい。

(1) はずす

()、二度とゆづくり話し合えるチャンスはないかもしれない。

すみませんが、課長は()ので、のちほどまたお電話をいただけませんか。

今が絶好のチャンスだ。()もうどうにもならないことだ。

この議題についての資料がまだ整っていないので、()。

すみません。急用で発表会に出られなくなりました。()。

(2) いつそ

① そんなにつらい思いをするのなら、いつそ()?

② 今から出発しても間に合わないから、いつそ()？

③ 早く返事しないと相手に悪いよ。いつそ()。

④ 紛糾させるぐらいなら、いつそ()。

⑤ そんな絵なら、いつそ()。

()。

()。

()。

六、次の質問に答えなさい。

① 娘はどうして農家の子になつたのですか。

② 農夫の妻が驚いたほど粗末な糸で、どうしてみごとなあやにしきができるのですか。

③ 農夫の妻は、どうして「ごめんなさい」と夫にあやまつたのでしょうか。

④ この物語が私たちに教えてくれることについて話してみてください。

七、括弧内のことばを使って次の中国語を日本語に訳しなさい。

① 这么闷闷不乐也不是个办法。索性忘掉一切玩儿个痛快，怎么样？(いつそ)

② 这个星期天你如果有空的话，可不可以让你来帮我搬家。(ありがたい)

③ 我很想去留学，可是你说不去我就不去。(というのなら)

④ 我们三个人一直到毕业座位都是前后左右，简直就是肩膀挨着肩膀般地度过的。擦橡皮的声音，翻书的声音都能听到。(ようにして)

(5) 无论怎么说他都没有改变心意的样子。(様子)

(6) 到了冬天，天空中可以看到成群的大雁往南飞去。(群れを成す)

(7) 本周的日程已经排得满满的了，一点儿空都没有。(ぎつしりつまつてある)

(8) 如果大家都这么叽叽嘎嘎吵嚷嚷的话，那在说些什么一点儿都听不清楚。(がやがや)

(9) 雨在淅淅沥沥地下着。可是天空却很晴朗，不需要带伞去吧。(ぱらぱら)

(10) 睡到半夜被咚咚咚的敲门声惊醒了。(どんどん)

(11) 第一次擦高楼玻璃时，身体一直发抖，根本无法擦洗。(がたがた)

(12) 没有迹象表明经济在短时间内会有所好转。(様子)

八、辞書を調べながら、次の日本語を中国語に訳しなさい。

(一)

A 山田さん、入院なさったんですって？

B ええ、最近仕事が忙しくて、毎日くたくたになるまで、残業していたけど…。

A それが原因?

B ええ、ときどき胸がむかむかするとか、朝起きると喉がからからだと言つていました。帰つても、ほんやりしていることが多くなつて…。変だなと思つてゐるうちに、きのう会社で倒れてしまつたんです。

A それは心配ですね。でも、入院してのんびりすれば、よくなりますよ。ところで、奥さん、あなたは大丈夫ですか？ なんだか、顔色が悪いですよ。

B それが、きのうから風邪気味……。

A 疲れたでしよう。熱はありますか。

B 少しづくぞくします。今朝からふらふらして、頭はがんがんするし、おなかはきりきり……。

A それはたいへんだ！ 奥さんこそ病院へ行かなくちや！

(一)

今、日本では看護婦不足が大きな問題になつていて、看護婦の仕事はいやいやれるような仕事ではない。ほんとうに人間を愛し、仕事を愛していなければづけられない。救急車で病人が運ばれたとき、家族はおろおろする場合が多い。入院が長くなれば、患者もその家族もびりびりしてくる。しかし、どんな時でも看護婦はにこにこと話をし、相手の心を落ち着かせるようにしなくてはならない。また、たとえ真夜中でも、呼び出しブザーが鳴れば、きびきびと行動しなくてはならない。それがどんなにつらい仕事でも、むつとした顔をしてはいけない。もし看護婦がげんなりした顔をして仕事をしていたら、病人は心まで病気になつてしまふだろう。このように心も体もへとへとなつてしまふ仕事だから、看護婦になろうとする人が少ないのも無理はない。

(増田アヤ子著「擬声語・擬態語」 専門教育出版より)

第十四課 ことわざ

本文

まえもつて注意深く用心して事に当たれば失敗のないことをたとえて、「ころばぬ先の杖。」といったり、事が起つてからあわてて準備することを「盗人を捕えて縄をなう。」と戒めたりします。古くからあるこのようない文句を「ことわざ」といいます。

ことわざは、ふだんのままの言葉で、口拍子に合うように作られていますから、意味がよく分かり、たやすく覚えることができます。

「短気は損氣」「亀の甲より年の功」のように、同音を重ねたものがあるかと思えば、「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥。」「桜折るばか、かき折らぬばか。」のような対句形式のものもあり、また、「すき腹にまずいものなし。」(五七音)「かわいい子には旅させよ。」(七五音)「帯に短し、たすきに長し。」(七七音)のように、音数の重ねかたで調子を整えたものも、少なくありません。

たとえの多いことも、ことわざの表現上の特色です。「猫に小判」「二階から目薬」などは、今でも広く知られていることわざですが、だれかが初めてこれらを言い出したときは、たいへん気のきいたた

とえに思われ、長く人々の印象にとまって、今日まで伝えられてきたものでしょう。

また、ことわざには、逆説的な言いかたや、意味の反対の言葉を連ねたものが少なくありません。「急がば回れ。」とさとされ、「話し上手の聞き下手。」と憎まれ口を聞かされでは、普通の言葉以上に、聞く耳にはこたえたに違ひありません。

会話

(一)

男子学生 ねえねえ、驚いたよ。来学期の新しい学習委員、李さんだつてさ。

女子学生 え? ほんと? なんでまた彼に白羽の矢が立つたわけ?

男子学生 もめてたらしいけど、結局は先生の鶴の一声だつて。

女子学生 なるほど。先生、李さんのこと気に入つてたものねえ

(二)

学生 班長、ダメです。わたしにはそんな大役は務まりません。

班長 大丈夫よ。何事も案ずるより産むが易し。やつてみなけりやわからぬいじやない?

学生 で、でも僕、石橋を叩いて渡る性格なもので……。

班長 叩くのはいいけど、思い切つて渡らなければ前に進まないの! さ、がんばつて。

(三)

学生A 李さんは頭がよくて、日本語も得意なんだ。今英会話も習っているんだって。
学生B 英会話もマスターしたら「鬼に金棒」だね。

(四)

学生A いいパソコンを買ったんだけど、うちではだれも使えないんだ。
学生B もつたいないね。「宝の持ち腐れ」だね。

(五)

学生A バイトの金が安くて全然貯金ができないんですよ。
学生B 「ちりも積もれば山となる」ですよ。毎月百元ずつでも貯金したらどうですか。

(六)

学生A 大学受験のために一生懸命勉強したけど、入学してから全然勉強しなかった。もうすぐ試験があるから心配だなあ。

学生B 「のど元すぎれば熱さを忘れる」だね。ずっと勉強を続けていればよかつたのにね。

(七)

女子学生 ねえねえ、班長から会議の記録をまとめてって頼まれたんだけど、この言葉、どういう意味かわかる？ 辞書ひいてもよくわからないのよ。

男子学生 そんなら班長に聞いたほうが早いよ。聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥だよ。

女子学生 だつてもう二回も聞いたのよ。ほら、仮の顔も三度つて言うじやない……。

(八)

学生A 聞いた？ 張明さん、来月いっぱい退学だつて。自分で会社起こすらしいぜ。先生、すごくシヨツクを受けてる、灯台下暗しだなあ、だつてさ。

学生B ヘーえ、張明さんってそんな力があるようには見えなかつたよなあ。能ある鷹は爪を隠す、だな。

(九)

学生A なんだか、今年のサッカー選手はみんな五十歩百歩で、個性が感じられないな。

学生B ええ、わたしもそう思います。体力も技術もどの人も同じようで、まさにどんぐりの背比べつていう感じですよねえ。

(十)

女子学生 李さん、この間二人で歩いているところをクラスの張さんに見られてたんです……。

李 え、ほんと？ やばいなあ。

女子学生 「やつぱりうわさは本当だつたのね。火のないところに煙は立たないものね」って言われちゃいました。

李 気をつけよう。壁に耳あり障子に目ありだからね。

いろはガルタ

日本のお正月の遊びには、外で遊ぶ「たこあげ」や「羽根つき」「こま回し」、家の中で遊ぶ「カルタ取り」「福笑い」「すごろく」などがあります。カルタ取りに使われる「いろはガルタ」にはことわざが使われているので、遊びながら楽しくことわざを覚えることができます。

いろはガルタとは、「いろは」四十七文字に「京」の字を加えた四十八文字をそれぞれ頭につけて、昔からのことわざやたとえを書いた読み札と、それを絵にした絵札(取り札)とからできているものです。現在の大坂や京都を中心にできた大坂ガルタと京ガルタ、名古屋を中心にできた尾張ガルタ、東京でできた江戸ガルタがあります。ことわざは同じものもありますが、少し違うものもあります。例えば、「い」のことわざは次のようです。

江戸ガルタ 犬も歩けば棒に当たる

京ガルタ 一寸先はやみ

尾張ガルタ 一を聞いて十を知る

「いろは」とは今の「あいうえお」やアルファベットの「ABC」と同じようなものです。カルタの意味は難しくてよくわからないものもありますが、昔の子供たちは遊びながら、そのまま覚えて言葉や字の練習をしました。

まず、絵札を並べます。そろえてきれいに並べるやり方とバラバラに散らして並べるやり方があり

ます。そして、字の書いてある札を読んでもらって絵札を取ります。いちばんたくさんの中札を取ります。人が勝ちです。人数は読む人が一人と、絵札を取る人が二人以上六人ぐらいまでが適当です。

カルタ取りの読み手になつてことわざを何度も言つてみましょう。また、取った絵札を見ながらことわざを言つてみたり、読み手の人が頭文字だけ言つてほかの人がそのことわざを完成したりするゲームもできます。それに、カルタ取りを見ているだけでも、ことわざが覚えられます。一回に一つでも「ちりも積もれば山となる」です。ことわざが使えるようになれば「鬼に金棒」です。

ことわざは、使いかたによって、さまざまの役目を果たしてきました。

第一は、なんといつても、知識を伝える働きです。村の年寄りは、長い年月の経験によって悟ったことを、若い人々に伝えるために、ことわざによる耳学問の方法をとりました。今日でもよく耳にする「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉がいい例です。このような知識は、日常の衣食住の生活に深い関係があるばかりでなく、地方によつては、「彼岸過ぎてのばかごやし」などといつて、農業を営むうえの知恵を授ける大事な目安にもなつてきました。

ことわざの第二の働きは、教訓に利用された点です。年寄りたちは、めいめいの長い生活経験から、この世を生きぬくために、どうすることがいいか、どうしなければならないのかを悟っていました。その経験から悟った知恵を、ことわざに託して、若い人たちに示しました。人のことをうらやましがる者があれば、「人の花は赤い」とか、「他人の飯は白い」とか言つて反省させ、飲みすぎたりして、体を壊すことのないように、「腹も身のうち」腹八分目に医者いらすなどと教えました。

第三に、それは、会話にユーモアをただよわせ、社会生活をなめらかにする働きをもつています。「下手の横好きですよ。」と、謙遜して語れば、「いや、好きこそものの上手なれといいますから。」と切り返しただけで、社交は活気づくことでしょうし、人の誤りを注意してやるのも、「弘法も筆の誤りでしう。」と言えば、角がたたないですみます。また、「どんぐりの背比べ」とか、「花よりだんご」とかいうように、ことわざ 자체にユーモアを含んでいるものは、話の中にもうまく織り込まれて、会話を生き生きとさせることでしょう。

(『日本語ジャーナル』、東京外国語大学附属日本語学校編『日本語』にもとづく)

单語

まえもつて(副)③①

注意深い(形)⑤

用心(名・自他サ)①

事に当たる(組)

たとえる(喻える)(他一)③

つえ(杖)(名)①

転ばぬ先の杖(慣)

預先、事先

盜人(名)①

小心翼翼、特別小心

注意、小心；提防

事に当たる(組)

たとえる(喻える)(他一)①

口拍子(名)③①

短気(名・形動)①

盜賊、小偷

戒める(他一)④

規劝、劝诫；戒备

用嘴打拍子

没耐性、性急

損失、吃亏

急性子吃

手杖、拐杖

未雨绸缪

龜の甲(组)(4)	龟甲、龟壳	投珠与豕
年の功(组)(4)	年高经验多、阅历深	眼药
功(名)(1)	功、功劳、功勋	远水救不了近火
龜の甲より年の功(惯)	姜是老的辣	机灵、敏锐
同音(名)(1)	同音	反论、异说
一時(名)(1)(4)	一時	欲速则不达
聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥(惯)	急がば回れ(惯)	成排、连接
求教是一时之羞，不问是永世之耻	連ねる(他一)(3)	
柿(名)(1)	話し上手(名・形动)(4)	
対句(名)(1)	聞き下手(名・形动)(1)	
空き腹(名)(1)	さとす(諭す)(他五)(1)(2)	
短し(文言形容词)(3)	憎まれ口(名)(4)	
たすき(襷)(名)(1)(3)	聞こえる(自一)(3)(2)	
(选举)斜挂肩上的布条	不善于听人说话(的人)	
音节数(名)(3)	很会说话(的人)	
小判(名)(1)	招人讨厌的话	
(日本古时的小金币)	响应、反应；深感、痛感	
音节数	下学期	
來学期(名)(3)		
白羽の矢が立つ(惯)		
もめる(自一)(1)		
(从许多人中)被选中		
发生争执、纠纷		

鶴の一聲(慣)

鶴鳴一声，百鳥啞音；权威者的一句话

灯台下暗し(慣)

远明近暗；当局者迷
真人不露相

大役(名)①

重任、重大使命；重要角色

五十步笑一百步

比身高

務まる(自五)③

胜任、能担任

五十步百歩(慣)

橡实、橡子；橡树

案するより産むが易し(慣)

百思不如一試；想想难上难，做做却简单

どんぐりの背比べ(慣)

半斤八两

石橋を叩いて渡る(慣)

叩石渡桥；小心谨慎

やばい(形)②

危险的

マスター(master)(名・他サ)①

掌握(知识、技术)

火のないところに煙は立たない(慣)

无风不起浪

鬼に金棒(慣)

如虎添翼

壁に耳あり(慣)

隔墙有耳

もつた、ない(形)⑤

浪费、可惜

障子(名)①

纸拉门、纸拉窗

宝の持ち腐れ(慣)

抱着金碗挨饿；怀才不遇

*

伊吕波纸牌

ちりも積もれば山となる(慣)

积少成多

いろはガルタ(名)④

风揚げ

のど元すぎれば熱さを忘れる(慣)

好了伤疤忘了疼

なほほ

放风筝

仏の顔も三度(慣)

事不过三；忍耐是有限度的

羽根つき(名)②④

拍羽毛毽

退学(名・自サ)①

退学

こま回し(独楽回し)(名)③

转陀螺

ショック(shock)(名)①

打击

カルタ取り(名)③

抽纸牌游戏

福笑い(名)③	教授、传授
升官图游戏	大致的标准、目标
(地名)	授ける(他一)③
教訓(名)①	目安(名)①①
多嘴惹祸	各自、各个
前途莫测	人世、今世
めいめい(銘々)(名)③	この世(名)①③
知一晓十	托、委托；借口
拉丁文字	羨しい(形)⑤
分散、凌乱	羨(やま)しい(形)⑤
人数	饭(め)(名)②
反省(名・他サ)⑩	饭(め)(名)②
首字母、大写字母	反省、重新考虑
实现、完成	反省、重新考虑
年月	反省、重新考虑
道听途说之学	腹(はら)(名)②
不起作用的肥料	身(み)(内)②
经营	八分目(名)①④
當む(他五)③	属于身体(的一部分)
彼岸(名)①②	八分目(名)①④
ばかごやし(馬鹿肥し)(组)③	(也读「はちぶんめ」)八分、八成、十分之八
ただよう(漂う)(自五)③	漂、洋溢
なめらか(滑らか)(形动)②	光滑；通顺
横好き(名)①	对专业以外事物的爱好

下手の横好き(慣)

笨拙却愛摆弄

笔；毛笔

好きこそ物の上手なれ(惯)

爱好者巧匠

筆(名)①

切り返す(他五)①③

反击、反砍

誤り(名)③④
弘法も筆の誤り(慣)

智者千虑必有一失

错误

社交(名)①

社交

角が立つ(惯)

不圆滑、有棱角

活気づく(自五)④

活跃起来

团子(名)①

糊子、丸子

弘法大师(七七四一八三五、空海和尚的谥号)

生き生きと(副・自サ)③②

生动活泼、生气勃勃

言葉と表現

一、「用心」「注意する」「気をつける」(本文)

まえもって注意深く用心して事に当たれば失敗のないことをたとえて…

(1) 「用心」表示小心提防，以防止某种事情的发生。很少用「：に用心する」的形式表示提防的对象。
「用心」可作名词，也可以用「用心する」作サ变动词。

● この辺は夜九時ころになると、通行人があまりいないので用心して帰つてください。(这一带到晚上九点左右行人就很少了，你回去时要多加小心。)

燃えやすい物ですから、火の用心をしつかりとしてください。（这是易燃物，请小心失火。）

泥棒に用心して鍵をかけて出かけた。（我锁好了门外出，以防小偷入室。）

(2) 「注意する」有三种含义：集中注意力；忠告、提醒；特别当心某件事，但提防的程度不如「用心」。

話さないで、先生の話を注意して聞いてください。（别说话了，用心听老师讲。）

何回も注意してやつたが、聞いてくれなかつた。（提醒他好多次了，可是他就是不听。）

お忘れ物がないようにご注意ください。（请注意不要遗忘您的物品。）

(3) 「気をつける」表示留神、注意。

● 言葉遣いに気をつけてください。相手（先方）はあなたの先生でしょう。（注意措词，对方是你的

老师呀。）

● 風邪を引かないように気をつけてください。（请当心，别感冒了。）

● 工事中で道は歩きにくいです。気をつけて歩いてください。（正在施工，路不好走，请当心。）

二、…がある（いる）かと思えば、…もある（いる）（本文）

同音を重ねたものがあるかと思えば、「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」のような対句形式のものもある。

表示「刚看到…，接着又发现了…」，指同类事物的并存。

● 中国風の家があるかと思えば、西洋風の家もある。（既有中国式的房子，又有西洋式的房子。）

- どこも同じですが、親切にしてくれる人がいるかと思えば、不親切な人もいる。（哪儿都一样，既有热情待人的人，也有不热情的人。）
- 間違いだらけの文章があるかと思えば、表現が正しくて、文もなめらかなものもある。（有错误百出的文章，也有表达正确、文思流畅的好文章。）

三、动词「整える」（本文）

音数の重ねかたで調子を整えるものも、少なくありません。

- 动词「整える」常用「調子、材料、食事、準備を整える」表示把需要的东西准备好。「服装、化粧、部屋を整える」表示把原本显得有点乱的东西整理好，让人看到不至于难堪。「整える」还可以用「縁談、商談、交渉を整える」，表示合同、协议、婚约等谈妥。
- 決勝戦が始まる前に、体の調子を整えておきましょう。（在决赛前让我们把身体调整好。）
 - 身なりを整えることはとても大切です。見た目がいい加減であるならば、会った人に気持ちよい印象を持つてもらえません。（注意穿着整齐这很重要。一眼望去衣着随便的人会让见面的人感觉不舒服。）
 - カーニングとは半角の英字間の間隔を調整する機能です。これにより文字間隔をバランスよく整えることができます。（所谓调距功能是调整半角英语字母间隔的功能。用这个功能可以调整字母间的距离，使之平衡匀称。）

四、词语「気がきく」(本文)

たいへん気のきいたとえに思われ、：

表示机灵、考虑得周全、能随机应变等意思。以「気のきいた」形式作定语时，表示新颖、别致。

- 客がたばこを取り出したら、子供が灰ざらを持ってきた。ほんとうに気のきく子供だ。（客人拿出烟来，孩子见了马上就拿来了烟灰缸，真是个机灵的孩子。）
- もう寝る時間なのに、まだ帰ろうとしない。気がきかない人だ。（已是就寝的时间了，可还是不想走，真是不识相。）
- 二人だけで話したいんだろうと思って、わたしは気をきかせて帰ってきた。（我想他们想两人单独谈谈吧，就知趣地回去了。）
- ヨーロッパで生活しただけあって、いつも気のきいた服装をしている。（真不愧是在欧洲生活过，服饰总是那么新颖别致。）

五、动词「こたえる」(本文)

普通の言葉以上に、聞く耳にはこたえたに違ひありません。

- (1) 表示呼应、报答。例如：「好意、希望、期待、ニーズ、時代の要請、民意、声援」等。用「：」に
こたえる」。
- このような時こそ、先生のご恩にこたえ、私たち教え子は協力すべきではなかろうか。（这种

时候，不是更需要我们这些做弟子的同心协力，报答老师的恩情吗？）

- 政治家は常に時代を先取りし、そのニーズにこたえなくてはなりません。（政治家必须要经常引领时代，回应时代的要求。）

● 地元の声援にこたえて、そのA高校野球チームはついに念願の甲子園出場を果しました。（A高中棒球队没有辜负地方上的声援，终于如愿以偿地进入了甲子园比赛。）

(2) 表示来自外界的刺激或打击使其深受影响。用「…にこたえる」，也有如例三不出现「に」的句子。

● 年のせいか寒さが身にこたえるようになった。（大概是年龄的关系吧，感到都冷到骨头里去了。）

● その時の先生の叱責は私の胸に強くこたえ、今でも忘れられない。（当时老师的训责深深地触动了我，至今都难以忘怀。）

● 商談の失敗がこたえたらしく、いつも強気の社長が妙にしょんぼりしている。（洽谈失败像是给了社长很大的打击，平时强硬的社长也变得不同寻常地无精打采起来。）

六、形容词「もつたいない」（会話）

もつたいないね。「宝の持ち腐れ」だね。

「もつたいない」表示不珍惜有利用价值的东西或人，「可惜了」「糟蹋掉了」。也可以表示对于长辈等对自己的关心感到不胜惶恐，「不敢当」「不相配」。

- まだ使えるのに捨ててしまうとはもつたいない。（这东西还能用，扔了可惜。）
- あんな有能な人物を放つておくのはもつたいない。（让这么有能力的人闲着太可惜了。）

- 先生に見舞いに来ていただくとはもつたいないことです。（先生来探望我，真是不胜惶恐。）
- こんなことをしては時間がもつたいない。（做这种事，时间浪费了。）
- 本人同士はどう思っているのかわからないが、私からみれば、彼女はあの人にはちょっともつたいない。（我不知道他们本人是怎么想的。以我之见，她配他是可惜了。）

七、副词「いっぱい」（会話）

聞いた？ 張明さん、来月いっぱいで退学だつて。

(1) 表示全部。

- 精いっぱいがんばつたから、後悔なんかはしない。（因为我已尽了力，所以一点儿也不后悔。）
- この次の試合には、力いっぱい戦うつもりだ。（下次比赛，我可是要竭尽全力地拼了。）
- 今週いっぱいでの仕事をすませるつもりだ。（我打算这星期把这项工作干完。）

(2) 表示数量很多。

- 目に涙をいっぱい浮かべていた。（眼里充满了泪水。）
- 日曜の南京路はいつも買い物の人でいっぱいだ。（星期天的南京路常常挤满了买东西的人。）
- 部屋が本でいっぱいになつていて。（屋子里堆满了书。）

(3) 表示极限。

- これでいっぱいですから、値引きはできません。（这刚够本，不能再让价了。）
- 時間いっぱい寝ている。（睡到时间睡足为止。）

- 収入いっぱいに暮らしているので、そんなに高いものはとても買えない。（我可是算着收入过日子，买不起那么贵的东西。）

八、「かえす」构成的复合动词（応用文）

「いや、好きこそものの上手なれといいますから。」と切り返した
だけで、社交は活気づくことでしょう。

「かえす」接在动词连用形后面，表示对于别人对自己做的事情进行反击。也可以表示不觉厌烦地重复做某件事。例如：「打ち返す、殴り返す、跳ね返す、言い返す、睨み返す、切り返す、読み返す、
聞き返す、掘り返す、繰り返す、思い返す、巻き返す」等。

- 忘れ去りたい過去をいまさら掘り返すこともあるまい。（想要忘记的过去你现在又何必把它重新翻出来呢？）

- 古典はいつ読んでも新しい発見があるので、何度も読み返した。（古典作品无论何时读都会有新的感受，所以我反复读了好几遍。）

- 叱られた子供が親をにらみ返した。（被骂的孩子眼睛反瞪了一下他的父母。）

- いま思ひ返しても、行かなかつたのが残念だ。（现在重新想起来，对于当时没有去还感到遗憾呢。）

九、词语「働き」（応用文）

第一は、なんといっても、知識を伝える働きです。

「働き」可以表示作用、功能，也可以表示实际成绩等含义。

- 携带電話は電話以外に、カメラや辞書などたくさんの働きをする。（手机除了可以打电话外，还有拍照、字典等很多功能。）
- 胃腸の働きがよくないため、よく便秘するのです。（因为肠胃功能不好，所以经常要便秘。）
彼は今度の研究で抜群の働きをしたので社長から高く評価されている。（在这项研究中，他发挥出了出众的作用，所以得到了社长极高的评价。）

ファンクション用語

注釈

- A 制服について一言話してくださいませんか。
- B ま、よく言われていることですが、制服は個性を無視しているという意見があります。
- A 現状はどうなっていますか。
- B 確かなことは言えませんが、学校や企業などでは制服を決めているところがかなり多いと思います。
- A あなたはどう思いますか。
- B これは私の個人的な意見ですけど、人と人との区別がすぐつくし、職場の統一がとれるので、仕事をするのにはよいのではないかと思います。

練習

一、漢字にふりがなをつけなさい

用心 授ける 杖 文句 拍子 目薬 逆接 石橋 金棒 鷹 爪 活氣 謙遜 障子 頭文字
仏 羽根 絵札 役目 彼岸 知恵 反省 筆 煙 目安 横好き

二、○に仮名を入れなさい。

- (1) 用心して事○当たれば失敗がない。
- (2) ことわざは口拍子○あうように作られている。
- (3) たいへん気の利いたたとえ○思われ、長く人々の印象○とまつて、今日○○伝えられてきたものです。
- (4) 毎月百元ずつ○○貯金したらどう？
- (5) 家庭の事情で来月いっぱい○退学する。
- (6) いろはガルタは読み札とそれを絵にした絵札と○○できているものだ。
- (7) 人数は読む人が一人と、絵札を取る人○二人以上六人ぐらい○○○適当です。
- (8) カルタ取りを見ているだけ○○、ことわざが覚えられます。
- (9) 地方によっては、農業を営む○○○知恵を授ける大事な目安にもなってきました。
- (10) その経験○○悟った知恵を、ことわざ○託して、若い人たちに示しました。

三、次の語群から最も適切なことばを選んで――に入れなさい。必要な場合は適当な活用形にして入れなさい。

(1) 目安 めいめい 活氣づく 戒める 気の利く

- ① 勉強を怠けた生徒を()ため、廊下に立たせるのはよくないことだ。
② 彼女だからこそ、そんな()たとえを思い出すことができます。
③ 太りすぎかどうかを判断する()はまず第一に、身長に対する体重の割合だ。
④ 安全のため、子供たちが()勝手に行動しないようにしてください。
⑤ 改革・開放政策のおかげで、わが国の経済が()てきた。

(2) 用心 注意

- ① あの人には口がうまいから、()しないとだまされますよ。
② この辺は道路が走りにくくて、事故がよく起ころるから、()して運転しなさい。
③ 出かける前に火の()を忘れないでください。
④ 足元に()。
⑤ 万一の()に、食糧などをたくさん買っておいた。
細かいところまで考えてから行動する彼の()のよきは、とても私たちにはまねができない。

四、次の文の意味にあたることわざを言いなさい。

- (1) 危険な近道をするよりも遠回りでも安全、確実な道を歩いた方が結局は得である。()
- (2) 値打ちのあるものでも、相手によつては、その値打ちがわからない。()
- (3) まだるい方法で、ほとんど役に立たない。()
- (4) 他人のものはよく見える。()
- (5) 名人もごくまれには間違える。()
- (6) どれもこれも平凡で、抜き出るものがない。()
- (7) 名目より実利を取れ。()
- (8) 物事が中途半端で、結局は役に立たない。()
- (9) 気が短く、すぐに腹を立てると、結局は自分の損になる。()
- (10) 役に立つものを持ちながら利用しない。()
- (11) 強い上にもさらに強さが加わる。()
- (12) 苦しかったことも過ぎ去れば全く忘れてしまう。()
- (13) 手近の事情はかえってわかりにくいものである。()
- (14) 本当に実力のあるものは、やたらにそれを現さないものだ。()
- (15) 事前にあれこれ心配するよりも、実際にやってみると案外たやすい。()

五、各項に挙げたことばを使って次の文を完成しなさい。

(1) 整える

()、あとは出発を待つだけです。

()、二時間もかかつた。

最近新しい家を買いました。()すいぶん疲れました。

お食事の()出かけてください。

()面接会場に向かつた。

(2) こたえる

年を取ると、階段の上がり降りが()。

ませていきました。

私のこんな言い方はあなたの()。

苦し」ですよ。

今日のような体力のいる仕事は彼の()。

()、今朝は起きることができなかつた。

きのうの()、きょうは足や腰が痛い。

(3) いっぱい

この仕事は()かかりそうで、それまではほかの仕事はたぶんできない

と思います。

銀行からは()借りています。それでもやつぱり少し足りません。

年寄りの私は(

)のあの二人に参った。後生恐るべし。

(微笑みを浮かべていて、愛想のよい女の子でした。

(寝ていたので、もう少しで遅刻しそうになりました。

(4) :を中心

今年の大学祭も例年のように、(

)計画を進めていきます。

被災地の救援活動は(

)行っています。

台風の影響は(

)関西地方全体に広がる見込みです。

地球は(

)回っている惑星の一つです。

あそこのホールは(

)座席が配置されているので、響きがすばらしいようです。

六、次の質問に答えなさい。

(1) 言葉の面から見れば、日本語のことわざはどんな種類がありますか。

(2) 社会生活の中で、ことわざはどんな役目を果していますか。

(3) いろはガルタとはどんなものですか。その遊び方を説明してください。

七、括弧内のことばを使って次の中国語を日本語に訳しなさい。

(1) 海拔三千米以上の高原气候，如果说我的身体一点儿没有感觉，那是胡说。但总还是平安回來了。(標高／身にこたえる)

(2) 这家餐馆看到带孩子来的顾客就会拿来孩子用的高脚椅子，想得真够周到的。(気が利く)

(3) 父母关系的好坏对于孩子性格的形成起着很大的作用。（働きをする）

(4) 说是让这样一位有才能的人每天无所事事地玩也太浪费了，于是有很多人来给他介绍工作。（もつたいない／持ち込む）

(5) 休息了两个月，精神上有些松懈了。再过一周就要开学了。我要在这之前好好调整好节奏。（気が緩む／調子を整える）

(6) 「初春天气变化大，有时天气很暖和，有时却很冷。不注意的话很容易感冒。」「是啊。中国有句俗话说，『热至秋分，冷至春分』，说得一点儿也不错。」「是啊。古人把从多年的经验中悟出来的道理寄予俗语中了。所以，俗语充满幽默，又富有智慧。」（…が…あるかと思えば…もある）

(7) 明天要考试了今天才复习，真是临渴掘井。（盗人を捕えてなわをなう）

(8) 据刚才发布的消息说，以铃木教授为核心的研究小组取得了新的研究成果。（…を中心とする）

(9) 对于那家伙的狂妄自大我也狠狠挖苦般地反击了他。（切り返す）

八、辞書を調べながら次の日本語を中国語に訳しなさい。

今日、日本人の間で無意識に使われている言葉、つまり、すっかり日本語になりきっている言葉の中にも、実は中国の古書に由来し、その故事に典拠を持つものが非常に多い。

故事などというと、何か堅苦しく、若いには魅力のないもののように思われるがちであるが、決してそうではない。古来、中国の書にはなかなかユーモラスな話が多い。（ここに一例をあげよう。）

よけいな付足しをする、必要以上の説明を加えるという意味で、よく「蛇足を加える……」などと使われる「蛇足」も故事から出た言葉である。

學習の窓

—日本の都、道、府、県名

都	道	府	県
東京都	北海道	大阪府	青森県
		岩手県	秋田県
		宮城县	山形県
		福井県	福島県
		石川県	山梨県
		福井県	長野県
		鳥取県	茨城県
		島根県	栃木県
		岡山县	群馬県
		宮崎県	静岡県
		鹿児島県	愛知県
		沖縄県	徳島県
		香川県	三重県
		高知県	千葉県
		福岡県	
		奈良県	
		兵庫県	
		滋賀県	
		神奈川県	
		岩手県	
		青森県	
		長崎県	
		熊本県	
		大分県	
		宮崎県	
		鹿児島県	
		沖縄県	

楚の国その人が、その召使めしを集めて酒さけを飲ませようとした。しかし、みんなに飲ませるほどたくさんあるわけではないので、蛇へびの絵えを早くかきあげた者から先に飲ませることにした。召使めしのひとりが蛇へびの絵えをかいてしまつて、更にその蛇へびに足あしをかき足あししていた。そのうちに他の者が先にかいてしまい、その酒さけを飲んだ。無用むよのものを付け足あししていた者は、ついにその酒さけを飲むことができなくなつたといふ。これから出た言葉である。

第十五課

友好のために

本文

日本語ガイドが語る

去年は中国の友好観光年であった。海外からの観光客は延べ八百七十万人に達し、過去最高をマークした。その中では、日本人観光客が一番多かった。

外国の観光客にとって、中国はたいへん魅力のある観光地である。九百六十万平方キロという広大な土地に、すばらしい風景や文化遺跡がたくさんある。さらに改革・開放以来の新しい変化もみごとなものである。中国では、観光資源が豊かであるばかりでなく、観光環境もたえず改善されつつある。

友好観光年のために豊富多彩な観光プログラムが用意された。例えば、観光客のニーズに応じて設けられた、テーマ別の観光コースや民族色豊かなフェスティバルなどがとくに注目されている。友好観光年というネーミングでも分かるように、この大規模な観光活動の目的は何よりも中国と外国との友情を深めることである。古い友人同士の友情をさらに深め、より多くの新しい友人をつくりたいと、みんなは心から望んでいる。

(座談会)

司会

去年は友好観光年で、新年の鐘が鳴ると、さっそく観光客の第一陣が降りたちましたね。

王

そうですね。われわれの仕事は忙しいほど張り合があります。お客様が大勢来てくれるわけですから。

司会

ガイドは民間大使だといわれます。みなさんは中国と日本との民間交流に貢献なさってるわけで

すね。きょうは民間交流の経験を大いに語つていただきたいと思います。

張

いつもは通訳ばかりやつてましてね。記者から取材されるなんてことはめったにないから、もち

ろんしやべらせてもらいますよ。

司会

では、始めにガイドという仕事についてちょっと。

李

ぼくはこの仕事が気に入ってるんです。

司会

みなさん、今この仕事に就いた動機は?

馬

ぼくはずつと前に大学を卒業して旅行社の日本語ガイドに就職配分されたのです。自分から選んだわけじやなかつたんですけど、だんだん好きになつてね、今ではすっかり気に入ってるんですよ。

唐

ぼくはちょっと違います。中国と日本は文化も歴史も深い関係があるから、中日両国人民の友好を深める仕事をやろうと、日本語学校を卒業したらすぐ杭州旅行社につけたんです。

司会

平和と友好のかけ橋役として、みなさんはどうやっていいサービスを提供しているか、苦心談をざつくばらんにひとつ。

劉さんは名ガイドの一人ですよ。まず劉さんから、どう?

いやいや、どういたしまして。仕事柄でしてね、ガイドである以上、表現技術を磨くのはあたりまえと思ってるだけです。例えば、同僚の曲さんは「私は曲と申します。苗字は曲ですが、人間は曲がってません。まつすぐです。」とやります。お客様はいつぺんに気持ちがなごんで、たちまち親近感をもつてくれます。

司会 みなさんはことばの面でいろいろ経験があるそうですね。

周 ガイドはことばの商売ですから、それがしつかりしてないと、いいサービスはできっこない。仕事を始めた当初はエビ料理をヘビ料理といいまちがえたりして興ざめさせたし、長城では「右側は老人コース、左側は若者コースです」と注意するんですが、お年寄りたちが苦笑いしてるので気がついてね、「熟年コース」と改めたら、お客様がにつこりしてくれました。ちょっとしたことばの問題ですね。

中国も日本も漢字を使いますが、使い方はずいぶんちがってるから、気をつけないと笑い話になってしまいますね。例えば、中国では「賢妻良母」、日本では「良妻賢母」でしょう。

司会 みなさんは友好の種をまく、平和の花を咲かせる、いわば畑を耕す人ですね。友好に尽力なさつていれば、お客様からお返しをいたぐこともありでしょう。

王 ぼくは日本訪問に行つた時、以前接待した友人が、電話をくれたり、会いに来てくれましたよ。

陳

おばあちゃんが遠くからわざわざ訪ねてきて案内してくれたりね。帰国する日には、みなさん集まって、涙ながらに別れを惜しんでくれて、……。

ぼくは日本へ行つた時、友好協会の会長さんなどが来てくださつたし、以前接待した子供たちまでが歓迎に集まつてくれました。みんな大きくなつちやつてね。帰国してから、子供たち全員の名前でプレゼントが届いたんです。テープ一本。日本ではやつてる歌だらうと思って、聞いてみたら一言ずつ子供たちの声がはいつていきました。みんな中国と私をなつかしがつてて、陳さん元気でいてくださいって言つてるんですよ。男は泣くもんじやないが、この時は録音を聞きながら、ぼくも涙がとまらなかつたですよ……。

司会

いや、面白いお話をいろいろありがとうございました。おうかがいしてるときりがありませんね。今日はひとまずこの辺で。

応用文

上海を訪れる

……けたたましく鳴らされるクラクションで目が覚めた。寝ぼけ眼で窓から外を見ると、町はもうすっかり目覚めている。太極拳や朝市へでも向かうのであろう人々と自転車の洪流、そして人や物で一杯のトラック。まだ六時前だというのに、町中が人であふれている。さすが中国第一の商業都市上海だけあって、わき上がるようなエネルギーとけん騒で、ホテルの窓も揺らぐかと思えるほどだ。町に出る

と、人、自転車、車が一体となつてつくり出すエネルギーの波に、はじき飛ばされてしまいそうになる。すれ違う人たちの顔がこんなにも明るく見えるのは、早朝から容赦なく照りつける真夏の太陽のせいなのだろうか。休む間もなく話し続けるどの顔にも、明るい笑いの絶えることがない。

月の光に誘われて出た夜の町にも、明るい笑顔はあつた。すぐかけの木の下に腰を下ろしてビールを飲んでいると、私の周りに人が集まってきた。一見して服装の違う人間を珍しいと思ったのだろうか。「日本人か」「どこから来たのか」そういう意味なのだろうと見当はつけてみたが答えられない。そうだ、中国では友好の印にたばこを勧めるのだつた。だれかにそう教えてもらつたことを思い出して、胸のポケットからたばこの箱を取り出した。しばらくして、一人が遠慮がちに手を出した。その手に後が続いて、あつという間に空になつてしまつた。「謝謝」の声を聞いて、「中日友好に一役買つてんんだ」とうれしくなつた。片言の日本語で、あるいは上海語で争うように語りかけてくるどの顔にも、笑顔がこぼれている。なんでこんなに明るいのだろう。国を挙げての経済発展、国際化のかけ声の下でがんばることしか知らない私には、この明るさは理解し難いものだ。

……黄浦江から流れ出る水がもう届かなくなつたのだろうか、黄色く濁っていた海の色がエメラルド色に変わつた。ジャンクの姿ももう見えなくなつた。それにしても、あの明るさは何なのだろうか。私はもう一度上海を訪れようと決めた。そしてあの明るさがどこから来るのか、確かめてみたいと思つた。

『鑑真号』の甲板の上で心地よい風に吹かれながら、私は文字どおり、「上海、再見」^{ソウチエン}を誓つた。

(荒井礼子ほか「中級から学ぶ日本語」による)

单語

ガイド(guide)〈名〉①	导游、引路	望む(他五)①	希望、指望；眺望
延べ(名)①②	总计(人次)	*	*
過去(名)①	过去	*	*
マーク(mark)〈名・他サ〉①	标记；商标；创造纪录	座談会(名)②	座谈会
観光地(名)③	观光地	陣(接尾)①	第：批
広大(形动)①	广大、广阔	降り立つ(自五)①③	下去、下来
遺跡(名)①	遗址、古迹	張り合い(名)①	竞争；起劲、有劲头
豊富多彩(形动)①	丰富多彩	大使(名)①	大使
ニーズ(needs)〈名〉①	需要、要求	貢献(名・自サ)①	贡献
民族色(名)④	民族色彩	記者(名)①②	记者
フェスティバル(festival)〈名〉①	庆祝活动；节目、喜庆日	取材(名・他サ)①	采访、取材
ネーミング(naming)〈名〉①	命名、取名	めった(減多)(形动)①	不多、稀少
大規模(形动)③	大规模的	しゃべる(他五)③	说、讲；不停地说话
分配(名・他サ)①	分配	旅行社(名)②	旅行社
旅行社(名)①	旅行社	旅行社(名)③	旅行社

掛け橋（名）②

ざつくばらん（形动）①

仕事柄（名）①

いつへんに（副）③

なごむ（和む）（自五）②

親近感（名）③

当初（名）①

エビ（蝦）（名）①

当初、最初

虾

扫兴、败兴

长城

苦笑

じゆくねん

熟年（名）①

賢妻良母

（五六六十岁左右的）中老年

种子

早田

耕作

浮桥；桥梁

坦率、开诚布公地

（由于）工作关系

马上就

溫柔、穩靜

亲近感

怀恋、眷恋

暂且、暂先

一句话、三言两语

欢迎

会長（名）①

歓迎（名・他サ）①

会長（名）②

なつかしがる（懷かしがる）（自五）⑤

寝ぼけ眼（名）④

朝市

整个城市

沸騰；涌现

尽力（名・自サ）①①

惜しむ（他五）②

友好协会（名）⑤

会長（名）①

一句话、三言两语

欢迎

暂且、暂先

暂且、暂先

一句话、三言两语

暂且、暂先

暂且、暂先

暂且、暂先

暂且、暂先

暂且、暂先

暂且、暂先

暂且、暂先

暂且、暂先

暂且、暂先

尽力、努力

舍不得；惋惜

友协

会長

一句话、三言两语

欢迎

暂且、暂先

はじく(彈く)〈他五〉②	彈、拔弄；排斥	一役買う(组)	出了力；主动承担责任
飛ばす(他五)①	使飞起；吹跑；飞溅	片言(名)①④	只言片语
はじき飛ばす(他五)①	弹飞、弹开	争う(他五)③	争夺；竞争
すれ違う(擦れ違う)〈自五〉④①	擦肩而过；不合拍	語りかける(他一)①⑤	(向某人)搭话
早朝(名)①	早晨、清晨	こぼれる(零れる)〈自一〉③	洒落、溢出
容赦(名・他サ)①	留情；宽恕、原谅	国を挙げて(组)	举国
照りつける(自一)④①	毒晒、暴晒	掛け声(名)③②	吆喝声；喝彩声
絶える(自一)②	断绝、停止	濁る(自五)②	混浊
すずかけの木(篠懸の木)(名)⑥	法国梧桐	エメラルド(emerald)(名)③	艳绿色；祖母绿
腰を下ろす(组)	坐下	ジャンク(junk)(名)①	(船名)鉴真号
一見(名・他サ)①	乍一看、一看	甲板(名)①③	中国帆船
服装(名)①	服装	鑑真号(专)③	
見当がつく(组)	估计、推测	心地よい(形)④	
ポケット(pocket)(名)②①	口袋	ちかう(他五)②①	誓(发誓、宣誓)
空(名)②			

言葉と表現

一、名词「延べ」(本文)

海外からの観光客は延べ八百七十万人に達し、…

- 「延べ」表示同一东西无论重複几次，每次都作一次计算的合计数。相当于汉语的「总计」「人次」。
● その中で日本人観光客は延べ六十万人を超えている。（其中日本游客总数超过六十万人次。）
- この仕事は三人で五日かかったから、延べでは十五日かかったことになる。（这工作三个人干了五天，所以总计就是花了十五天。）
- 海水浴場の人出は一週間で延べ十万人を超えた。（来海水浴场游泳的人一星期超过十万人次。）

二、めつたに：ない（会話）

記者から取材されるなんてことはめつたにないから、…

表示做某件事的次数很少。可以用「めつたにない」的形式，也可以用「めつたに：（动词）ない」。

- 定年になつてから昔の同僚とも遠く離れてしまつて、めつたに会うこともありません。（退休以后和以前的同事都疏远了，很少见面。）
- 我が家は郊外にあるので、よほどのことがないと、客がめつたに来ません。（我家在郊外，所以没有特别的事情，很少有客人来。）

- 若いころは病院に行くのはめったにないことでしたが、年を取ってからは、ほとんど毎月のように行っています。（年轻时很少去医院看病。可是上了年纪后几乎每个月都要去医院。）

三、接尾词「役」（会話）

平和と友好のかけ橋役として、みなさんはどうやっていいサービスを提供しているか、…

如：「役」除了作为一个独立的词表示职务、角色等以外，还能作为接尾词，和其他名词构成一个名词。「相談役、世話役、主人役、相手役、憎まれ役、聞き役、案内役」等。

- わたしたちの会社の相談役になつていただけないでしようか。（是不是可以请您做我们公司的顾问？）
- 朱さんが世話役になつてクラス会を開くことに話が決まった。（决定由小朱作为联系人召开班会。）
- 他の人をなじらないでください。私が自分からこの憎まれ役を買つたのですから。（别责备别人了，是我自己主动承担这遭人埋怨的工作的。）

四、…っこない（会話）

それがしつかりしていないと、いいサービスはできっこない。

「つこ」是接尾词。「つこない」接在动词连用形后面，用强烈的断定口气否定事情发生的可能性。相当于「…するはずがない」「…するわけがない」「絶対…しない」。「つこない」只用于口语。

- そんなことは子供にできつこない。（这种事小孩根本不会做。）
- 誰にも分かりつこない。（谁也不会知道。）
- あの子はあまりおとなしすぎるので、たとえわからなくとも聞きつこないよ。（那孩子实在是太老实了，所以即使不懂也不会问的。）
- 自分の問題は人に解決してもらえつこない。（自己的问题是不能由别人解决的。）

五、接续助词「ながら」（会話）

みなさん集まって、涙ながらに別れを惜しんでくれて、⋮

「ながら」主要接在体言后面，常用「…ながら」「…ながらに」「…ながらの」的形式，表示在保持事物原有状态下进行动作或评述问题。这种表达方式已基本成为习惯用语，可以用的词语有限。

- トマトは皮ながら食べる物じやないと言つた人もいる。（也有人说西红柿不该连皮儿吃。）
- 昔ながらのやり方で、もう改められない。（老规矩，已经改不了了。）
- 彼は生まれながらに目が見えなかつたが、世界でも有名なギター奏者となつた。（他天生眼睛看不见，却成了世界著名的吉他演奏家。）

六、动词「とまる」(会話)

この時は録音を聞きながら、ぼくも涙がとまらなかつたんですよ：

动词「止まる」可以表示一直在动的东西停止不再动，例如：「電車、時計、おしゃべり」等。也可以表示止住，例如：「痛み、出血、くしゃみ、あくび」等。还可以表示原本流畅的东西因某种原因堵住了，例如：「電車、水道」。写汉字「留」时还可以表示「固定、落在、铭记」等意思。

● おかしくて笑いが止まらない。(实在是太滑稽了，所以才笑个不停。)

● この都市では地価の上昇が止まらない。(这座城市的地价在不停地上涨。)

● 水道工事のため、午後十時から午前六時まで水が止まります。(因下水道工程的需要，下午十

点至上午六点停水。)

● 太りすぎてボタンが留まりません。(太胖了，纽扣都扣不上。)

● この壁掛けは画鋲(かびさる)では留まりません。(这幅壁挂用图钉钉不住。)

七、…というのに(応用文)

まだ六時前だというのに、町中が人であふれている。

「というのに」由词组「という」和助词「のに」组合而成，在句中起连接作用。「というのに」接在简体句后面，表示「虽说是…可是…」。「というのに」含有强烈的意外、不满、惊呆的语气。
● もう三十歳だというのに、まだ子供のようだ。(虽说是三十岁的人了，可还像个孩子似的。)

ポートが沈むというのに、まだ乗ろうとする。（小船快要沉了，可是还有人想要上来。）
● 風邪を引いているというのに、無理をして授業に出ようとする。（虽说在患感冒，可还是硬要去上课。）

「というのに」还可以接在动词命令形后面。

- 行けというのに、なぜ行かないのか。（叫你去，为什么不去？）
- やめろというのに、なぜやめないのだ。（叫你停下来，为什么不停？）
- 見るなというのに、なぜ見るのか。（叫你不要看，为什么看呢？）

八、：だけあつて（応用文）

さすが中国第一の商業都市上海だけあって、わき上がるような
エネルギーとけん騒で、：

「だけあって」接在体言、活用词连体形后面，表示讲话者一直以来所了解的事情获得了证实，很有感触。
类同「やっぱり…だからだ」。一般用于好的、积极意义的事情。

- 「だけあって」经常和「さすが(に)」一起用。
「だけあって」接在体言、活用词连体形后面，表示讲话者一直以来所了解的事情获得了证实，很有感触。
类同「やっぱり…だからだ」。一般用于好的、积极意义的事情。
- 北京はわが国の首都だけあって、町もきれいだし、交通も便利だ。（北京不愧是我国的首都，城市整洁漂亮，交通也很方便。）
- あの司会者はさすがに外国语大学出身だけあって、外国语が堪能だ。（那个主持人不愧是外国语大学毕业生，外语很棒。）

- このレストランの料理はなかなかの評判だけあって、おいしい。（这家餐馆的菜果真名不虚传，很好吃。）

九、…かと思うほど（応用文）

わきあがるようなエネルギーとけん騒で、ホテルの窓
も揺らぐかと思えるほどだ。

「…かと思うほど」「…かと思えるほど」「…かと思われるほど」强调程度很高，高到让人这么去想。

- 一瞬にして息が止まるかと思うほどの痛みを感じました。（刹那间我感到了一阵疼痛，觉得自己的呼吸都要停住了。）
- もう永遠に夜が明けないのでないかと思われるほど、長い長い一夜だった。（这是一个很长很长的夜晚。长得让人觉得天是不是永远都不会亮了。）
- もうもどつてこられないのではないかと思うほど絶望しました。（我感到绝望了，不会是回不来了吧？）

十、接头词「真」（応用文）

早朝から容赦なく照りつける真夏の太陽のせいなのだろうか。

「真」读作「ま」。接在名词或形容词前，表示强调或增加了「真正的」「真诚的」「纯粹的」等意思。

● ● ● 真つ赤なバラの花がたくさん咲くと、きれいです。（众多的红玫瑰盛开时，是很美的。）
真つ昼間からお酒を飲むのはよくありません。（大白天就喝酒，这不好。）
真つ暗な道を一人で歩くのはこわいです。（我害怕在漆黑的夜晚一个人走路。）

ファンクション用語

条件

- A 交通費も出るとすれば、どうしますか。
- B たとえ交通費が出ても、この仕事はやりたくないません。
- C 私もそういう条件では応じかねます。場所が近ければ、引き受けますけど。
- B 地下鉄で行くとしても、一時間以上かかりますから。

練習

一、漢字にふりがなをつけなさい。

過去 遺跡 豊富多彩 民族色 熟年 種 貢献 動機 配分 提供 仕事柄 磨く 耕す 接待

良妻賢母 第一陣 望む 鐘 親近感 興ざめる 眼 潤る 争う 朝市 容赦 目覚める 黄色い
真夏 洪水 笑顔 一役買う 番 印

二、○に仮名を入れなさい。

- (1) 海外○○○観光客は延べ八百七十万人○達し、過去最高○記録した。
- (2) 観光客のニーズ○応じたコースが注目されている。
- (3) この大規模な観光活動の目的は中国と外国○○友情を深める○○です。
- (4) われわれの仕事は忙しい○○張り合いがあります。
- (5) 皆さんは友好の種をまく、平和の花を咲かせる、○○○畑を耕す人ですね。
- (6) 友好○尽力していれば、お客様からのお返し○あるでしょう。
- (7) みなさん集まって、涙ながらに別れ○惜しんでくれた。
- (8) 男は泣く○○ではないが、この時は録音を聞きながら、ぼくも涙がとまらなかつた。
- (9) 町中が太極拳や朝市○○○向かうのであろう人々であふれている。
- (10) 人、自転車、車が一体となつて作り出すエネルギーの波○、飛ばされてしまいそうになる。
- (11) 中国では友好の印○たばこを勧める。
- (12) 一人が遠慮がちに手を出した。その手○後が続いて、あつという間にたばこの箱が空になつてしまつた。

(13) どの顔○○笑顔がこぼれている。その笑顔○どこから来るの○、確かめて見たいと思った。

三、次の語群から最も適切なことばを選んで（ ）に入れなさい。必要な場合は適当な活用形にして入れなさい。

はりあい すれ違う 一役買う 惜しむ 見当がつく 望む 注目する
心地よい ざつくばらんに 寝ぼけ 容赦なく マーク 遠慮がちに

- (1) 勉強がよくできるあなたに()たいのは、よくできない子を思いやつて手伝うことだ。
(2) 鈴木さんは若い有能な学者で、すでにたくさんの学者たちが()ような研究をして
いた。
- (3) ()間もなく、日はあわただしく落ちて夕闇が迫ってきた。
(4) 子供ができるて生きる()が出てきた。
(5) 今年の犯罪率は過去最高を()した。
(6) ()言えば、私はいまのあなたのやり方に反対です。
(7) 田中さんと()のに気付かなかつた。
(8) 時は()過ぎてしまうものだから、大切にしてください。
(9) だれもやりたくない仕事に()た。
(10) 「取りなさい。取りなさい。」と何回も勧めたので、その子はやっと()手を出した。

(11) 海の底には()ほどたくさんの魚が住んでいる。

(12) ()春の風に誘われたのか、遠足に出る人が多かった。

(13) ()ていたので、先生がなにをおっしゃったのかまったく覚えていない。

四、傍線の部分を「真」を使って書き換えなさい。

(1) 暗い道を女が一人で歩くのは危険です。()

(2) 夜中に赤ん坊の泣き声で何度も目を覚まされた。()

(3) 彼は病気なのか青い顔をしています。()

(4) あの学生はいつもクラスで一番先に手をあげて、質問に答えました。()

(5) ひさしぶりに大学の先生に出会いました。先生は髪の毛がもう白くなりました。()

五、各項に挙げたことばを使って次の文を完成しなさい。

(1) めつたにない

冬なのに()。

自分で作るのが経済的だから、()

医療技術が進んでいる今日でも、()

こんな珍しい宝石は世界中どこをさがしても()

私は幼いときから体が丈夫です。病気のため()

。

。

。

。

。

(2) つこない

- 北京には文化遺跡がたくさんあるので、三日間ではとても()。
- ① こんなきつい教育プログラムは()。
- ② まだ日本語が十分でないのに、日本語で講演なんか()。
- ③ 名門校だから、そう簡単に()。
- ④ この仕事は三日間では()。
- ⑤ というのに()。
- (3)
- ① もう四月だというのに、()。
- ② 山だというのに、()。
- ③ もうおとなになつたというのに、()。
- ④ 日も暮れたというのに、彼は()。
- ⑤ 太陽も高く昇つたというのに、()。
- (4) さすが…だけあって()。
- ① さすが海南島だけあって、()。
- ② さすが大食いだけあって、彼は()。
- ③ さすがにオリンピック選手だけあって、()。
- ④ さすが会社が大きいだけあって、()。
- ⑤ さすが一流店だけあって、()。

六、次の質問に答えなさい。

- (1) 観光地としての中国の魅力はなんでしょうか。
- (2) 観光業を発展させる一番重要な目的はなんですか。
- (3) ガイドという仕事が上手にできるためにはどうすればいいですか。
- (4) 作者が寝ぼけ眼で窓から外を見ると、何が目に映りましたか。
- (5) 上海訪問を通じて、作者が一番印象的だと感じたのはなんですか。

七、括弧内のことばを使って次の中国語を日本語に訳しなさい。

- (1) 我想，我们在漫长的人生中感悟到的东西，对孩子们来说不是那么简单可以理解的。（つこない）
- (2) 他是个直来直去的人，所以难免会有得罪人的地方，请别介意。（ざつくばらん）
- (3) 母子俩流泪告别的情景真是可怜。（ながらに）
- (4) 「一个男士的对话」「我想因为是星期天可能会很拥挤的。可人还是太多了呀。」「是啊。收入增加了，我们的生活也变富裕了。可以拨出一部分支出用于休假和购物了。」「是啊。说起这些，我倒是听说前些日子你去了趟广州、深圳，那儿怎么样？」「真不愧是开发区，发展真快啊。」（さすがに：だけあつて）
- (5) 好热啊。虽说已经是九月底了，可还是像夏天那么热。小王，请把窗户开到最大。（というのに／いっぷい）
- (6) 这里的群山一年四季都是云雾缭绕，很少能看到山顶的。（雲がかかる／めつたにない）
- (7) 上海世博会的参观人数达到了七千多万人次，超过了日本的爱知世博会。（延べ）

(8) 用力按住被割开的手指，血马上就止住了。（とまる）

(9) 地震发生时我正在教室上课。当时我很害怕，感到天是不是就要塌下来了。（：かと思うほど）

(10) 日本全国都笼罩着寒气。京都从早上开始下起雪来了。在这隆冬季节，哪儿都不去，关在家里是最舒适的吧。（真）

八、辞書を調べながら次の日本語を中国語に訳しなさい。

中日両国は一衣帶水の隣国である。中国の港湾都市寧波は日本とは海を隔てただけの距離にある。歴史上、寧波の人は日本の天皇とも多くの交流を持ち、こうした交流は七百余年前の元代にまでさかのぼることができる。

元の大徳三年（一二九九年）、朝廷は寧波普陀の高僧一山を選び、詔書を携えて日本へ派遣した。

一山は日本に行つてから京都に住み仏教の經典を説いた。京都の士民はわれがちに一山の住まいにせつせと足を運んだ。皇宮に住む後宇多上皇にも侍臣を通じてこの消息が伝わり、一山をたいへん敬い慕い、数回にわたり侍臣を派遣し、仏教の經典について一山にいろいろ教わった。一山は經典にもとづいて回答し、後宇多上皇に称賛、尊敬された。一山は日本に二十年間滞在し、日本の社会、文化、仏教などに大きな影響を与えた。彼が死去すると、後宇多上皇は自ら彼のために肖像画を描き、「宋地万人傑、本朝一国師」とほめたたえた。

第十六課 五十嵐勝さん

本文

これは三十数年前の話である。

五十嵐勝さんは日本の船橋市で八百屋を営んでいる。一九八二年ごろから個人的に続けてきた日中友好活動が『人民日報』と雑誌『人民中国』に紹介されたのがきっかけとなって、その業績を描いた映画『北京の西瓜』が大林宣彦監督によって一九八九年に完成され、そして倉石武四郎賞を受賞した。一九九二年に中国留学生後援協会を設立し、その会長となる。

五十嵐勝さんは中国ではもう大変な有名人である。とくに日本に留学した者はだれでも知っている。留学生の成田空港出迎え、保証人引き受け、宿やアルバイトのあっせん、そしてホームパーティ。そのため家業の八百屋がおろそかになり、借金がたまつて、店と自宅が競売されそうになつたことまである。

会話

記者

五十嵐さんは熱心に中国人留学生の世話をしてくださいますが、そのきっかけはどんなこ

とだつたのでのしようか。

五十嵐　わたしの店の近くに、中国人留学生のための船橋寮というのがありますね、その留学生たちが野菜を買いに店へ来るようになつたのが始まりでした。

記者　彼らに値切られてアタマへきたとか……。

五十嵐　そうなんですよ。一束五十円のホウレンソウを二十円も三十円も負ける、と言うんです。わたしは商人で金もうけが大好きですからね、イヤだなと思いましたよ。それで彼らがやつてくるのを見ると、五十円の値札を八十円につけ変えて「まあいいや、五十円に負けとこう」。すると、「五十嵐さんがこんなに負けてくれた！」とみんな実にうれしそうな顔をするんですね。そんなことを四、五日やつてゐるうちに、わたしも気がとがめできました。こんなにわたしを信用してくれる人間がこの世の中にいたのか。それをだましていいものだろうか。信用してくれた人間を手玉にとるようなまねはもう一切やめようと思った。それ以後はもうけを少なくして、本当に安く売るようにしたもんだから、うちの店に買いにくる留学生がだんだん多くなり、親しくなつていった、というわけです。

記者　八九年に五十嵐さんのことを映画にした『北京の西瓜』という作品が公開されましたね。大林宣彦さんの監督で。あの映画は『人民中国』で五十嵐さんを紹介した記事から生まれたものとか。

五十嵐　そうなんですよ。たまたま大林さんたちの一行が中国からの帰りの飛行機で『人民中国』をめくつていて見つけたんだそうです。

記者

あの映画にはとても感動させられました。

五十嵐

映画にも出ていましたが、私が初めて寮の忘年会に招かれたとき、みなさんから、「ニイハオ、ニイハオ」と熱烈に歓迎していただきました。テーブルの上には、私の店の野菜を材料にした料理がたくさん並んでいます。ギョーザやら、炒めものやら、どれもこれも実にうまかった。

記者
五十嵐

お宅でもよくパーティーを開いて留学生をよんぐださるそうですが……。月に一回やつてます。三十人ぐらい招いてね。この十年でうちのパーティーに出た留学生はおよそ四千人になります。

記者

それじゃあ、お金がたいへんでしょう。

五十嵐

狭いところだし、たいしたご馳走はしません。私の方でビールやギョーザ、料理の材料をどうさり置いておいて、つくるのは留学生。その方が楽しいんですよ。

記者

映画『北京の西瓜』に、五十嵐さんが成田空港で「林正忠様の愛人様歓迎」と書いたプラカードをかかげて待っている場面がありましたが、あれはほんとうのことですか。

五十嵐

そうですよ。留学生やその家族を成田空港へ送り迎えするのも、私の重要な仕事になつています。その日、林正忠さんという留学生から「妻が日本に来るのだけれども、荷物が多いので、出迎えに行つてもらえないか」と頼まれました。彼は学校から直接空港へ行き、私はワゴン車を運転して行くことにしたのです。ところが、飛行機が到着したのに、林さんはまだ来ていません。しかたなく私はいつもワゴン車に置いてあるプラカードに「林正忠様の愛人様歓迎」と書き、それをかかげてロビーで待っていました。中国では「愛人」は配偶者のことだが、日本で

はまるで意味がちがうでしょう。まわりからニヤニヤ笑われてしまつて、あれは閉口した。

記者 成田空港へ行くとき、お店の方は？

五十嵐 平均して月に四、五回行つてますが、まず一日仕事ですからね。女房にやつてもらうしかない。

記者 奥さんもたいへんですね。

五十嵐 最初はよく夫婦ゲンカやりましたね。「おれのやつてることは正しい。だからおれについてこい。女のくせに、文句があるなら出て行け」なんてどなつたこともあります。今は喜んでいつもしょに留学生の面倒を見ています。

記者 私に言わせれば、五十嵐さんはまさに「日本の雷鋒」ですね。

五十嵐 何回も中国人の人からそう言わされましたよ。私はそんな人知らないんで、「雷」という字を見て、「エッ？ なんでおれが雷おやじなんだ」と首をひねりましたが。

記者 留学生のことでも商売がおろそかになつて借金がたまたため、とうとうお家を競売にかけられる破目になつたそうですが……。

五十嵐 私はもともと福島から集団就職で上京してきた人間でね、いろいろやつたあげく、八百屋商売があたつて、けつこう順調だつたんですが、留学生に入れあげて、すっかり落ち目になつた。理由が理由だけに、後悔はしませんでしたが、さすがに参りました。日本の『読売新聞』に「日本のお父さん映画化——八百屋はピンチ、それでも意氣盛ん」という記事が大きく載りました。まもなく、留学生たちが「五十嵐さん緊急援助会」というのをつくり、千円、

応用文

特別診療

それは三十数年前、日本留学中のことであった。私をずっとさいなんでいた歯の病気はひどくなる一

二千円と出しあつて百十六万円の小切手を渡してくれました。借金の額はとてもそんなものじやなかつたですが、留学生たちがせつせとかせいだお金ですからねえ、涙が出るほどうれしかつた。

記者 中国からもいろいろあつたそうですね。

五十嵐 ええ、北京、上海、天津、南京、そんな大都会ばかりでなく、湖南、福建、江西からも手紙や送金がありました。中国からも援助の手をさしのべてもらえるなんて、考えもしませんでした。

記者 今度、念願の「中国留学生後援協会」が発足したそうですが、おめでとうござりますと言うべきか、ご苦労さまと言ふべきか：

五十嵐 一人の力ではどうしても限度があります。協会ができるて力強い輪となれば、もっと多くの留学生の面倒を見ることができます。

記者 私も留学生のO.Bとして、心から感謝いたします。

(『人民中国』にもとづく)

方だった。一週間寝たつきりで食べることも、寝ることもできなかつた。

日本の医療費は非常に高いから、これまで歯科病院にいくことができなかつたが、今度はどうしても我慢できず、近くの山田歯科病院の山田院長に見てもらつた。六十五歳の山田先生は私の歯をくわしく検査してから、「四本の歯がすごくわるくなっている。どうしてこんなにひどくなるまで歯医者に行かなかつたのか。お金が原因だろうか」と私に聞いた。

私は恥ずかしくてうなづいた。そこで、山田先生が私の肩をたたきながら、「これからあなたはここに来てください。お金の事は心配いりません」とやさしく言つた。私は山田先生の顔を見ても、納得できない気持ちだつた。日本に来てから、お金の問題でこんな経験をしたことがなかつたので、自分の聞きまちがいではないかと疑つた。そうして、山田先生は紙と鉛筆を出して、先に「円」という字を書いて、それから「円」の前に太い字で「〇」を書いた。

こうして、私のための二十回あまりの「特別診療」が始まつた。治療中、先生がときどき自分の青年時代のドイツでの留学の体験を私に話した。一番困つたのはやはりお金がなかつたことだ。ドイツ国内を旅行する時も、徒步とトラックだつたそうだ。先生は「留学生活は私の人生の中で一番困難な時期でしたが、同時に私の人生の中で一番価値がある時期でした」と言つた。そして、「だから、あなたの今の状況は、私は理解できます。私の力のおよぶ範囲で援助したい。あなたはどのような困難にあつても、がんばらなければなりません。この貴重な留学生活を大切にして、たくさん勉強して、将来は人類に貢献してください。あなたの国はあなたたちを待つてゐるから、がんばってください。」と言つた。

最後の治療は土曜日の休みの日だった。その日は山田先生が早く病院に来て、四時間も治療してくれた。そして、回復した私の歯を見て大変喜んでくれた。先生の疲れたけれども喜びにあふれていた顔を見て、私は万感が胸に迫った。

(日本国際交流研究所編『日本』にもとづく)

单語

五十嵐勝（姓）②十①	受賞（名・他サ）①	受奖、获奖
船橋市（专）④	後援（名・他サ）①	后援、支援
八百屋（名）①	設立（名・他サ）①	设立、开设
人民日報（专）⑤	有名人（名）③	名人
人民中国（专）⑤	成田空港（专）④	（日本）成田机场
業績（名）①	保証人（名）①	保证人、担保人
西瓜（名）①	宿（名）①	落脚处、住处
（人名）	あつせん（斡旋）（名・他サ）①	斡旋、调停
大林宣彦（姓）③十②	おろそか（疎か）（形动）②	疏忽、草率
監督（名・他サ）①	（人名）	自己的住宅
倉石武四郎（专）②十②	自宅（名）①	

競売 きょうばい 「名・他サ」①

拍卖

林正忠 りんせいちゅう 「专」①+①

爱人 あいじん 「名」①

(人名)

値切る ねりきる 「他五」②①

杀价、压价

頭に来る あたまにくる 「组」⑤

爱人；情人、情妇

一束 ひとばく 「名」④

标语牌

ホウレンソウ ホウレンソウ 「名」③

(饭店) 大堂

負ける まなぶ 「他一」①

客货两用汽车

金もうけ かねうけ 「金儲け」(名・自サ)③①

到达

値札 ねいた 「名」①

完全

：とく(组)

独笑、嗤笑

とがめる(咎める) とがめる 「自他一」③

(人名)

気がとがめる(组)

大声喊叫；大声斥责

信用 じゆよう 「名・他サ」①

雷 らい 「名」④③

手玉に取る(组)

首をひねる(组)

翻(书等)；揭开、撕下

地步、窘境

めくる(捲る) めくる 「他五」①

(地名)

どうさり(副)③

顺利

順調 じゅんとう 「形动」①

很多、好多

很多，好多

入れあげる(他一)④	(为情人或嗜好)花费很多钱	汇款、寄钱
落ち目(名)③②	差し延べる(他一)④①	多年的心愿、愿望
後悔(名・他サ)①	念願(名・他サ)①	伸出
読売新聞(专)⑤	発足(名・自サ)①	强有力
映画化(名)①	O B (オービー)(名)③	(团体、会议等)开始活动
ピッチ(pinch)(名)①	力強い(形)⑤	强有力
意氣(名)①	*	*
緊急(名・形动)①	*	*
小切手(名)②	*	*
額(名)①①	*	*
せつせと(副)①	*	*
天津(专)①	診療(名・他サ)①	前辈、校友、老毕业生
不停地、一个劲儿地	医療費(名)②	治疗
(地名)	さいなむ(苟む)(他五)③	折磨、虐待、责难
挣钱；取得(分數等)	歯科(名)②①	医疗费
(地名)	検査(名・他サ)①	检查
納得(名)①	院長(名)①	院长
稼ぐ(他五)②	歯科(名)②	齿科
湖南(专)①	検査(名・他サ)①	检查
福建(专)①	院長(名)①	院长
江西(专)①	納得(名)①	理解、领会
(地名)	せつせと(副)①	怀疑
徒步(名)①	せつせと(副)①	徒步

时期(名)① 時期(じき)

回復(名・自他サ)① かいふく

时节、时期；季节

万感(名)① ばんかん

恢复——胸に迫る(组) おどる せま

万感、百感
深有感触

言葉と表現

一、「…がきっかけとなつて（本文）

「人民日报」と雑誌「人民中国」に紹介されたのがきっかけとなつて、…

「きっかけ」意思为契机。「…がきっかけとなつて」表示某件事情成为契机。

- たまたま同じバスで通学していたことがきっかけとなつて、親しくなつたんです。（我们因为上学有时坐同一辆公交车，由此慢慢地就熟悉起来了。）
- 株と地価の値下がりがきっかけとなつて、景気全般が悪くなつてきました。（股价和地价的下跌引起了整个景气开始恶化。）
- 父の海外転勤がきっかけとなつて、私はアメリカの大学へ行くようになつた。（我的父亲被调到国外工作。我呢，因为这个机会就在美国上了大学。）
- 「きっかけ」还有以下用法。
 - 転居をきっかけにして、わたしも会社をやめて自分の店を持つ決心をした。（趁搬家的机会，我也下定决心辞去公司的工作，自己开一家商店。）

391

● 二人は何のきっかけで知り合ったのですか。（两人结交的机缘是什么呢？）

● 同窓会での再会がきっかけで、二人はまた親しく付き合うようになった。（同窗会上的再次相见使两人重新亲近起来。）

二、…がおろそかになる（本文）

そのため家業の八百屋がおろそかになり、借金がたまつて、…

「おろそか」的意思是敷衍、马虎、不认真。经常说「…がおろそかになる」「…をおろそかにする」
がおろそかで」。

● 一方に気を取られたら他方がおろそかになることがよく見られる。（顾此失彼的事是经常可以看到的。）

● 勧めをおろそかにしたため会社に首を切られた。（他因为工作马虎被公司解雇了。）

● 彼は受け持つの仕事を決しておろそかにしない、まじめな男だ。（他是个对接受的工作决不懒怠、认真负责的人。）

三、助词「やら」（会話）

ギョーザやら、炒めものやら、どれもこれも実にうまかった。

(1) 接在体言、用言连体形或「用言连体形十の」后面，表示列举。用「やら」表示列举的句子含有不限

于这些，还有其他的语气。表示列举的「やら」是并列助词。

生花やら茶道やらの日本文化に特に興味を持つて習つてゐる。（我对插花啦、茶道之类的日本文化特别感兴趣，所以正在学。）

あの人はなにか気に入らないことがあると、泣くやら騒ぐやらで、ほんとうにたまつたものじやない。（那人只要有什不顺心的事，就又哭又闹的，真让人受不了。）

自分を生んだ親がまだ生きているということを知つたかれは悲しいやら嬉しいやらとても複雑な気持ちだつた。（当他得知自己的亲生父母都还活着时，又悲又喜，心情复杂极了。）

(2) 用「：のやら：のやら」的形式并列含相反意义的词，表示不知属于其中的何种情况。后面常接类似「わからない」一类的词。

この料理は食べたことがないので、おいしいのやらおいしくないのやら、さっぱりわからない。（这菜没吃过，所以不知道是否好吃。）

初めての外国留学なので、そこは暑いのやら寒いのやら、物価が高いのやら安いのやら、すこしもわからない。（第一次去国外留学，所以那儿是热还是冷，物价是贵还是便宜，一点儿也不清楚。）

(3) 与表示不确定或疑问的词一起用，表示不确定或疑问。这种含义的「やら」是副助词。

あの人はどうな人やら私にはわかつたものではない。（他是个什么样的人我怎么知道！）

これはいつやら貸してあげると約束をした本です。（这是什么时候讲好要借给你的书。）

どこにしまつてあるのやら、母に聞かないとわからない。（不问母亲就不知道放在哪儿了。）

四、词语「どれもこれも」（会話）

どれもこれも実にうまかった。

「どれもこれも」用于指物，意思和「どれも」相同，只是语气比「どれも」更强。指人时要用「だれもかれも」，指场所时，用「どこもかしこも」。

- どれもこれも平凡で、抜きん出たものはない。（不论哪个，都很一般，没有特别好的。）
- だれもかれも私の気持ちを理解してくれない。（大家都不理解我的心情。）
- 春になると、どこもかしこも緑いっぱいだ。（一到春天，到处是一片绿色。）

五、副词「まるで」（会話）

日本ではまるで意味がちがうでしょう。

(1) 表示「完全如此」。用于比喻时，常和比况助动词「ようだ」呼应使用。

- すっかりやせてしまって、まるで病人のようです。（他现在瘦极了，简直像个病人。）

- 現実のものは思えない。まるで夢幻の世界のようです。（难以想像这是现实的东西。简直像梦幻中的世界。）

- 一流の大学に入れるなんて、まるで夢のようですね。（想不到能进一流大学，这简直像在做梦。）

- (2) 和否定意义的谓语呼应，表示完全否定。
日本語はまるで話せない。（日语一点儿不会讲。）

まるで話が違います。（话完全对不起。）

いつ話したの。わたし、まるで忘れてしまったの。（什么时候讲的？我，完全忘了。）

六、副词「まず」（会話）

平均して月に四、五回行つてますが、まず
一日仕事ですかね。

(1) 表示首先要做的事。

話は後にして、まず料理を注文しましよう。（话待会儿再说，先点菜吧。）

火事がおこつたら、まず電源を切つてください。（如果发生火灾的话，请先切断电源。）

なんといつても、まず健康だ。（不管怎么说，首先是身体健康。）

(2) 表示大致、差不多，类似「およそ」「だいたい」「おそらく」。

今学期習つたものは一応復習したから、試験はまず安心だ。（这学期学的东西都复习过了，所以考试大概不会有难题。）

留学生活は楽しいやないと思えば、まず間違いがない。（以为留学生活不会轻松，这么想大概不会错。）

熱もほとんどありませんから、仕事に行つても、まず大丈夫でしょう。（已经几乎不发烧了，就是去工作大概也没问题吧。）

七、动词+しかない（会話）

女房にやつてもらうしかない。

提示助词「しか」除了接在名词、副词等后面，与否定呼应表示限于某一事项进而否定其他外，还能接在动词终止形后面，表示「（没有其他方法）只好…」。

- バスも電車もないところだし、自転車も二、三日前修理に出したので、歩いていくしかない。
（这是个没有汽车和电车的地方，自行车也在两三天前拿出去修了，所以只好走着去。）
- こんなに探しても見つからないのだから、もと来た道を引き返すしかない。（这么找也找不到，所以只好顺着来时的路回去。）
- 母がいない間は自分で料理を作るしかない。（母亲不在时只好自己做饭。）

八、くせに（会話）

女のくせに、文句があるなら出て行け。

「くせに」是接续助词，接在「体言十の」或活用词连体形后面，表示既定的逆态条件，相当于汉语的「明明…却…」「尽管…可是…」。这种表达方式比「のに」含有更强的责怪和蔑视或嘲讽的语气。一般用于同伴之间的谈话，不用于郑重谈话场合和书面语。后句内容假如不需明言则可以省略。

- 子供のくせに、大人のような口調で話している。（明明是个孩子，说话的口气却像个大人。）
- 自分が悪いくせに、人のことを責めている。（明明自己不好，却还在责备别人。）

下手なくせに、やりたがるのだ。（明明做不好，却很想做。）

●返事をすぐになると約束したくせに、三ヶ月たつてもくれない。（说好马上给答复的，可是三个
月都过去了，还没有答复。）

九、：に言わせれば（会話）

私に言わせれば、五十嵐さんはまさに「日本の雷锋」ですね。

「私に言わせれば」的意思类似「私の意見では」。听起来对于下面即将陈述的意见，说话人充满了自信。

●西洋人は海水浴が好きですけれど、医者に言わせれば、人や動物が長時間紫外線に当たると、皮膚が傷つけられ、皮膚がんなどの原因となるそうです。（西方人喜欢海水浴。但是医生的看法是，人和动物如果长时间照射紫外线的话，皮肤会受伤，容易得皮肤癌。）

●あなたがその石を大事にしているところをみると、どうやらあなたは、その石を珍しいものと思つてゐるようだが、私に言わせればそれは極普通の石で、故郷の山々にはいくらでもあるんだ。（你那么珍惜那块石头也许是因为你觉得它很稀有。可是依我看，这不过是块普通的石头，在我的家乡要多少有多少。）

●クラシック音乐が好きな母に言わせれば、現代音乐は音乐の部類に入らないということだ。（在喜欢古典音乐的母亲看来，现代音乐不能算是音乐。）

十、词语「破目になる」（会話）

とうとうお家を競売にかけられる破目になつたそうです。

「破目」表示「境地」「地歩」等意思。「破目になる」表示落到某种地步。用于贬义。

- うつかり話したため、私は批判を受ける破目になつた。（因为无意中说了，使我落到受批判的地步。）
- こんな苦しい破目になるとは自分でも思わなかつた。（陷入如此的困境，连我自己也没想到。）
- こんな破目になつてもまだ平氣だと言つてゐる。（到了这种地步，他还说无所谓。）

十一、名词十が十同一名词十だけに（会話）

理由が理由だけに、後悔はしませんでした。

「名词十が十同一名词十だけに」通过同一个名词的重复使用，表示如果是该名词所表示的那种情况的话，以下的结果也是没有办法的事，可以理解和接受。

- 子供が病気になり、手術費用が足りなかつたので大事な自宅を売却した。しかし、理由が理由だけに少しも後悔しなかつた。（孩子病了，手术费不够，所以我卖掉了对一家人来说非常重要的自家住宅。不过，说是这么说，但我一点都不后悔。）
- 祖父は今年九十歳で元氣だが、歳が歳だけに昼間もうとうとしていることが多くなつてきた。
(祖父今年九十岁，身体还很硬朗。但毕竟是上了年纪，最近白天也经常迷迷糊糊的。)

- この商品は今までのものよりずっと性能がいいのですが、値段が値段だけにそうたくさんは売れないでしよう。（这个商品的性能确实比以前好很多。可是毕竟价格太贵，买的人不会太多吧。）
- 親の励ましと愛情があつて、彼の病状は快方に向かっているが、病気が病気だけに、そうすぐ治るわけはないだろう。（有了亲人的鼓励和爱，他的病在好转。但是病毕竟是病，不会马上就治愈的。）

ファンクション用語

色

A 大学の友だちにネクタイをプレゼントしたいんですが、どんな色がいいでしようか。

B 大学の友だちにですか。少し色の濃いものがいいでしよう。

A そうですね。色の濃い方がいいかも知れませんね。

参考：赤（レッド） 黄色（イエロー） 青（ブルー） 白（ホワイト）
 緑（グリーン） 黒（ブラック） 金色（ゴールド） 銀色（シルバー）
 桃色（ピンク） 灰色（グレー） 茶色 オレンジ色 紫色

練習

一、漢字にふりがなをつけなさい。

船橋市 船遊び 船板 小船 八百屋 後援 援助 宿 宿舎 一束 約束 束縛 配偶者 偶然
値札 値切る 値段 念願 願望 願う 発足 開発 出発 発売 苛む 荷物 疑う 疑問 徒歩
歩道橋 万感 万歳 万一 迫る 迫力

二、○に仮名を入れなさい。

(1) 雑誌の紹介○きつかけ○なって、五十嵐さんの業績を描いた映画が大林監督に○○完成されました。

(2) 日本○留学したものは誰でも五十嵐さんを知っています。

(3) 借金がたまつて、店と自宅が競売されそうになつたこと○○あつたのです。

(4) 一束五十円のほうれんそう○二十円○三十円○負けろと言つんです。

(5) 信用してくれる人間○手玉○取るようなまねはもうやめようと思いました。

(6) あの映画は『人民中国』○五十嵐さんのことと紹介した記事○○生まれたのです。

(7) わたしが初めて寮の忘年会に招かれたとき、みなさん○○熱烈に歓迎してもらいました。

(8) ギョーザ○○炒め物○○、どれもこれも実にうまかった。

(9) 中国○○○援助の手をさしのべてもらえるなんて、考え○しませんでした。

(10) 歯の病気で一週間寝た○○○○、食べることもできませんでした。

(11) 先生の、疲れているが、喜び○あふれた顔を見て、万感が胸○迫りました。

三、次の語群から最も適切なことばを選んで――に入れなさい。必要な場合は適当な活用形にして入れなさい。

どれもこれも セッセと 破目になる 気が咎める 頭に来る
おろそか まるで 手玉に取る まず 首をひねる

- (1) 普段、勉強を()しているので、いつも盜人を捕えて縄をなうことになります。
- (2) 三十分以上待たされて()ました。
- (3) 人を()人はいつかきっと手玉に取られるに違いありません。
- (4) 先生に注意されるまで、あの間違いに()気がつかなかつたのです。
- (5) 前に老人を立たせて、自分が座っているのは()ので、席を譲りました。
- (6) ()平凡ですね。気の利いたデザインはありませんか。
- (7) 「級長にはだれがなるんでしょうね。」「呂さんが選ばれることは()でしょう。」
- (8) 「どうしてあの人ばかりいい成績をとるのか」と林さんは()ています。

- (9) 仕事をするときには()仕事をして休むときにはゆつくり休んでください。
- (10) どうせやる()から、わたしは何も言わずにやり始めました。

四、次の文の()に、適当な例示を表す表現を入れなさい。

- (1) びっくりする()悲しむ()ニュースを聞いた人たちの反応はさまざまです。

- (2) 北京()上海()、中国の大都会には地方から出てきた若者が多いです。
- (3) 何か困ったことでもあれば、親に()先生に()相談してみたらどうですか。
- (4) 夜どんなに遅くなつても、タクシーを拾う()友達に送つてもらう()して必ず家に帰つてください。
- (5) わたしはパソコン、スキヤー()ものが苦手です。

五、各項に挙げたことばを使つて次の文を完成しなさい。

- (1) きっかけ
- (2) ()、三十年前のある出来事を思い出した。
- (3) ()、私は料理に興味を持つようになつた。
- (4) ()、わたしは酒とたばこをやめました。
- ()、日本留学を考えるようになつた。

）日本語が好きになり、日本語を習おうと決心した。

(2) やら ⑤

忘年会では、彼は嬉しくて、（

で、お正月の準備が忙しい。

1

あの人は(

あの人にはぼくの意見に（

(3) くせに

自分が失敗したくせに(

声がよくないくせに、（

何も手伝つてくれないくせに、

この車はガソリンをよく食うくせに、（

四百三十九

目が悪いくせに

六、次の質問に答えなさい。

(1) 五十嵐さんが中国人留学生の世話をしたきっかけはどんなことだったでしょうか。

(2) 五十嵐さんのことを映画化する企画はどんなことから生まれたのですか。

(3) 留学生のために落ち目になつた五十嵐さんのことを見て、留学生たちは何をしましたか。

- (4) 歯の病気がひどくなるまで、「わたし」はどうして歯医者に行かなかつたのですか。
(5) 山田先生はなぜ「わたし」に二十回あまりの「特別診療」をしてくれたのですか。
(6) この課を習つて、中日友好をテーマに感想を発表してみてください。

七、括弧内のことばを使って次の中国語を日本語に訳しなさい。

- (1) 他嘴里说一点儿都不好吃，结果却全都吃光了。（くせに）
(2) 长期的折磨使得我的胃病越来越厉害了，只有请医生做手术了。（さいなむ／しかない）
(3) 真没想到『帮帮山区的孩子』这篇报道在报上刊登后，会有这么多人伸出援助之手。一个人的力量毕竟是有限的，向大家呼吁后问题就解决了。（差し伸べる／どうしても）
(4) 「听说因为不重视经营，这家公司的生意一年比一年差，已经欠下几百万元的债务。」据我所知欠债远不止这些。因为债台高筑，公司面临破产，公司大楼也将被拍卖。」（おろそか／破目になる）
(5) 几年前，我有机会拍摄一个朋友正在做的蝴蝶收藏标本。当被拍摄的实物放在眼前时，我被它鲜艳的色彩和漂亮的造型惊呆了。这成了一个契机，我和朋友开始去山里拍摄蝴蝶生态照片。（コレクションをする／きつかけ）
(6) 我的弟弟很喜欢电影。据他看，这部电影不错。故事情节很有趣，音乐和画面都很协调。（…に言わせれば）
(7) 你买了十个，送你一个好了。（負ける）

(8) 母亲也老了。最近老是听她在说：「东西究竟放在哪儿了，怎么找也找不到。」(やら)

八、辞書を調べながら次の日本語を中国語に訳しなさい。

ハルビンには、中国に居留する、身寄りのない外国籍の老人を引き取つてめんどうを見る養老院がある。私が訪ねた日本人の女性Aさんは二階に住んでいる。部屋は明るく清潔で、きちんと片づいている。カーペットを敷いた床にはちり一つない。ベッド、ソファア、テーブル、戸棚など、家具はみんなそろつている。カラーテレビもある。窓ぎわには植木鉢も並んでいる。

「あなたは、どういうことで中国へ来られたのですか。」

この問い合わせが、Aさんを昔のつらい思い出に誘うことになつた。Aさんは小柄だがしゃつきりとしている。広島県の生まれ、五歳のとき父に死なれて、生活が苦しくなつた。人の話で、中国の東北へ行けば金をかせげると聞いて、十九歳のとき、ひとりで牡丹江へ来て、ある病院の看護婦になつた。二十歳のとき、ここで建築技師の宮島さんと結婚した。二人の男の子をもうけたが、病気で死なせてしまつた。一九四四年、夫は徵兵され、戦死した。

「あのときは、わたしも死んでしまひたかった。あの戦争ではほんとうにひどい目にあいました。」とAさんは涙を拭つた。

それでも、彼女は生き抜いてきた。一九四八年、中国人の炭鉱労働者と結婚して以来、落ちついた暮らしかけていたが、数年前夫が病死した。地元の政府は身寄りのないAさんの氣の毒な境遇を知つて

彼女を養老院に引き取つた。

Aさんは以前親戚を見舞いに帰国したことがある。ところが、どうしたことか、日本では食も進まず落ちついて眠れない。もともと半年滞在の予定だったが、親戚が引きとめるのもことわって、三ヶ月で帰ってきた。

「わたしのふるさとは、中国なんです。」と、Aさんは、ためらいもなくこう話を結んだ。

(『人民中国』にもとづく)

第十七課 中日経済の展望

本文

一九七二年九月二十一日、中日両国政府は共同声明を発表して、両国間の不正常な状態が終わり、両国関係の歴史に新たな一ページが始まったことを宣言した。それ以来、両国の友好協力関係はすでに各方面に豊かな実りをもたらしている。

共同声明と一九七八年の平和友好条約を基礎に、両国間の頻繁な相互訪問によつて、両国関係の順調な発展が保証されるようになつた。民間の友好交流もいつそう拡大され、両国間の友好都市はすでに百二十余りになり、経済貿易の関係も深まり、共同声明発表の一九七二年に十億ドルだった両国の貿易額は現在では二百倍の二千億ドルに達した。

一衣帶水の隣国として、二千年の友好の歴史をもつ中日両国はたがいに協力して、未来に目を向けて努力すれば、両国関係の前途はいよいよ明るく広いものになるであろう。

(Aは『人民中国』記者、Bは経済部門の責任者。)

A 私どもは本誌に中日国交正常化の記念特集を出すつもりですから、きょうは中日両国の経済貿易の展望についていろいろお話をうかがいたいと思います。

B どうぞ、なんでも聞いてください。私もこれをいい機会と考えますから、いろいろお話ししたいと思ひます。

A 中日両国の国交正常化の歴史をふり返つて見ると、両国間の経済貿易の発展というものが、その中で大きな役割を果たしてきたように思うのですが、いかがでしょうか。

B その通りです。中日両国の国交正常化というのは、まさに経済貿易の協力から始まつたんです。一九五二年六月に最初の中日民間貿易協定が調印されました。これが両国関係正常化の第一歩にもなつたわけです。

A その後、その道は年とともにだんだん広くなりましたね。

B そうです。一九六二年に、半官半民方式による「中日総合貿易に関する覚書」が調印されました。それでまもなく、北京と東京にそれぞれの事務所が設けられ、両国間の貿易も急速に増えました。

A 「水が流れてくれば、自ずと用水路も開かれる」のことわざ通り、その民間貿易が文字通り呼び水となつてついに一九七二年九月に国交正常化を迎えたわけですね。

B それもまつたく両国人民の努力のおかげです。いまこうして国交正常化の記念日を迎えるに当たり、「水を飲むときは、井戸を掘ってくれた人の恩を忘れてはならない」ということばを改めてかみしめています。

A そうですね。そうして、経済貿易面での協力が国交正常化を促し、その国交正常化がまた経済貿易を大いに発展させる結果にもなったわけですね。そのあげた成果はどれぐらいになりますか。

B 両国間は次々と協定を調印し、各分野で合作を発展させています。例えば、一九七二年に十億ドルに過ぎなかつた貿易額は現在では二百倍にも成長して、二千億ドルに達しました。日本は中国につて、最大の貿易相手となりました。

A そうですか。両国の経済貿易関係は新しい段階に入ったと言えますね。

B その通りです。両国政府や経済界の交流も日増しに盛んになりました。

A かつて「井戸を掘つた」人びと——民間貿易の方は?

B 新しい友人がたくさんできましたが、古い友人のことももちろん忘れていません。現在、中国に設置されている外国の民間企業の中では、日本のものが一番多いですよ。

A そうですか。新しい段階に入った中日経済の展望はどうでしょうか。

B 周知のように、中国は総じて言えば資源も労働力も豊かです。知識層のレベルも低くありません。日本は資源に乏しいが、資金力、技術、そしてレベルの高い管理能力を持つています。ですから、両国はそれぞれの特長をさらに生かして、合作を進めてゆくべきです。これは両国人民の利益にな

るだけでなく、アジアの安全と世界の平和のためにも望しいことです。

A きょうはいろいろかがつて中日経済の展望についてよくわかりました。どうもありがとうございました。

(『人民中国』にもとづく)

応用文

世々代々友好的につきあつていこう

中日両国の中には昔からずつと友好交流の歴史があつた。しかし、近代に入り、日本軍国主義が中国に対して侵略戦争を起こしたことで、両国の友好関係は大いに破壊された。この不幸な歴史は中国人に多大な災難をもたらしただけでなく、日本国民にも大きな被害を与えた。われわれは歴史を銘記することを強調しているが、恨みを抱き続けるためのものではない。歴史をかがみとして未来に向かうためであり、平和を守るために、中日両国の人民が子々孫々世々代々にわたつて友好的に付き合っていくためである。

一九七二年の国交正常化以来、中日両国政府と民間は、中日共同声明と中日平和友好条約の原則と精神に基づいて、友好協力関係を発展させるのに大きな努力を払い、喜ばしい成果をあげた。

両国の指導者は互いに訪問し、政府間の会議、民間人会議、中日友好二十一世紀委員会の会議など

を定期的に行い、それによって両国関係を健全に前向きに発展させてきた。中日友好協力は双方に有利であるだけでなく、アジアと世界の平和・安定にも極めて重要である。国交正常化以来、両国間の貿易額が急増し、両国間の人的交流も盛んになり、友好関係を結んだ都市も百以上にのぼった。さまざまなか形の交流を通じて、両国人民の相互理解と友情はたえず深まり、中日友好はすでに両国人民の心にしっかりと根をおろしている。

中国の現代化建設において、日本は円借款を提供し、中国のインフラ建設、環境保護、エネルギー開発などを支援して積極的な役割を果たした。大勢の日本友人が中日友好のために心血を注いだことを中国人民は永遠に銘記している。

日本の国民は創造力にたけており、勤勉で英知と向上心に富んでいる。明治維新以降、日本は世界の先進的文明を吸収し、アジアで最初の近代国家に発展した。限られた資源と国土の中で、世界の注目を集め、発展を成し遂げた。製造業、情報、金融などの分野で進んでおり、世界一流の省エネ、環境保護技術を持つている。これは日本国民の誇りであり、中国人民が学ぶべきものである。

もちろん、中日関係にはいろいろな曲折もあった。しかし、歴史が証明しているように、仲よくすれば、両方に利益があり、仲が悪くなれば両方とも傷つく。中日両国間に、問題や意見のくい違いが起ることは避けがたい。だが、双方が歴史を尊重し、中日共同声明と中日平和友好条約の原則を守りさえすれば、必ず障害を排除し、矛盾を解決し、友好協力事業を推し進めることができる。

国交正常化以来の歴史は「千里の行も足下から始まる」という中国の言葉の正しさを証明している。

今日の中日友好協力のあらゆる成果はいずれも両国人民のたゆみない努力のたまものにほかならない。「世々代々友好的につきあつていこう」という遠い目標を持ち、未来に目を向けて努力さえすれば、中日友好協力事業は必ずますます発展するであろう。

(『北京週報』等にもとづく)

單語

展望	名・他サ	①	展望	名・他サ	①
共同声明	名	⑤	共同声明	名	④
正常	名・形動	①	正常	名	①
宣言	名・他サ	③	宣言	名	①
すでに(既に)	副	①	すでに(既に)	副	①
実り	名	①	成熟	成績	*
条約	名	①	条约	名	*
基礎	名	② ①	基础	名	*
頻繁	名・形動	①	頻繁	名・形動	*
相互	名	①	互相	彼此	*
本誌	名	①	本刊	负责	*
部門	名	① ①	部门	负责	*

国交正常化(こうこうじょうじょうか)／名／①

特集(とくしふう)／名／①

協定(きょうてい)／名／①

調印(ちょういん)／名・自サ／①

第一步(だいいちば)／名／①

半官半民(はんかんはんみん)／名・他サ／①

総合(そうごう)／名・他サ／①

覚書(おぼえがき)／名／①

用水路(ようすいろ)／名／③

呼び水(よみず)／名／①

記念日(きねんび)／名／②

掘る(ほる)／他五／①

かみしめる(噛み締める)／他一／④①

咬住；细嚼；玩味

促使、促进

成果

促す(ほながす)／他五／③①

成 果(せいが)／名／①

邦交正常化(ほうこうじょうじょうか)／副／②

次々と(つぎつぎと)／副／②

段階(だんかい)／名／①

日増し(ひます)／に副／①③

設置(せつち)／名・他サ／①①

周知(しゅうち)／名・自サ／①

総じて(そうじて)／副／①①

労働力(ろうどうりょく)／名／③

乏しい(ぼくし)／形／③①

資金力(しんじんりょく)／名／②

管理(かんり)／名・他サ／①

特長(とくちょう)／名／①

希望(のぞま)／形／④①

世々代々(せせだいだい)／名／①十①

军国主义(ぐんこくしづぎ)／名／⑤

一个接一个

阶段

经济界

日益

设置；设立

众所周知

总的、一般说来

劳动力

缺乏、不足

资金能力

管理

特长

最理想的

军国主义

世世代代

侵略戦争／名／⑤

不幸／名・形动／②

銘記／名・他サ／①

恨み／名／③

子々孫々／名／①

喜ばしい／形／⑤

健全／形动／①

前向き／名・形动／①

双方／名／①

有利／形动／①

極めて／副／②

人の／形动／①

のぼる(上る)／自五／①

根を下ろす／組／

侵略战争

不幸

銘記、永远不忘

仇恨

子子孙孙

可喜的

民间人士

面向正面；向前看、积极地

健康、健全；坚实、稳固

健全／形动／①

双方／名／①

有利／形动／①

急増／名・自他サ／①

人の／形动／①

円借款／名／③

たける(長ける)／自一／②

英知／名／①

向上心／名／③

以降／名／①

製造業／名／③

曲折／名・自サ／①

證明／名・他サ／①

傷つく／自五／③

食い違う／自五／①④

排除／名・他サ／①

矛盾／名／①

日元借款

注入心血

睿智、才智

上进心

以后、自那以后

制造业

弯曲、曲折；(情况)错综复杂

证明

受伤；受到创伤、(名誉)受损

不一致、有分歧

障碍、妨碍

排除、消除

推进、推动

千里の行も足下から始まる（慣）千里之行始于足下

恩賜；結果

いずれも（組）①④

全都、不论哪个

目標（名）①

弛みない（形）④

不懈的

言葉と表現

一、…を基礎に（する）（本文）

共同声明と一九七八年の平和友好条約を基礎に、
両国間の頻繁な相互訪問によつて、…

表示「以…为根基」「以…为基础」。

- 本教材は日常生活で最も頻繁に使われる語彙、表現を基礎に作つたものだ。（本教材是以日常生活中使用最頻繁的词汇、表达为基础编写的。）
- 平等互恵などの五原則を基礎に、世界各国との友好関係を発展させる。（我们要以平等互利等五项原则为基础，发展同世界各国的友好关系。）
- この地域では、農業人口が人口全体の三分の二を占めているので、農業を基礎に、経済を発展させなければならない。（在这个地区，农业人口占总人口的三分之二，所以必须要以农业为基础发展经济。）

二、词语「向ける」(本文)

未来に目を向けて努力すれば、両国関係の前途はいよいよ明るく広いものになるであろう。

「向ける」表示「朝：方向」时，除了和「目」组成常用词组外，还有「顔を向ける、足を向ける、背中を向ける、心を向ける」等。作为转义，「向ける」还能表示派遣、拨用等意思。

- そとから村田さんの話し声がしてきたので、みんなドアのほうに目を向けた。（外面传来了村田的说话声，于是大家的眼睛都朝门口望去。）
- あの子はもうすこし心を勉強に向けるといいね。（那孩子把心思再多放点儿在学习上就好了。）
- 収入の二割を貯金に向けようと思つたが、でも無理のようだ。（原想把收入的百分之二十存起来，不过，看样子做不到。）

三、…を…と考える（会話）

私もこれをいい機会と考えますから、いろいろお話ししたいと思います。

表示「把：看做…」。

- 私はずっとかれのことをいい友達と考えていたが、私にこんなことをするとは思いもよらなかつたのだ。（我一直把他看做好朋友。可是没想到他会对我做出这种事来。）

- あなたは自分のことをなんと考へてゐるのですか。こんな偉そうな口調で言つて。（你把自己看做什么了！用这么傲慢的口吻说话。）
- これを自分への試練と考えてゐる。（我把这看做是对自己的考验。）

四、副词「おのずと」（会話）

水が流れてくれる、おのずと用水路も開かれる。

副词「おのずと」也可以讲「おのずから」，表示某状态的发生不是因为本人的意愿或外部的原因，而是自然而然形成的。用「おのずと」的句子，句末大多会用「わかる、できる、知れる、できてくる、解決する、決まっている」等结句。

- 競争の世界に身を置くと、おのずと競争心がわいてくる。（一旦置身于竞争的世界，自然会产生竞争意识。）
- 実社会に出れば、おのずと人は成長するものだ。（到了现实社会上人自然就会成长。）
- 努力すれば道はおのずから開けてくると思う。（只要努力道路自然会向你敞开。）

五、総じて言えば（会話）

中国は総じて言えば資源も労働力も豊かです。

表示 一般來說、概括地说。

- 総じて言えばあなたのいまの能力では、とてもかれらに及ばないよ。（总的说，以你现在的能
力是比不上他们的。）
- 総じて言えば、中国はまだ貧しいものですから、各国の援助を望んでいます。（概括地说，中
国还很穷，期望各国的援助。）
- 総じて言えば、女人人はよく泣くものだ。（一般来说，女人爱哭。）

六、…が望ましい（会話）

これはアジアの安全と世界の平和のためにも望ましいことです。

- 「…が望ましい」是「…であつてほしい」「…てほしい」的比較柔和的说法。
- 適当な運動を毎日続けることが望ましい。（希望能坚持每天适量的运动。）
- 包装はゼロ、容器は再使用できるものが望ましい。（希望是零包装。容器呢，希望是可以再利
用的。）
- 両国関係を健全に前向きに発展させることが望ましい。（希望两国的关系向健康积极的方向发展。）
- 今週土曜日のクラブ活動は全員参加が望ましい。（希望大家都参加本周的俱乐部活动。）

七、词语「払う」（応用文）

友好協力関係を発展させるのに大きな努力を払い、…

「払う」可表示各种含义。

(1) 表示拂去、掸去、除去等。

- 蟻がうるさく飛んでいて追い払つてもすぐやつてくる。(苍蝇令人讨厌地飞着，赶走之后马上又飞了回来。)
- 私は体についた雪をポンポンと手で払つて部屋に入った。(我用手嘭嘭地掸去身上的雪，走进了屋子。)

(2) 表示付钱。

今日の食事代はぼくが払うよ。(今天的饭钱由我来付。)

- 今月の家賃はまだ払つていね。(这个月的房租还没付呢!)

(3) 表示将自己的注意力、精力等放在某一方面。

- 深圳を開発させるために、われわれはどんなに大きな努力を払つたか、みなさんはまだ覚えているでしょ。(大家一定还记得，为了开发深圳我们曾作出了多大的努力!)
- 注意を払つて道を渡つてください。(过马路时要小心。)

八、词语「前向き」(应用文)

それによつて両国関係を健全に前向きに発展させてきた。

(1) 表示面向前方。

- 洋子、横のほうを向かないで、前向きに座わりなさい。(洋子，不要看旁边，面向前面坐好。)

● 前向きに置いてください。（请面朝前放。）

(2)

表示丢弃陈旧的习惯，采取积极的、进步的、朝前的姿态。

- 前向きの姿勢で両国間の問題を処理する。（用向前看的姿态来处理两国间的问题。）
- われわれは目先のことばかりに目を向けてはいけない。前向きに問題を見、処理しなければならない。（我们的目光不能只停留在眼前，要用积极的、向前的态度来看待、处理问题。）

九、词语「根をおろす」（応用文）

中日友好はすでに両国人民の心にしつかりと根をおろしている。

「根をおろす」表示扎根。

- 何百年もの間に形成されたこの習慣はすでに人々の心に深く根をおろしているので、そう簡単に取り除かれるものじやない。（几百年中形成的这种习惯已在人们心中扎下了根，所以不是那么简单地可以除去的。）
- 長く農村に根をおろして、農民の生活を経験したからこそ、こんなすばらしい、農村の生活を描いた作品が書けたわけだ。（正因为他长期扎根于农村，体验过农民的生活，所以才能写出如此优秀的描写农村生活的作品。）
- われわれの手によつてうつくしい、豊かな国を建設しようといふ呼びかけはすでに私たちの胸に根をおろしている。（用我们的双手建设一个美丽、富饶的国家这一号召在我们心里已经扎根。）

十、「にほかならない」(応用文)

たゆみない努力のたまものにほかならない。

「：にほかならない」接在体言或相当于体言性质的词语后面，用于断定事物只能是「にほかならない」前面部分所表示的内容，不可能是其他。

- 若い人が外来語を好むのは、それなりの理由があるからにほかならないのである。（年轻人喜欢用外来语无非是因为有他自己的理由。）
- わたしが「氣功」をやっているのは、健康を増進するためにはかならない。（我练习气功无非是为了增进健康。）
- 実力テストでこのようないい成績が取れたのもたゆまぬ努力の結果にほかならない。（在能力考试中取得这么好的成绩，不外乎是坚持努力的结果。）

十一、「おし」构成的复合动词(応用文)

友好協力事業を推し進めることができる。

「おし」写成「押し」「推し」，可以和很多动词构成复合动词。由「おし」构成的复合动词主要表示强行、硬来，或起加强语气的作用。例如：「おし潰す、おし迫る、おし広める、おし流す、おし通す、おし黙る、おし殺す、おし付ける、おし切る」等。

● 政府は福祉に重点をおいて政策をおし進めようとしている。（政府打算把政策的重点放在社会福利方面。）

● 戰争が少年の夢をおし潰しました。（战争打碎了少年的梦想。）

● 怒つて出て行こうとするのをおし止めました。（他生气地要离开，我拦住了他。）

ファンクション用語

形

店員

いらつしやいませ。

客

花瓶を見せてください。

店員

これはいかがですか。

客

丸いのより、少し細長いのがほしいのですが。

店員

では、これはいかがでしようか。

客

いい形ですね。じや、これにしましよう。

参考：

球形

方形

円形

立方体

長方形

橢円形

四角

練習

一、次の漢字にふりがなをつけなさい。

頻繁 協定 覚書き 促す 設置 乏しい 健全 極めて 曲折 排除 弛み 矛盾 段階 実り
宣言 相互 前途 展望 特集 調印 用水路 井戸 侵略 銘記 原則 円借款 保護 心血
向上 吸收 金融

二、○に仮名を入れなさい。

- (1) 一九七二年九月二十一日、中日両国関係の歴史○新たな一ページ○始まつた。
- (2) それ以来、両国の友好協力関係はすでに各方面○豊かな実り○もたらしている。
- (3) 友好条約○基礎○、両国の大いな相互訪問○○○○、両国関係の順調な発展○保証されるようになつた。
- (4) 一衣帶水の隣国○○○、中日両国はたがいに協力して、未来○目○向けて努力すれば、両国関係の前途は明るく広い○○になるでしょう。
- (5) 私もこれ○いい機会○考えます。
- (6) 経済貿易の発展がその中で大きな役割を果たしてきた○○○思うのです。
- (7) 一九六二年に、半官半民方式○○○「中日総合貿易○○○○○覚書」が調印された。
- (8) 国交正常化の記念日を迎える○○○○、中日友好に貢献した人々が思い出された。

一九七二年には十億ドルに〇〇〇〇〇〇貿易額が現在では二百倍〇〇成長した。

日本は資源〇乏しいが、技術、そしてレベルの高い管理能力を持つている。

われわれは歴史を銘記することを強調しているが恨みを抱き続けるための○○ではない。それによつて両国関係を健全に前向き○○発展させてきた。

友好関係を結んだ都市も百以上○のぼつた。中日友好はすでに両国人民の心○根○おろして
いる。

日本の国民は創造力のたけている。

仲よくすれば、両方に利益があり、仲が悪くなれば両方○○傷つく。

中日共同声明と友好条約の原則を守り○○○○○、友好協力事業はさらに発展する○○である。

三、次の語群から最も適切なことばを選んで
一に入れなさい。

①

田増しに
たえず
極めて
たゆみない
自ずと
健全に
望ましい
心血を注ぐ

事情は（）曲折しているから、慎重に処理したほうがいいと思う。

悪いことをすると、（）知れるものだ。

農業が（）現代化されるにつれて、農村と都会との差が次第に縮められて、最後に

なくなるはずだ。

④一人の力ではどうしても無理なときもあるので、みんなが協力することが

⑤ 両国政府の努力によつて両国間の交流が()行なわれてきた。

長い間のつきあいによつて、理解と友情は()深まつた。

()努力を払つたので、こんなすばらしい成果をあげたわけだ。

⑧ 新製品の開発に誰よりも()だけに、成功的喜びも大きかつた。

(2) しかないには違ひないにすぎないに決まつてゐるにはかならない

無理なダイエットをするより、健康的に食べて、よく運動するのがいい()

この質問の意味が理解できる人は、百人中十人()

この病気を治すためには、入院して手術を受ける()

両親のきびしい態度は、愛情の表れ()

⑤ 彼は日本人()が、ずっと中国にいたから中国語しか話せない。

四、各項に挙げたことばを使つて次の文を完成しなさい。

(1) おのずと

隠しても、()。

座席は特に指定されているわけではないが、みんなの座る場は()

悩みの原因を追及すれば、()

才能がある人は()ものだ。

()。

⑤ 好きなことなら()。

(2) おし…

① 台風はその影響範囲をさらに()です。

納期が()

いやな仕事を()

津波はほんとに恐ろしいものだ。家なんかはあつと()いう間に波に()

何を聞いても、彼は()

(3) :にほかならない

彼女の成功は、()。

フロンガスがこれほど問題にされるのは、()。

親が子供をしかるのは、()。

二人の喧嘩の原因是、()。

彼の病気の原因是()。

五、次の質問に答えなさい。

- (1) なぜ民間貿易を中日関係の呼び水と言うのですか。
(2) 中日両国が友好的に付き合うことはどんな意味を持つていますか。

()、今夜には九州南端に接近する模様
いるので、今日は残業してもらわなければならない。

()られましたが、断りました。

()までした。

()。

(3)

中日関係にはいろいろな曲折もあつたと応用文は言っています。それについて、話してみてください。

(4)

日本語を勉強しているあなたは中日両国関係の将来をどのように展望していますか。

(5)

どうして歴史を銘記しなければならないのですか。

六、括弧内のことばを使って次の中国語を日本語に訳しなさい。

(1)

回顾建国六十多年来的历史，展望未来，我们感慨万分。只要我们努力，前途一定是光明的，前景是宽广的。（：にあたつて）

(2)

一般认为，如果孩子小时候心理的成长和发育不很健康的话，那么孩子的人格形成就容易产生乖僻，对于社会的适应能力就会变得差。因此，使孩子具有健康的身心比什么都重要。我们希望大家都无微不至地关心孩子们的成长。（歪みが生じる／健全／：が望ましい）

(3)

我想时间自然会解决问题的。她的这份悲伤会随着时间的过去慢慢变淡的。（おのずと）

(4)

我们最希望的是所有材料一起交。如果来不及的话，先交报名表也行。（望ましい／そろえる）

(5)

正如俗话说的「水到渠成」。任何事情只能听其自然，不能强求啊。（おのずと／よりほかない）

(6)

以这为基础，稍作修改怎么样？（：を基礎に）

(7)

总的来说企业是在健康地向前发展。企业取得这么大的发展无非是大家努力的结果。但是，我们不能满足于这些，要有更远大的目标，必须要放眼世界。（総じて言えば／：にはかならない／目を向ける）

(8) 这孩子很机灵。如果能把机灵劲儿用在学习上就好了。(向ける)

(9) 他好像对中日关系很感兴趣，说要报考这方面的研究生。(払う)

七、辞書を調べながら次の日本語を中国語に訳しなさい。

多くの日本の友人は、中国政府の指導者の談話の一
段をよく思い出している。

「甲午(日清)戦争以来、日本軍国主義は中国を侵略し、ことに「九・一八事変」以後は長期にわたって
中国の広い面積を占領して、中国人民の生命財産に重大な損失を与え、日本人民もまた深くその害を
受けた。しかし、両国人民の二千年の友好の歴史と比べればこれは短い一瞬にすぎない。わたしたち
はこのような不幸な歴史がもたらした過去を、過去のものにするために努力をしているところだ。今
後、中日友好を強め、アジアの経済と文化を繁栄させ、アジアと世界の平和を守るために共に努力し
なければならない。」

この談話に深く感動された日本の多くの友人は、「過去の積怨を忘れるために努力している中国に対
し、日本は、歴史の教訓を忘ることのないよう努力することによって報いなければならない。そうし
てこの二つの種類の努力を結合させ、花を咲かせ、実を結ばせてこそ、はじめて日本と中国、ひいて
はアジアの新時代が開かれる」と言っている。

第十八課 徐福渡海のナゾ

本文

徐福の人と業績については二千年以上も前に書かれた『史記』に記録されている。『史記』の後からも伝えられてきた伝説は少なくない。

秦の始皇帝が琅玡山に登ったとき、夢にまで見た「長寿の仙薬」が東海の中にある神山に行けば手に入ると聞かされ、そこで、徐福に渡海を命じた。徐福は博学多才の人で、航海、医薬まで学識の及ばぬところはなかつた。

徐福の一行は海を漂流したすえ、ある島に上陸した。一行はそこを開拓し、連れてきた少年少女を育てた。そして、先住民族に農耕技術や医薬の知識を教えて尊敬され、ついにそこにとどまり、帰国することはなかつた。

この話は中国でも日本でも長く伝えられてきた。しかし、徐福とはいつたいどこの人なのかについてはずつとナゾとされてきた。ところが、前世紀の八〇年代初め、中国で全国的な地名調査が行われた時、江蘇省の徐阜村は昔徐福村だったということが確認されたそうである。これがきっかけとなつて、専門家が徐福村周辺の調査を進めた結果、徐福の旧居や当時の造船場など多くの遺跡が見つかり、一

九八五年に徐福村という名前が正式に復活したのだった。このことが中国と日本で大きな反響を呼び、徐福の研究がブームとなつたのである。

会話

(座談会。出席者は中日の徐福研究者。)

司会

大分春めいて、だんだん暖かくなつてきましたが、このたび、徐福会訪中団のみなさんは山東から江蘇へと徐福の遺跡をたずねられましたね。印象に残るところも多かつたと思いますが……。

久武

私は久武と申します。じつは徐福の五十二代目の孫なんです。先祖の姓は徐となつておりました。それがなぜ久武になつたかというと、ご存じのように、日本にも戦国時代があつたんですが、その時に先祖が戦いに敗けまして、世を忍ぶために、三十六代目の孫が久武を名乗りました。ですから、私はれつきとした中国人です(笑い)。このたび、ほんとうに親子が会うような気持ちで中国にきました。

佐藤

久武さんが私たちの気持ちを言つてくれました。徐福は偉大な人ですね。二千年以上も前に農耕や紡績の技術を持ってきてくれたんですから。そのご恩をいつまでも忘れず、日本と中国の友好を末長くづけたいと思います。

鈴木

徐福の古里でみなさんの熱烈な歓迎をうけて、日中両国人民の親近感を改めて体験しましたね。嫁に行つた娘が実家に帰つてきたような気持ちですね。

司会

秦の始皇帝の時に、徐福は少年少女三千人と多くの技術者をつれて、神山と仙薬を搜しに海に

張　　出て最後に日本に着いたそうですが、これが事実だったとすれば、偉大な壮挙だったことは疑いありません。でも、徐福はどうして東の日本へ向かつたのでしようね。

研究者の間には、二説あります。一つは避難説。つまり、いつまでたつても成果があがらないの

で、徐福は始皇帝の懲罰をおそれて逃げてしまつた。もう一つは探険説。山東のあたりでは、始

皇帝の以前から海の探険が行われていましたね。ですから、徐福のことを「中国のコロンブス」と呼ぶ人もいますよ。

司会　　では、日本に行ってからの徐福についてお話しください。

安部　　日本には、徐福の上陸地の記念碑とか、お墓とか、徐福宮とか、その遺跡や伝説がたくさんあります。

高橋　　私は富士山の近くにおりますが、ここでは、徐福は富士登山中になくなつたといわれているんで

す。神社では徐福を「医薬の神」として祭っています。

吉田　　私は東京都の八丈島におりますが、島の人はみんな徐福の子孫だといわれていますよ。徐福は八十五隻の船を率いていたんだが、暴風雨にあつたので、散り散りになつてね、少女たちの船は八丈島に、少年たちの船は青ヶ島に流れ着いた。

司会　　それじゃ、たなばた様じやありませんか。

吉田　　そうなんですよ。神様のお申しつけで、青ヶ島の青年と八丈島の娘は毎年の春に一度だけ会え

る。その時に、娘たちは赤い花をつけたわらじを編むんです。それを海岸に置いてからかくれ

る。だれが自分の編んだわらじをはくか、はいた男が意中の人で、結ばれるんです。春が過ぎ

ると、男と女は別れなければなりません。

山田

徐福は秦の進んだ技術を日本に持ってきてくれましたね。これが日本社会の生活向上と文明開化にどれだけ役に立つたかわかりませんよ。ですから、徐福は日本で「農耕の神」、「医薬の神」、「紡績の神」として祭られているんです。

西村

こんど来てみて分かったことですが、中国で徐福の出身地争いがありますね。これは日本で徐福の上陸地争いがあるのと同じですね。でも、それはたいした問題じゃないと思います。大切なのは徐福が日中文化交流に果たした役割と日中両国の深い関係を探ることでしょう。

谷口

西村さんの言う通りですね。私たちは徐福の研究を通して、日本の国民に、二千二百年も前に日中両国に親戚関係があつたことを知らせ、日中友好を末長くつづけたいと思っています。

司会

本日はおかげさまで、実りのある座談会になりました。どうもありがとうございました。

(『人民中国』にもとづく)

応用文

天平の甍——シナリオ

ナレーション

「今から千二百年前の天平年間、唐から高僧を日本へ招くという任務を与えられた留学僧一行は、半年かかるて、やつと揚州に着いた。」

地図

雲岡から揚州に至るまでの道を、白い線で示す。

揚州・川の橋

普照たち、船から岸へ上がると、この国の商人や外国人の群れの中を通り、橋へ上がって行く。
(音楽、終わる)

ナレーション

「揚州は当時、海外貿易に栄える国際都市であった。」

道抗、立ち止まって指す。

道抗 「寺は、あの丘の上です。」

大明寺の丘

道抗と普照たちが上がつて来る。門の中へ入る。

鑑真の居間

渾天儀など珍しい物に鑑真の博学ぶりがうかがわれる。香炉からゆるやかに煙がただよつていて、道抗のうしろに並んで座っている普照たち。

鑑真は今まで経典をひもといっていたらしく、ひろげられた一巻を静かにまきもどしていく。

道抗 「こちらが先程お耳に入れました、日本の僧たちでございます。」

榮叡 「奈良、興福寺の僧、榮叡と申します。」

普照 「同じく大安寺の僧、普照でございます。」

玄朗 「私も大安寺でしばらく修業しておりました、玄朗と申します。」

普照 「お弟子たちのうちより、ご推薦をよろしく……」

と鑑真を見つめて言う。静かにうなづく鑑真。

講堂

集まっている弟子たち、三十数名。

長老の座に座っている鑑真。

普照、栄叡、玄朗、道抗たち、その傍に座つて控えている。

ナレーション

主だった鑑真の弟子たちが、各地の寺からあつめられた。

広く、ほの暗い講堂を、重苦しい沈黙が支配している。鑑真是、一同に静かな目を向けていたが、
鑑真 「……祥彦はどうだ。」

祥彦と呼ばれた僧は、顔をあげ、

祥彦 「日本へ行くには、広い海を渡らねばならず、百人のうち一人も辿り着かぬと聞いております。」

鑑真 「その海を、この人たちは渡つて来ているではないか。」

徳清が鑑真に向い、

徳清 「しかし、大勢のものが日本へ渡るとなれば、国は許しますまい。」

普照たち、緊張している。

鑑真是しばらく口をつぐんでいたが、やがて、自分にも語りかけるように、

鑑真 「お前たちも知っている通り、百十余年前、求法の熱に燃える若い玄奘三蔵は、国の許しを得ぬまま、西のインドをめざして、長安を旅立った。」

聞いている栄叡たち。

鑑真 「ここにいる日本留学僧たちは、わが国の求法僧たちがインドへ向ったと同じように、仏典と授戒師を求めて、わが国へ来られたのだ。この求めに応えて、誰か日本へ渡り、戒律の法を伝えるものはないか。」

鑑真是左右の弟子たちをかえりみる。

弟子たちは黙つて答えない。

普照、栄叡たちは、息を呑んで弟子たちに目をそそぐ。

道抗 「どうか、私と一緒に日本へ渡つてほしいのだ。」

普照 「どなたか、お願ひします。」

栄叡 「（頭をさげ）この通りです。どうか日本へ、私どもと一緒に、どうか。」

弟子たちはやはり口をひらかない。

鑑真 「（しづかに）法のためである。どんな困難があろうと、恐れてはならない。……お前たちが行か

ないなら、私が行くことにしよう。」

鑑真的いがけない言葉に、弟子たちは驚きのため、おそれたように、顔をあげ、やがて、うたれたように、首を垂れる。

（シナリオ『天平の甍』による）

单語

徐福	渡海	史記	伝説	(人名)
（名）①	（名・自サ）①	（专）①	（名）①	（名）①
（名）①	（名・自サ）①	（名）①	（名）①	（名）①
（名）①	（名・自サ）①	（名）①	（名）①	（名）①
（名）①	（名・自サ）①	（名）①	（名）①	（名）①

渡海、航海	上陸	先住	一行	（人名）
（名）①	（名・自サ）①	（名）①	（名）①	（名）①
（名）①	（名・自サ）①	（名）①	（名）①	（名）①
（名）①	（名・自サ）①	（名）①	（名）①	（名）①
（名）①	（名・自サ）①	（名）①	（名）①	（名）①

漂流	農耕	原住、土著	停止；停留	（人名）
（名）①	（名）①	（名）①	（名）①	（名）①
（名）①	（名）①	（名）①	（名）①	（名）①
（名）①	（名）①	（名）①	（名）①	（名）①
（名）①	（名）①	（名）①	（名）①	（名）①

登陆	江蘇省（省名）	停止；停留	（人名）
（名）①	（名）④	（名）③	（名）①
（名）①	（名）④	（名）③	（名）①
（名）①	（名）④	（名）③	（名）①
（名）①	（名）④	（名）③	（名）①

学識	（村名）	停止；停留	（人名）
（名）①	（名）①	（名）③	（名）①
（名）①	（名）①	（名）③	（名）①
（名）①	（名）①	（名）③	（名）①
（名）①	（名）①	（名）③	（名）①

子孙 <small>(名)①</small>	率 <small>(ひき)</small> いる(他一)③	暴風雨 <small>(名)③</small>	散り散り <small>(形动)①</small>	青ヶ島 <small>(专)③</small>	たなばた <small>(七夕) (名)①</small>	神様 <small>(名)①</small>	申し付け <small>(名)①</small>	わらじ <small>(草鞋) (名)①</small>	海岸 <small>(名)①</small>	意中 <small>(名)①①</small>	文明開化 <small>(名)⑤</small>	出身地 <small>(名)③</small>	探る(他五)①
子孙 <small>(姓氏)</small>	谷口 <small>(专)②</small>	暴風雨	四散、离散	(岛名)	七夕	神；上帝	命令、吩咐	草鞋	海岸、海滨	意中	文明开化	出身地	探、摸；探听；探索
带领、率领	*	*	*	甍 <small>(名)①</small>	シナリオ <small>(scenario) (名)①</small>	ナレーション <small>(narration) (名)②</small>	高僧 <small>(名)①</small>	留学僧 <small>(名)④</small>	揚州 <small>(专)①</small>	高僧	留学僧	上かる(自五)①	(从低处往高处)上
带领、率领	*	*	*	屋頂瓦	电影剧本	(影视)解说词	中国唐代	(地名)	雲岡 <small>(专)①</small>	高僧	(和尚名)	群れ <small>(名)②</small>	群、伙
带領、率領	*	*	*	天平 <small>(专)①</small>	ナレーション	ナレーション	高僧	留学僧	高僧	高僧	高僧	上かる(自五)①	(日本圣武天皇时代的年号、七二九(七四九)

言葉と表現

一、接尾词「めく」(会話)

大分春めいて、だんだん暖かくなつてきましたが、…
「めく」接在某些名词后面，构成五段动词，表示「…らしく見える」，类似汉语的「像…样子」「有…气息」「带…味道」等。

- 天気が春めいてきた。(天气已经带有春天的气息了。)
- 彼の話は少し皮肉めいた所がある。(他的话里有点讽刺的味道。)

長安 <small>(ちさうあん)</small>	（地名）	顧 <small>(かえり)</small>	みる <small>(他一)</small> ④	回头看；回顧
旅立 <small>(たびだつ)</small>	（自五）③	息 <small>(いき)</small>	を呑む <small>(慣)</small>	倒吸一口气
仏典 <small>(ぶつてん)</small>	（名）①	目 <small>(め)</small>	を注ぐ <small>(組)</small>	凝视
授戒師 <small>(じゅかいし)</small>	（名）②	口 <small>(くち)</small>	を開く <small>(組)</small>	开口
戒律 <small>(かいりつ)</small>	（名）①	恐 <small>(おそ)</small>	れる <small>(自一)</small> ③	害怕、恐惧
法 <small>(ほう)</small>	（名）①	思 <small>(おも)</small>	いがけない <small>(組)</small> ⑤⑥	意想不到
左右 <small>(さゆう)</small>	（名・他サ）①	垂 <small>(た)</small>	れる <small>(自他一)</small> ②	下垂；垂下

● はじめて聞きましたが、謎めいた話ですね。（第一次听说，这件事真像是个谜啊。）

二、：は疑い（は／も）ない（会話）

これが事実だつたとすれば、偉大な壮挙だつたことは疑いありません。

表示「毫无疑问」「确实」。

- かれが言つたのが事実だとすれば、あなたがうそを言つていることは疑いない。（如果他说的是事实的话，那么毫无疑问你是在说谎。）
- どこへ行つても人気があるところを見ると、かれがりつぱな人だということは疑いない。（从他无论去哪儿都很受欢迎这一点来看，毫无疑问他是个很不错的人。）
- レントゲンの検査による判断ですが、あなたが肺病であることは疑い（は）ありません。（根据X光检查判断，你确实是患了肺病。）

三、どれだけ：かわからない（会話）

これが日本社会の生活向上と文明開化にどれだけ役に立つたかわからまぜんよ。

这个句型与我们以前学过的「どんなに／どれほど：かわからない」（参考第三册第八课）相同，表示「真不知多么（如何）：」。「わからない」也可以用「知れない」替换，意思不变。

● いまのわたしたちの幸福のためにどれだけの人が犠牲になつたかわからない。（不知有多少人为
了我们今天的幸福生活而牺牲了。）

● 両手を無くされた春子さんは正常な社会生活が出来るまでにどれだけ苦労したか知れない。
（失去双手的春子为了能过正常的社会生活不知付出了多少心血！）

● 九死に一生を得た兄はどれだけ喜んだかわからないね。（死里逃生的哥哥真不知有多高兴啊。）

四、格助词「より」表示起点或来由（応用文）

「お弟子たちのうちより、ご推薦をよろしく、…
と鑑真を見つめて言う。」

格助词「より」除了表示比较的对象外，还能接在体言后面表示起点或来由。与「から」相同。

- 遠くの方より昔の友人がやつて來た。（老朋友自远方来。）
- ここより先には何もありませんよ。（这儿往前什么也没有。）
- 赤道より北を北半球という。（赤道以北叫北半球。）
- 失敗は不注意より生ずることが多い。（失败大多缘于疏忽。）

五、动词「控える」（応用文）

その傍に座つて控えている。

「控える」有自动词和他动词两种用法。自动词用于表示等候或侍立在一旁，也可以表示空间或时间迫在眉睫。

- 村の背後には山が控えています。（村子的背后紧靠着山。）
- 受験者は胸をどきどきさせながら隣室に控えています。（考生的心扑通扑通地跳着，在旁边的候考室等着。）

- 決戦の日が三日後に控えています。（决战的日子就在三天后。）

他动词的用法一般用于表示时间或空间上很近。表示时间关系的「：を控えて」也可以用「：を前に（して）」。例句三的「控える」表示记录下来。

- 娘の結婚式を三日後に控えてその準備に忙しい。（三天后就是女儿的婚礼，我忙着做准备。）
- 近くに有数の観光地を控えて発展した地方都市です。（这是个地方小城市，附近有个有名的旅游胜地，这儿是以此发展起来的。）
- 大事な電話番号を手帳に控える習慣になつてゐる。（我习惯把那些重要的电话号码记在电话本上。）

六、：に燃える（応用文）

百十余年前、求法の熱に燃える若い玄奘三藏は、国の許しを得ぬまま、：

「：に燃える」表示充满激情、热情洋溢。「に」前面一般用表示感情的词。例如：「使命感、意欲、

向学心、嫉妬、希望、理想等。

- わたし、希望に燃えて大学に進学したの。だって、大学生になるのはわたしがずっと憧れていた夢だったんだもん。（我满怀希望跨入大学的校门。因为成为大学生是我一直以来的梦想。）
- 彼は外国で習った知識を国に生かそうという爱国の情に燃えて日本から帰国しました。（他满怀爱国热情从日本回到了祖国，想把在国外学到的知识贡献给祖国。）
- 理想に燃えて辺鄙な田舎へやつてきた。医者がいないところだから、大学で習った知識がここで役に立つと思うととてもうれしい。（满怀理想来到了偏僻的农村。这里没有医生，一想到大学里学到的知识能够在这儿发挥作用，我真是太高兴了。）

七、惯用语「息を呑む」（応用文）

普照、栄叡たちは息を呑んで弟子たちに目をそそぐ。

慣用语「息を呑む」表示由于紧张、吃惊等喘不过气来。

- 思いがけないドラマの終わりに、私はあつと息を呑んだ。（电视剧意想不到的结局，使我深感吃惊。）
- みな息を呑んでサークัสの演技を見ている。（大家都屏住呼吸看着杂技团表演。）
- 自転車がトラックと衝突しそうになつたのを見て、みんな思わず息を呑んだ。（看到自行车差点和卡车相撞，大家都不由得倒吸了一口冷气。）

八、「う（よう）と」表示「不管：也」（応用文）

どんな困難があろうと、恐れてはならない。

接续助词「と」接在助动词「う」「よう」「まい」后面，和「ても」相同，表示逆态假定前提，相当于汉语的「不管：也」「即使：也」「无论：也」。

- だれに何と言われようとまわない。（不管别人说什么我都不在乎。）
- 学校は家からずいぶん離れている。それでも、雨が降ろうと、風が吹こうと、毎日学校へ行く。（学校离家很远。尽管如此，不管刮风还是下雨，我每天都去学校。）
- 行こうと行くまいとぼくの勝手だ。（去与不去是我的自由。）

九、词语「思いがけない」（応用文）

鑑真の思いがけない言葉に、弟子たちは驚きのため、おそれたように、：

「思いがけない」表示「考えていない」「思つてもいない」。在句中可以用「思いがけない」的形式后续名词或结句，也可以用「思いがけなく」的形式后续用言。

- 昨日、銀座で思いがけない人に会ったよ。誰だと思う？（昨天，我在银座碰到了意想不到的人，你猜是谁？）
- 友だちの紹介で、高級マンションが思いがけなく安く手に入つた。（通过朋友的介绍，没想到我弄到了一套高级公寓，而且价格很便宜。）

● その調査の結果、思いがけない事実が明らかになった。（調査結果、弄清了一个意想不到的
事実。）

ファンクション用語

材料・原料

店員 いらっしゃいませ。

客 セーターをちょっと見せてください。

店員 はい。これはいかがですか。

客 原料は何ですか。

店員 アクリルです。軽くてやわらかい肌ざわりですよ。

客 でも、吸水性は羊毛に及ばないでしょ。羊毛のがほしいんですけど、ありませんか。

店員 はい、あります。どうぞ、お選びください。

参考： 綿 ナイロン プラスチック ビニール ゴム 木 鉄 銅

銀 金 セメント れんが

練習

一、漢字にふりがなをつけなさい。

学識 漂流 開拓 先住民族 旧居 復活 先祖 世を忍ぶ 名乗る 徵罰 率いる 探る 渡海
業績 始皇帝 遺跡 造船 避難 探險 蓼 天平 経典 先程 戒律 仏典

二、○に仮名を入れなさい。

- (1) 秦の始皇帝が夢○○○見た「長寿の仙薬」○海の神山に行けば手に入ると聞かされた。
- (2) 徐福は航海、医薬まで学識の○○○○○ところはなかつた。
- (3) 徐福の一^ハ行は海○漂流した○○、ある島○上陸した。ついにそこ○とどまり、帰国する○○はなかつた。
- (4) このたび徐福の遺跡をたずねられ、印象○残るところも多かつたことと思ひます。
- (5) 二十六代目の孫が久武○名乗りました。
- (6) 徐福は二千年以上○前に農耕の技術を持つてきてくれた。
- (7) これが事実だった○○○○、偉大な壮挙だったことは○○○○○ありません。
- (8) 日本へ行つて○○○徐福についてお話しください。
- (9) 徐福が持つてきてくれた秦の進んだ技術は日本社会の生活向上と文明開化に○○○○役に立つ

た○わかりません。

揚州は当時、海外貿易○栄える国際都市であった。

渾天儀など珍しい物○鑑真の博学ぶり○うかがわれる。

お弟子たちのうち○○、ご推薦をよろしく……。

百十余年前、求法の熱○燃える若い玄奘三蔵はインド○めざして長安○旅立つた。この求め○応えて、誰か日本へわたるものはないか。

鑑真は左右の弟子たち○かえりみる。

鑑真の思いがけない言葉○弟子たちは驚きのため、おそれたように顔をあげた。

三、次の語群から最も適切なことばを選び、一　　)に入れなさい。必要な場合は適当な活用形にして入れなさい。

(1) ゆるやかに 重苦しい 思いがけない ほの暗い 探る
れつきとした 散り散り 隠れる 世を忍ぶ どれだけ

① 日が出たかと思うと、また雲の中に()てしました。

② あの人は()部屋の窓際に立つて夜の景色を眺めるのが好きです。

③ 行きは一緒でしたが、帰りは()になってしまいました。

④ さつき口喧嘩でもしたかのように、()沈黙が部屋を支配しています。

(5)

(6)

(7)

(8)

(9)

(10)

(11)

(12)

(13)

(14)

(15)

(16)

(17)

(18)

(19)

(20)

(21)

(22)

(23)

(24)

(25)

(26)

(27)

(28)

(29)

(30)

(31)

(32)

(33)

(34)

(35)

(36)

(37)

(38)

(39)

(40)

(41)

(42)

(43)

(44)

(45)

(46)

(47)

(48)

(49)

(50)

(51)

(52)

(53)

(54)

(55)

(56)

(57)

(58)

(59)

(60)

(61)

(62)

(63)

(64)

(65)

(66)

(67)

(68)

(69)

(70)

(71)

(72)

(73)

(74)

(75)

(76)

(77)

(78)

(79)

(80)

(81)

(82)

(83)

(84)

(85)

(86)

(87)

(88)

(89)

(90)

(91)

(92)

(93)

(94)

(95)

(96)

(97)

(98)

(99)

(100)

(101)

(102)

(103)

(104)

(105)

(106)

(107)

(108)

(109)

(110)

(111)

(112)

(113)

(114)

(115)

(116)

(117)

(118)

(119)

(120)

(121)

(122)

(123)

(124)

(125)

(126)

(127)

(128)

(129)

(130)

(131)

(132)

(133)

(134)

(135)

(136)

(137)

(138)

(139)

(140)

(141)

(142)

(143)

(144)

(145)

(146)

(147)

(148)

(149)

(150)

(151)

(152)

(153)

(154)

(155)

(156)

(157)

(158)

(159)

(160)

(161)

(162)

(163)

(164)

(165)

(166)

(167)

(168)

(169)

(170)

(171)

(172)

(173)

(174)

(175)

(176)

(177)

(178)

(179)

(180)

(181)

(182)

(183)

(184)

(185)

(186)

(187)

(188)

(189)

(190)

(191)

(192)

(193)

(194)

(195)

(196)

(197)

(198)

(199)

(200)

(201)

(202)

(203)

(204)

(205)

(206)

(207)

(208)

(209)

(210)

(211)

(212)

(213)

(214)

(215)

(216)

(217)

(218)

(219)

(220)

(221)

(222)

(223)

(224)

(225)

(226)

(227)

(228)

(229)

(230)

(231)

(232)

(233)

(234)

(235)

(236)

(237)

(238)

(239)

(240)

(241)

(242)

(243)

(244)

(245)

(246)

(247)

(248)

(249)

(250)

(251)

(252)

(253)

(254)

(255)

(256)

(257)

(258)

(259)

(260)

(261)

(262)

(263)

(264)

(265)

(266)

(267)

(268)

(269)

(270)

(271)

(272)

(273)

(274)

(275)

(276)

(277)

(278)

(279)

(280)

(281)

(282)

(283)

(284)

(285)

(286)

(287)

(288)

(289)

(290)

(291)

(292)

(293)

(294)

(295)

(296)

(297)

(298)

(299)

(300)

(301)

(302)

(303)

(304)

(305)

(306)

(307)

(308)

(309)

(310)

(311)

(312)

(313)

(314)

(315)

(316)

(317)

(318)

(319)

(320)

(321)

(322)

(323)

(324)

(325)

(326)

(327)

(328)

(329)

(330)

(331)

(332)

(333)

(334)

(335)

(336)

四、各項に上げたことばを使って次の文を完成しなさい。

(1) …めく

① 彼の話は()聞こえましたが、目は真剣でした。

② ()口調で話しかけてきた男が、実は詐欺師でした。

③ モナリザは()微笑みを浮かべています。

④ ()ことは全然しなかつたのに、大勢の人が買いに來た。

⑤ 日一日と、()まいりました。その後、お元気でいらっしゃいますか。

(2) となれば

① 自分でやるとなれば()。

② 彼は仕事となれば()。

③ 黄先生の弟子となれば()。

④ パソコンを操作するのはそれほど難しくないが、プログラミングとなれば()。

⑤ この地方は秋ともなれば、()。

(3) う(よう)と

① どんなに()。

② あしたの日帰り旅行は()。

③ いつ試験を()。

④ どんなにつらいことが()。

、普段から勉強していれば困ることはない。

、最後までやりぬかなければならぬ。

⑤ どんなに

（）、これだけは許すわけにはいかない。

五、次の質問に答えなさい。

- (1) 徐福はどんな人ですか。
- (2) 徐福はどうして日本へ向かったのですか。
- (3) 久武さんは徐福村に来てどういう気持ちがしましたか。
- (4) 鑑真はなぜ日本へ行くことにしたのですか。
- (5) 「お前たちが行かないなら、私が行く」という鑑真のことばに、弟子たちはどうして打たれたようになに首を垂れたのですか。
- (6) あなたの知っている鑑真のことを日本語で話してみてください。

六、括弧内のことばを使って次の中国語を日本語に訳しなさい。

- (1) 连年の战争，田地荒芜了，一家妻离子散。人们从心底里希望战争早一点结束。（すえ／散り散りになる）
- (2) 我们乘坐的船途中遇到了风暴。经过数日的海上漂泊，终于登上了个不知名的小岛。出海前准备的食粮都吃光了，我们只能摘些野果子吃。（：（た）未／：尽くす）
- (3) 哥伦布发现新大陆在当时真不知引起了多大的反响。（どれだけ：か）

(4) 房间里好像正在进行什么仪式。(：めく)

(5) 到了阴历十二月，原本匆忙的气氛会变得更厉害。(：ともなれば／拍車がかかる)

(6) 蔚蓝的湖和湖背后被积雪覆盖着的阿尔卑斯山浑然一体，构成了一幅美丽的景致。(控える)

(7) 五年前，我满怀希望告别亲人来到了上海。时间过得好快，一晃马上就五年了。(：に燃えて)

(8) 考试临近，学生也失去了平时的悠闲，开始紧张起来。(：を控えて)

七、辞書を調べながら次の日本語を中国語に訳しなさい。

阿部仲麻呂は七一六年十九歳で遣唐留学生に選ばれ、翌年、遣唐使に従つて入唐した。その後、長く唐にとどまり、唐名を晁衡という。七五三年入唐した遣唐使とともに帰国することを願い出て許可され、鑑真一行らを伴つて蘇州より出航したが、仲麻呂の乗つた船は安南に流れ着いた。苦心の末、長安に戻り、七三歳でなくなつた。異民族出身で唐の官史として活躍した人は少なくないが、仲麻呂は日本人として唯一の例といつてよく、その学識文才はよく知られていた。李白、王維らとも交遊があり、それぞれ関係の詩が残つている。なお、彼の「天の原ふりさけみれば春日なる三笠の山に出でし月かも」(大空をはるかに見渡すと東の方に月がのぼつてゆくが、あの月は昔、奈良にいたころ、三笠山に出たのと同じ月であるのかなあ)という詩は望郷の詩として有名である。

学習の窓

日本人の姓(部分)

田	吉田	池田	前田	飯田	岡田	松田	竹田	武田	太田	八田	田中	田辺
木	佐藤	伊藤	加藤	工藤	近藤	遠藤	斎藤	後藤	藤田	藤本	藤間	藤野
山	山本	山口	山田	山崎	山下	大山	加山	山野	山内	横山	村山	森山
その他	川	小	中	本	村	井	山	木	藤	田		
安あ 部べ	三み 浦うら	石じ 川かわ	中なか 野の	松まつ 本もと	中なか 村むら	井いの 上うえ	山やまと	鈴すず 木き	佐さ	吉よし		
辻つじ 上うえ	渡わた 島しま	長はせ 谷がわ	中なか 島じま	橋はし 本もと	木きむら	新やまと	荒あらい 井いの	木木の	タケ	田だ		
江え 口ぐち	安あだ 達だつ	足あだ 立だつ	森もり	坂さか 本もと	村むら	上じま	坂さか 井いの	木木の	タケ	田だ		
大おお 江え	金かね 子こ	川かわ 上じま	川かわ 崎さき	中なか 条じょう	田たなか	小おさ 内ない	酒さか 井いの	木木の	タケ	田だ		
菊きく 田た				中なか 条じょう	中なか 条じょう	小おさ 内ない	三みつ 井いの	飛あす 鳥かか 井いの	木木の	タケ		
楠くす 本もと				田たなか	中なか 条じょう	小おさ 内ない	石いし 井いの	石いし 井いの	木木の	タケ		
河こう 野の				川かわ 口ぐち	川かわ 村むら	川かわ 端ばた	竹たけ 中なか	吉よし 本ほん	浜はま 本ほん	八やま 木	平ひら 木	
斎さい 藤とう				川かわ 井いの	中なか 村むら	川かわ 井いの	小こな 糸いと	本ほん 多た	塚つか 本ほん	八やま 木	木きうち	
				香かわ 川かわ	中なか 村むら	香かわ 川かわ	小こな 糸いと	浜はま 本ほん	竹たけ 本ほん	八やま 木	木きうち	
				大おお 川かわ	市いちか 川かわ	大おお 川かわ	中なか 根ね	嶋しま	河かわ 井いの	八やま 木	木きうち	
				荒あらか 川かわ			小こな 杉すぎ	竹たけ 本ほん	森もり	木きうち	木きうち	
							小こな 松まつ		河かわ 井いの			
							小こな 山やま					

第四册 单词索引

单词

(あ)

愛人（名）
相手役（名）

课次

5 11 14 11 9 3 10 15 6 14 13 6 13 13 13

餌子(名)

暗殺(名・他サ)

案するより産むが易し(慣)

案内書(名)

(い)

家柄(名)

いか(名)

意氣(名)

生き生き(と)(副・自サ)

勢い(名・副)

息抜き(名)

息をする(組)

息をのむ(慣)

幾重(名)

以降(名)

石橋をたたいて渡る(組)

いずれも(何れも)(組)

伊勢海老(名)

遺跡(名)

依然(副)

急がば回れ(慣)

偉大(名)

一衣帶水(名)

一時(名・副)

一時期(名)

一時的(形動)

意中(名)

一流(名)

一を聞いて十を知る(慣)

一休宗純(专)

一見(名・他サ)

一行(名)

一向に(副)

一戸建て(名)

一切(副)

一寸先はやみ(慣)

いつそ(副)

いつそう(副)

一定(名・自サ)

一般的(形動)

いつぺんに(副)

一本取られる(慣)

逸話(名)

営む(他五)

犬も歩けば棒に当たる(慣)

衣服(名)

居間(名)

戒める(他一)

芋(名)

医薬(名)

いやらしい(形)

意欲(名)

依頼(名・他サ)

いらいら(副・自サ)

蔓(名)

入りあげる(他一)

入り混ぜる(自五)

医療費(名)

色合い(名)

色あせ(名)

いろり(囲炉裏)(名)

言わぬが花(慣)

いわば(副)

10 12 1 13 5 5 16 2 16 18 6 4 10 5 18 4 14 18 5 14 13 14 11

岩手県(专)	恨み(名)
インゴット(名)	羨ましい(形)
院長(名)	雲岡(专)
(う)	(え)
うかがう(窺う)(他五)	映画化(名)
受けがよい(組)	映像(名)
薄暗い(形)	英知(名)
埋もれる(自一)	えさ(餌)(名)
歌い継ぐ(他五)	えつ(叹)
疑う(他五)	江戸時代(专)
打ち掛け(名)	エネルギー(名)
打ち出す(他五)	えび(海老)(名)
移り変わり(名)	絵本(名)
器(名)	エメラルド(名)
促す(他五)	演歌(名)
鰻(名)	円借款(名)
うなぎ登り(名)	演じ分ける(他一)
ウニ(海胆)	(お)
うまい(旨味)(名)	宴席(名)
生まれながら(副)	落
生み出す(他五)	落ち(名)
埋め尽くす(他五)	陥る(自五)

5 8 10 4 4 3 17 4 6 9 5 16 2 8 13 2 18	16 5 4
(え)	(え)
恨み(名)	羨ましい(形)
雲岡(专)	雲岡(专)
大地主(名)	恨み(名)
大道具(名)	羨ましい(形)
オーピー(OB)(名)	雲岡(专)
お気に召す(自五)	雲岡(专)
置く(他五)	恨み(名)
惜しい(形)	羨ましい(形)
推し進める(他二)	雲岡(专)
惜しむ(他五)	雲岡(专)
おしゃれ(名)	恨み(名)
和尚(名)	雲岡(专)
恐れる(自一)	雲岡(专)
小田急(专)	雲岡(专)
おだてる(他一)	雲岡(专)
織田信長(专)	雲岡(专)
穢やか(形動)	雲岡(专)
落ち目(名)	雲岡(专)
おつしょさん(名)	雲岡(专)

1 13	4 3 17 2 15 11 15 15 3 7 8 17 2 16	18 14 17
(お)	(お)	(お)
欧米(名)	大型(名)	大型(名)
追う(他五)	大柄(名・形動)	大柄(名・形動)
歐米(名)	大地主(名)	大地主(名)
落	大道具(名)	大道具(名)
落ち(名)	オーピー(OB)(名)	オーピー(OB)(名)
陥る(自五)	お気に召す(自五)	お気に召す(自五)
落ちが付く(組)	置く(他五)	置く(他五)
おつしょさん(名)	惜しい(形)	惜しい(形)
おつしょさん(名)	推し進める(他二)	推し進める(他二)
おつしょさん(名)	惜しむ(他五)	惜しむ(他五)
おつしょさん(名)	おしゃれ(名)	おしゃれ(名)
おつしょさん(名)	和尚(名)	和尚(名)
おつしょさん(名)	恐れる(自一)	恐れる(自一)
おつしょさん(名)	小田急(专)	小田急(专)
おつしょさん(名)	おだてる(他一)	おだてる(他一)
おつしょさん(名)	織田信長(专)	織田信長(专)
おつしょさん(名)	穢やか(形動)	穢やか(形動)
おつしょさん(名)	落ち(名)	落ち(名)
おつしょさん(名)	陥る(自五)	陥る(自五)

3 16 3 10 3 2 3 11 5 18 11 5 15 17 4 10 12 16 3 1 10 4 4

同じく(副)

鬼に金棒(慣)

お墓(名)

帶(名)

おふくろ(名)

おべつか(名)

お坊さん(名)

覚書(名)

おぼつかない(形)

思い思(副・形动)

思いがけない(组)

思い切る(他五)

思いをする(组)

重苦しい(形)

表(名)

表向き(名)

親子(名)

オランダ(专)

折から(组)

織り込む(他五)

降り立つ(自五)

織物(名)

織る(他五)

おろそか(疎か)(形动)

恩返し(名・自サ)

音曲(名)

音数(名)

音節(名)

温暖化(名)

(か)

カーン(と)(副)

海岸(名)

海岸線(名)

解決(名・他サ)

開港(名・自他サ)

開国(名・自サ)

外国人(名)

開港(名)

外國船(名)

開催(名・他サ)

外人(名)

開拓村(名)

会長(名)

ガイド(名)

回復(名・自他サ)

回観(名・他サ)

戒律(名)

頼みる(他一)

蛙(名)

化学肥料(名)

掲げる(他一)

かかわる(係わる)(自五)

書き出し(名)

下級(名)

家業(名)

額(名)

画一的(形动)

角形(名)

学識(名)

学者(名)

拡大(名・自他サ)

各地(名)

確定(名・自他サ)

学力(名)

陰(名)

隠れる(自一)

掛け声(名)

架け橋(名)

18

18

18

18

18

18

18

18

18

18

18

18

18

18

18

18

18

18

18

18

18

18

18

駆け戻る(自五)	過去(名)	重ねて(副)	重ねる(他一)	飾りつけ(名)	歌詞(名)	火事(名)	歌手(名)	果汁(名)	頭文字(名)	稼ぐ(他五)	河川(名)	ガタガタ(と)(副・自サ)	仮託(名・自他サ)	片言(名)	刀(名)	片方(名)	語りかける(他二)	語り手(名)	語る(他五)	傍ら(名)	家畜(名)	課長(名)	
5	8	4	3	13	15	5	3	15	11	13	9	16	14	2	1	1	4	4	1	15	13		
鰹節(名)	活火山(名)	活気付く(自五)	活道(名)	角が立たない(慣)	カドミウム(名)	かなえる(他一)	悲しげ(形動)	必ずしも(副)	金儲け(名・自サ)	かぶ(蕪)(名)	壁に耳あり(慣)	力マス(鰯・鰐)(名)	かまばこ(名)	我慢強い(形)	壁に耳あり(慣)	カマス(鰯・鰐)(名)	かまばこ(名)	我慢強い(形)	壁に耳あり(慣)	カマス(鰯・鰐)(名)	かまばこ(名)	我慢強い(形)	
14	1	4	14	5	2	14	1	14	5	2	14	1	4	1	14	5	2	14	1	4	13		
枯れる(自一)	川底(名)	缶(名)	漢学(名)	感情(名)	感情(名)	感情(名)	感情(名)	感情(名)	鑑真(专)	鑑真号(专)	間接的(形動)	完全(名・形動)	完全(名・形動)	完全(名・形動)	完全(名・形動)	完全(名・形動)	完全(名・形動)	完全(名・形動)	完全(名・形動)	完全(名・形動)	完全(名・形動)		
カルタ取り(名)	カヤカヤ(副)	空(名)	ガヤガヤ(副)	枯れる(自一)	川底(名)	缶(名)	漢学(名)	感情(名)	感情(名)	感情(名)	感情(名)	感情(名)	感情(名)	感情(名)	感情(名)	感情(名)	感情(名)	感情(名)	感情(名)	感情(名)	感情(名)	感情(名)	
かもし出す(他五)																							

5	14	14	16	17	18	5	6	4	4	14	4	16	1	13	2	9	14	5	2	14	1	4	
キ一(名)	(き)																						
監督(名)	甲板(名)	管理(名・他サ)	管理人(名)	管理人(名)	管理(名・他サ)																		

2 8 17 15 16 8 8 4 11 12 15 18 2 15 15 10 8 8 8 14 15 13

消え残る(自五)

気温(名)

気が利く(慣)

気がとがめる(組)

季刊誌(名)

木々(名)

聞き下手(名・形動)

貴金属(名)

菊菜(名)

聞くは一時の恥、聞かぬは

一生の恥(慣)

紀元前(名)

機構(名)

既婚者(名)

きじ(難)(名)

儀式(名)

記者(名)

きじも鳴かず撃たれまい(慣)

基準(名)

起承転結(名)

傷つく(自五)

規制(名・他サ)

擬声語(名)

季節(名)

基礎(名)

規則的(形動)

期待(名・他サ)

擬態語(名)

気遣い(名)

着付(名)

着付師(名)

きつと(副・自サ)

絹(名)

記念碑(名)

記念日(名)

基本法(名)

君が代(专)

義務(名)

肝(名)

逆説(名)

逆(名・形動)

ギヤル(名)

旧居(名)

急増(名・自他サ)

教訓(名)

興ざめる(自一)

強制(名・他サ)

業績(名)

協定(名)

経典(名)

共同声明(名)

郷里(名)

競売(名・他サ)

曲折(名・自サ)

曲目(名)

きらきら(と)(副)

きらめき(名)

桐(名)

きらりと(副)

切り返す(他五)

きりがな(い)組

切り倒す(他五)

規律(名)

極めて(副)

均一(名・形動)

金色(名)

銀色(名)

緊急(名・形動)

13 9 17 3 9 15 12 5 12 5 8 1 14 4 5 14 8 6 16 14 8 2

15 14 17 18 5 14 12 4 8 1 9 17 18 5 11 5 5 8 13 3 13 17 4

16 2 5 5 17 7 8 12 14 1 5 2 6 2 17 3 10 16 17 18 17 16 4

金糸(名)	くねくね(副・自サ)
銀糸(名)	月刊誌(名)
近所(名)	結末(名)
金ぴか(名)	組み立て(名)
気を配る(组)	クラクション(名)
氣を使う(组)	ぐるぐる(副)
国を挙げて(组)	黒ずむ(自五)
くつろぎ(名)	苦しむ(自五)
国々(名)	軍国主義(名)
国を挙げて(组)	(け)
くつづける(他一)	芸(名)
くつろぎ(名)	系(名)
口調(名)	敬遠(名・他サ)
口を開く(组)	慶応義塾(专)
口をつぐむ(组)	稽古(名・他サ)
口拍子(名)	恵子(专)
口は災いの門(慣)	原作(名)
下らない(组)	元首(名)
口直し(名)	玄奘三藏(专)
口は災いの門(慣)	健全(形动)
口拍子(名)	けん騷(名)
口をつぐむ(组)	原則(名)
口を開く(组)	現代人(名)
口調(名)	言動(名)
くつづける(他一)	見当がつく(组)
くつろぎ(名)	けんまく(劍幕)(名)
国々(名)	玄郎(专)
国を挙げて(组)	

15 8 5 11 12 18 18 4 11 11 8 8 17 12 12 5 2 5 5

柄(名)	けたたましい(形)
毛皮(名)	月刊誌(名)
形容詞(名)	結末(名)
景品(名)	組み立て(名)
経済界(名)	クラクション(名)
契約(名)	ぐるぐる(副)
子(名)	黒ずむ(自五)
(二)	苦しむ(自五)
子(名)	軍国主義(名)
子(名)	(け)
子(名)	芸(名)
子(名)	系(名)
子(名)	敬遠(名・他サ)
子(名)	慶応義塾(专)
子(名)	稽古(名・他サ)
子(名)	恵子(专)
子(名)	原作(名)
子(名)	元首(名)
子(名)	玄奘三藏(专)
子(名)	健全(形动)
子(名)	けん騷(名)
子(名)	原則(名)
子(名)	現代人(名)
子(名)	言動(名)
子(名)	見当がつく(组)
子(名)	けんまく(劍幕)(名)
子(名)	玄郎(专)

5 6 11 6 5 17 13 3 10 5 3 2 17 5 9 13 6 3 18 16 13

子(名)	けたたましい(形)
子(名)	月刊誌(名)
子(名)	結末(名)
子(名)	組み立て(名)
子(名)	クラクション(名)
子(名)	ぐるぐる(副)
子(名)	黒ずむ(自五)
子(名)	苦しむ(自五)
子(名)	軍国主義(名)
子(名)	(け)
子(名)	芸(名)
子(名)	系(名)
子(名)	敬遠(名・他サ)
子(名)	慶応義塾(专)
子(名)	稽古(名・他サ)
子(名)	恵子(专)
子(名)	原作(名)
子(名)	元首(名)
子(名)	玄奘三藏(专)
子(名)	健全(形动)
子(名)	けん騷(名)
子(名)	原則(名)
子(名)	現代人(名)
子(名)	言動(名)
子(名)	見当がつく(组)
子(名)	けんまく(劍幕)(名)
子(名)	玄郎(专)

10 18 10 4 15 3 8 7 15 17 18 1 11 16 9 7 8 10 3 3 6 13

濃い(形)	小石(名)
功(名)	講談(名)
後援(名・他サ)	広大(形動)
豪華(名・形動)	公的(形動)
悔(名・他サ)	高地(名)
航海(名・自サ)	公団住宅(名)
害病(名)	公的(形動)
光化学スマッグ(名)	高地(名)
高学歴(名)	高等学校(名)
高カロリー(名)	校内暴力(名)
貢献(名・自サ)	荒廃(名・自サ)
抗議(名・他サ)	興福寺(专)
講義(名・他サ)	鉱物(名)
交響曲(名)	広報(名)
高座(名)	弘法(专)
公式(名・形動)	弘法も筆の誤り(慣)
高脂質(名)	甲羅(名)
皇室(名)	考慮(名・他サ)
洪水(名)	ゴールドジュエリー(名)
向上心(名)	ゴールドラッシュ(组)
高僧(名)	香炉(名)
誤解(名・他サ)	声(名)
小切手(名)	こぎつける(他一)
古今和歌集(专)	心地よい(形)
こぎつける(他一)	小作人(名)
古今和歌集(专)	こざっぱり(副)
国交正常化(名)	古事記(专)
国交正常化(名)	五十歩百歩(慣)
国旗(名)	腰を下ろす(组)
国歌(名)	戸籍簿(名)
滑稽(名・形動)	応える(自一)
ごたごた(副・自サ)	ごたごた(副・自サ)

17 11 1 1 9 14 1 15 14 1 2 1 15 1 1 1 1 1 1 1 1 2 8 1

こつこつ(副)
 こつそり(副)
 固定(名・自他サ)
 ごてごて(副・自サ)
 異なる(自五)
 殊に(副)
 事に当たる(组)
 この世(名)
 小判(名)
 五兵衛(专)
 こぼれる(零れる)(自一)
 コマーシャルソング(名)
 こま回し(名)
 小耳に挿む(慣)
 込める(他一)
 小屋(名)
 小役人(名)
 ゴルフ(名)
 転がる(自五)
 ごろごろ(副・自サ)
 転ばぬ先の杖(慣)
 コロンブス(专)

18	14	3	3	6	1	10	13	2	3	14	2	15	1	14	14	14	11	9	5	13	11
今春(名)	渾天儀(专)	昆布(名)	根源(名)	今回(名)	避ける(他一)	細石(名)	こわいわ(副)	紺色(名)	探る(他五)	作詞(名・自他サ)	差し出す(他五)	差し迫る(自五)	差し延べる(他一)	刺身(名)	差し出する(他五)	差し迫る(他一)	避ける(他一)	細石(名)	紺色(名)	探る(他五)	作詞(名・自他サ)
先付け(名)	ザーザー(副)	災害(名)	座(名)	座(名)	座談会(名)	定める(他一)	定める(他一)	定まる(自五)	定める(他一)	定める(他一)	定める(他一)	定める(他一)	定める(他一)	さ(さ)	今夜(名)	渾天儀(专)	昆布(名)	根源(名)	今回(名)	今春(名)	こわいわ(副)
栽培(名・他サ)	栽培(名・他サ)	栽培(名・他サ)	栽培(名・他サ)	栽培(名・他サ)	栽培(名・他サ)	栽培(名・他サ)	栽培(名・他サ)	栽培(名・他サ)	栽培(名・他サ)	栽培(名・他サ)											

4	2	9	1	5	9	4	16	4	1	13	18	1	7	4	18	4	10	7	5	11	
座布団(名)	砂漠化(名)	砂漠(名)	さとす(他五)	さとす(他五)	さとす(他五)	さては(叹)	さとす(他五)	さとす(他五)	さとす(他五)	さとす(他五)	さとす(他五)	さとす(他五)	さとす(他五)	さとす(他五)	さとす(他五)						
酒井(专)	悟る(他五)	悟る(他五)	茶道(名)	茶道(名)	茶道(名)	作曲(名・自他サ)	さ(さ)														

さほど(副)
 左右(名・他サ)
 さらさら(副・自サ)
 触る(自五)
 山河(名)
 酸性雨(名)
 贊成派(名)
 山地(名)
 产地(名)

(し)

事業部(名)	自宅(名)
資金力(名)	仕立て(名)
資源(名)	実家(名)
始皇帝(专)	しつこい(形)
思考力(名)	実子(名)
仕事柄(名)	失姉(名)
施策(名・自サ)	シナリオ(名)
視察(名・他サ)	失敗談(名)
視察団(名)	私的(形动)
子々孫々(名)	指摘(名・他サ)
事実(名)	しのぐ(凌ぐ)(他五)
事実上(名)	支配(名・他サ)
刺繡(名・他サ)	字幕(名)
師匠(名)	地味(名・形动)
姿勢(名)	しみじみ(副)
視線(名)	しめくくり(名)
自然食(名)	市役所(名)
自然と(副)	社宅(名)
自然林(名)	借錢(名・自他サ)
自尊(名)	しゃべる(他五)
子孫(名)	ジャンク(名)
自己(名・副)	ジャンル(名)
次第(接尾)	周囲(名)

3 3 15 15 4 5 8 4 9 5 13 18 9 18 7 3 11 11 11 12 18 5 16

收穫物(名)	就學率(名)	周刊誌(名)	修業(名・他サ)	周知(名・自サ)	十八番(名)	住民(名)	重要性(名)	修行(名・他サ)	熟語(名)	熟年(名)	取材(名・他サ)	受賞(名・他サ)	主題曲(名)	主張(名・他サ)	出身地(名)	出世(名・自サ)	出店(名・他サ)	潤滑油(名)	純金(名)	順調(形動)	障害(名)
--------	--------	--------	----------	----------	--------	-------	--------	----------	-------	-------	----------	----------	--------	----------	--------	----------	----------	--------	-------	--------	-------

17	16	5	6	2	5	10	18	9	2	16	15	15	11	18	9	9	2	17	5	6	10	4
上京(名・自サ)	祥彦(专)	障子(名)	称する(他サ)	正体(名)	沼沢(名)	商談(名)	象徴(名・他サ)	聖徳太子(专)	承認(名・他サ)	商人(名)	商売(名・自サ)	上半身(名)	消費者(名)	商品(名)	證明(名・他サ)	条約(名)	秦(专)	汁物(名)	汁(名)	市立(名)	私立(名)	白羽の矢が立つ(慣)

1	8	4	4	18	18	17	17	8	4	3	6	1	1	1	10	7	4	13	9	14	18	4
社交(名)	徐々に(副)	初代(名)	ショツク(名)	諸島(名)	署名(名・自他サ)	助動詞(名)	署名(名・自他サ)	白羽の矢が立つ(慣)	白ける(自)	知らず知らず(副)	私立(名)	白羽の矢が立つ(慣)	汁物(名)	汁(名)	市立(名)	私立(名)	白羽の矢が立つ(慣)	白れる(自)	知らず知らず(副)	白羽の矢が立つ(慣)	白れる(自)	白羽の矢が立つ(慣)

7	1	18	2	17	15	18	15	2	4	4	11	11	14	2	7	9	11	1	14	1	5	14
---	---	----	---	----	----	----	----	---	---	---	----	----	----	---	---	---	----	---	----	---	---	----

18	15	10	11	4	13	2	8	12	8	8	17	11	2	1	6	15	14	10	13	14	14
セット(名)	世辞(名)	世々代々(名)	せせらぎ(名)	せつせと(副)	設置(名・他サ)	西洋(名)	かぶれ(名・自サ)	成立(名・自サ)	せきたてる(他一)	責任者(名)	責任者(名)	制度(名)	製造業(名)	正装(名)	精神的(形動)	成人式(名)	青春(名)	正常(名・形動)	正式(名・形動)	正座(名・自サ)	成果(名)

設立(名・他サ)
 説話集(名)
 背中(名)
 セミナー(名)
 全員(名)
 宣言(名・他サ)
 先覚者(名)
 戰国(名)
 戰国時代(名)
 前菜(名)
 先住(名)
 禅宗(名)
 先進国(名)
 扇子(名)
 戰前(名)
 先祖(名)
 前途(名)
 先輩(名)
 先方(名)
 前方(名)
 専門家(名)
 仙藻(名)
 千里の行も足元から始まる(慣)

17 18 18 13 7 7 17 18 9 3 11 18 4 18 3 17 10 10 6 13 11 16

僧(名)
 増加(名・自他サ)
 壮舉(名)
 送金(名・自サ)
 相互(名)
 送金(名・自サ)
 総合(名・他サ)
 総じて(副)
 總称(名・他サ)
 裝飾(名・自サ)
 造船場(名)
 造船場(名)
 早朝(名)
 双方(名)
 添える(他一)
 即位(名・自サ)
 素材(名)
 訴訟(名・自サ)
 育つ(自五)
 そつと(副)
 袖(名)
 そと(名)

(そ)

7 5 13 8 9 4 1 4 17 15 10 18 5 5 17 17 17 16 18 8 18

染まる(自五)
 染め抜く(他五)
 それなのに(接)
 損(名・自サ)
 損氣(名)
 尊重(名・他サ)
 大安寺(专)
 第一步(名)
 大会(名)
 退学(名・自サ)
 大規模(形動)
 体系(名)
 体形(名)
 太鼓(名)
 対策(名)
 大使(名)
 大衆的(形動)
 帯刀(名・自サ)
 代表(名)
 タイプ(名)

(た)

3 7 1 2 15 8 11 13 5 13 15 14 5 17 18 12 14 6 6 5 2

太平洋(专)
 大名(名)
 大明寺(专)
 代名詞(名)
 体面(名)
 大役(名)
 太陽(名)
 代理(名・他サ)
 対立(名・自サ)
 絶える(自一)
 耕す(他五)
 宝くじ(名)
 宝の持ち腐れ(慣)
 炊き合わせ(名)
 たきぎ(薪)(名)
 託す(他五)
 たける(自五)
 風揚げ(名)
 多種多様(形動)
 多少(名・副)
 たすき(繩)(名)
 たそがれ(名)
 置(名)

10	2	14	9	4	14	13	4	14	6	15	15	9	6	6	14	10	11	18	3	1
立場(名)																				
立ち止まる(自五)																				
立札(名)																				
建前(名)																				
立てる(他一)																				
喰える(他一)																				
たなばた(七夕)(名)																				
谷口(专)																				
種(名)																				
旅立つ(自五)																				
たまもの(賜物)(名)																				
たまる(自五)																				
黙る(自五)																				
試す(他五)																				
たやすい(形)																				
弛みない(形)																				
垂れる(自他一)																				
たわいのない(組)																				
反(接尾)																				

13	9	18	17	10	12	9	8	17	18	15	18	18	18	14	7	7	11	11	4	2	7	11	14
地名(名)	秩序(名)	地名(名)	秩序(名)	地名(名)	蓄積(名・他サ)	竹齋(专)	力強い(形)	誓う(他五)	チエーン(名)	知育(名)													
(ち)																							

18 7 8 9 11 16 15 5 10 6 11 10 9 6 9 14 18 14 14 17 11

茶色(名)
 茶漬け(名)
 注意深い(形)
 中小企業(名)
 中毒(名・自サ)
 注目(名・他サ)
 蝶(名)
 長安(专)
 調印(名・自サ)
 長音(名)
 長寿(名)
 朝刊(名)
 長城(专)
 町人(名)
 懲罰(名・他サ)
 長老(名)
 直営店(名)
 チョッキン(副)
 千代に八千代(组)
 ちよろちよろ(副)
 散り散り(形动)
 ちらり積もれば山となる(惯)
 治療法(名)

(つ)

9	14	18	13	1	13	5	18	18	1	15	18	6	11	17	18	13	4	9	5	14	6	5		
低下 <small>(名・自サ)</small>																		杖 <small>(名)</small>	対句 <small>(名)</small>	次々と <small>(副)</small>	漬物 <small>(名)</small>	就く <small>(自五)</small>	次ぐ <small>(自五)</small>	
																		使い <small>(名)</small>	使い <small>(名)</small>					
																		手玉 <small>(名)</small>	手品 <small>(名)</small>					
																		手遅れ <small>(名)</small>	でこぼこ <small>(名・形动)</small>					
																		デザイナー <small>(名)</small>	弟子 <small>(名)</small>					
																		手続き <small>(名)</small>	手ぬぐい <small>(名)</small>					
																		手間 <small>(名)</small>	手玉に取る <small>(组)</small>					
																		デュエット <small>(名)</small>	伝説 <small>(名)</small>					
																		照りつける <small>(自一)</small>	手振り <small>(名)</small>					

(と)

10	11	14	13	14	11	3	14	8	3	1	12	10	4	17	11	14	14	12						
戸 <small>(名)</small>																		低地 <small>(名)</small>	手遅れ <small>(名)</small>					
																		でこぼこ <small>(名・形动)</small>	デザイナー <small>(名)</small>					
																		手品 <small>(名)</small>	手玉に取る <small>(组)</small>					
																		手続き <small>(名)</small>	手ぬぐい <small>(名)</small>					
																		手間 <small>(名)</small>	手玉に取る <small>(组)</small>					
																		デュエット <small>(名)</small>	伝説 <small>(名)</small>					
																		照りつける <small>(自一)</small>	手振り <small>(名)</small>					

3 10 8 17 4 18 1 4 18 15 7 4 3 3 10 16 3 18 5 2 8 1

問う(他五)

唐(专)

統一(名・他サ)

同音(名)

道抗(专)

登校拒否(名)

動詞(名)

当初(名)

投書者(名)

トースト(名)

どうせ(副)

灯台下暗し(慣)

到着(名・自サ)

堂々と(副)

東南アジア(名)

どうにもならない(組)

童話(名)

通り相場(名)

渡海(名・自サ)

咎める(自他一)

時には(副)

止め処ない(組)

：とく(組)

独学(名・他サ)

10 16 6 16 18 5 11 4 5 10 16 14 11 6 8 15 11 10 18 14 1 18 3

特集(名)

徳清(专)

特長(名)

独立(名・自サ)

どことなく(副)

ところが(接)

閉ざす(他五)

年の功(組)

年寄り(名)

どつさり(副)

とつび(形动)

止まる(自五)

となる怒鳴る(自五)

とにかく(副)

殿様(名)

飛ばす(他五)

徒步(名)

乏しい(形)

土間(名)

戸惑う(自五)

（な）

内閣(名)

長崎(专)

中頃(名)

中頃(名)

眺め(名)

鳴き声(名)

嘆き(名)

富む(自五)

とも(接尾)

豊臣秀吉(专)

捕らえる(他一)

取引(名)

取り巻く(他五)

努力(名・自サ)

トンカラリ(副)

どんぐり(團栗)(名)

どんぐりの背比べ(慣)

トントン(副)

（な）

トントン(副)

（な）

15 7 13 9 10 10 11 13 1 1 13 14 14 13 13 8 8 7 4 9 3 13

成し遂げる(他一)
 なじる(他五)
 成す(他五)
 懐かしかる(自五)
 名づける(他一)
 納得(名・他サ)
 生ゴミ(名)
 何を(吸)
 名乗る(自五)
 なめらか(滑らか)(形動)
 奈良(专)
 習うより慣れよ(組)
 慣わし(名)
 成田空港(专)
 なる(助動詞「なり」の連体形)
 ナレーション(名)
 わ(繩)(名)
 南西(名)
 なんで(副)
 なんと(副)
 なんとなく(副)

	新潟(专)	二階から目薬(慣)	苦笑い(名・自サ)	憎まれ口(名)	肉類(名)	逃げる(自一)	濁る(自五)	濁化炭素(名)	日記帳(名)	煮付け(名)	二の次(名)	日本海(专)	日本髪(名)	日本書紀(专)	ニヤニヤ(副・自サ)						
3	13	13	1	13	18	10	16	1	5	11	18	14	18	10	8	16	10	15	13	12	17
人參(名)																					

	縫い物(名)	ぬかるむ(泥濘む)(自四)	抜き(名)	盜人(名)	盜人を捕まえて縄を綻う(慣)	布地(名)	ねーみーング(名)	ネオン(名)	猫に小判(慣)	値切る(他五)	日本海(名)	日本髪(名)	日本書紀(名)	ニヤニヤ(副・自サ)						
4	9	7	16	1	5	1	10	1	4	3	8	15	18	4	14	15	14	15	15	9
人間関係(名)																				
認識(名・他サ)																				
人参(名)																				

	16	15	16	2	4	5	14	16	6	15	5	14	14	7	2	13	18	14
--	----	----	----	---	---	---	----	----	---	----	---	----	----	---	---	----	----	----

年月(名)	17	8	2	10	14
年号(名)					
年配(名)					
燃料(名)					
根を下ろす(組)					
(の)					
能ある鷹は爪を隠す(慣)					
農協(名)					
農耕(名)					
農作物(名)					
農産物(名)					
農夫(名)					
農民(名)					
軒を並べる(慣)					
乗せる(他一)					
覗く(自己五)					
望ましい(形)					
望む(他五)					
喉元すれば熱さ忘れる(慣)					
延べ(名)					
述べる(他一)					

幟(名)	17	8	2	10	14
上る(自五)					
のんき(暢氣)(形動)					
(は)					
廢液(名)					
配偶者(名)					
排除(名・他サ)					
賠償(名・他サ)					
敗戦(名・自サ)					
配置(名・他サ)					
配分(名・他サ)					
破壊(名・他サ)					
羽織(名)					
ばかごやし(組)					
ばかばかしい(形動)					
はかま(名)					
箔(名)					
博学(名)					
博学多才(名)					

博覽会(名)	10	18	18	5	5	11	12	14	8	5	15	4	9	9	17	4	
バケツ(名)																	
函館(专)																	
挟み(名)																	
恥(名)																	
橋(名)																	
端(名)																	
恥をかく(組)																	
彈き飛ばす(他五)																	
彈く(他五)																	
はづす(他五)																	
長谷川(专)																	
はすす(他五)																	
機(名)																	
パターン(名)																	
機織り場(名)																	
煙(名)																	
果す(他五)																	
バタバタ(副・自サ)																	
八丈島(专)																	
話し合い(名)																	
パチンコ(名)																	

8 5 14 18 13 14 15 13 4 13 7 13 11 15 15 11 11 7 13 10 8 9

話し合う(他五)
 はなしか(嘶家)(名)
 話し上手(名・形動)
 話にならない(組)
 甚だしい(形)
 羽根つき(名)
 ははあ(叹)
 母親(名)
 羽ばたく(自五)
 省く(他五)
 破目(名)
 ハモ(名)
 流れる(副)
 腹(名)
 バラエティー(名)
 原宿(专)
 ばらばら(副・形動)
 パラバラ(副)
 張り合い(名)
 張り替える(他一)
 遥か(副・形動)
 春めく(自五)

18	2	4	15	13	14	5	3	14	7	10	4	16	12	13	6	11	14	12	11	14	3	10
藩(名)																						
万感(名)																						
半官半民(名)																						
反響(名・自サ)																						
万国(名)																						
半助(专)																						
反省(名・他サ)																						
反対派(名)																						
判断力(名)																						
(ひ)																						

11	3	18	4	14	6	11	18	9	5	5												
											10	9	14	1	9	18	17	16	10	5		
											羊(名)											
											ヒット曲(名)											
											引つ張りだこ(組)											
											一口(名)											
											一声(名)											
											一言(名)											
											一束(名)											
											一晩(名)											
											ひとまず(副)											
											一役買う(組)											
											避難(名・自サ)											
											ビニール(名)											
											皮肉(名・形動)											
											火のないところに煙は立たない(慣)											
											日の丸(名)											
											日増し(副)											
											悲鳴を上げる(組)											
											ひもとく(紐解く)(他五)											

18 2 5 17 1 14 9 8 18 15 15 2 16 15 13 12 5 2 13 8 4 18 11

百姓(名)	百姓(名)
百助(专)	百助(专)
百货店(名)	百货店(名)
表記(名・他サ)	表記(名・他サ)
標高(名)	標高(名)
美容師(名)	美容師(名)
表面化(名・他サ)	表面化(名・他サ)
漂流(名・自サ)	漂流(名・自サ)
平社員(名)	平社員(名)
ひよつとしたら(組)	ひよつとしたら(組)
ひらひら(副)	ひらひら(副)
ピリツと(副)	ピリツと(副)
拾う(他五)	拾う(他五)
広まる(自五)	広まる(自五)
瓶(名)	瓶(名)
頻度(名)	頻度(名)
ピンチ(名)	ピンチ(名)
不正(名・形动)	不正(名・形动)
不揃い(名・形动)	不揃い(名・形动)
二人組み(名)	二人組み(名)
二人暮し(名)	二人暮し(名)
部長(名)	部長(名)
復活(名・自他サ)	復活(名・自他サ)
ふつきらぼう(形动)	ふつきらぼう(形动)
(小)	(小)
ファッショナブル(名・形动)	ファッショナブル(名・形动)

ファン(名)	ファン(名)
フィット(名・自サ)	フィット(名・自サ)
フェスティバル(名)	フェスティバル(名)
風(名)	風(名)
部下(名)	部下(名)
福沢諭吉(专)	福沢諭吉(专)
副詞(名)	副詞(名)
福島(专)	福島(专)
服装(名)	服装(名)
福笑い(名)	福笑い(名)
武士(名)	武士(名)
不幸(名・形动)	不幸(名・形动)
不十分(名・形动)	不十分(名・形动)
普照(专)	普照(专)
婦人バツグ(名)	婦人バツグ(名)
婦人服(名)	婦人服(名)
ブレザー(名)	ブレザー(名)
ブレタボルテ(名)	ブレタボルテ(名)
プログラム(名)	プログラム(名)
フロンガス(名)	フロンガス(名)
文献(名)	文献(名)
文章(名)	文章(名)
文明(名)	文明(名)
文明開化(名)	文明開化(名)

18 8 13 1 8 3 5 5 7 5 7 8 16 5 17 1 10 5 11 14 3 18 1

(三)

弊害（名）

五歲

平凡（名・形動）

べからず(组)

卷之三

へたんとくらべ

別姓(名)

蛇（名）

ベルト(名)

弁へ接尾

偏重（名・他サ）

ほ

法名

貿易窓(名)

方計名

放題へ接尾

2 10 10 17 18 10 1 5 8 3 1 13 14 2 11 11 5 11 10
 掘る ポビ ほの ほの 仏の ポツ ポツ 発足 ホツ 北海 細長 ホス 保証 ほご 保護 ポケ 牧畜 ほけ 北東 ほえ ほう ほう 豊富 ホー 暴風

豊富多彩(形容)	暴風雨(名)
ホームラン(名)	ほうれんそう(名)
ほえる(吠える)(自一)	ほえる(吠える)
北東(名)	ほくとう
牧畜(名)	ぼくしょく
抜け(名)	ぬけ
ポケット(名)	ポケット
保護(名・他サ)	ほご
保証人(名)	ほじやん
ほご紙(名)	ほごしき
ホステス(名)	ホステス
細長い(形)	ほそながい
北海道(专)	ほっかいどう
ボックス(名)	ボックス
発足(名・自サ)	はつそく
ボップス(名)	ボップス
ボップミュージック(名)	ボップミュージック
仮の顔も三度(慣)	ほのあい
ほの暗い(形)	ほのあい
ボピュラー(名・形容)	ボピュラー
掘る(他五)	ぬぐる

17 2 18 14 3 2 16 2 8 1 7 16 19 9 15 3 4 1 13 16 13 15 18

本氣（名・形動）	盆踊り（名）
本誌（名）	ポンポン（副）
本心（名）	本多（专）
本屋（名）	ボンボン（副）
（ま）	マーク（名・他サ）
舞い上がる（自五）	舞い上がる（自五）
参る（自五）	参る（自五）
前向き（名・形動）	前もって（副）
任せ（他五）	まがいもの（名）
間が抜け（慣）	まがいもの（名）
曲がりくねる（自一）	曲がりくねる（自一）
曲がり通る（自五）	曲がり通る（自五）
巻きつける（他一）	巻きつける（他一）
負ける（他一）	負ける（他一）
孫（名）	孫（名）
正雄（专）	正雄（专）

13 18 16 5 4 2 3 7 4 14 17 1 13 15 6 13 1 12 17 11 5

まさか(副)

摩擦(名・自他サ)

増す(自他五)

マスター(名・他サ)

町中(名)

松の木(名)

松葉(名)

祭る(他五)

真夏(名)

まめまめしい(形)

丸形(名)

まるで(副)

回りくどい(形)

満員(名)

饅頭(名)

漫談(名)

(み)

見送る(他五)

みごと(見事)(形动)

未婚者(名)

短し(文言形容词)

湖(名)

ミスプリント(名)

ミセス(名)

乱す(他五)

見つかる(自五)

みつぐ(貢ぐ)(他五)

三つ葉(名)

見直す(他五)

港(名)

水俣(专)

身につく(组)

みの(養)(名)

身之内(名)

見逃す(他五)

実り(名)

耳学問(名)

耳にする(组)

身振り(名)

みゆき(美雪)(专)

芽(名)

め(奴)(接尾)

民衆(名)

身を任せ(组)

無言(名)

胸(名)

生す(自四)

矛盾(名)

結び目(名)

胸に迫る(组)

胸元(名)

無農薬(名)

群がり(名)

村はずれ(名)

村役場(名)

群れ(名)

(め)

(め)

14 5 13 13

3 3 12 12 16 4 13 5 18 4 1 15 14 7 7 9

民間人(名)

名字(名)

耳にする(组)

身振り(名)

みゆき(美雪)(专)

芽(名)

め(奴)(接尾)

17 1 7 3 6 14 17 5 14 13 11 9 10 4 4 5 16 13 5 1 17 8 13

2 2 11

メーカー(名)
 明確(形動)
 銘記(名・他サ)
 命じる(他一)
 名物(名)
 めいめい(名)
 メーメー(と)(副)
 名誉(名)
 命令(名・他サ)
 目薬(名)
 めくる(他五)
 目指す(他五)
 目覚しい(形)
 飯(名)
 目立つ(自五)
 メタリック(名)
 メタリック・アクセサリー(名)
 めちゃめちゃ(形動)
 めつき(名)
 めつた(滅多)(形動)
 目安(名)

14 15 5 11 5 5 1 14 10 10 16 14 12 1 1 13 14 1 18 17 12 7

申しつけ(名)
 燃える(自一)
 目標(名)
 持ち味(名)
 もつたいない(形)
 尤も(接)
 もてはやす(他五)
 モデル(名)
 物音(名)
 ものになる(組)
 もめる(自一)
 木綿地(名)
 模様(名)
 催し物(名)
 モラル(名)
 盛り上げる(他一)
 盛り合わせる(他一)

面倒くさい(形)
目を注ぐ(組)
目を向ける(組)

(も)

申しつけ(名)

燃える(自一)

尤も(接)

もてはやす(他五)

モデル(名)

物音(名)

ものになる(組)

もめる(自一)

木綿地(名)

模様(名)

催し物(名)

モラル(名)

盛り上げる(他一)

盛り合わせる(他一)

八百屋(名)
焼き物(名)
躍進(名・自サ)

目(名)
門(名)

(や)

盛る(他五)
八百屋(名)
焼き物(名)
躍進(名・自サ)

目(名)
門(名)

(ゆ)

山芋(名)

ややこしい(形)

やばい(形)

宿(名)
やばい(形)

宿(名)
ややこしい(形)

ややこしい(形)
破れる(自一)

ややこしい(形)
山芋(名)

優雅(形動)
有機(名)

友好協会(名)
優先(名・自他サ)

4 7 4 2 5 5 14 11 13 11 5 1 14 4 17 8 18 17 18 8

優雅(形動)
 有機(名)
 友好協会(名)
 優先(名・自他サ)

7 15 4 5 11 12 11 4 9 14 16 11 10 1 4 16 11 4

有名人(名)
 夕もや(名)
 有利(形動)
 有力者(名)
 浴衣(名)
 行きづらい(形)
 雪解け(名)
 行方(名)
 ゆず(柚子)(名)
 ユニホーム(名)
 指(名)
 摺らぐ(自五)
 緩やか(形動)

(よ)

2	4	17	14	18	15	6	18		2	15	13	5	4	5	2	3	5	1	17	13	16
---	---	----	----	----	----	---	----	--	---	----	----	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

来学期(名)	(ら)	よそ(名)	汚れる(自一)	横山(专)	翌年(名)	余儀ない(形)	落語家(名)	ラベル(名)	横好き(名)	汚す(他五)	よけい(余計)(形動・副)	リード役(名)	リスト(名)	理想的(形動)	立憲君主国(名)	リモコン(名)	留学僧(名)	流行語(名)	リード役(名)	リスト(名)	理想的(形動)	(り)
呼びかける(他一)	よ	よそ者(名)	良し悪し(名)	予備校(名)	四日市(专)	よそ(名)	よそ者(名)	よそ(名)	よそ者(名)	よそ(名)	よそ者(名)	よそ(名)	よそ(名)	よそ(名)	よそ(名)	よそ(名)	よそ(名)	よそ(名)	よそ(名)	よそ(名)	よそ(名)	(る)
呼び止める(他一)	よ	呼び水(名)	呼び水(名)	読売新聞(专)	夜更け(名)	よほど(副)	よほど(副)	よほど(副)	よほど(副)	よほど(副)	よほど(副)	よほど(副)	よほど(副)	よほど(副)	よほど(副)	よほど(副)	よほど(副)	よほど(副)	よほど(副)	よほど(副)	よほど(副)	(る)

14	18	5	16	11	2	17	10	10	6	9	7	4	3	10	8	7	14	8	10	10	10		
ルボ(名・他サ)	(る)	流通(名・自サ)	流通(名・自サ)	良妻賢母(名)	良妻賢母(名)	両方(名)	両方(名)	量的(形動)	量的(形動)	留學僧(名)	留學僧(名)	立憲君主國(名)	立憲君主國(名)	リモコン(名)	リモコン(名)	流行語(名)	流行語(名)	リード役(名)	リスト(名)	理想的(形動)	立憲君主國(名)	落語家(名)	(る)
旅行社(名)	る	旅行社(名)	旅行社(名)	臨濟宗(专)	臨濟宗(专)																	(る)	

4	11	15	12	10	15	4	11	10	18	2	9	1	4	2	5		4	3	3		
---	----	----	----	----	----	---	----	----	----	---	---	---	---	---	---	--	---	---	---	--	--

(れ)

例外(名)

レーザーディスク(名)

歴史書(名)

れつきとした(組)

列島(名)

レベル(名)

(ろ)

浪人(名)

浪曲(名)

労働力(名)

17	3	9	1	18	1	2	6	老若男女(名)	
わ	ざ	と	(副)	災	い	(名)	わ	し	(代)
六	本	木	(专)	炉	端	(名)	ロ	ビ	ー(名)
ゴ	ン	車	(名)	和	輪	(名)	わ	な	(名)
タ	ク	ス	(名)	キ	上	がる(自五)	ハ	ニ	かかる(組)

(わ)

櫛(名)	和(名)	輪(名)	輪(名)	輪(名)	輪(名)	輪(名)	輪(名)	老若男女(名)	
タ	ク	ス	(名)	キ	上	がる(自五)	ハ	ニ	かかる(組)
タ	ク	ス	(名)	キ	上	がる(自五)	ハ	ニ	かかる(組)
タ	ク	ス	(名)	キ	上	がる(自五)	ハ	ニ	かかる(組)
タ	ク	ス	(名)	キ	上	がる(自五)	ハ	ニ	かかる(組)

16	7	15	7	5	16	13	5	10	3		
わ	ざ	と	(副)	災	い	(名)	わ	し	(代)		
和	風	(名)	和食(名)	和食(名)	和食(名)	和食(名)	和食(名)	和食(名)	和食(名)		
わ	ら	じ	(草鞋)(名)	わ	ら	じ	(草鞋)(名)	わ	ら	じ	(草鞋)(名)
ワ	ン	ビ	ース(名)	ワ	ン	ビ	ース(名)	ワ	ン	ビ	ース(名)
ワ	ン	ワ	ン(と)(副)	ワ	ン	ワ	ン(と)(副)	ワ	ン	ワ	ン(と)(副)

13 6 18 3 2 13 13 4 11 12 3

日本语新辞典

原版编者 松井荣一
日本语新辞典 翻译组

4

新编日语第四册

课文翻译与练习答案
修订本 学习参考

新编日语第四册

(修订本)
习题集

4

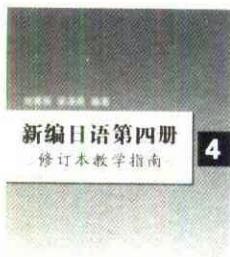
日本语新辞典
原版编者 松井荣一
《日本语新辞典》翻译组

新编日语第四册

修订本教学指南

4

新编日语口译 基础篇



新世纪高等学校日语专业本科生系列教材

日语综合教程 第4册

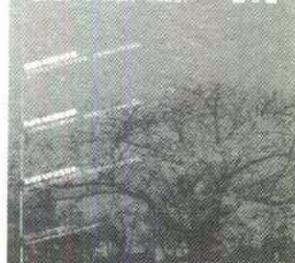
陈小奇 编著



日语综合教程系列

日语听解教程 第3册

陈小奇 编著



日语听解教程系列

责任编辑：应允

封面设计：周蓉蓉

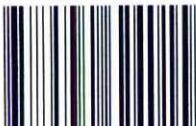
本书是《新编日语》第四册的修订本。多年来的教学实践证明，《新编日语》的编写内容、编写原则及体例是符合日语教学的规律与要求的，在培养学生基础阶段扎实的日语知识和灵活的运用能力方面起到了良好的作用，取得了可喜的成果。本次修订在保留原书编写特点的基础上，对部分内容作了适量的修改与补充。

本书是高等院校日语专业基础阶段教材第四册，供二年级下学期使用。本书的编写原则以听说为主，读写为辅。参照教学大纲的要求，编入日语语音、文字、词汇、语法、句型、功能用语等方面的内容。题材以学校、家庭、社会为主，同时兼顾日本文化、风俗习惯等。全书共十八课，每课由本文、会话、应用文、单词、词语与表达、功能用语、练习七个部分构成。书后附有单词索引。

本次修订替换了部分课文，并相应增删了部分单词，使这本多年来承载诸方专家学者肯定和广大师生厚爱的教材更具时代气息，焕发出新的光彩。

提供本书MP3录音，下载信息详见封二

ISBN 978-7-5446-2401-5



9 787544 624015 >

定价：32.00 元

